令和８年度

年間指導計画

高等部

沖縄県立　西崎特別支援学校

〒９０１－０３０５　沖縄県糸満市西崎１丁目１番２号

電話（０９８）９９４－６８５５

ＦＡＸ（０９８）９９４－６８５６

令和８年度 年間指導計画　目次

教育課程Ⅱ課程Ａ（1～3 年）	
教科	ページ
国語	1～ 6
社会	13～18
数学	25～42
理科	48～54
音楽	62～67
美術	74～76
体育	80～85
職業（木工）	89～90
職業（窯業）	91～94
職業（家庭）	95～100
職業（農園）	101～106
職業（トータル）	107～109
家庭	128～133
外国語	139～144
情報	151～156

教育課程Ⅱ課程共通（１～３年）	
道徳	160～165
総合的な探究の時間	166～168
特別活動	169～173

教育課程Ⅱ課程Ｂ（１～3 年）	
教科	ページ
国語	7～12
社会	19～24
数学	43～47
理科	55～61
音楽	68～73
美術	77～79
体育	86～88
職業（木工）	110～115
職業（窯業）	116～121
職業（農業）	122～127
家庭	134～138
外国語	145～150
情報	157～159

令和８年度　学年別時間割

教育課程Ⅱ課程Ａ

１年１・２組

	月	火	水	木	金
1	自立活動	英語AB	道徳	数学AB	数学AB
2	職業	特別活動	美術A 音楽B	職業	音楽A 家庭B
3	職業	特別活動	理科A 情報B	職業	理科A 家庭B
4	職業	社会A 理科B	体育	職業	情報A 社会B
	給食				
5	社会A 美術B	数学AB	家庭A 理科B	国語AB	体育
6	国語AB	体育	家庭A 社会B	英語AB	国語AB

２年１・２・３組

	月	火	水	木	金
1	道徳	社会A 理科B 情報C	自立活動	英語 （Ａ～Ｃ）	理科A 情報B 社会C
2	職業	特別活動	体育	職業	英語 （Ａ～Ｃ）
3	職業	特別活動	家庭A 理科B 音楽C	職業	国語 （Ａ～Ｃ）
4	職業	数学 （Ａ～Ｃ）	家庭A 社会B 社会C	職業	体育
	給食				
5	理科A 音楽B 家庭C	体育	国語 （Ａ～Ｃ）	数学 （Ａ～Ｃ）	情報A 家庭B 理科C
6	美術A 社会B 家庭C	国語 （Ａ～Ｃ）	数学 （Ａ～Ｃ）	音楽A 美術B 理科C	社会A 家庭B 美術C

３年１・２・３組

	月	火	水	木	金
1	道徳	数学 （Ａ～Ｃ）	自立活動	国語 （Ａ～Ｃ）	英語 （Ａ～Ｃ）
2	国語 （Ａ～Ｃ）	特別活動	職業	数学 （Ａ～Ｃ）	職業
3	数学 （Ａ～Ｃ）	特別活動	職業	情報A 社会B 音楽C	職業
4	体育	英語 （Ａ～Ｃ）	職業	理科A 音楽B 社会C	職業
	給食				
5	社会A 家庭B 社会C	音楽A 社会B 家庭C	体育	家庭A 美術B 情報C	美術A 理科B 美術C
6	情報A 家庭B 理科C	社会A 理科B 家庭C	国語 （Ａ～Ｃ）	家庭A 情報B 理科C	体育

教育課程Ⅱ課程B

１年３・４組

	月	火	水	木	金
1	道徳	国語	自立活動	社会	国語
2	社会	特別 活動	家庭	体育	理科
3	理科	特別 活動	美術	国語	音楽
4	数学	音楽	英語	自立活動	美術
	給食				
5	体育	職業	数学	英語	職業
6	体育	職業	情報	数学	家庭

２年１・２・３組

	月	火	水	木	金
1	道徳	国語	自立活動	理科	国語
2	数学	特別 活動	英語	体育	情報
3	音楽	特別 活動	数学	国語	英語
4	家庭	社会	理科	自立活動	数学
	給食				
5	体育	職業	美術	音楽	職業
6	体育	職業	美術	家庭	社会

3年4組

	月	火	水	木	金
1	道徳	国語	自立活動	情報	国語
2	音楽	特別 活動	数学	体育	数学
3	社会	特別 活動	英語	国語	美術
4	英語	理科	美術	数学	理科
	給食				
5	体育	職業	社会	家庭科	職業
6	体育	職業	家庭	自立活動	音楽

令和　8年度　高等部１年（Ⅱ課程A）　国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	18名		『くらしに役立つ国語』（東洋館出版社）

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに我が国の言語文化に親しむことができるようにする。（高１段階） (思判表力)筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。（高１段階） (学･人)言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	36	(知及技）相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話すことができる。（高1段階ア（イ）） (思判表力)相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。（高1段階Ａエ） (学･人)言葉がもつよさを認識するとともに、思いや考えを伝え合おうとすることができる。（高１段階ウ）	(知・技）自己紹介に必要なメモを使い、相手を見て、声の大きさや間の取り方に注意して話そうとしている。聞くマナーを守り、相手の話をしっかり聞こうとしている。 (思･判･表)相手に伝わるような声の大きさ、姿勢、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。 (主学)話し言葉と書き言葉を意識し、思いや考えを理解しようとしている。 【評価資料】活動の様子、感想、発表の自己評価と相互評価	「自己紹介」 ～わかりやすく伝えよう～	・自己紹介に必要なメモを記入する。 ・個人情報の扱いに気をつけ、必要な内容を考える。 ・相手に伝わるような声の大きさ、姿勢、間の取り方を練習する。 ・聞くマナーを守り、相手の話をしっかり聞く。 ・iPadの活用法を学び、teamsで友だちと学び合う。
		(知及技）社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。（高1段階ア（ア）） (思判表力)社会の中で関わる人の話などを、話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えることができる。（高1段階Ａア） (学･人)言葉がもつよさを認識するとともに、話の内容を伝え合おうとすることができる。（高１段階）	(知・技）言葉には、思いや考えをまとめたり、周りの人に伝える働きがあることに気付いている。 (思･判･表)話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えようとしている。 (主学)言葉の働きを意識し、話の内容を理解しようとしている。 【評価資料】活動の様子、聞き取り確認シート	「情報の読み取り」 ～話の中心的な内容やキーワードを理解しよう～	・教師の指示や説明をしっかり聞く。 ・省略や記号などメモの取り方を知る。 ・段階的な聞き取りシートで練習する。 ・メモを取り、話の中心的な内容やキーワードを理解する。
		(知及技）考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解することができる。（高1段階イ（ア）） (思判表力)文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。（高1段階Ｃオ） (学･人)主体的に情報を集め、感じたことや考えたことを伝えたり、他者の思いを感じとることができる。 （高１段階）	(知・技）具体的な事柄や内容を整理し、自分の感想や考えにいたる理由を説明している。 (思･判･表)文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもとうとしている。 (主学)主体的に情報を集め、自分の感じたことや考えたことを伝えたり、他者の思いを感じ取ろうとしている。 【評価資料】活動の様子、まとめノート、感想発表	「図書館及びiPad活用」 ～沖縄戦の情報を探そう～	・図書室の分類やiPadの活用法を学び、情報の収集の仕方を知る。 ・正確な情報や事例をもとに、事実と感想を使い分け、まとめる。 ・iPadを使い、友だちと感想を発表し平和について話し合う。
		(知及技）文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。（高1段階ウ（イ）㋐） (思判表力)相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にすることができる。（高1段階Ｂア） (学･人)相手のことを思いながら伝えたいことを表現することができる。（高１段階）	(知・技）漢字を使うことで読みやすくなることを理解し、文字の大きさや形を整えて書こうとしている。 (思･判･表)誰に対して、何のために書くか意識しながら伝えたいことを明確にしている。 (主学)季節の言葉などの漢字を使い、相手のことを思いながら伝えたいことを表現しようとしている。 【評価資料】活動の様子、下書き原稿、清書はがき	「手紙の書き方」 ～暑中見舞いを書こう～	・時候の挨拶や決まり事などのマナーを守る。 ・相手を気遣う文面を考える。 ・学校行事のあいさつ文を考える。 ・自己の漢字能力を知り、漢字学習に取り組む。（西特漢字検定）
		(知及技）幅広く読書に親しみ、読書から必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。（高1段階ウ（ウ）） (思判表力)登場人物の行動や心情などについて、叙述を基に捉えることができる。（高1段階Ｃア） (学･人)登場人物の心情を読み取り、自分と照らし合わせて想像することができる。（高１段階ウ）	(知・技）幅広く読書に親しみ、読書から必要な知識や情報を得ようとしている。 (思･判･表)登場人物の行動や会話、地の文などから心情が表れている部分を選び取り、自分のことを手がかりとして登場人物の心情を理解しようとしている。 (主学)登場人物の心情を読み取り、自分と照らし合わせて想像している。 【評価資料】活動の様子、発表、ワークシート	「読書に親しむ」 ～登場人物の気持ちを読み取り、感想を発表する～	・わからない漢字や語句の意味調べをする。 ・段落分けをする。 ・地の文から情景を読み取る。 ・会話文から主人公の気持ちを読み取る。 ・擬声語と擬態語を探す。 ・心に残った場面や感想を書く。

2学期	45	(知及技) 日常よく使われる敬語を理解し使うことができる。(高1段階ア(カ)) (思判表力)相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。(高1段階Aエ) (学・人)相手や場面に応じて敬語を使い分けて話すことができる。(高１段階ウ)	(知・技) 目上の人や場面に応じて尊敬語や謙譲語を使おうとしている。 (思・判・表)相手との親疎や場の状況などに応じて、声の出し方や言葉遣い、視線などに気をつけて話そうとしている。 (主学)相手や場面に応じて敬語を使い分けて話そうとしている。 【評価資料】活動の様子、発表、振り返りシート	「敬語に慣れる」 ～場に応じた言葉づかいについて知ろう～	・場面に応じた挨拶や言葉遣いを知る。 ・具体的な場面を設定し、相手を意識した言葉遣いや態度を理解する。 ・敬語を使うことで適切な人間関係が気づけることを理解する。
		(知及技) 社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。(高1段階ア(ア)) (思判表力)目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。(高1段階Aオ) (学・人)我が国の言語文化に親しみをもち、理解したり、使うことができる。(高１段階ウ)	(知・技) 社会生活に係る人とのやりとりを通して、言葉には、思いや考えをまとめたり、周りの人に伝える働きがあることに気付いている。 (思・判・表)目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめようとしている。 (主学)我が国の言語文化に親しみをもち、理解したり、使うおうとしている。 【評価資料】活動の様子、まとめ、振り返りシート	「しまくとぅばに親しむ」 ～身近なしまくとぅばを理解しよう～	・しまくとぅばの日の由来を知る。 ・しまくとぅばの本を参考に単語を学ぶ。 ・話し合いで必要な係を決める。 ・話し合いの模範例を読む。 ・短く、わかりやすい話をする。 ・話し合いのマナーを守りふざけず、話しやすい雰囲気を作る。
		(知及技) 親しみやすい古文などの文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(高２段階ウ(ア)) (思判表力)相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。(高１段階Aエ) (学・人)仮名遣いに注意したり、リズムを味わいながら音読し、古典の世界に触れることができる。(高１段階ウ)	(知・技) 歴史的仮名遣いに注意して、言葉の響きやリズムを味わいながら音読しようとしている。 (思・判・表)相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫しようとしている。 (主学)仮名遣いに注意し音読し、古典の世界に触れようとしている。 【評価資料】活動の様子、音読の発表、暗唱テスト、自己評価、相互評価	「古典に親しむ」 ～仮名遣いに注意して音読する～	・作者について知る。 ・登場人物や物語のあらすじを理解する。 ・仮名遣いに注意して、リズムを味わいながら繰り返し音読する。 ・冒頭部分を暗唱する。 ・教師の解説を聞く。
3学期	24	(知及技) 文章の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。(高1段階ア(キ)) (思判表力)登場人物の心情や情景について、場面と結び付けて具体的に想像することができる。(高1段階Cウ) (学・人)相手に伝わるように、工夫して朗読することができる。(高１段階ウ)	(知・技) 内容を意識しながら読むときの速さや声の大きさ、声の調子を工夫して音読している。 (思・判・表)場面の様子や心情が伝わるように工夫して朗読しようとしている。 (主学)相手に伝わるように、工夫して朗読している。また、暗唱しようとしている。 【評価資料】活動の様子、発表、自己評価と相互評価	「詩に親しむ」 ～声に出して読み合おう～『朝のリレー』	・場面ごとに区切り、黙読をして文章内容を理解する。 ・声に出して読み合う。 ・友だちの朗読のいいところを見つける。 ・詩の暗唱をする。 ・群読をする。
		(知及技) 生活に身近なことわざや慣用句を知り、使うことができる。(高1段階ウ(ア)) (思判表力)目的に応じて、話題を決め、集めた材料を比較するなど伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(高1段階A・イ) (学・人)ことわざや慣用句を自分の経験や生活の場面で使うことができる。(高１段階ウ)	(知・技) ことわざや慣用句を自分の経験や生活の場面で使おうとしている。 (思・判・表)目的に応じて、話題を決め、集めた材料を比較するなど伝え合うために必要な事柄を選ぶことができている。 (主学)ことわざや慣用句を自分の経験や生活の場面で使おうとしている。 【評価資料】活動の様子、暗唱テスト、ワークシート 確認テスト	「ことわざや慣用句を学ぼう」 ～生活の中で使われている言葉を探す～	・生活の中でよく使うことわざや慣用句を示す。 ・教訓や防災に関することわざの意味を調べて発表する。 ・音読や暗唱をする。 ・慣用句の定義を知り、意味を調べて、発表する。
		(知及技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打つことができる。(高1段階ア(ウ)) (思判表力)書く内容の中心を決め、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。(高1段階Bイ) (学・人)言葉がもつよさを認識するとともに、思いや考えを伝え合おうとする。(高１段階ウ)	(知・技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識している。 (思・判・表)書く内容の中心を決め、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えようとしている。 (主学)相手を意識して、感謝の気持ちを伝えようとしている。 【評価資料】活動の様子、下書き原稿、清書した手紙	「先輩やお世話になった方へ手紙」 ～気持ちを届けよう～	・伝えたいことや感謝の気持ちを箇条書きにする。 ・エピソードを具体的に書き、わかりやすく段落をつけまとめる。 ・言葉遣い、漢字表記や句読点などを気をつけて下書きする。 ・便せんを選び清書する。
総時数	105				

令和　8年度　高等部２年（Ⅱ課程A）　国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	24名		『くらしに役立つ国語』（東洋館出版社）

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに我が国の言語文化に親しむことができるようにする。（高１段階） (思判表力)筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。（高１段階） (学･人)言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
１学期	36	(知及技）社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。（高１段階ア(ア)） (思判表力)話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができる。（高１段階Ａウ） (学･人)相手の話をしっかり聞き、自分の考えを伝えようとすることができる。（高１段階ウ）	(知・技）電話の使い方とマナーを知り、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付けている。 (思･判･表)話す内容を箇条書きにしてまとめ、相手にわかりやすく伝えようと考えている。 (主学)一方的な会話ではなく、相手の話もよく聞いて言いたいことを積極的に伝えようとしている。 【評価資料】活動の様子、学習プリント、実践または模擬電話、振り返りシート	「電話利用」 ～実習先に連絡をする～	・電話の使い方やマナーを知る。 ・欠席や遅刻の場面を想定した連絡方法を知る。 ・伝言の受け方、メモの使い方を復習する。 ・声に出してリハーサルを行い敬語の確認をする。 ・応用編として、携帯電話やメールの使い方、ビジネスマナーを知る。
		(知及技）話し言葉と書き言葉に違いがあることに気付くことができる。（高２段階ア(イ)） (思判表力)目的や意図に応じて、話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合う内容を検討することができる。（高２段階Ａイ） (学･人)言葉がもつよさを認識するとともに、思いや考えを伝え合おうとすることができる。（高1段階ウ）	(知・技）インタビューを通して、話し言葉と書き言葉に違いがあることに気付き実践しようとしている。 (思･判･表)相手に応じて、話題を決め、質問する内容を比較したり分類したりして、伝え合う内容を検討している。 (主学)互いの意見を尊重して話し合うとともに、思いや考えを伝え合おうとしている。 【評価資料】活動の様子、学習プリント、インタビューメモ用紙、実践または模擬電話	「インタビューに挑戦」 ～知りたいことを知るための会話～	・インタビュー方法を学ぶ。 ・敬語の種類とつかい方を学ぶ。 ・電話で約束をする。 ・知りたいことをメモにまとめる。 ・メモを見て、話し言葉で丁寧に質問する。 ・メモを見てまとめる。 ・現場実習先、学校職員、教師など相手に応じてインタビーを行う。
		(知及技）考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報の関係について理解することができる。（高１段階イ(ア)） (思判表力)文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。（高１段階Ｃオ） (学･人)主体的に様々な情報を整理し、感じたことを表現することができる。（高１段階ウ）	(知・技）考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報の関係について理解しようとしている。 (思･判･表)文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもとうとしている。 (主学)主体的に様々な情報を整理し、感じたことを表現しようとしている。 【評価資料】活動の様子、ワークシート	「平和学習」	・沖縄戦について、映像、本、新聞等から情報を収集する。 ・集めた情報をまとめる。 ・情報から得られた事実についての感想や考えをまとめる。 ・自分が感じたことを詩で表現する。
		(知及技）比較や分類の仕方、辞書や事典の使い方などを理解し使うことができる。（高１段階イ（イ）） (思判表力)間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。（高１段階Ｂエ） (学･人)言葉がもつよさを認識するとともに、国語を大切にして、使うことができる。（高１段階）	(知・技）目的に応じた辞典や辞書の使い方を知り、タブレット端末や電子辞書との違いを理解して使おうとしている。 (思･判･表)辞書やタブレット端末を活用して、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整え用としている。 (主学)言葉がもつよさを認識するとともに、国語を大切にして、使おうとしている。 【評価資料】活動の様子、ワークシート	「辞書の活用」 ～辞典や辞書の使い方～	・目的に応じた辞典や辞書の使い方を知る。（国語辞典、漢字辞典、百科事典の選び方） ・目次や索引の利用の仕方を学ぶ。 ・図書室の本の分類を知る。 ・タブレット端末や電子辞書を活用する。ローマ字表記の確認をし入力を行う。
		(知及技）原因と結果など、情報と情報との関係について理解することができる。（高２段階イ(ア)） (思判表力)引用したり、図表やグラフなどを用いたりして自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。（高２段階Ｂエ） (学･人)将来どんな生活をしたいか考え、友だちと協力して資料をまとめて伝え合うことができる。（高１段階）	(知・技）情報誌やインターネットから資料を集め、必要な情報を正しく得ようとしている。 (思･判･表)引用したり、図表やグラフなどを用いたりして自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫しようとしている。 (主学)将来どんな生活をしたいか考え、友だちと協力して資料をまとめて伝え合おうとしている。 【評価資料】活動の様子、ワークシート	「調べたことを報告」 ～１人暮らしをするために必要なこと～	・資料を集める。 ①電気料金や水道料金 ②家庭ゴミの出し方やルール ③病気になったらどうする などの気になることを調べてまとめる。

2学期	45	(知及技) 文章を音読したり、朗読したりすることができる。(高２段階ア(キ)) (思判表力)登場人物の心情や情景について、場面と結び付けて具体的に想像することができる。(高１段階Ｃウ) (学･人)他の人の表現の優れているところを参考にし、場面の様子がわかるように工夫して朗読することができる。(高１段階)	(知・技) 読む時の速さや声の大きさ、抑揚など表現の工夫を理解し文章を音読したり、朗読しようとしている。 (思･判･表)登場人物の心情や情景を、物語の場面や描写と関連付けながら、具体的に想像し表現している。読み取った内容に自分なりの考えや感情を加えようとしている。 (主学)他の人の朗読から優れた工夫を積極的に取り入れ、自分の朗読にも活かしている。登場人物や場面の様子がよく伝わるように工夫された読み方ができている。	「詩の朗読」 ～声に出して読み合おう～	・作者を知る。 ・詩の読解をする。 ・表現の工夫をする。(読むときの速さ、声の大きさ、抑揚、強調など) ・暗唱する。 ・工夫したことを発表する。
		(知及技) 親しみやすい古文などの文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(高２段階ウ(ア)) (思判表力)資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。(高２段階Ａエ) (学･人)伝わりやすい音読をするために、どのように工夫したらよいか、友だちと思いや考えを話し合うことができる。(高２段階)	(知・技) 親しみやすい古文などの文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しもうとしている。 (思･判･表)物語を理解して、感想や自分の考えを伝えようとしている。 (主学)仮名遣いに注意したり、リズムを味わいながら音読し、古典の世界に触れようとしている。 【評価資料】活動の様子、音読の発表、暗唱テスト、自己評価、相互評価	「古典に親しむ」 ～仮名遣いに注意して音読する～『竹取物語』	・作者について知る。 ・登場人物や物語のあらすじを理解する。 ・仮名遣いに注意して、リズムを味わいながら繰り返し音読する。 ・冒頭部分を暗唱する。 ・教師の解説を聞く。
		(知及技) 文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。(高１段階ウ(イ)㋐) (思判表力)相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にすることができる。(高１段階Ｂア) (学･人)相手のことを思いながら伝えたいことを表現することができる。(高１段階)	(知・技) 時候の挨拶や書き方の決まりを守り、文字の大きさや読みやすさを意識して書こうとしている。 (思･判･表)相手や目的を意識して、ビジネスマナーを守り伝えたいことを明確に書こうとしている。 (主学)相手のことを考えて、伝わりやすいように言葉を選んだり説明を工夫したりしている。思いやりのある言動が基本的にできている。 【評価資料】活動の様子、下書き原稿、清書はがき	「年賀状作成」 ～文書マナーを知る～	・年賀状の目的を知る。 ・新年の挨拶や決まり事などのマナーを守る。 ・お世話になった方へ文面を考える。
3学期	24	(知及技) 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には、性質や役割による語句のまとまりがあることを理解することができる。(高１段階ア(エ)) (思判表力)書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができる。(高１段階Ｂオ) (学･人)互いに感想や意見を伝え合い、よいところを見つけることができる。(高１段階)	(知・技) 新しい語句を積極的に覚えて、話や作文、会話などで自然に使いこなしている。さらに、言葉のまとまりについても正確に理解し、活用できている。 (思･判･表) 書こうとしたことをある程度明確に捉え、他者の意見にも耳を傾けながら、自分の文章のよい点に気付くことができる。感想や意見のやり取りができている。 (主学)感想や意見を伝え合いながら、おたがいのよいところを見つけようとする姿勢がある。やりとりも丁寧にできている。	「学年新聞作成」 ～学校生活の様子を記事にする～	・編集会議を行い、記事の内容や紙面のレイアウト、インタビューなどを考える。 ・係分担をする。 ・記事の内容は、行事、現場実習、社会見学など身近なものを選ぶ。 ・記事を書く。 ・パソコンを使い編集をする。 ・印刷して配布する。
		(知及技) 接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。(高１段階ア(オ)) (思判表力)段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。(高１段階Ｃイ) (学･人)説明文を読み、筆者の考えを理解することができる。(高１段階)	(知・技) 接続語句を適切に使い、段落ごとの役割についての理解があり、文章の流れが分かりやすい。論理的な構成をある程度意識している。 (思･判･表)段落間の関係を捉え、考えを支える理由や事例の関係が理解できている。文章内で考えを支える理由や事例を適切に示し、内容を分かりやすく伝えている。 (主学)説明文を読み、筆者の考えや主張を理解することができている。内容についての要点を把握し、自分の言葉で説明できている。 【評価資料】活動の様子、学習プリント、確認テスト	「説明文の読解」 ～接続する言葉～	・文と文をつなぐ、つなぎ言葉や指示語を理解する。 ・文章の構造図を活用し、形式段落と段落の意味を理解する。 ・接続する語句に注目し、具体的に書かれた事柄から筆者の考えを理解する。 ・新しく知ったことや不思議に思ったことを発表する。
		(知及技) 日常よく使われる敬語を理解し使うことができる。(高１段階ア(カ)) (思判表力)書く内容の中心を決め、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。(高１段階Ｂイ) (学･人)手紙の書き方の決まりを守り、主体的に書くことを決め、伝えたいことを明確に書くことができる。(高１段階)	(知・技) 日常よく使われる敬語を理解し、お礼状の文面で適切に使おうとしている。 (思･判･表)書く内容の中心を決め、段落を適切に分けて、内容にまとまりをもたせることができる。段落間の関係に注意を払いつつ、文章全体が分かりやすく整理されている。 (主学)手紙の書き方の決まりを守り、伝えたいことを明確に表現できている。主体的に目的を持って手紙を書き、相手への感謝や配慮ができている。 【評価資料】活動の様子、下書き原稿、清書した手紙	「手紙を書こう」 ～先輩への感謝の思いを伝える～	・手紙の書き方や決まりについて知る。 ・感謝の言葉や相手を気遣う言葉を考える。 ・エピソードを具体的に書き、わかりやすく段落をつけまとめる。 ・敬語や漢字表記や句読点などを気をつけて下書きする。 ・便せんを選び清書する。
総時数	105				

令和　8年度　高等部３年（Ⅱ課程A）　国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	24名		『くらしに役立つ国語』 （東洋館出版社）

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。（高２段階） (思判表力)筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。（高２段階） (学･人)言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	35	(知及技）社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くことができる。（高２段階ア（ア）） (思判表力)社会の中で関わる人の話などについて、話し手の目的や自分が聞きたいことの中心を捉え、その内容を捉えることができる。（高２段階Aア） (学･人)相手のことを考えて会話を進めたり、メモを使い、お互いの言いたいことを伝え合うことができる。（高２段階ウ）	(知・技）人と人との信頼関係を作っていくためには言葉のやりとりと、その場に合った態度が大切だと気付けている。 (思･判･表)会話の中で、話し手の目的や自分の言いたいことを捉えようとしている。 (主学)相手のことを考えて会話を進めたり、メモを使い、お互いの言いたいことを伝え合おうとしている。 【評価資料】活動の様子、学習プリント	「会話する力を高める」 ～信頼関係を作ろう～	・会話で気をつけることを知り、練習する。 ・うなずきや相づちを入れてしっかり聞く。 ・繰り返して確認し、メモを取る。 ・謝罪や断りの事例を参考にして練習する。 ・困ったときの対処を考える。 ・コミュケーションツールを知る。
		(知及技）文と文との接続の関係、話や文章の構成や種類について理解することができる。（高２段階ア（カ）） (思判表力)事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。（高２段階Cイ） (学･人）随筆を読み、筆者の体験と感じたことを理解することができる。（高２段階）	(知・技）文と文の接続において、基本的な接続語を使いこなし、文章の構成や種類に応じた書き方ができている。 (思･判･表)事実と意見、感想などの関係を大まかに捉え、文章の構成を理解して要旨を把握することができている。 (主学)筆者の体験と感じたことを概ね理解し、体験の意味や感情がどのように表現されているかをおおむね把握できている。 【評価資料】活動の様子、ワークシート、確認テスト	「事実と意見を区別して読む」 新聞のコラムやSNS投稿から、情報と主張を読み取ろう	・記事やポスター、SNS投稿などの短文を提示し、事実と意見に分ける。 ・接続語の役割を理解する。 ・自分の意見を書く。 ・友だちと意見を交換する。
		(知及技）表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。（高２段階ア（エ）） (思判表力)互いの立場や意図を明確にしながら、計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。（高２段階Aオ） (学･人)みんなで意見を出し合い、お互いの考え方や気持ちに気づき、よい考えを見つけることができる。（高２段階ウ）	(知・技）話し合いで必要な語句を覚え、話の中で使うとともに、伝わりやすい工夫をしている。 (思･判･表)互いの立場や意図を理解し、意見を交換しながら話し合いを進めることができている。 (主学)会議の進行や決まりを守り、みんなで意見を出し合い、よい考えを見つけようとしている。 【評価資料】活動の様子、学習プリント、自己評価、相互評価	「話し合い」 ～互いの意見を尊重しよう～ ・平和学習	・話し合いで必要な係を決める。 ・会議を進めるための決まりを確認する。 ・自分の考えを理由をつけてと話す。前の人とつながる話をする。 ・話している人の言いたいことを、考えながら聞く。
		(知及技）親しみやすい古文などの文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。（高２段階ウ（ア）） (思判表力)文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。（高２段階Cオ） (学･人)文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを伝えることができる。（高２段階ウ）	(知・技）古文の基本的な読み方を理解し、丁寧に音読している。 (思･判･表)作者の描写や心情を理解し、自分の考えをある程度明確に述べている。 (主学)文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを伝えようとしている。 【評価資料】活動の様子、ワークシート、確認テスト、漢字テスト	「随筆文に親しむ」 ～筆者の物の見方や感じ方を味わう～ 『枕草子』『徒然草』	・筆者について理解する。 ・古文の読み方（文節の切り方、音のつながり）を学ぶ。 ・筆者の自然観や美意識と自分の感覚を比較し、「ことばを通じた感性の表現」について考える。 ・言葉の響きやリズムを味わい暗唱する。

2学期	45	(知及技) 社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くことができる。(高２段階ア(ア)) (思判表力)社会の中で係る人の話などについて、話し手の目的や自分が聞きたいことの中心を捉え、その内容を知ることができる。(高２段階Aア) (学･人)しまくとぅばに親しむことができる。(高２段階ウ)	(知・技) しまくとぅばでの日常会話や簡単な単語について理解しようとする。 (思･判･表)しまくとぅばで会話する人の話を聞いたり、読んだりして、内容を要約したり説明したりしようとする。また、自分の簡単な自己紹介をしようとする。 (主学)しまくとぅばに親しみ、日常的な言葉や表現を使おうとしている。 【評価資料】活動の様子、ワークシート、意見文	「しまくとぅばに親しむ」 ～方言で日常会話～	・語句の意味調べをする。 ・教科書やワークシートに書かれたしまくとぅばの文章を読み、現代語に置き換える。 ・しまくとぅばで自分の簡単な自己紹介をする
		(知及技) 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができる。(高２段階ウ(エ)) (思判表力)文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。(高２段階Cオ) (学･人)文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを伝えることができる。(高２段階ウ)	(知・技) 叙述や表現を参考に、自分の気持ちや考えを表現する言葉を知ろうとしている。 (思･判･表)文章を読み、情景描写から読み深めたことについて、自分の考えをもち、友だちと交流しようとする。 (主学)文章をおおむね理解し、その内容を基に自分の考えを伝えようとしている。 【評価資料】活動の様子、ワークシート、確認テスト、漢字テスト	「読書に親しむ」 ～登場人物の心情を読み取る～ 『トロッコ』『少年の日の思い出』	・漢字や語句の意味調べをする。 ・段落の確認をする。 ・段落に分けて音読する。 ・地の文や会話文から情景や主人公の心情を考える。 ・主題に注目させ、自分の考えをまとめる。
		(知及技) 情報と情報との関係付けの仕方を理解し使うことができる。(高２段階イ(イ)) (思判表力)目的を意識して、文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見付けることができる。(高２段階Cエ) (学･人)将来の生活を意識して、必要な情報を読み取ることができる。(高２段階ウ)	(知・技) 日常的に使用する書類の読み方や書き方を理解しようとする。 (思･判･表)日常的に使用する書類から自身に必要な情報を選び、関連する項目に記述しようとしている。 (主学)将来の生活に必要な情報をおおむね読み取り、理解でき、日常生活に活かそうとしている。 【評価資料】活動の様子、ワークシート	「生活に必要な情報を読み取ろう」 ～領収書や説明書の見方～	・実際の納品書、請求書、領収書を見て、書類の役割を知る。 ・病院受診に必要な書類の書き方を知る。(受付、問診票、薬の説明書) ・漢字や言葉の意味を調べる。 ・分かったことをまとめる。
		(知及技) 目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書くことができる。(高2段階ウ(ウ)) (思判表力)文章全体の構成が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができる。(高２段階Bオ) (学･人)手紙の決まりを守り、わかりやすく感謝の気持ちを伝えることができる。(高２段階ウ)	(知・技) 送り先や自身の立場を理解して用紙を選び、体裁を整えている。 (思･判･表力) 自身の経験したことや相手への気遣いを文章に表現し、それを友だちや教師に説明しようとする。 (主学)手紙の基本的な決まりをしっかり守り、感謝の気持ちを分かりやすく、心を込めて伝えようとしている。 【評価資料】活動の様子、下書き原稿、清書手紙	「手紙の書き方」 ～実習先へお礼状を書く～	・手紙の書き方や注意事項を知る。 ・時候の挨拶を書く。 ・お世話になった方へ出来事を思いだし具体的に書く。 ・相手を気づかう言葉や結びの言葉、日付など必要な項目を書く。 ・用紙や筆(毛筆・筆ペン)を選び、余白や文字の位置などを考えて見栄え良く清書する。
3学期	24	(知及技) 用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書くことができる。(高２段階ウ(ウ)) (思判表力)目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(高２段階Bウ) (学･人)目的や意図に応じて、自分の考えや必要事項を書き表すことができる。(高２段階ウ)	(知・技) 履歴書の書き方について理解し、用紙全体のバランスをおおむね考慮して、文字の大きさや配列を適切に決めて書けている。 (思･判･表)志望動機や自己アピールなど、自身の長所が明瞭に伝わるような文章を書こうとする。事実と感想、意見をおおむね区別して表現できている。 (主学) 書く目的や意図をおおむね理解し、それに応じて自分の考えや必要事項をわかりやすく表現することができている。 【評価資料】活動の様子、ワークシート、履歴書	「履歴書の作成」 ～重要文書の取り扱い方～	・履歴書を書くときの注意事項を知る。 ・住所や学歴、趣味、特技など事実を正確に書く。 ・志望動機は、自己アピールを入れて志望の理由を書く。 ・文字の大きさや位置、行間など効果的な配列を意識して清書する。 ・住民票や届け出などの書き方を知る。
		(知及技) 生活の中で使われる慣用句、故事成語などの意味を知り、使うことができる。(高２段階ウ(イ)) (思判表力)登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。(高２段階Cア) (学･人)漢文由来の言葉の大意を理解し、感じたことを共有することができる。(高２段階ウ)	(知・技) 生活の中で使われる漢文由来の言葉について理解しようとする。漢文特有の言葉遣いを意識して音読しようとしている。 (思･判･表)当時の状況や言葉から情景を想像し、漢文のリズムを意識して音読している。 (主学)故事成語の大意を理解し、教師や友だちと感じたことを共有しようとしている。 【評価資料】活動の様子、ワークシート、確認テスト	「漢文に親しむ」 ～漢文のリズムを味わう～	・漢文特有の言葉づかいを知り、音読する。 ・語句の意味を調べる。 ・挿絵を見ながら会話の展開に沿って大意を理解する。 ・「推敲」「切磋琢磨」などよく使われる故事成語の意味や用法を確認する。
		(知及技) 文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて書くことができる。(高２段階ア(ウ)) (思判表力)文章全体の構成が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができる。(高２段階Bカ) (学･人)文章全体の構成を考え、読みやすい自分史にすることができる。(高２段階ウ)	(知・技) 漢字と仮名を適切に使い分け、文章全体が読みやすく、意味が正確に伝わるように書こうとしている。 (思･判･表) 高等部やそれ以前の学校生活や家庭生活を振り返り、自身の成長を実感して将来の自分への目標や意気込みを考えようとしている。 (主学)文章全体の構成を考え、感想や意見を伝え合い、読みやすい自分史にしようとしている。 【評価資料】活動の様子、ワークシート、下書き原稿、パソコン入力文書	「わたしの物語を書こう」 ～自分の成長を振り返り、将来の自分について考える～ パソコン文書	・幼少期、小学校時期、中学校時期、高校時期、10年後に題材をわけて振り返る。 ・自分のことを知っている家族や友人を取材する。 ・写真や思い出の品などからそのときの出来事をパソコン入力で編集する。 ・書き終わったら読み返し、推敲する。 ・友だちと読み合い、よいところを見つける。
総時数	105				

令和　8年度　高等部１年（Ⅱ課程B）　国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	9名		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに我が国の言語文化に親しむことができるようにする。（高１段階） (思判表力)筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。（高１段階） (学･人)言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	36	(知及技）相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話すことができる。（高1段階　ア（イ）） (思判表力)相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。（高1段階Ａエ） (学･人)言葉がもつよさを認識するとともに、思いや考えを伝え合おうとすることができる。（高１段階ウ）	(知・技）相手を見て話したり聞いたりするとともに、声の大きさや間の取り方に注意して話そうとしている。 (思･判･表)相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。 (主学)話し言葉と書き言葉を意識し、思いや考えを理解しようとしている。 【評価資料】活動の様子、感想、発表の自己評価と相互評価	「自己紹介」「iPadの活用」 ～わかりやすく伝えよう～	・iPadを使い自己紹介をする。 ・相手に伝わるような声の大きさ、姿勢を練習する。 ・聞くマナーを守り、相手の話をしっかり聞く。 ・iPadの活用法を学び、teamsで友だちと学び合う。
		(知及技）社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。（高1段階ア（ア）） (思判表力)社会の中で関わる人の話などを、話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えることができる。（高1段階Ａア） (学･人)言葉がもつよさを認識するとともに、話の内容を伝え合おうとすることができる。（高１段階）	(知・技）言葉には、思いや考えをまとめたり、周りの人に伝える働きがあることに気付いている。 (思･判･表)話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えようとしている。 (主学)言葉の働きを意識し、話の内容を理解しようとしている。 【評価資料】活動の様子、聞き取り確認シート	「情報の読み取り」 ～話の中心的な内容やキーワードを理解しよう～ NHKおはなしのくに さるかに合戦と桃太郎	・教師の指示や説明をしっかり聞く。 ・省略や記号などメモの取り方を知る。 ・段階的な聞き取りシートで練習する。 ・話の題名や中心的な内容やキーワードを理解し、選択したり書いたりする。
		(知及技）考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解することができる。（高1段階イ（ア）） (思判表力)文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。（高1段階Ｃオ） (学･人)主体的に情報を集め、感じたことや考えたことを伝えたり、他者の思いを感じとることができる。 （高１段階）	(知・技）具体的な事柄や内容を整理し、自分の感想や考えにいたる理由を説明している。 (思･判･表)文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもとうとしている。 (主学)主体的に情報を集め、自分の感じたことや考えたことを伝えたり、他者の思いを感じ取ろうとしている。 【評価資料】活動の様子、まとめノート、感想発表	「図書館及びiPad活用」 ～沖縄戦の情報を探そう～ ～デジタル紙芝居「３つの願い」～ ～平和のメッセージを書こう～	・情報の収集の仕方を知る。 ・正確な情報や事例をもとに、事実と感想を使い分け、まとめる。 ・iPadを使い、友だちと平和について話し合う。
		(知及技）文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。（高1段階ウ（イ）㋐） (思判表力)相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にすることができる。（高1段階Ｂア） (学･人)相手のことを思いながら伝えたいことを表現することができる。（高１段階）	(知・技）漢字を使うことで読みやすくなることを理解し、文字の大きさや形を整えて書こうとしている。 (思･判･表)誰に対して、何のために書くか意識しながら伝えたいことを明確にしている。 (主学)季節の言葉などの漢字を使い、相手のことを思いながら伝えたいことを表現しようとしている。 【評価資料】活動の様子、下書き原稿、清書はがき	「手紙の書き方」 ～暑中見舞いを書こう～	・時候の挨拶や決まりごとなどのマナーについて知る。 ・相手を気遣う文面について知る。 ・学校行事のあいさつ文を学ぶ。 ・自身の語彙力を知り、漢字学習に取り組む。（西特漢字検定）
		(知及技）幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。（高1段階ウ（ウ）） (思判表力)登場人物の行動や心情などについて、叙述を基に捉えることができる。（高1段階Ｃア） (学･人)登場人物の心情を読み取り、自分と照らし合わせて想像することができる。（高１段階ウ）	(知・技）幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ようとしている。 (思･判･表)登場人物の行動や会話、地の文などから心情が表れている部分を選び取り、自分のことを手がかりとして登場人物の心情を理解しようとしている。 (主学)登場人物の心情を読み取り、自分と照らし合わせて想像している。 【評価資料】活動の様子、発表、ワークシート	「読書に親しむ」 ～登場人物の気持ちを読み取り、感想を発表する～ ～おはなしのくに～	・わからない漢字や語句の意味調べをする。 ・段落分けをする。 ・会話文から主人公の気持ちを読み取る。 ・擬声語と擬態語を探す。 ・心に残った場面について書く。

2学期	46	(知及技) 日常よく使われる敬語を理解し使うことができる。(高1段階ア(カ)) (思判表力)相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。(高1段階Aエ) (学・人)相手や場面に応じて敬語を使い分けて話すことができる。(高１段階ウ)	(知・技) 目上の人や場面に応じて尊敬語や謙譲語を使おうとしている。 (思・判・表)相手との親疎や場の状況などに応じて、声の出し方や言葉遣い、視線などに気をつけて話そうとしている。 (主学)相手や場面に応じて敬語を使い分けて話そうとしている。 【評価資料】活動の様子、発表、振り返りシート	「敬語に慣れる」 ～場に応じた言葉づかいについて知ろう～	・場面に応じた挨拶や言葉遣いを知る。 ・具体的な場面を設定し、相手を意識した言葉遣いや態度を理解する。 ・敬語を使うことで良好な人間関係が築けることを理解する。
		(知及技) 社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。(高1段階ア(ア)) (思判表力)目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。(高1段階Aオ) (学・人)我が国の言語文化に親しみをもち、理解したり、使うことができる。(高１段階ウ)	(知・技) 社会生活に係る人とのやりとりを通して、言葉には、思いや考えをまとめたり、周りの人に伝える働きがあることに気付いている。 (思・判・表)目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめようとしている。 (主学)我が国の言語文化に親しみをもち、理解したり、使うおうとしている。 【評価資料】活動の様子、まとめ、振り返りシート	「しまくとぅばに親しむ」 ～身近なしまくとぅばを理解しよう～	・しまくとぅばの日の由来を知る。 ・しまくとぅばの本を参考に単語を学ぶ。 ・話し合いで必要な係を決める。 ・話し合いの模範例を読む。 ・短く、わかりやすい話をする。 ・話し合いのマナーを守りふざけず、話しやすい雰囲気を作る。
		(知及技) 親しみやすい古文などの文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(高２段階ウ(ア)) (思判表力)相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。(高１段階Aエ) (学・人)仮名遣いに注意したり、リズムを味わいながら音読し、古典の世界に触れることができる。(高１段階ウ)	(知・技) 親しみやすい古文などの文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しもうとしている。 (思・判・表)相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫しようとしている。 (主学)仮名遣いに注意したり、リズムを味わいながら音読し、古典の世界に触れようとしている。 【評価資料】活動の様子、音読の発表、暗唱テスト、自己評価、相互評価	「古典に親しむ」 ～仮名遣いに注意して音読する～ ～寿限無～ ～狂言「ややこしや」「うつぼざる」～	・作者について知る。 ・登場人物や物語のあらすじを理解する。 ・仮名遣いに注意して、リズムを味わいながら繰り返し音読する。 ・冒頭部分を暗唱する。 ・教師の解説を聞く。
3学期	23	(知及技) 文章の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。(高1段階ア(キ)) (思判表力)登場人物の心情や情景について、場面と結び付けて具体的に想像することができる。(高1段階Cウ) (学・人)相手に伝わるように、工夫して朗読することができる。(高１段階ウ)	(知・技) 内容を意識しながら読むときの速さや声の大きさ、声の調子を工夫して音読している。 (思・判・表)場面の様子や心情が伝わるように工夫して朗読しようとしている。 (主学)相手に伝わるように、工夫して朗読している。また、暗唱しようとしている。 【評価資料】活動の様子、発表、自己評価と相互評価	「詩に親しむ」 ～声に出して読み合おう～『朝のリレー』 ～『梅一輪』～	・場面ごとに区切り、黙読をして文章内容を理解する。 ・声に出して読み合う。 ・友だちの朗読のいいところを見つける。 ・詩の暗唱をする。 ・群読をする。
		(知及技) 生活に身近なことわざや慣用句を知り、使うことができる。(高1段階ウ(ア)) (思判表力)目的に応じて、話題を決め、集めた材料を比較するなど伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(高1段階A・イ) (学・人)ことわざや慣用句を自分の経験や生活の場面で使うことができる。(高１段階ウ)	(知・技) ことわざや慣用句を自分の経験や生活の場面で使おうとしている。 (思・判・表)目的に応じて、話題を決め、集めた材料を比較するなど伝え合うために必要な事柄を選ぶことができている。 (主学)ことわざや慣用句を自分の経験や生活の場面で使おうとしている。 【評価資料】活動の様子、暗唱テスト、ワークシート 確認テスト	「ことわざや慣用句を学ぼう」 ～生活の中で使われている言葉を探す～	・生活の中でよく使うことわざや慣用句に触れる。 ・教訓や防災に関することわざの意味を発表する。 ・音読や暗唱をする。
		(知及技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打つことができる。(高1段階ア(ウ)) (思判表力)書く内容の中心を決め、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。(高1段階Bイ) (学・人)言葉がもつよさを認識するとともに、思いや考えを伝え合おうとする。(高１段階ウ)	(知・技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識している。 (思・判・表)書く内容の中心を決め、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えようとしている。 (主学)相手を意識して、感謝の気持ちを伝えようとしている。 【評価資料】活動の様子、下書き原稿、清書した手紙	「先輩やお世話になった方へ手紙」 ～気持ちを届けよう～	・伝えたいことや感謝の気持ちを箇条書きにする。 ・言葉遣い、漢字表記や句読点などを気をつけて下書きする。 ・便せんを選び清書する。
総時数	105				

令和　８年度　高等部２年（Ⅱ課程B）　国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	３名		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに我が国の言語文化に親しむことができるようにする。（高１段階） (思判表力)筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。（高１段階） (学･人)言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	36	(知及技) 社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。（高１段階ア(ア)） (思判表力)話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができる。（高１段階Ａウ） (学･人)電話のマナーを守り、言いたいことを積極的に伝えることができる。（高１段階ウ）	(知・技) 社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付こうとしている。 (思･判･表)話の中心が明確になるよう話の構成を考えようとしている。 (主学)敬語や電話のマナーについて知り、一方的な会話ではなく、相手の話もよく聞いて言いたいことを積極的に伝えようとしている。 【評価資料】活動の様子、学習プリント、実践または模擬電話、振り返りシート	「敬語にふれる」 「実習先に連絡をする」	・簡単な敬語について知る。 ・欠席や遅刻の場面を想定した会話について学ぶ。 ・教師と一緒にロールプレイをする。 ・電話やメッセージでの連絡方法についてふれる。
		(知及技) 話し言葉と書き言葉に違いがあることに気付くことができる。（高２段階ア(イ)） (思判表力)目的や意図に応じて、話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合う内容を検討することができる。（高２段階Ａイ） (学･人)言葉がもつよさを認識するとともに、思いや考えを伝え合おうとすることができる。（高1段階ウ）	(知・技) 話し言葉と書き言葉に違いがあることに気付けている。 (思･判･表)目的や意図に応じて、話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合う内容を検討している。 (主学)言葉がもつよさを認識するとともに、思いや考えを伝え合おうとしている。 【評価資料】活動の様子、学習プリント、インタビューメモ用紙、実践または模擬電話	「インタビューに挑戦」 ～知りたいことを知るための会話～	・インタビュー方法を学ぶ。 ・敬語の種類とつかい方を学ぶ。 ・電話で約束をする。 ・メモを見て、話し言葉で丁寧に質問する。 ・メモを見てまとめる。 ・インタビューを行う。
		(知及技) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報の関係について理解することができる。（高１段階イ(ア)） (思判表力)文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。（高１段階Ｃオ） (学･人)主体的に様々な情報を整理し、感じたことを表現することができる。（高１段階ウ）	(知・技) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報の関係について理解しようとしている。 (思･判･表)文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもとうとしている。 (主学)主体的に様々な情報を整理し、感じたことを表現しようとしている。 【評価資料】活動の様子、ワークシート	「平和学習」 デジタル紙芝居「３つの願い」	・沖縄戦について、映像やワークシートで情報を収集する。 ・集めた情報をまとめる。 ・自分が感じたことをワークシートや詩で表現する。
		(知及技) 比較や分類の仕方、辞書や事典の使い方などを理解し使うことができる。（高１段階イ（イ）） (思判表力)間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。（高１段階Ｂエ） (学･人)言葉がもつよさを認識するとともに、国語を大切にして、使うことができる。（高１段階）	(知・技) 比較や分類の仕方、図書や辞書や事典の使い方などを理解し使おうとしている。 (思･判･表)間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整え用としている。 (主学)言葉がもつよさを認識するとともに、国語を大切にして、使おうとしている。 【評価資料】活動の様子、ワークシート	「図書や辞書の活用」 ～図書や辞書の使い方～	・辞典や辞書の使い方を知る。（国語辞典、漢字辞典、百科事典の選び方） ・目次や索引の利用の仕方を学ぶ。 ・図書室の本の分類を知り、好きな本を選択する。
2学期	2学期	(知及技) 原因と結果など、情報と情報との関係について理解することができる。（高２段階イ(ア)） (思判表力)引用したり、図表やグラフなどを用いたりして自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。（高２段階Ｂエ） (学･人)将来どんな生活をしたいか考え、友だちと協力して資料をまとめて伝え合うことができる。（高１段階ウ）	(知・技) 原因と結果など、情報と情報との関係について理解している。。 (思･判･表)引用したり、図表やグラフなどを用いたりして自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫しようとしている。 (主学)将来どんな生活をしたいか考え、友だちと協力して資料をまとめて伝え合おうとしている。 【評価資料】活動の様子、ワークシート	「調べたことを報告」 ～１人暮らしをするために必要なこと～	・資料を集める。 ①電気料金や水道料金 ②家庭ゴミの出し方やルール ③病気になったらどうする などの気になることを調べてまとめる。

2学期	46	(知及技) 文章を音読したり、朗読したりすることができる。(高２段階ア(キ)) (思判表力)登場人物の心情や情景について、場面と結び付けて具体的に想像することができる。(高１段階Cウ) (学・人)登場人物を把握し、場面の様子がわかるように工夫して朗読することができる。(高１段階ウ)	(知・技) 文章を音読したり、朗読しようとしている。 (思・判・表)登場人物の心情や情景について、場面と結び付けて具体的に想像しようとしている。 (主学)登場人物を把握し、場面の様子がわかるように工夫して朗読しようとしている。 【評価資料】活動の様子、自己評価、相互評価	「詩の朗読」 ～声に出して読み合おう～	・作者を知る。 ・詩の読解をする。 ・表現の工夫をする。(読むときの速さ、声の大きさ、抑揚、強調など) ・暗唱する。 ・工夫したことを発表する。
		(知及技) 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には、性質や役割による語句のまとまりがあることを理解することができる。(高１段階ア(エ)) (思判表力)書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができる。(高１段階Bオ) (学・人)互いに感想や意見を伝え合い、よいところを見つけることができる。(高１段階ウ)	(知・技) 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には、性質や役割による語句のまとまりがあることを理解しようとしている。 (思・判・表)書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けようとしている。 (主学)互いに感想や意見を伝え合い、よいところを見つけようとしている。 【評価資料】活動の様子、ワークシート、作成物	「学年新聞作成」 ～学校生活の様子を記事にする～ ～級友へのメッセージを作る～	・係分担をする。 ・記事の内容は、行事、現場実習、社会見学など身近なものを選ぶ。 ・記事を書く。 ・印刷して配布する。
		(知及技) 文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。(高１段階ウ(イ)㋐) (思判表力)相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にすることができる。(高１段階Bア) (学・人)相手のことを思いながら伝えたいことを表現することができる。(高１段階ウ)	(知・技) 時候の挨拶や書き方の決まりを守り、文字の大きさや読みやすさを意識して書こうとしている。 (思・判・表)相手や目的を意識して、ビジネスマナーを守り伝えたいことを明確に書こうとしている。 (主学)相手のことを思いながら伝えたいことを表現しようとしている。 【評価資料】活動の様子、下書き原稿、清書はがき	「年賀状作成」 ～文書マナーを知る～	・年賀状の目的を知る。 ・新年の挨拶や決まりごとなどのマナーを守る。 ・お世話になった方へ文面を考える。
3学期	23	(知及技) 親しみやすい古文などの文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(高２段階ウ（ア）) (思判表力)資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。(高２段階Aエ) (学・人)仮名遣いに注意したり、リズムを味わいながら音読し、古典の世界に触れることができる。(高２段階ウ)	(知・技) 親しみやすい古文などの文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しもうとしている。 (思・判・表)物語を理解して、感想や自分の考えを伝えようとしている。 (主学)仮名遣いに注意したり、リズムを味わいながら音読し、古典の世界に触れようとしている。 【評価資料】活動の様子、音読の発表、暗唱テスト、自己評価、相互評価	「古典に親しむ」 ～仮名遣いに注意して音読する～『竹取物語』 ～NHK おはなしのくにから猿かに合戦 桃太郎～ ～じゅげむ～	・作者について知る。 ・登場人物や物語のあらすじを理解する。 ・仮名遣いに注意して、リズムを味わいながら繰り返し音読する。 ・冒頭部分を暗唱する。 ・教師の解説を聞く。
		(知及技) 接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。(高１段階ア(オ)) (思判表力)段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。(高１段階Cイ) (学・人)説明文を読み、筆者の考えを理解することができる。(高１段階ウ)	(知・技) 接続する語句の役割、段落の役割について理解しようとしている。 (思・判・表))段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えようとしている。 (主学)説明文を読み、筆者の考えを理解しようとしている。 【評価資料】活動の様子、学習プリント、確認テスト	「説明文の読解」 ～接続する言葉～	・文と文をつなぐ、つなぎ言葉や指示語について知る。 ・文章の構造図を活用し、段落の意味を理解する。 ・新しく知ったことや不思議に思ったことを選択したり、発表する。
		(知及技) 日常よく使われる敬語を理解し使うことができる。(高１段階ア(カ)) (思判表力)書く内容の中心を決め、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。(高１段階Bイ) (学・人)手紙の書き方の決まりを守り、主体的に書くことを決め、伝えたいことを明確に書くことができる。(高１段階ウ)	(知・技) 日常よく使われる敬語を理解し、お礼状の文面を書こうとしている。 (思・判・表)書く内容の中心を決め、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えようとしている。 (主学))手紙の書き方の決まりを守り、主体的に書くことを決め、伝えたいことを明確に書こうとしている。 【評価資料】活動の様子、下書き原稿、清書した手紙	「手紙を書こう」 ～先輩への感謝の思いを伝える～	・手紙の書き方や決まりについて知る。 ・感謝の言葉や相手を気遣う言葉を考える。 ・敬語や漢字表記や句読点などを気をつけて下書きする。 ・便せんを選び清書する。
総時数	105				

令和　8年度　高等部３年（Ⅱ課程B）　国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	8名		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。（高２段階） (思判表力)筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。（高２段階） (学･人)言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	36	(知及技）社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くことができる。（高２段階ア（ア）） (思判表力)社会の中で関わる人の話などについて、話し手の目的や自分が聞きたいことの中心を捉え、その内容を捉えることができる。（高２段階Ａア） (学･人)相手のことを考えて会話を進めたり、メモを使い、お互いの言いたいことを伝え合うことができる。（高２段階ウ）	(知・技）人と人との信頼関係を作っていくためには言葉のやりとりと、その場に合った態度が大切だと気付けている。 (思･判･表)会話の中で、話し手の目的や自分の言いたいことを捉えようとしている。 (主学)相手のことを考えて会話を進めたり、メモを使い、お互いの言いたいことを伝え合おうとしている。 【評価資料】活動の様子、学習プリント	「会話する力を高める」 ～信頼関係を作ろう～	・会話で気をつけることを知り、練習する。 ・相手の話を聞く。 ・メモを取る。 ・謝罪や断りの事例を参考にして練習する。 ・困ったときの対処について知る。 ・コミュケーションツールを知る。
		(知及技）文と文との接続の関係、話や文章の構成や種類について理解することができる。高２段階ア（カ）） (思判表力)事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。（高２段階Cイ） (学･人)　随筆を読み、筆者の体験と感じたことを理解することができる。（高２段階）	(知・技文と文との接続の関係、話や文章の構成について理解しようとしている。 (思･判･表)事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握しようとしている。 (主学)随筆を読み、筆者の体験と感じたことを理解しようとしている。 【評価資料】活動の様子、ワークシート、確認テスト	「随筆文に親しむ」 ～筆者の物の見方や感じ方を味わう～ 『枕草子』『徒然草』	・筆者について理解する。 ・語句の意味調べをする。 ・段落を分ける。 ・言葉の響きやリズムを味わい暗唱する。 ・「春は」の冒頭から始めて、季節感を表す文章を作る。
		(知及技）表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。（高２段階ア（エ）） (思判表力)互いの立場や意図を明確にしながら、計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。（高２段階Ａオ） (学･人)みんなで意見を出し合い、お互いの考え方や気持ちに気づき、よい考えを見つけることができる。（高２段階ウ）	(知・技）話し合いで必要な語句を覚え、話の中で使うとともに、伝わりやすい工夫をしている。 (思･判･表)互いの立場や意図を明確にしながら、計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしようとしている。 (主学)会議の進行や決まりを守り、みんなで意見を出し合い、よい考えを見つけようとしている。 【評価資料】活動の様子、学習プリント、自己評価、相互評価	「話し合い」 ～互いの意見を尊重しよう～ ・平和学習	・話し合いで必要な係を決める。 ・会議を進めるための決まりを確認する。 ・前の人とつながる話をする。 ・話している人の言いたいことを、考えながら聞く。
		(知及技）親しみやすい古文などの文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。（高２段階ウ（ア）） (思判表力)文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。（高２段階Cオ） (学･人)文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを伝えることができる。（高２段階ウ）	(知・技）近代の短歌・俳句を読み、修辞技法や歌・句の主題について理解しようとする。 (思･判･表)。歌や句の主題から、作者が伝えたいことやその表現の仕方について考え、友だちを交流しようとする。 (主学)文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを伝えようとしている。 【評価資料】活動の様子、ワークシート、確認テスト、漢字テスト	「日本の言語文化」 ～短歌・俳句～	・漢字や語句の意味調べをする。 ・短歌と俳句について知る。 ・歌・句ごとに音読する。 ・自分の気持ちを伝える俳句を作成する。
		(知及技）社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くことができる。（高２段階ア（ア）） (思判表力)社会の中で係る人の話などについて、話し手の目的や自分が聞きたいことの中心を捉え、その内容を知ることができる。（高２段階Aア） (学･人)しまくとぅばに親しむことができる。（高２段階ウ）	(知・技）しまくとぅばでの日常会話や簡単な単語について理解しようとする。 (思･判･表)しまくとぅばで会話する人の話を聞いたり、読んだりして、内容を要約したり説明したりしようとする。また、自分の簡単な自己紹介をしようとする。 (主学)しまくとぅばに親しむことができる。 【評価資料】活動の様子、ワークシート、意見文	「しまくとぅばに親しむ」 ～方言で日常会話～	・語句の意味調べをする。 ・教科書やワークシートに書かれたしまくとぅばの文章を読み、現代語に置き換える。 ・しまくとぅばで自分の簡単な自己紹介をする。

2学期	46	(知及技) 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができる。(高２段階ウ（エ）) (思判表力)文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。(高２段階Ｃオ) (学･人)文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを伝えることができる。(高２段階ウ)	(知・技) 叙述や表現を参考に、自分の気持ちや考えを表現する言葉を知ろうとする。 (思･判･表)文章を読み、情景描写から読み深めたことについて、自分の考えをもち、友だちと交流しようとする。 (主学)文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを伝えようとしている。 【評価資料】活動の様子、ワークシート、確認テスト、漢字テスト	「読書に親しむ」 ～登場人物の心情を読み取る～ 『トロッコ』『少年の日の思い出』	・漢字や語句の意味調べをする。 ・段落の確認をする。 ・段落に分けて音読する。 ・主題に注目し、考える。
		(知及技) 情報と情報との関係付けの仕方を理解し使うことができる。(高２段階イ（イ）) (思判表力)目的を意識して、文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見付けることができる。(高２段階Ｃエ) (学･人)将来の生活を意識して、必要な情報を読み取ることができる。(高２段階ウ)	(知・技) 日常的に使用する書類の読み方や書き方を理解しようとする。 (思･判･表)日常的に使用する書類から自身に必要な情報を選び、関連する項目に記述しようとする。 (主学)将来の生活を意識して、必要な情報を読み取ろうとしている。 【評価資料】活動の様子、ワークシート	「生活に必要な情報を読み取ろう」 ～領収書や説明書の見方～	・書類の役割を知る。 ・病院受診に必要な書類の書き方を知る。(受付、問診票、薬の説明書) ・漢字や言葉の意味を調べる。 ・分かったことをまとめる。
		(知及技) 目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書くことができる。(高2段階ウ（ウ）) (思判表力)文章全体の構成が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができる。(高２段階Ｂオ) (学･人)手紙の決まりを守り、わかりやすく感謝の気持ちを伝えることができる。(高２段階ウ)	(知・技) 送り先や自身の立場を理解して用紙を選び、体裁を整えている。 (思･判･表力) 自身の経験したことや相手への気遣いを文章に表現し、それを友だちや教師に説明しようとする。 (主学)手紙の決まりを守り、わかりやすく感謝の気持ちを伝えようとしている。 【評価資料】活動の様子、下書き原稿、清書手紙	「手紙の書き方」 ～実習先へお礼状を書く～	・手紙の書き方や注意事項を知る。 ・時候の挨拶を書く。 ・お世話になった方へ出来事を思いだし具体的に書く。 ・相手を気づかう言葉や結びの言葉、日付など必要な項目を書く。 ・用紙や筆（毛筆・筆ペン）を選び、余白や文字の位置などを考えて見栄え良く清書する。
3学期	23	(知及技) 用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書くことができる。(高２段階ウ（ウ）) (思判表力)目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(高２段階Ｂウ) (学･人)目的や意図に応じて、自分の考えや必要事項を書き表すことができる。(高２段階ウ)	(知・技) 履歴書の書き方について理解して項目を埋めようとする。 (思･判･表)志望動機や自己アピールなど、自身の長所が明瞭に伝わるような文章を書こうとする。 (主学)目的や意図に応じて、自分の考えや必要事項を書こうとしている。 【評価資料】活動の様子、ワークシート、履歴書	「履歴書の作成」 ～重要文書の取り扱い方～	・住所や学歴、趣味、特技など事実を正確に書く。 ・自己アピール文を書く。 ・文字の大きさや位置、行間など効果的な配列を意識して清書する。 ・住民票や届け出などの書き方を知る。
		(知及技) 生活の中で使われる慣用句、故事成語などの意味を知り、使うことができる。(高２段階ウ（イ）) (思判表力)登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。(高２段階Ｃア) (学･人)故事成語の大意を理解し、感じたことを共有することができる。(高２段階ウ)	(知・技) 生活の中で使われる漢文由来の言葉について理解しようとする。 (思･判･表)当時の状況や言葉から想像される情景を想像し、教師や友だちと交流しようとする。 (主学)漢文由来の言葉の大意を理解し、感じたことを共有しようとしている。 【評価資料】活動の様子、ワークシート、確認テスト	「漢文に親しむ」 ～漢文のリズムを味わう～	・漢文について知り、音読する。 ・語句の意味を調べる。 ・「推敲」「切磋琢磨」などよく使われる故事成語の意味や用法を確認する。
		(知及技) 文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて書くことができる。(高２段階ア（ウ）) (思判表力)文章全体の構成が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができる。(高２段階Ｂカ) (学･人)文章全体の構成を考え、読みやすい自分史にすることができる。(高２段階ウ)	(知・技) 文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて書こうとしている。 (思･判･表) 高等部やそれ以前の学校生活や家庭生活を振り返り、自身の成長を実感して将来の自分への目標や意気込みをかんがえようとする。 (主学)文章全体の構成を考え、感想や意見を伝え合い、読みやすい自分史にしようとしている。 【評価資料】活動の様子、ワークシート、下書き原稿、パソコン入力文書	「わたしの物語を書こう」 ～自分の成長を振り返り、将来の自分について考える～ パソコン文書	・自分のことを知っている家族や友人を取材する。 ・写真や思い出の品などからそのときの出来事をパソコン入力で編集する。 ・友だちと読み合い、よいところを見つける。
総時数	105				

令和８年度　高等部1年（Ⅱ課程A）　社会科　年間指導計画

単位数／配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	1年：18名		なし

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

（知及技）我が国の国土の様子と国民生活、自然環境の特色、先人の業績や優れた文化遺産、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度、農業や水産業の現状、産業と経済との関わり、外国の様子について、様々な資料や具体的な活動を通して、社会生活との関連を踏まえて理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けることができる。(高１段階)
（思判表力）社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、自分の生活と結び付けて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養うことができる。(高１段階)
（学・人）社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土に対する愛情、我が国の歴史や伝統を大切にして国を愛する心情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。(高１段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技) 我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解することができる。（高1段階工(ｱ)㋐） (思判表力) 生産物の種類や分布、生産量の変化などに着目して、食料生産の概要を捉え、食料生産が国民生活に果たす役割を考え、表現することができる。（高1段階工(ｱ)㋑） (学･人) 我が国の農業や水産業における食料生産に関わる学習活動を通して、社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うことができる。（高1段階工(ｱ)）	(知･技) ・我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解しようとしている。 ・全国各地で様々な食料を生産していることや、それぞれの土地や気候を生かして食料の生産地が広がっていることについて理解しようとしている。 (思･判･表) ・生産物の種類や分布、生産量の変化などに着目して、食料生産の概要を捉え、食料生産が国民生活に果たす役割を考え、表現しようとしている。 ・食料生産は国民の食生活を支えていること、食料の生産量は国民生活と関連して変化していることなどについて、自らの考えを表現しようとしている。 (主学) ・我が国の農業や水産業における食料生産に関わる学習活動を通して、学習したことを社会生活に生かそうとする姿勢がみられる。 【評価資料】 授業プリント（振り返りシート）、活動の様子	・主な食料の産地の分布や生産量、消費量について ・産業について ・第1次産業 ・農業について ・林業について ・漁業について	・主な食料の産地の広がりや生産量、消費量について、地図や写真などの資料を使って調べ、気づいたことや疑問に思ったことを話し合う。 ・沖縄の第１次産業について調べ、沖縄県の名産地マップを完成させ、日常生活に即した消費活動について確認する。
		(知及技) 我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、関連する先人の業績、優れた文化遺産などを理解することができる。（高1段階オ(ｲ)㋐） (思判表力) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、世の中の様子の変化を考え、表現することができる。（高1段階オ(ｲ)㋑） (学･人) 我が国の歴史上の主な事象に関わる学習活動を通して、社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うことができる。（高1段階オ(ｲ)）	(知･技) ・我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、世の中の様子の変化を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解しようとしている。 ・慰霊の日の取り組みの中で、本の読みきかせや図書室の特設展示見学を通し、戦時中と今の平和について比較しながら理解しようとしている。 (思･判･表) ・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、世の中の様子の変化を考え、表現しようとしている。 ・清明祭や旧盆の儀式についてプリントワークを通し、シール張りやなぞり書きで表現しようとしている。 (主学) ・我が国の歴史上の主な事象に関わる学習活動を通して、学習したことを社会生活に生かそうとする姿勢がみられる。 【評価資料】 授業プリント（振り返りシート）、活動の様子	・清明祭 ・糸満ハーレー ・旧盆 ・慰霊の日 ・沖縄県復帰記念日 ・沖縄そばの日 ・公休日について （※各行事の前後に年間を通して適宜行う。）	・慰霊の日について、戦争の話や図書室の特別展示見学を通して過去の事象や平和の意味に対し理解を深める。 ・平和について本の読み聞かせを聞く。読後の振り返りワークシートで平和な時と戦争時の暮らしの比較を行う。 ・地域の伝統的行事や沖縄の祖先崇拝に対する行事についてパワーポイントの説明を受け、振り返りワークシートを解く。身近な生活の中にあるの先人の教えや文化について理解を深める。
2学期	30	(知及技) 自然災害は国土の自然条件などと関連して発生していることや、 自然災害が国土と国民生活に影響を及ぼすことを理解することができる。（高1段階ウ(ｱ)㋐） (思判表力) 災害の種類や発生の位置や時期、防災対策などに着目して、国土の自然災害の状況を捉え、自然条件との関連を考え、表現することができる。（高１段階ウ(ｱ)㋑） (学･人) 我が国の国土の自然環境と国民生活との関連に関わる学習活動を通して、社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うことができる。（高１段階ウ(ｱ)）	(知･技) ・自然災害は国土の自然条件などと関連して発生していることや、 自然災害が国土と国民生活に影響を及ぼすことを理解しようとしている。 ・ワークシートを完成させ、地震や津波など災害の種類や発生の位置について理解しようとしている。 (思･判･表) ・災害の種類や発生の位置や時期、防災対策などに着目して、国土の自然災害の状況を捉え、自然条件との関連を考え、表現しようとしている。 ・ハザードマップを完成させ、沖縄県や糸満市での防災対策などに着目して、自分の考えを表現しようとしている。 (主学) ・我が国の国土の自然環境と国民生活との関連に関わる学習活動を通して、社会に主体的に関わろうとする姿勢がみられる。 【評価資料】 授業プリント（振り返りシート）、ハザードマップ、活動の様子	・自然災害について ・防災マップ作り	・国土の地形や気候などとの関係から地震や津波、風水害など起こりやすい自然災害について調べる。 ・過去に起きた災害（阪神・淡路島大震災、東日本大震災）についてワークシートを作成する。 ・自然災害の種類、国土の地形や気候に応じた対策を進めていることなどを基に、津波避難場所の整備、ハザードマップの作成など、国土の自然災害への対策や事業について確認する。
		(知及技) 我が国の国土の地形や気候の概要を理解するとともに、人々は自然環境に適応して生活していることを理解することができる。（高1段階オ(ｱ)㋐） (思判表力) 地形や気候などに着目して、国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現することができる。（高１段階オ(ｱ)㋑） (学･人) 我が国の国土の様子と国民生活に関わる学習活動を通して、社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うことができる。（高１段階オ(ｱ)）	(知･技) ・ワークシートに取り組み、我が国の国土の地形や気候の概要を理解するとともに、人々は自然環境に適応して生活していることを理解しようとしている。 ・沖縄県とその他の地域を比較して、地形や気候などの自然条件から見て特色ある地域があることについて理解しようとしている。 (思･判･表) ・地形や気候などに着目して、国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現しようとしている。 ・我が国の地形や気候にはどのような特色があるか、考えたことを表現しようとしている。 (主学) ・我が国の国土の様子と国民生活に関わる学習活動を通して、学習したことを社会生活に生かそうとする姿勢がみられる。 【評価資料】 授業プリント（振り返りシート）、活動の様子	・各都道府県の様子 ・人々の生活 ・国内の文化遺産 ・各都道府県の観光地・名産品	・日本を８つの地域区分に分け、各地域の特色を示したワークシートで、地形や気候の違いを調べる。 ・自然条件の違いによる人々の生活の変化を調べる。 ・全国各地の文化遺産を調べ、課題プリントをまとめる。
3学期	16	(知及技) 異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解することができる。（高1段階カ(ｱ)㋐） (思判表力) 外国の人々の生活の様子などに着目して、日本の文化や習慣との違いについて表現することができる。（高1段階カ(ｱ)㋑） (学･人) グローバル化する世界と日本の役割に関わる学習活動を通して、社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うことができる。（高1段階カ(ｱ)）	(知･技) ・異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解しようとしている。 ・沖縄県と比較して、外国の人々の生活の様子は文化・習慣の面で違いがあることについて理解しようとしている。 (思･判･表) ・外国の人々の生活の様子などに着目して、日本の文化や習慣との違いについて表現しようとしている。 (主学) ・グローバル化する世界と日本の役割に関わる学習活動を通して、学習したことを社会生活に生かそうとする姿勢がみられる。 【評価資料】 授業プリント（振り返りシート）、活動の様子	・各国の様子 ・世界のお正月 ・日本と外国の文化の比較	・ハロウィンや感謝祭(ブラックフライデー)、クリスマスなど外国の文化を説明したパワーポイントの説明を聞きワークシートを解く。 ・距離が近い国(中国や韓国)や、関係が深い国(アメリカなど)の文化について調べ学習を行う。 ・調べた国の人々の生活や文化は、日本と比べてどのような違いがあるのかについてまとめ、考えたことを表現する。

令和８年度　高等部2年（Ⅱ課程A）　社会科　年間指導計画

単位数／配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	２年：24名		くらしに役立つ社会[改訂新版] 東洋館出版社 / 教師作成教材

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	（知及技）我が国の国土の様子と国民生活、自然環境の特色、先人の業績や優れた文化遺産、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度、工業の現状、産業と情報との関わり、外国の様子について、様々な資料や具体的な活動を通して、社会生活との関連を踏まえて理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けることができる。(高２段階) （思判表力）社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、自分の生活と結び付けて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養うことができる。(高２段階) （学・人）社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土に対する愛情、我が国の歴史や伝統を大切にして国を愛する心情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。(高２段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	25	(知及技) 生活に関係の深い公共施設や公共物の役割とその必要性を理解することができる。（高1段階イ(ｱ)㋐） (思判表力) 生活に関係の深い公共施設や公共物の利用の仕方を調べ、適切な活用を考え、表現することができる。（高1段階イ(ｱ)㋑） (学･人) 公共施設の役割に関わる学習活動を通して、社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うことができる。（高1段階イ(ｱ)）	(知・技) ・生活に関係の深い公共施設や公共物の役割とその必要性を理解しようとしている。 ・公共施設や公共物は、幼児や高齢者、外国の人など、多様な人々が利用する場所であることを理解しようとしている。 (思･判･表) ・生活に関係の深い公共施設や公共物の利用の仕方を調べ、適切な活用を考え、表現しようとしている。 ・公共施設や公共物の役割や利用の仕方などについて調べたことを表現しようとしている。 (主学) ・公共施設の役割に関わる学習活動を通して、社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとしている。 ・公共施設への関心や期待をもちながら、ルールやマナーを守り正しく利用しようとしている。	・公共施設や公共物の役割 ・公共施設や公共物利用のルールやマナー	・就業体験や修学旅行で利用する公共施設(企業、福祉サービス事業所、空港、大型店舗等)や公共交通機関(バス、飛行機等)の役割や利用方法、ルールやマナーについて書籍やインターネット等を活用して調べ、理解を深める。 ・公共物(道路、水路、港湾等)の役割や利用方法、ルールやマナーについて書籍やインターネット等を活用して調べ、理解を深める。 ・公共施設や公共物について調べたことをレポートにまとめ、発表する。
		(知及技) 関係機関や地域の人々の様々な努力により公害の防止や生活環境の改善が図られてきたことを理解するとともに、公害が国土の環境や国民の生活に影響を及ぼすことを理解することができる。（高1段階ウ(ｱ)㋑） (思判表力) 公害の発生時期や経過、人々の協力や努力などに着目して、公害防止の取組を捉え、その働きを考え、表現することができる。（高1段階ウ(ｱ)㋓） (学･人) 我が国の国土の自然環境と国民生活との関連に関わる学習活動を通して、社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うことができる。（高1段階ウ(ｱ)）	(知・技) ・関係機関や地域の人々の様々な努力により公害の防止や生活環境の改善が図られてきたことや、公害が国土の環境や国民の生活に影響を及ぼすことを理解しようとしている。 ・過去や現在の日本および沖縄県が抱える公害に関する課題について各種メディアや書籍で調べて、理解を深めようとしている。 (思･判･表) ・公害の発生時期や経過、人々の協力や努力などに着目して、公害防止の取組を捉え、その働きを考え、表現しようとしている。 ・身近な環境保全の方法に着目して考え、表現しようとしている。 (主学) ・我が国の国土の自然環境と国民生活との関連に関わる学習活動を通して、社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとしている。 ・学習したことをもとに、環境を守るために忘れてはならないことや特に大切な取り組みについて、考えようとしている。	・産業の発展による生活様式の変化 ・公害による健康への悪影響や環境破壊 ・公害防止の取り組み ・私にもできるSDGsの取り組み	・過去や現在の日本および沖縄県の抱える公害に関する課題について、新聞やインターネットなどの各種メディアや書籍を通して確認し、理解を深める。 ・日本および県の行政や県内企業が行なっているSDGsの取り組みなどを調べる。 ・個人で取り組むことができるSDGsの取り組みを知り、実践できそうなものを確認し、発表する。

		(知及技) 我が国では様々な工業生産が行われていることや、国土には工業の盛んな地域が広がっていること及び工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解することができる。（高2段階エ(ｱ)㋐） (思判表力) 工業の種類、工業の盛んな地域の分布、工業製品の改良などに着目して、工業生産の概要を捉え、工業生産が国民生活に果たす役割を考え、表現することができる。（高2段階エ(ｱ)㋑） (学･人) 我が国の工業生産に関わる学習活動を通して、社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うことができる。（高2段階エ(ｱ)）	(知・技) ・我が国では様々な工業生産が行われていることや、国土には工業の盛んな地域が広がっていること及び工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解しようとしている。 ・主な工業地帯の広がりや生産量、消費量について、地図や写真などの資料を使って調べ、気づいたことや疑問、自分の考えについてまとめようとしている。 (思･判･表) ・工業の種類、工業の盛んな地域の分布、工業製品の改良などに着目して、工業生産の概要を捉え、工業生産が国民生活に果たす役割を考え、表現しようとしている。 ・沖縄の産業に着目し、日常生活に即した消費活動について考え、表現しようとしている。 (主学) ・我が国の工業生産に関わる学習活動を通して、社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとしている。 ・学習したことをもとに、これからの工業の発展について消費者や生産者の立場から多角的に考えようとしている。	・主な工業地帯の分布や生産量、消費量について ・産業について ・第２次産業 ・工業について ・建設業について ・食品加工業について	・身近にある様々な工業製品について、イラストや写真などの資料を使って調べ、自分たちの暮らしと工業製品との関わりについて、気づいたことや調べたいことを話し合って、理解を深める。 ・我が国の主な工業地帯の広がりや生産量、消費量について、地図や写真、表などの資料を使って調べ、気づいたことや疑問に思ったことをレポートにまとめて発表する。 ・沖縄の産業について調べ、日常生活に即した消費活動について確認する。
2学期		(知及技) 世界における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などを大まかに理解することができる。（高2段階オ(ｱ)㋐） (思判表力) 世界の大陸と主な海洋、主な国の位置、海洋に囲まれ多数の島からなる国土の構成などに着目して、我が国の国土の様子を捉え、その特色を考え、表現することができる。（高2段階オ(ｱ)㋑） (学･人) 我が国の国土の様子と国民生活に関わる学習活動を通して、社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うことができる。（高2段階オ(ｱ)）	(知・技) ・世界における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などについて地図や地球儀、各種資料で調べて、大まかに理解しようとしている。 ・沖縄県とその他の地域を比較して、政治的・地理的位置などに着目し理解しようとしている。 (思･判･表) ・世界の大陸と主な海洋、主な国の位置、海洋に囲まれ多数の島からなる国土の構成などに着目して、課題を見いだし、我が国の国土の様子について考え表現している。 ・世界の大陸と主な海洋、主な国の位置、国土の構成、領土の範囲などを総合して、我が国の国土の特色を考え、適切に表現している。 (主学) ・我が国の国土の様子と国民生活に関わる学習活動を通して、社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとしている。 ・学習したことをもとに、日本の国土の広がりについて考えようとしている。	・世界の大陸と太洋 ・我が国の国土と領土・領域	・６つの大陸や３太洋について地図で調べ、各大陸にある州について理解を深める。 ・日本国の東西南北の端にある島を確認し、主権の及ぶ範囲について理解を深める。 ・Googleマップなどの電子マップを活用し世界における沖縄県の地理的位置を調べる。
	30	(知及技) 我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、世の中の様子の変化を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解することができる。（高2段階オ(ｲ)㋐） (思判表力) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、世の中の様子の変化を考え、表現することができる。（高2段階オ(ｱ)㋑） (学･人) 我が国の歴史上の主な事象と世の中の様子の変化を関連付けて考え、社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うことができる。（高2段階オ(ｱ)）	(知・技) ・我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、世の中の様子の変化を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解しようとしている。 ・我が国の歴史について調べたことや自分の意見、疑問などについてレポートにまとめようとしている。 (思･判･表) ・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、世の中の様子の変化を考え、表現しようとしている。 ・日本の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現してようとしている。 (主学) ・我が国の歴史上の主な事象と世の中の様子の変化を関連付けて考え、社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとしている。 ・日本の歴史上の主な事象について、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。	・奈良、平安時代の国づくりと仏教文化 ・鎌倉時代と武士による政治 ・戦国時代と統一政権の誕生 ・第2次世界大戦と民主国家への道	・我が国の歴史上の事象や人物、文化遺産などについて新聞やインターネットなどのメディアや書籍を通して確認し、理解を深める。 ・我が国の歴史について調べ、興味・関心がある事象や人物、気づいたことや疑問に思ったことをレポートにまとめて発表する。

3学期	15	(知及技) 我が国は、平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解することができる。（高2段階カ(ｱ)㋐） (思判表力) 地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などに着目して、国際社会において我が国が果たしている役割を考え、表現することができる。（高2段階カ(ｱ)㋑） (学･人) グローバル化する世界と日本の役割に関わる学習活動を通して、社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うことができる。（高2段階カ(ｱ)）	(知・技) ・我が国は、平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解しようとしている。 ・地球規模で発生している課題の解決について、自分たちができることについて考え、発表しようとしている。 (思･判･表) ・地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などに着目して 、 国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を捉え、国際社会において我が国が果たしている役割を考え、表現している。 ・外国の人々の生活の様子などに着目して、日本の文化や習慣との違いを捉え、国際交流の果たす役割を考え、表現している。 (主学) ・日本とつながりの深い国の人々の生活やグローバル化する国際社会における日本の役割について、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。 ・学習したことをもとに、世界の人々とともに生きていくために大切なことや、今後、国際社会において果たすべき役割などを考えようとしている。	・国際社会のしくみと国際連合 ・国際社会における日本の役割	・国際連合の意義や働き、国連の各機関(ユニセフ、ユネスコ等)の取り組みについて、新聞やインターネットなどの各種メディアや書籍を通して確認し、理解を深める。 ・地球規模で発生している課題の解決について、自分たちができることについて考え、発表する。

令和８年度　高等部３年（Ⅱ課程A）　社会科　年間指導計画

単位数／配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	３年：24名		くらしに役立つ社会(東洋館出版社)

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	（知及技）我が国の国土の様子と国民生活、自然環境の特色、先人の業績や優れた文化遺産、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度、工業の現状、産業と情報との関わり、外国の様子について、様々な資料や具体的な活動を通して、社会生活との関連を踏まえて理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けることができる。(高２段階) （思判表力）社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、自分の生活と結び付けて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養うことができる。(高２段階) （学・人）社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土に対する愛情、我が国の歴史や伝統を大切にして国を愛する心情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。(高２段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	25	(知及技)社会の中で互いに協力しながら、社会生活に必要な知識や技能を身に付けることができる。(高2段階ア(ｱ)㋐) (思判表力)社会生活の中で状況を的確に判断し、国民としての権利及び義務、それに伴う責任について考え、表現することができる。(高2段階ア(ｱ)㋑) (学･人)社会参加するために必要な社会生活に関わる学習活動を通して、社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うことができる。(高2段階ア(ｱ))	(知・技) ・周囲と互いに協力することを通して、集団生活の中で自分が果たす役割の重要性、協力することのよさや意義について理解している。 ・権利を行使する一方で、勤労や納税の義務などを果たす必要がある義務が定められていることについて理解している。 (思･判･表) ・日本国憲法や法によって権利が保障され、義務を課せられること、その結果が身近な生活にも影響を与えることについて考えようとしている。 (主学) ・学校や地域社会の中で自分の立場や役割を理解し、相手の立場や役割も理解しながら行動しようとしている。	・社会参加ときまり ・模擬選挙をやってみよう ・経済活動とは ・企業と私たち ・法定雇用制度 ・働く目的と労働者の権利 ・働く環境の変化と課題	・社会生活の中で、意見が対立したり、まとまらなかったりする場合、納得いく解決をするにはどうしたらよいか意見を出しあう。 ・お互いの権利を保障するためには、多数決だけでない、話し合いによる民主主義の重要性を確認する。 ・模擬選挙や生徒会選挙などの活動を通して、選挙で代表を選ぶ権利を行使すること経験する。 ・選挙の結果がどのようにして自分の生活の安定や向上にかかわってくるのか、意見を出しあう。
		(知及技)社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりを理解することができる。(高2段階ア(ｲ)㋐) (思判表力)社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりの意義と自分との関わりについて考え、表現することができる。(高2段階ア(ｲ)㋑) (学･人)社会生活を営む上で大切な法やきまりに関わる学習活動を通して、社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うことができる。(高2段階ア(ｲ))	(知・技) ・日本国憲法や法律・条例が自分たちの社会生活とどのように結びついているか理解している。 ・政治のあり方を決めるのは国民一人一人であるという国民主権の意味や内容を理解している。 (思･判･表) ・様々な法やきまりがあることによって秩序ある社会生活が成り立っていることを具体的に調べ、自分の考えを表現している。 ・日本国憲法が自分たちの生活にどのように生かされているかを調べ、国民生活に果たす役割について考えている。 ・日本国憲法前文から憲法の基本的な考え方について考え、表現している。 (主学) ・社会生活を送る上で必要な身近な法やきまりを自分の生活に役立てていこうとする意欲がみられる。	・国や地方公共団体のきまり ・働く人を守る法律 ・未成年者を守るしくみ	・日本国憲法前文の中から、憲法の基本的な考え方につながる部分を読み取る。 ・日本国憲法はどのようなものかを調べ、憲法前文を読み取り、三つの原則の意味について考える。 ・自動車を運転するためには自動車運転免許が必要であること、職業によっては資格が必要になること、18歳以上の国民には全て選挙権が与えられることなどを確認する。 ・日本国憲法では、第22条によって「自分が住みたいところに住む」、「自由に職業を選ぶ」ということが保障されていることを調べる。
		(知及技)自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解することができる。(高2段階ウ(ｱ)㋐) (思判表力)国土の環境保全について、自分たちにできることなどを考え、表現することができる。(高2段階ウ(ｱ)㋑) (学･人)我が国の国土の自然環境と国民生活との関連に関わる学習活動を通して、社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うことができる。(高2段階ウ(ｱ))	(知・技) ・自然災害の種類ごとに、被害の様子や発生場所を読み取り、自然災害の広がりや国土の自然条件との関連性を捉えている。 ・津波の被害を防ぐ取り組みについて、発生が想定される津波の被害を少なくするために、国や都道府県が中心となって、様々な対策や事業に取り組んでいることを捉えている。 (思･判･表) ・国土に占める森林の多さや、森林が防災面で果たす役割を資料から読み取り、それをもとに森林と自分たちの生活との関わりについて、意見を伝え合っている。 ・調べたことを整理して森林と人々の生活とのつながりを捉え、森林のはたらき、または森林の育成と活用について、意見を伝え合っている。 (主学) ・自分たちがどのように自然災害と向き合っていけばよいか、自分の考えをまとめようとしている。	・日本におけるさまざまな自然災害 ・日本の国土と森林	・様々な自然災害の写真を、災害の種類や被害の様子に着目して読み取り、気づいたことを話し合う。 ・日本で自然災害が多く発生する理由について、国土の気候や地形の特色と関連づけて考え、話し合う。 ・国や都道府県などで進めている津波への対策について、政府広報や各地方公共団体のホームページなどから具体例を調べる。 ・国土に広がる森林の様子を示す写真やグラフを読み取り、気づいたことを発表し合う。 ・林野庁のホームページなどから、森林には自然災害の被害を軽減するはたらきがあり、森林の整備や育成を進める取り組みがあることを調べる。
		(知及技)地域における公共施設や公共物の役割とその必要性を理解することができる。(高2段階イ(ｱ)㋐) (思判表力)地域における公共施設や公共物の利用の仕方を調べ、適切な活用を考え、表現することができる。(高2段階イ(ｱ)㋑) (学･人)公共施設の役割に関わる学習活動を通して、社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うことができる。(高2段階イ(ｱ))	(知・技) ・公共職業安定所で求職登録や職業相談を受けられることを理解している。 ・役所では住民票の取得や福祉サービスの利用申請、年金の申請を行うことができることを理解している。 (思･判･表) ・資料などから公共施設の役割や機能を知り、現在や将来の自分の生活における適切な利用の仕方について考えている。 (主学) 公共施設や公共物が、それぞれに様々な機能を有しており、社会生活をより快適に営むのに必要なものであることをまとめようとしている。	・公共交通機関 ・金融機関や郵便局の利用 ・役所でできる手続き ・警察・消防の働き ・病院や保健所の役割 ・仕事や生活の相談と支援	・ハローワークに登録されている企業とその仕事内容を調べる。 ・役所でできる主な手続きを調べる。 ・学校での避難訓練の様子をふり返るとともに、県内の消防署の分布図を読み取り、わかることを発表する。 ・119番の電話はどこにつながり、火災に対してどのような機関と連携・協力しているのかを調べる。 ・交通事故を処理する警察署の仕事や、110番の通報の仕組みについて調べる。 ・地域の安全を守るための交番の仕事について調べる。

2学期	30	(知及技)生活に関係の深い制度について理解することができる。（高2段階イ(ｲ)㋐） (思判表力)生活に関係の深い制度について調べ、その活用を考え、表現することができる。（高2段階イ(ｲ)㋑） (学･人)制度に関わる学習活動を通して、社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うことができる。（高2段階イ(ｲ)）	(知・技) ・選挙、租税、年金、保険、福祉など社会生活に関係する制度のことについて理解している。 ・税金が国民の健康や生活を守ること、道路や住宅などの整備、教育や科学技術の振興などにあてられ、国民生活の向上と安定のために重要な役割を果たしていることを理解している。 (思･判･表) ・国民年金や厚生年金などに加え、障害年金の仕組みや手続きなどについても理解を深め、自分の生活との関連について考えようとしている。 ・療育手帳や身体障害者手帳等を活用して援助を受けたり、福祉サービスを利用したりすることなど、生活の中での福祉制度の活用について考え、表現している。 (主学) ・租税に関する制度や、税金が国や地方公共団体の施策に使われている具体例を調べ、まとめようとしている。	・国のしくみ ・地方公共団体のしくみ ・国民と制度のかかわり方 ・税金と私たちの生活 ・くらしを守る社会保障制度 ・社会福祉のしくみ	・税金がどのように集められ、どのようなことに使われているのかを調べる。 ・税金と国民の関わりについて話し合う。 ・税金の役割について考え、表現する。
3学期	15	(知及技)大量の情報や情報通信技術の活用は様々な産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解することができる。（高2段階エ(ｲ)㋐） (思判表力)情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して、産業における情報活用の現状を捉え、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、表現することができる。（高2段階エ(ｲ)㋑） (学･人)我が国の産業と情報との関わりにおける学習活動を通して、社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うことができる。（高2段階エ(ｲ)）	(知・技) ・放送、新聞などの産業が、国民生活に大きな影響を及ぼしていることを理解している。 ・各種メディアの特徴を比較しながら理解し、状況に応じてメディアを使い分けることや、情報をより効果的に受信するために複数のメディアを活用することの必要性を捉えている。 (思･判･表) ・情報を集め発信するまでの工夫や努力などに着目して、放送、新聞などの産業の様子を捉え、それらの産業が国民生活に果たす役割を考え、表現している。 ・調査結果や資料をもとに、多くの人々が情報を得ているメディアを捉え、情報産業が国民生活に果たす役割を考え、表現している。 (主学) ・自分たちがどのように情報を受け取り、生活に生かしていけばよいか、自分の考えをまとめようとしている。	・マスメディアの広がり ・情報の活用	・クラスのメディア利用の実態を集計して、その結果から、自分たちがどのように情報を入手しているか話し合う。 ・社会全体ではどのメディアを通して情報を入手することが多いか、総務省統計資料から確かめる。 ・様々なメディアの特徴について、それぞれの長所や短所を整理する。 ・整理したことをもとに、各種メディアを自分たちがどう活用すればよいか話し合う。

令和８年度　高等部1年（Ⅱ課程B）　社会科　年間指導計画

単位数／配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	1年：9名		なし

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

（知及技）我が国の国土の様子と国民生活、自然環境の特色、先人の業績や優れた文化遺産、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度、農業や水産業の現状、産業と経済との関わり、外国の様子について、様々な資料や具体的な活動を通して、社会生活との関連を踏まえて理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けることができる。（高１段階）
（思判表力）社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、自分の生活と結び付けて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養うことができる。（高１段階）
（学・人）社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土に対する愛情、我が国の歴史や伝統を大切にして国を愛する心情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技) 社会生活を営む上で大切な法やきまりがあることを理解することができる。（高1段階ア(ｲ)㋐） (思判表力) 社会生活を営む上で大切な法やきまりの意義と自分との関わりについて考え、表現することができる。（高1段階ア(ｲ)㋑） (学･人) 社会生活を営む上で大切な法やきまりに関わる学習活動を通して、学んだことを社会生活に生かそうとすることができる。（高1段階ア(ｲ)）	(知・技) ・社会生活を営む上で大切な法やきまりがあることを理解しようとしている。 ・学習プリントを完成させ、各教室や図書室、保健室などを利用する際のルールについて、理解しようとしている。 (思･判･表) ・社会生活を営む上で大切な法やきまりの意義と自分との関わりについて考え、表現しようとしている。 ・道路交通法など、法律がある生活と法律がない生活を比較し、どのような違いがあるかを調べ法やきまりの意義について、自らの考えを表現することができる。 (主学) ・社会生活を営む上で大切な法やきまりについて学んだことを社会生活に生かそうとしている。 【評価資料】 授業プリント（振り返りシート）、活動の様子	・学校生活のルール ・交通安全教室(事前事後学習)	・高等部で利用する教室などを確認し、利用のルールについて学習プリントのシール張りやなぞり書きをする。 ・パワーポイントのスライドを見て学校生活をおくるうえでのルールを確認する。 ・交通安全学習の写真を見て振り返り、交通ルールについて確認する。
		(知及技) 生活に関係の深い公共施設や公共物の役割とその必要性を理解することができる。（高1段階イ(ｱ)㋐） (思判表力) 生活に関係の深い公共施設や公共物の利用の仕方を調べ、適切な活用を考え、表現することができる。（高1段階イ(ｱ)㋑） (学･人) 公共施設の役割に関わる学習活動を通して、社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うことができる。（高1段階イ(ｱ)）	(知･技) ・生活に関係の深い公共施設や公共物の役割とその必要性を理解しようとしている。 ・電車やバスなどの公共物が、社会生活をより快適に営むのに必要なものであることを理解しようとしている。 (思･判･表) ・生活に関係の深い公共施設や公共物の利用の仕方を調べ、適切な活用を考え、表現しようとしている。 ・学校や公園などの公共施設について、自分の生活における適切な利用の仕方について、自らの考えを表現しようとしている。 (主学) ・公共施設や公共物の利用する際、適切な方法を考える姿勢がみられる。 【評価資料】 授業プリント（振り返りシート）、活動の様子	・公共交通機関の使い方 ・公共施設の利用の仕方	・教師と共にタブレットなどの通信機器を利用し身近な公園や図書館などの場所やホームページを参照し、アクセスの仕方、利用の仕方などを調べる。 ・調べた内容をマップ上でシールを貼ったりなぞり書きをしたりする。
		(知及技) 我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、関連する先人の業績、優れた文化遺産などを理解することができる。（高1段階オ(ｲ)㋐） (思判表力) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、世の中の様子の変化を考え、表現することができる。（高1段階オ(ｲ)㋑） (学･人) 我が国の歴史上の主な事象に関わる学習活動を通して、社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うことができる。（高1段階オ(ｲ)）	(知･技) ・我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、世の中の様子の変化を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解しようとしている。 ・慰霊の日の取り組みの中で、絵本「へいわとせんそう」から戦時中と今の平和について比較しながら理解しようとしている。 (思･判･表) ・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、世の中の様子の変化を考え、表現しようとしている。 ・清明祭や旧盆の儀式についてプリントワークを通し、シール張りやなぞり書きで表現しようとしている。 (主学) ・我が国の歴史上の主な事象に関わる学習活動を通して、学習したことを社会生活に生かそうとする姿勢がみられる。 【評価資料】 授業プリント（振り返りシート）、活動の様子	・清明祭 ・糸満ハーレー ・旧盆 ・慰霊の日 ・沖縄県復帰記念日 ・沖縄そばの日 ・公休日について （※各行事の前後に年間を通して適宜行う。）	・慰霊の日について、戦争の話や図書室の特設展示見学を通して過去の事象や平和の意味に対し理解を深める。 ・絵本「へいわとせんそう」の読み聞かせを聞く。読後の振り返りワークシートで色塗りやなぞり書きで平和な時と戦争時の暮らしの比較を行う。 ・地域の伝統的行事や沖縄の行祖先崇拝に対する行事についてパワーポイントの説明を受け、振り返りワークシートにシール張りやなぞり書きを行う。身近な生活の中にあるの先人の教えや文化について理解を深める。
		(知及技) 自然災害は国土の自然条件などと関連して発生していることや、 自然災害が国土と国民生活に影響を及ぼすことを理解することができる。（高1段階ウ(ｱ)㋐） (思判表力) 災害の種類や発生の位置や時期、防災対策などに着目して、国土の自然災害の状況を捉え、自然条件との関連を考え、表現することができる。（高１段階ウ(ｱ)㋑） (学･人) 我が国の国土の自然環境と国民生活との関連に関わる学習活動を通して、社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うことができる。（高１段階ウ(ｱ)）	(知･技) ・自然災害は国土の自然条件などと関連して発生していることや、 自然災害が国土と国民生活に影響を及ぼすことを理解しようとしている。 ・ワークシートを完成させ、地震や津波など災害の種類や発生の位置ついて理解しようとしている。 (思･判･表) ・災害の種類や発生の位置や時期、防災対策などに着目して、国土の自然災害の状況を捉え、自然条件との関連を考え、表現しようとしている。 ・ハザードマップを完成させ、沖縄県や糸満市での防災対策などに着目して、自分の考えを表現しようとしている。 (主学) ・我が国の国土の自然環境と国民生活との関連に関わる学習活動を通して、社会に主体的に関わろうとする姿勢がみられる。 【評価資料】 授業プリント（振り返りシート）、ハザードマップ、活動の様子	・自然災害について ・防災マップ作り	・国土の地形や気候などとの関係から地震や津波、風水害など起こりやすい自然災害について調べる。 ・過去に起きた災害（阪神・淡路島大震災、東日本大震災）についてワークシートにシール張りやなぞり書きをして完成させる。 ・糸満市のハザードマップの作成し地震避難訓練の経路を確認する。

2学期	30	(知及技) 我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解することができる。（高1段階エ(ｱ)㋐） (思判表力) 生産物の種類や分布、生産量の変化などに着目して、食料生産の概要を捉え、食料生産が国民生活に果たす役割を考え、表現することができる。（高1段階エ(ｱ)㋑） (学･人) 我が国の農業や水産業における食料生産に関わる学習活動を通して、社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うことができる。（高1段階エ(ｱ)）	(知･技) ・我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解しようとしている。 ・ワークシートを完成させ、全国各地や沖縄県内で様々な食料を生産していることや、それぞれの土地や気候を生かして食料の生産地が広がっていることについて理解しようとしている。 (思･判･表) ・生産物の種類や分布、生産量の変化などに着目して、食料生産の概要を捉え、食料生産が国民生活に果たす役割を考え、表現しようとしている。 ・食料生産は国民の食生活を支えていること、食料の生産量は国民生活と関連して変化していることなどについて、自らの考えを表現しようとしている。 (主学) ・我が国の農業や水産業における食料生産に関わる学習活動を通して、学習したことを社会生活に生かそうとする姿勢がみられる。 【評価資料】 授業プリント（振り返りシート）、活動の様子	・主な食料の産地の分布や生産量、消費量について ・産業について ・第1次産業 ・農業について ・林業について ・漁業について	・主な食料の産地の広がりや生産量、消費量について、地図や写真などの資料を使って調べ、気づいたことや疑問に思ったことを話し合う。 ・給食の献立を利用し、食材について理解を深める課題プリントをとく。 ・沖縄の第１次産業についてワークシートにシール張りやなぞり書きをして、日常生活に即した消費活動について確認する。
		(知及技) 我が国の国土の地形や気候の概要を理解するとともに、人々は自然環境に適応して生活していることを理解することができる。（高1段階オ(ｱ)㋐） (思判表力) 地形や気候などに着目して、国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現することができる。（高１段階オ(ｱ)㋑） (学･人) 我が国の国土の様子と国民生活に関わる学習活動を通して、社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うことができる。（高１段階オ(ｱ)）	(知･技) ・我が国の国土の地形や気候の概要を理解するとともに、人々は自然環境に適応して生活していることを理解しようとしている。 ・ワークシートを完成させ、沖縄県とその他の地域を比較して、地形や気候などの自然条件から見て特色ある地域があることについて理解しようとしている。 (思･判･表) ・地形や気候などに着目して、国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現しようとしている。 ・沖縄県と他の都道府県を比べたワークシートを完成させ、自然条件の違いによる人々の生活の変化を考え、表現しようとしている。 (主学) ・我が国の国土の様子と国民生活に関わる学習活動を通して、学習したことを社会生活に生かそうとする姿勢がみられる。 【評価資料】 授業プリント（振り返りシート）、活動の様子	・各都道府県の様子 ・人々の生活 ・国内の文化遺産 ・各都道府県の観光地・名産品	・日本を８つの地域区分に分け、地形や気候の違いに気をつけてワークシートにシール貼り付けやなぞり書きをする。 ・沖縄県と他の都道府県を比べたワークシートに取り組む。 ・全国各地の文化遺産についてワークシートに取り組む。
3学期	16	(知及技) 異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解することができる。（高1段階カ(ｱ)㋐） (思判表力) 外国の人々の生活の様子などに着目して、日本の文化や習慣との違いについて表現することができる。（高１段階カ(ｱ)㋑） (学･人) グローバル化する世界と日本の役割に関わる学習活動を通して、社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うことができる。（高1段階カ(ｱ)）	(知･技) ・我が国の国土の地形や気候の概要を理解するとともに、人々は自然環境に適応して生活していることを理解しようとしている。 ・ワークシート学習によって沖縄県とその他の地域を比較して、地形や気候などの自然条件から見て特色ある地域があることについて理解しようとしている。 (思･判･表) ・地形や気候などに着目して、国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現しようとしている。 ・教師との対話の中で、我が国や沖縄県の地形や気候にはどのような特色があるか、考えたことを表現しようとしている。 (主学) ・我が国の国土の様子と国民生活に関わる学習活動を通して、学習したことを社会生活に生かそうとする姿勢がみられる。 【評価資料】 授業プリント（振り返りシート）、活動の様子	・各国の様子 ・世界のお正月 ・日本と外国の文化の比較	・ハロウィンや感謝祭(ブラックフライデー)、クリスマスなど外国の文化を説明したパワーポイントの説明を聞きワークシートにシール張りやなぞり書きを行う。 ・距離が近い国(中国や韓国)や、関係が深い国(アメリカなど)の文化についてニュースなど動画を視聴する。 ・外国の人々の生活や文化は、日本と比べてどのような違いがあるのかについて教師と共に話し合う。

令和８年度　高等部２年（Ⅱ課程B）　社会科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	２年：６名		なし

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

（知及技）我が国の国土の様子と国民生活、自然環境の特色、先人の業績や優れた文化遺産、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度、工業の現状、産業と情報との関わり、外国の様子について、様々な資料や具体的な活動を通して、社会生活との関連を踏まえて理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けることができる。(高２段階)
（思判表力）社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、自分の生活と結び付けて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養うことができる。(高２段階)
（学・人）社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土に対する愛情、我が国の歴史や伝統を大切にして国を愛する心情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。(高２段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技) 我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、関連する先人の業績、優れた文化遺産などを理解することができる。（高1段階オ(ｲ)㋐） (思判表力) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、世の中の様子の変化を考え、表現することができる。（高1段階オ(ｲ)㋑） (学･人) 我が国の歴史上の主な事象に関わる学習活動を通して、社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うことができる。（高1段階オ(ｲ)）	(知･技) ・我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、世の中の様子の変化を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解しようとしている。 ・慰霊の日の取り組みの中で、絵本「へいわとせんそう」から戦時中と今の平和について比較しながら理解しようとしている。 (思･判･表) ・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、世の中の様子の変化を考え、表現しようとしている。 ・清明祭や旧盆の儀式についてプリントワークを通し、シール張りやなぞり書きで表現しようとしている。 (主学) ・我が国の歴史上の主な事象に関わる学習活動を通して、学習したことを社会生活に生かそうとする姿勢がみられる。 【評価資料】 授業プリント（振り返りシート）、活動の様子	・清明祭 ・糸満ハーレー ・旧盆 ・慰霊の日 ・沖縄県復帰記念日 ・沖縄そばの日 ・公休日について （※各行事の前後に年間を通して適宜行う。）	・地域の伝統的行事や沖縄の行祖先崇拝に対する行事についてパワーポイントの説明を受け、振り返りワークシートにシール張りやなぞり書きを行う。身近な生活の中にあるの先人の教えや文化について理解を深める。 ・慰霊の日について、戦争の話や図書室の特設展示見学を通して過去の事象や平和の意味に対し理解を深める。 ・絵本「へいわとせんそう」の読み聞かせを聞く。読後の振り返りワークシートで色塗りやなぞり書きで平和な時と戦争時の暮らしの比較を行う。
		(知及技) 世界における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などを大まかに理解することができる。（高2段階オ(ｱ)㋐） (思判表力) 世界の大陸と主な海洋、主な国の位置、海洋に囲まれ多数の島からなる国土の構成などに着目して、我が国の国土の様子を捉え、その特色を考え、表現することができる。（高2段階オ(ｱ)㋑） (学･人) 我が国の国土の様子と国民生活に関わる学習活動を通して、社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うことができる。（高2段階オ(ｱ)）	(知･技) ・ワークシート学習を通し世界における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などを大まかに理解しようとしている。 ・沖縄県とその他の地域を比較して、地理的位置などに着目し理解しようとしている。 (思･判･表) ・ワークシート学習を通し世界の大陸と主な海洋、主な国の位置、海洋に囲まれ多数の島からなる国土の構成などに着目して、我が国の国土の様子を捉え、その特色を考え、表現しようとしている。 (主学) ・我が国の国土の様子と国民生活に関わる学習活動を通して、学習したことを社会生活に生かそうとする姿勢がみられる。 【評価資料】 授業プリント（振り返りシート）、活動の様子	・世界の大陸と太洋 ・我が国の国土と領土・領域	・６つの大陸や３太洋についてワークシート上で各大陸の位置に合わせシール張りを行う。 ・ワークシート上で日本国の東西南北の端にある島を確認し、主権の及ぶ範囲について理解を深める。 ・教師と一緒にGoogleマップなどの電子マップを利用し世界における沖縄県の地理的位置を調べる。
2学期	30	(知及技)社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりを理解することができる。（高2段階ア(ｲ)㋐） (思判表力)社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりの意義と自分との関わりについて考え、表現することができる。（高2段階ア(ｲ)㋑） (学･人)社会生活を営む上で大切な法やきまりに関わる学習活動を通して、社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うことができる。（高2段階ア(ｲ)）	(知･技) ・社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりを理解しようとしている。 ・模擬投票や模擬選挙で、自分自身の一票が物事を決めることにつながるということを理解しようとしている。 (思･判･表) ・社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりの意義と自分との関わりについて考え、表現しようとしている。 ・生徒会役員を立候補者から選ぶ経験を持つことによって、自分で考え一票を投じるという意思表示をしようとしている。 (主学) ・社会生活を営む上で大切な法やきまりに関わる学習活動を通して、学習したことを社会生活に生かそうとする姿勢がみられる。 【評価資料】 授業プリント（振り返りシート）、活動の様子	・学校内のさまざまなルール ・１８歳選挙権 ・自動車運転免許 ・各種免許の必要性 ・日本国憲法	・食べたいおやつを選ぶ模擬選挙や、アニメのキャラクターを使った模擬投票を行う。 ・生徒会役員選挙について投票の方法を確認する。
		(知及技) 地域における公共施設や公共物の役割とその必要性を理解することができる。（高2段階イ(ｱ)㋐） (思判表力) 地域における公共施設や公共物の利用の仕方を調べ、適切な活用を考え、表現することができる。（高2段階イ(ｱ)㋑） (学･人) 公共施設の役割に関わる学習活動を通して、社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うことができる。（高2段階イ(ｱ)）	(知･技) ・地域における公共施設や公共物の役割とその必要性を理解しようとしている。 ・修学旅行先で訪れる公共施設や利用する公共物の役割と必要性を理解しようとしている。 (思･判･表) ・公共施設や公共物の利用の仕方を調べ、利用上のマナーやルールなど、適切な活用を考え、表現しようとしている。 (主学) ・公共施設の役割に関わる学習活動を通して、社会に主体的に関わろうとする姿勢がみられる。 【評価資料】 授業プリント（振り返りシート）、活動の様子	・公共施設・公共交通機関 ・空港見学・修学旅行にむけて事前事後学習	・空港見学・修学旅行にむけて事前学習を通し、公共施設である空港や旅客機の利用の仕方について学ぶ。 ・教師と共にグーグルマップを利用し、訪れる場所（ディズニーランド・宿泊施設・最寄り駅）を調べる。 ・修学旅行後に写真などを確認し振り返りを行う。

		(知及技) 関係機関や地域の人々の様々な努力により公害の防止や生活環境の改善が図られてきたことを理解するとともに、公害が国土の環境や国民の生活に影響を及ぼすことを理解することができる。（高1段階ウ(ｱ)㋑） (思判表力) 公害の発生時期や経過、人々の協力や努力などに着目して、公害防止の取組を捉え、その働きを考え、表現することができる。（高1段階ウ(ｱ)㋣） (学・人) 我が国の国土の自然環境と国民生活との関連に関わる学習活動を通して、社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うことができる。（高1段階ウ(ｱ)）	(知・技) ・ワークシートの学習により、関係機関や地域の人々の様々な努力により公害の防止や生活環境の改善が図られてきたことを理解しようとしている。 (思・判・表) ・公害の発生時期や経過、人々の協力や努力などに着目して、公害防止の取組を捉え、その働きを考え、表現しようとしている。 ・SDGsの取り組みのカードを選び、身近な環境保全の方法に着目して考え、表現しようとしている。 (主学) ・我が国の国土の自然環境と国民生活との関連に関わる学習活動を通して、社会に主体的に関わろうとする姿勢がみられる。 【評価資料】 授業プリント（振り返りシート）、活動の様子	・産業の発展による生活様式の変化 ・公害による健康への悪影響や環境破壊 ・公害防止の取り組み ・私にもできるSDGsの取り組み	・パワーポイントによる説明を聞き、過去や現在の沖縄県の抱える公害についてワークシートにシール張りやなぞり書きを行う。 ・県の行政や県内企業が行なっているSDGsの取り組みの中から、個人で実践できそうなものを選び、課題プリントで発表を行う。
3学期	16	(知及技) 我が国では様々な工業生産が行われていることや、国土には工業の盛んな地域が広がっていること及び工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解することができる。（高2段階工(ｱ)㋐） (思判表力) 工業の種類、工業の盛んな地域の分布、工業製品の改良などに着目して、工業生産の概要を捉え、工業生産が国民生活に果たす役割を考え、表現することができる。（高2段階工(ｱ)㋑） (学・人) 我が国の工業生産に関わる学習活動を通して、社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うことができる。（高2段階工(ｱ)）	(知・技) ・ワークシート学習によって、我が国では様々な工業生産が行われていることや、国土には工業の盛んな地域が広がっていること及び工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解しようとしている。 (思・判・表) ・工業の種類、工業の盛んな地域の分布、工業製品の改良などに着目して、工業生産の概要を捉え、工業生産が国民生活に果たす役割を考え、表現しようとしている。 ・クイズを解きながら、沖縄の産業に着目し、日常生活に即した消費活動について考え、表現しようとしている。 (主学) ・我が国の工業生産に関わる学習活動を通して、学習したことを社会生活に生かそうとする姿勢がみられる。 【評価資料】 授業プリント（振り返りシート）、活動の様子	・主な工業地帯の分布や生産量、消費量について ・産業について ・第２次産業 ・工業について ・建設業について ・食品加工業について	・主な工業地帯の広がりや生産量、消費量について、白地図のワークシート上にシール張りやなぞり書きを行う。 ・パワーポイントによる説明を受け、沖縄の産業について振り返りワークシートで○×クイズを解く。 ・教師と一緒に日常生活に即した消費活動について絵カードなどで確認する。
		(知及技)異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解することができる。（高1段階カ(ｱ)㋐） (思判表力)外国の人々の生活の様子などに着目して、日本の文化や習慣との違いについて考え、表現することができる。（高1段階カ(ｱ)㋑） (学・人)グローバル化する世界と日本の役割に関わる学習活動を通して、次の社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うことができる。（高1段階カ(ｱ)）	(知・技) ・我が国の国土の地形や気候の概要を理解するとともに、人々は自然環境に適応して生活していることを理解しようとしている。 ・ワークシート学習によって沖縄県とその他の地域を比較して、地形や気候などの自然条件から見て特色ある地域があることについて理解しようとしている。 (思・判・表) ・地形や気候などに着目して、国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現しようとしている。 ・教師との対話の中で、我が国や沖縄県の地形や気候にはどのような特色があるか、考えたことを表現しようとしている。 (主学) ・我が国の国土の様子と国民生活に関わる学習活動を通して、学習したことを社会生活に生かそうとする姿勢がみられる。 【評価資料】 授業プリント（振り返りシート）、活動の様子	・各国の様子 ・世界のお正月 ・日本と外国の文化の比較	・ハロウィンや感謝祭(ブラックフライデー)、クリスマスなど外国の文化を説明したパワーポイントの説明を聞き、ワークシートにシール張りやなぞり書きを行う。 ・距離が近い国(中国や韓国)や、関係が深い国(アメリカなど)の文化についてニュースなど動画を視聴する。 ・外国の人々の生活や文化は、日本と比べてどのような違いがあるのかについて教師と共に話し合う。

令和８年度　高等部3年（Ⅱ課程B）　社会科　年間指導計画

単位数／配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	3年：8名		なし

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

（知及技）我が国の国土の様子と国民生活、自然環境の特色、先人の業績や優れた文化遺産、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度、工業の現状、産業と情報との関わり、外国の様子について、様々な資料や具体的な活動を通して、社会生活との関連を踏まえて理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けることができる。（高２段階）
（思判表力）社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、自分の生活と結び付けて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養うことができる。（高２段階）
（学・人）社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土に対する愛情、我が国の歴史や伝統を大切にして国を愛する心情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技) 社会の中で互いに協力しながら、社会生活に必要な知識や技能を身に付けることができる。（高2段階ア(ｱ)㋐） (思判表力) 社会生活の中で状況を的確に判断し、国民としての権利及び義務、それに伴う責任について考え表現することができる。（高2段階ア(ｱ)㋑） (学･人) 社会参加するために必要な社会生活に関わる学習活動を通して、社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うことができる。（高2段階ア(ｱ)）	(知･技) ・社会の中で互いに協力しながら、社会生活に必要な知識や技能を身に付けようとしている。 ・学校や地域社会の中で、周囲と互いに協力することを通して、協力することのよさや意義を理解しようとしている。 ・学級のリーダーとしてアニメのキャラクターを選ぶとしたら誰を選んだほうがいいか、提示されたいくつかのヒントから理解しようとしている。 (思･判･表) ・社会生活の中で状況を的確に判断し、国民としての権利及び義務、それに伴う責任について考え、表現しようとしている。 ・生徒会役員を立候補者から選ぶ経験を持つことによって、自分で考え一票を投じるという意思表示をしようとしている。 (主学) ・社会参加するために必要な社会生活に関わる学習活動を通して、社会に主体的に関わろうとする姿勢がみられる。 【評価資料】 授業プリント（振り返りシート）、活動の様子	・学校・地域社会 ・集団生活・他者との共存 ・１８歳選挙権 ・自動車運転免許 ・各種免許の必要性 ・日本国憲法	・学級のリーダーを選ぶ模擬選挙や、アニメのキャラクターを使った模擬投票を行う。 ・生徒会役員選挙について投票の方法を確認する。
		(知及技) 生活に関係の深い制度について理解することができる。（高2段階イ(ｲ)㋐） (思判表力) 生活に関係の深い制度について調べ、その活用を考え、表現することができる。（高2段階イ(ｲ)㋑） (学･人) 制度に関わる学習活動を通して、社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うことができる。（高2段階イ(ｲ)）	(知･技) ・生活に関係の深い福祉制度について理解しようとしている。 ・自分自身やクラスメートの就業体験先の事業所の活動内容や場所について理解しようとしている。 (思･判･表) ・生活に関係の深い制度について調べ、その活用を考え、表現しようとしている。 ・地域の地図上に就業体験先を表現したマップを作成し、事業所の地理的位置を理解しようとしている。 (主学) ・制度に関わる学習活動を通して、学習したことを社会生活に生かそうとする姿勢がみられる。 【評価資料】 授業プリント（振り返りシート）、活動の様子	・選挙・税金・福祉 ・障害者手帳・年金	・就業体験先の事業所の種類についてパワーポイントによる説明を受け、ワークシートにシール張りやなぞり書きを行う。 ・教師と一緒に地域の地図上に就業体験先を表現したマップを作成する。
		(知及技) 自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解することができる。（高2段階ウ(ｱ)㋐） (思判表力) 国土の環境保全について、自分たちにできることなどを考え、表現することができる。（高2段階ウ(ｱ)㋑） (学･人) 我が国の国土の自然環境と国民生活との関連に関わる学習活動を通して、社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うことができる。（高2段階ウ(ｱ)）	(知･技) ・ワークシートによる学習で、自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解しようとしている。 ・糸満市のハザードマップを確認し、緊急事態における避難経路を理解しようとしている。 (思･判･表) ・国土の環境保全について、自分たちにできることなどを考え、表現しようとしている。 ・校内の防災施設を確認し、緊急時を想定した避難訓練の際に安全に移動しようとしている。 (主学) ・我が国の国土の自然環境と国民生活との関連に関わる学習活動を通して、学習したことを社会生活に生かそうとする姿勢がみられる。 【評価資料】 授業プリント（振り返りシート）、活動の様子	・地方自治体による災害対策の取り組み ・ハザードマップ ・地震・火災避難訓練事前事後学習 ・地方公共団体の環境保全の取り組み	・パワーポイントによる説明を受け、ワークシートにシール張りやなぞり書きを行い、沖縄県や糸満市における災害対策について学習する。 ・避難訓練の事前事後学習についての学習で、校内の避難経路や地域のハザードマップを確認する。

2学期	30	(知及技) 大量の情報や情報通信技術の活用は様々な産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解することができる。（高2段階工(ｲ)㋐） (思判表力) 情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して、産業における情報活用の現状を捉え、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、表現することができる。（高2段階工(ｲ)㋑） (学･人) 我が国の産業と情報との関わりに関わる学習活動を通して、社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うことができる。（高2段階工(ｲ)）	(知･技) ・大量の情報や情報通信技術の活用は様々な産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解しようとしている。 ・通信機器（手紙から電話、携帯電話、スマホ）の変遷について国民の生活が変容していくことについて理解しようとしている。 (思･判･表) ・情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して、産業における情報活用の現状を捉え、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、表現しようとしている。 ・身の回りの便利な通信機器を発見する体験を通して、現在の便利な生活について考え、表現しようとしている。 (主学) ・我が国の産業と情報との関わりに関わる学習活動を通して、社会に主体的に関わろうとする姿勢がみられる。 【評価資料】 授業プリント（振り返りシート）、活動の様子	・情報の種類 ・情報機器の変遷 ・情報の活用の仕方 ・情報通信産業について	・パワーポイントによる説明を受け、新聞やテレビなどのメディアとタブレット端末などから得られるインターネットの情報を比較する。 ・身の回りの便利な機械や通信機器を発見して発表する。情報通信機器の歴史について、昔の世代と今の世代の生活の変化についてワークシートを完成させる。
		(知及技) 我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、関連する先人の業績、優れた文化遺産などを理解することができる。（高1段階オ(ｲ)㋐） (思判表力) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、世の中の様子の変化を考え、表現することができる。（高1段階オ(ｲ)㋑） (学･人) 我が国の歴史上の主な事象に関わる学習活動を通して、社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うことができる。（高1段階オ(ｲ)）	(知･技) ・我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、世の中の様子の変化を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解しようとしている。 ・慰霊の日の取り組みの中で、絵本「へいわとせんそう」から戦時中と今の平和について比較しながら理解しようとしている。 (思･判･表) ・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、世の中の様子の変化を考え、表現しようとしている。 ・清明祭や旧盆の儀式についてプリントワークを通し、シール張りやなぞり書きで表現しようとしている。 (主学) ・我が国の歴史上の主な事象に関わる学習活動を通して、学習したことを社会生活に生かそうとする姿勢がみられる。 【評価資料】 授業プリント（振り返りシート）、活動の様子	・清明祭 ・糸満ハーレー ・旧盆 ・慰霊の日 ・沖縄県復帰記念日 ・沖縄そばの日 ・公休日について （※各行事の前後に年間を通して適宜行う。）	・地域の伝統的行事や沖縄の行祖先崇拝に対する行事についてパワーポイントの説明を受け、振り返りワークシートにシール張りやなぞり書きを行う。身近な生活の中にあるの先人の教えや文化について理解を深める。 ・慰霊の日について、戦争の話や図書室の特設展示見学を通して過去の事象や平和の意味に対し理解を深める。 ・絵本「へいわとせんそう」の読み聞かせを聞く。読後の振り返りワークシートで色塗りやなぞり書きで平和な時と戦争時の暮らしの比較を行う。
3学期	16	(知及技) 我が国は、平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解すること。（高2段階カ(ｱ)㋐） (思判表力) 地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などに着目して、国際社会において我が国が果たしている役割を考え、表現することができる。（高2段階カ(ｱ)㋑） (学･人) グローバル化する世界と日本の役割に関わる学習活動を通して、社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うことができる。（高2段階カ(ｱ)）	(知･技) ・我が国は、平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解しようとしている。 (思･判･表) ・地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などに着目して、国際社会において我が国が果たしている役割を考え、表現しようとしている。 ・SDGsについて身近な生活の中で取り入れることができる行動をカードを使って選び発表しようとしている。 (主学) ・グローバル化する世界と日本の役割に関わる学習活動を通して、社会に主体的に関わろうとする姿勢がみられる。 ・外国由来の身近なイベントの成り立ちや外国の様子を知り、より楽しんで行事に参加しようとしている。 【評価資料】 授業プリント（振り返りシート）、活動の様子	・私にもできるSDGsの取り組み ・外国の様子（ハロウィン・クリスマス・世界のお正月）	・国連で提唱されたSDGsの取り組みについて、持続可能な開発に向けて自分でも取り組むことができる内容をカードで選ぶ。 ・世界の行事についてパワーポイントで説明を受け、ワークシートにシール張りやなぞり書きを行う。

令和8年度　高等部１年（Ⅱ課程A）　数学科　年間指導計画

単位数／配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	1年Aグループ　9名		なし

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

(知及技) 整数、小数、分数及び概数の意味と表し方や四則の関係について理解するとともに、整数、小数及び分数の計算についての意味や性質について理解し、それらを計算する技能を身に付けることができる。(高１段階)
(思判表力)数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、数の比べ方や表し方を統合的に捉えて考察したり、数とその表現や数量の関係に着目し、目的に合った表現方法を用いて計算の仕方を考察したりするとともに、数量の関係を簡潔に、また一般的に表現することができる。(高１段階)
(学･人)数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えようとしたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりすることができる。(高１段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	15	(知及技) ・概数が用いられる場面について知ることができる。(高１段階Aウ(ア)㋐) ・四捨五入について知ることができる。(高１段階Aウ(ア)㋑) ・目的に応じて四則計算の結果の見積りをすることができる。(高１段階Aウ(ア)㋒) (思判表力) ・日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理の仕方を考えるとともに、それを日常生活に生かすことができる。(高１段階Aウ(イ)㋐) (学･人) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えようとしたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりすることができる。(高１段階)	(知・技) ・概数が用いられる場面がわかる。 ・四捨五入がわかる。 ・目的に応じて四則計算の結果の見積りをしている。 (思･判･表) ・買い物における概数の使い方について考える学習をとおして、日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理の仕方を考えるとともに、それを日常生活に生かそうとしている。 (主学) ・単元テストや買い物学習において、数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えようとしたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。	単元「数と計算　概数」 ・概数（おおよその数） ・切り捨て、切り上げ ・四捨五入 ・見積もりの計算、買い物学習	・プリント学習や具体物操作をする。 ・身の回りや生活で実際に使われている題材を授業に取り入れる。 ・概数を用いた見積もりの計算について考える。 ・買い物学習で切り上げの考え方をもちいて必要な金額を求め、予算内でノートを選び購入する。
	8	(知及技) ・万の単位を知ることができる。(高１段階Aア(ア)㋐) ・10 倍、100 倍、1000 倍、の大きさの数及びその表し方の理解を深めることができる。・万の単位を知ることができる。(高１段階Aア(ア)㋑) ・億、兆の単位について知り、十進位取り記数法についての理解を深めることができる。・万の単位を知ることができる。(高１段階Aア(ア)㋒) (思判表力) ・数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を統合的に捉えるとともに、それらを日常生活に生かすことができる。(高１段階Aア(イ)㋐) (学･人) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えようとしたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりすることができる。(高１段階)	(知・技) ・万の単位がわかる。 ・10 倍、100 倍、1000 倍、の大きさの数及びその表し方の理解を深めている。 ・億、兆の単位について知り、十進位取り記数法についての理解を深めている。 (思･判･表) ・数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を統合的に捉えるとともに、それらを日常生活に生かそうとしている。 (主学) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えようとしたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。	単元「数と計算　整数」 ・万までの数 ・億、兆の単位 ・大きな数の読み書き（十進位取り記数法） ・大きな数の大小 ・10倍100倍1000倍の数	・プリント学習や具体物操作をする。 ・身の回りや生活で実際に使われている題材を授業に取り入れる。 ・世の中にある大きな数についてインターネットで調べる。 ・大きな数の構成を知り、大小を比較する。 ・電卓を用いて10倍、100倍、1000倍した大きさを調べ、位に注目して特徴をまとめる。
	12	(知及技) ・ある数の10倍、100倍、1000倍、などの大きさの数を、小数点の位置を移してつくることができる。(高１段階Aイ(ア)㋐) ・小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知るとともに、数の相対的な大きさについての理解を深めることができる。(高１段階Aキ(ア)㋑) (思判表力) ・数の表し方の仕組みに着目し、数の相対的な大きさを考察し、計算などに有効に生かすことができる。(高１段階Aイ(イ)㋐) (学･人) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりすることができる。(高１段階)	(知・技) ・ある数の10倍、100倍、1000倍、などの大きさの数を、小数点の位置を移してつくろうとしている。 ・小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知るとともに、数の相対的な大きさについての理解を深めている。 (思･判･表) ・１に満たない大きさを表すために0.1の単位を作ったときの考えをもとに、0.01などの単位を作ることを考えている。 ・数の表し方の仕組みに着目し、数の相対的な大きさを考察し、計算などに有効に生かそうとしている。 (主学) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。	単元「数と計算　整数と小数」 ・小数の表し方 ・小数の10倍、100倍、1000倍	・プリント学習や具体物操作をする。 ・身の回りや生活で実際に使われている題材を授業に取り入れる。 ・小数の位取り(1/100の位、1/1000の位)と、整数、小数の十進数としてのしくみを知る。 ・電卓を用いて小数の10倍、100倍、1000倍について調べ、位に注目して特徴をまとめる。

2学期	15	(知及技) ・小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知るとともに、数の相対的な大きさについての理解を深めることができる。（高１段階Aキ(ア)㋑） ・小数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算をすることができる。（高１段階Aキ(ア)㋒） (思判表力) ・数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、計算の仕方を考えるとともに、それを日常生活に生かすことができる。（高１段階Aキ(イ)㋑） (学・人) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりすることができる。（高１段階）	(知・技) ・小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知るとともに、数の相対的な大きさについての理解を深めている。 ・小数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算をしている。 (思・判・表) ・1/100の位までの小数の加法及び減法の計算のしかたを、整数の計算のしかたなどと関連づけて考えている。 (主学) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。	単元「数と計算　小数と計算」 ・小数の大きさ ・小数の足し算、引き算	・プリント学習や具体物操作をする。 ・身の回りや生活で実際に使われている題材を授業に取り入れる。 ・0.1や0.01を単位とし、小数をまとまりで捉える。 ・小数の大小比較のしかたを考える。 ・1/10の位の小数の加法の計算のしかたを考える。
	15	(知及技) ・乗数や除数が整数である場合の小数の乗法及び除法の計算をすることができる。（高１段階Aキ(ア)㋓） ・ある量の何倍かを表すのに小数を用いることを知ることができる。（高１段階Aキ(ア)㋐） (思判表力) ・数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、計算の仕方を考えるとともに、それを日常生活に生かすことができる。（高１段階Aキ(イ)㋐） (学・人) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりすることができる。（高１段階）	(知・技) ・乗数や除数が整数である場合の小数の乗法及び除法の計算をしている。 ・ある量の何倍かを表すのに小数を用いることがわかる。 (思・判・表) ・数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、計算の仕方を考えるとともに、それを日常生活に生かそうとしている。 ・乗数が整数である場合の小数の乗法の計算のしかたを、小数の意味や既習の計算などをもとに考えている。 ・除数が整数である場合の小数の除法の計算のしかたを、小数の意味や既習の計算などをもとに考えている。 (主学) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。	単元「数と計算　小数と計算」 ・小数のかけ算 ・小数の割り算 ・小数倍	・プリント学習や具体物操作をする。 ・身の回りや生活で実際に使われている題材を授業に取り入れる。 ・小数をまとまりとして捉え、整数と同じようにかけ算や割り算ができることを知る。 ・何倍かを表す数が小数になる場合があることを知る。
	15	(知及技) ・ある二つの数量関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを理解することができる。（高１段階） ・百分率を用いた表し方を理解し、割合などを求めることができる。（高１段階Cウ(ア)㋐） (思判表力) ・日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係との比べ方を考察し、それを日常生活に生かすことができる。（高１段階Cウ(イ)㋐） (学・人) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりすることができる。（高１段階）	(知・技) ・ある二つの数量関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを理解している。 ・百分率を用いた表し方を理解し、割合などを求めている。 (思・判・表) ・日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係との比べ方を考察し、それを日常生活に生かそうとしている。 ・シュートの成功率を考える学習をとおして、ある２つの数量の関係と別の２つの数量の関係との比べ方を、基準量をそろえるなどして考えている。 (主学) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。	単元「変化と関係　割合/百分率」 ・割合（分数） ・割合（小数） ・分数と小数、百分率の関係 ・割合（百分率） ・割引 ・割り増し ・消費税	・プリント学習や具体物操作をする。 ・身の回りや生活で実際に使われている題材を授業に取り入れる。 ・一人一人の挑戦回数を変えたボール入れゲームに取り組み、シュートの成功率が高いのはだれか考える。 ・シュートの成功割合を分数で表し、数直線上で表し比較する。 ・小数を分数に直す方法を知り、割合を小数で表す方法について知る。 ・小数で表した割合を百分率で表す方法について知る。 ・割引の値段の求め方を考える。 ・割り増しの量の求め方を考える。 ・消費税について考える。

3学期	15	(知及技) ・平行四辺形、ひし形、台形について知ることができる。（高１段階Bア(ア)㋐） (思判表力) ・図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見いだし、その性質を筋道を立てて考え説明したりすることができる。（高１段階Bア(イ)㋐） (学・人) ・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりすることができる。（高１段階）	(知・技) ・垂直や平行がわかる。 ・平行四辺形、ひし形、台形がわかる。 (思・判・表) ・図形を観察する観点として、直線の位置関係に着目している。 ・垂直、平行の定義や性質をもとに、それらの直線の構成のしかたを考えている。 ・平行な直線はほかの直線と等しい角度で交わることに気づいている。 ・平行四辺形の辺の長さや角の大きさを観察し、その性質を見出している。 (主学) ・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。	単元「図形　平面図形」 ・垂直 ・平行 ・平行の性質 ・垂直や平行の作図 ・仲間分けしよう（平行四辺形、菱形、台形） ・平行四辺形、ひし形、台形の性質	・プリント学習や具体物操作をする。 ・身の回りや生活で実際に使われている題材を授業に取り入れる。 ・直線の交わり方を調べ、垂直の意味を知る。 ・平行について知る。 ・いろいろな四角形を、辺の並び方に着目して分類し、台形、平行四辺形について知る。 ・いろいろな長さの棒を組み合わせて平行四辺形を作成し、平行四辺形の辺の長さの性質について知る。 ・平行四辺形の角の大きさを調べ、向かい合った角の大きさはそれぞれ等しいことを知る。
	10	(知及技) ・図形の形や大きさが決まる要素について理解するとともに、図形の合同について理解することができる。（高１段階Bア(ア)㋑） ・三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解することができる。（高１段階Bア(ア)㋒） (思判表力) ・図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見いだし、その性質を筋道を立てて考え説明したりすることができる。（高１段階Bア(イ)㋐） (学・人) ・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりすることができる。（高１段階）	(知・技) ・図形の形や大きさが決まる要素について理解するとともに、図形の合同について理解している。 ・三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解している。 (思・判・表) ・図形が「決まる」という意味を理解し、合同な図形の能率的なかき方を考え、合同な三角形や四角形をかくために必要な構成要素を見いだしている。 ・いろいろな三角形について調べ、三角形の３つの角の大きさの和が180°になることを帰納的に見いだしている。 ・四角形の内角の和が360°になることを、三角形の内角の和が180°であることをもとに、演繹的に考えている。 ・多角形の内角の和について、四角形の内角の和の求め方をもとに、発展的に考えている。 (主学) ・図形の合同及び多角形の内角の和の性質について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。	単元「図形　平面図形」 ・図形の大きさが決まる要素 ・図形の形が決まる要素 ・合同な三角形 ・合同な四角形 ・多角形の内角の和	・プリント学習や具体物操作をする。 ・身の回りや生活で実際に使われている題材を授業に取り入れる。 ・合同の意味を知る。 ・合同な２つの四角形を調べ、対応する頂点、辺、角の意味や、対応する辺の長さ、対応する角の大きさがそれぞれ等しいことを知る。 ・三角形の３つの角の大きさの和を調べる。 ・多角形の内角の和について調べる。
留意点 引継ぎ等					

令和　8年度　高等部　　1年（Ⅱ課程A）　数学科　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
3／105	1年Bグループ　9名		くらしに役立つ数学、ひとりだちするための算数・数学

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

(知及技)
数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけることができる。(高１段階)
(思判表力)
日常の事象を数理的に捉え見通しをもち道筋を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表したりすることができる。(高１段階)
(学･人)
数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとすることができる。(高１段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	36	(知及技) 万の単位を知ることができる。(高1段階Ａア(イ)㋐) 億、兆の単位について知り、十進位取り記数法について知ることができる。 (思判表力) 数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を統合的に捉えることができる。(高１段階Ａア(イ)㋐) (学･人) 数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用することができる。(高１段階)	(知・技) 万の単位を知っている。 億、兆の単位について知り、十進位取り記数法を用いている。 (思･判･表) 数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を統合的に捉えようとしている。 (主学) 数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用している。	単元「整数」 ・万までの数 ・大きな数の読み書き ・大きな数の大小	・プリント学習や視聴教材を活用する。 ・身の回りや生活で実際に使われている題材を授業に取り入れる。
2学期	23	(知及技) 加法及び減法の計算が確実にでき、それらを適切に用いることができる。(高等部１段Ａエ(ア)㋑) (思判表力) 数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり、計算の確かめをしたりすることができる。(高１段階Ａ（イ）㋐) (学・人) 数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用することができる。(高１段階)	(知・技) 加法及び減法の計算が確実にでき、それらを適切に用いている。 (思･判･表) 数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり、計算の確かめをしたりしようとしている。 (主学) 数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用している。	単元「整数の加法と減法」 ・大きな数の足し算 ・大きな数の引き算 ・足し算、引き算の筆算 ・大きな数の暗算 ・買い物学習	・プリント学習や視聴教材を活用する。 ・電卓を活用して自分で解いた問題の正当を確認する。 ・買い物学習では金額内で目的じた商品の購入やレシートから買い物情報を読み取る練習を行う。
	23	(知及技) 平行四辺形、ひし形、台形について知ることができる。(高1段階Ｂア(ア)㋐) (思判表力) 図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成の仕方を考察し図形の性質を見いだすとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直すことができる。(高１段階Ｂア(イ)㋐) (学・人) 数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用することができる。(高１段階)	(知・技) 平行四辺形、ひし形、台形について知っている。 (思･判･表) 図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成の仕方を考察し図形の性質を見いだすとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直そうとしている。 (主学) 数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用している。	単元「平面図形」 ・平行四辺形、ひし形、台形の仲間分け ・平行四辺形、ひし形、台形の性質 ・図形の形が決まる要素	・プリント学習や視聴教材を活用する。 ・具体物を活用して図形の特徴や性質をイメージをしやすくする。 ・調べ学習を通して様々な図形について調べる。 ・身の回りや生活で実際に使われている題材を授業に取り入れる。
3学期	23	(知及技) 速さなどの単位量当たりの大きさの意味を理解し、それを求めることができる。(高１段階Ｃイ(ア)㋐) (思判表力) 数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を考察することができる。(高１段階Ｃイ(イ)㋐) (学・人) 数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用することができる。(高１段階)	(知・技) 速さなどの単位量当たりの大きさの意味を理解している。 (思･判･表) 数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べ、数量について考え、表現している。 (主学) 数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用している。	単元「割合」 ・速さの求め方 ・速さの比較 単元「単位量当たりの大きさ」 ・単位量当たりの大きさ ・単位量当たりの値段	・プリント学習や視聴教材を活用する。 ・身の回りや生活で実際に使われている題材を授業に取り入れる。 ・速さや量を知ることで生活でどのように繋げるかグループ活動で考える。

留意点引継ぎ等	

令和８年度 高等部　２年（Ⅱ課程A）　数学　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
３／１０５	２年Aグループ11名		くらしに役立つ数学

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等

年間目標	(知及技）整数、小数、分数及び概数の意味と表し方や四則の関係について理解するとともに、整数、小数及び分数の計算についての意味や性質について理解し、それらを計算する技能を身に付けることができる。(高１段階) (思判表力)数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、数の比べ方や表し方を統合的に捉えて考察したり、数とその表現や数量の関係に着目し、目的に合った表現方法を用いて計算の仕方を考察したりするとともに、数量の関係を簡潔に、また一般的に表現することができる。(高１段階) (学･人)数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えようとしたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりすることができる。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	20	(知及技) ・大きな数の加法及び減法の計算が、２位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解することができる。また、その筆算の仕方について理解することができる。（高１段階A工(ア)㋐） ・加法及び減法の計算が確実にでき、それらを適切に用いることができる。（高１段階A工(ア)㋑） ・２位数や３位数に１位数や２位数をかける乗法の計算が、乗法九九などの基本的な計算を基にしてできることを理解することができる。また、その筆算の仕方について理解することができる。（高１段階Aオ(ア)㋐） ・乗法の計算が確実にでき、それを適切に用いることができる。（高１段階Aオ(ア)㋑） ・乗法に関して成り立つ性質について理解することができる。（高１段階Aオ(ア)㋒） ・除数が１位数や２位数で被除数が２位数や３位数の場合の計算 が、基本的な計算を基にしてできることを理解することができる。また、その筆算の仕方について理解することができる。（高１段階Aカ(ア)㋐） ・除法の計算が確実にでき、それを適切に用いることができる。（高１段階Aカ(ア)㋑） ・除法について、次の関係を理解することができる。（高１段階Aカ(ア)㋒） （被除数）＝（除数）×（商）＋（余り） ・除法に関して成り立つ性質について理解することができる。（高１段階Aカ(ア)㋓） (思判表力) ・数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり、計算の確かめをしたりすることができる。（高１段階Aエオカ(イ)㋐） (学・人) ・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとすることができる。（高１段階）	(知・技) ・大きな数の加法及び減法の計算が、２位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解している。また、その筆算の仕方について理解している。 ・加法及び減法の計算が確実にでき、それらを適切に用いている。 ・２位数や３位数に１位数や２位数をかける乗法の計算が、乗法九九などの基本的な計算を基にしてできることを理解している。また、その筆算の仕方について理解している。 ・乗法の計算が確実にでき、それを適切に用いている。 ・乗法に関して成り立つ性質について理解している。 ・除数が１位数や２位数で被除数が２位数や３位数の場合の計算が、基本的な計算を基にしてできることを理解している。また、その筆算の仕方について理解している。 ・除法の計算が確実にでき、それを適切に用いている。 ・除法について、次の関係を理解している。 （被除数）＝（除数）×（商）＋（余り） ・除法に関して成り立つ性質について理解している。 (思･判･表) ・大きな数の加法、減法、乗法、除法の導入で、既習事項を振り返り、数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしている。 ・計算に関して成り立つ性質を活用して、幾つかの数をまとめたり、順序を変えたりして計算を工夫したり確かめたりしている。 ・乗法について、交換法則や結合法則を用いて計算を簡単にする工夫をしている。 (主学) ・２位数などの基本的な計算を元に、大きな数の計算を考えるよさに気づき、買い物学習で生かそうとしている。 ・既習の数の見方や計算の仕方を活用し、未習の計算の仕方を見付け出そうと粘り強く考えている。 ・自分の学習方法を見直し、単元テストに臨んだり、ノートを振り返りながら粘り強く課題に取り組もうとしている。	単元「整数の加法と減法」 ・大きな数の足し算 ・大きな数の引き算 ・足し算、引き算の筆算 ・大きな数の暗算 ・買い物学習 ・お小遣い帳をつけよう 単元「整数の乗法」 ・大きな数のかけ算 ・かけ算の筆算 ・立式 ・かけ算の性質 単元「整数の除法」 ・大きな数の割り算 ・割り算の筆算 ・余りのある割り算 ・立式 ・割り算の性質 ・生活に生かそう	・プリント学習や具体物操作をする。 ・身の回りや生活で実際に使われている題材を授業に取り入れる。 ・数のまとまりに注目し、３位数同士の加減算の暗算のしかたについて考える。 ・買い物学習において、大きな数の暗算を活用し、400円の予算内でノートを２冊購入する。 ・２位数×１位数＝２位数について、数のまとまりに注目し、既習事項を用いて考え、筆算の仕方をまとめる。 ・２位数×１位数＝３位数について、数のまとまりに注目し、既習事項を用いて考える。 ・３位数×１位数＝３位数について、数のまとまりに注目し、既習事項を用いて考える。 ・３位数×１位数＝４位数について、数のまとまりに注目し、既習事項を用いて考える。 ・２位数×２位数について、既習事項を用いて考え、筆算の仕方をまとめる。 ・３位数×２位数について、既習事項を用いて考える。 ・３位数÷１位数の計算の仕方を、数のまとまりに注目し、既習事項を用いて考える。 ・具体物を操作しながら13個の飴を３個ずつ分ける方法について考え、余りのある除法の意味や式の表し方を知る。 ・８÷４と80÷40や800÷400を比較し、被除数と除数に同じ数をかけても、同じ数でわっても、商は変わらないことを知る。 ・被乗数や被除数、乗数や除数を10倍すると積や商はどのように変わるか調べて、乗除の計算のきまりをまとめる。 ・手持ちの材料でクッキーをいくつ作ることができるか考える。
	8	(知及技) ・四則の混合した式や（ ）を用いた式について理解し、正しく計算することができる。（高１段階Aコ(ア)㋐） ・公式についての考え方を理解し、公式を用いることができる。（高１段階Aコ(ア)㋑） ・数量を□、などを用いて表し、その関係を式に表したり、□、などに数を当てはめて調べたりすることができる。（高１段階Aコ(ア)㋒） ・数量の関係を表す式についての理解を深めることができる。（高１段階Aコ(ア)㋓） (思判表力) ・問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔に、また一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりすることができる。（高１段階Aコ(イ)㋐） ・二つの数量の対応や変わり方に着目し、簡単な式で表されている関係について考察することができる。（高１段階Aコ(イ)㋑） (学・人) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えようとしたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりすることができる。（高１段階）	(知・技) ・四則の混合した式や（ ）を用いた式について理解し、正しく計算している。 ・公式についての考え方を理解し、公式を用いている。 ・数量を□、などを用いて表し、その関係を式に表したり、□、などに数を当てはめて調べたりしている。 ・数量の関係を表す式についての理解を深めている。 (思･判･表) ・問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔に、また一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりしている。 ・二つの数量の対応や変わり方に着目し、簡単な式で表されている関係について考察している。 (主学) ・数量について数学的に表現・処理することのよさに気づき、学習したことを生かそうとしている。	単元「四則混合の式」 ・四則混合の式 ・（ ）を用いた式 ・公式 ・□を用いた式 ・数量の関係を表す式	・プリント学習や具体物操作をする。 ・身の回りや生活で実際に使われている題材を授業に取り入れる。 ・( )を用いて式に表す方法について考える。 ・( )がある場合とない場合の計算順序の違いを比べることをとおして、( )を用いた式や四則の混合した式の計算順序についてまとめる。 ・乗法と加法の分配法則を知る。 ・分配法則、交換法則、結合法則を○、△などの記号を用いた式に表し、数をあてはめて成り立つことを確かめる。 ・面積の公式について復習し、公式に数を当てはめ面積を求める。

	8	(知及技) ・等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表すのに分数を用いることについて理解することができる。また、分数の表し方について知ることができる。（高１段階Aケ(ア)㋐） ・分数が単位分数の幾つ分かで表すことができる。（高１段階Aケ(ア)㋑） ・簡単な場合について、分数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算ができる。（高１段階Aケ(ア)㋒） ・簡単な場合について、大きさの等しい分数があることを知ることができる。（高１段階Aケ(ア)㋓） ・同分母の分数の加法及び減法の計算をすることができる。（高１段階Aケ(ア)㋔） (思判表力) ・数のまとまりに着目し、分数でも数の大きさを比べたり、計算したりできるかどうかを考えるとともに、分数を日常生活に生かすことができる。（高１段階Aケ(イ)㋐） ・数を構成する単位に着目し、大きさの等しい分数を探したり、計算の仕方を考えたりするとともに、それを日常生活に生かそうとすることができる。（高１段階Aケ(イ)㋑） (学・人) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えようとしたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりすることができる。（高１段階）	(知・技) ・等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表すのに分数を用いることについて理解している。また、分数の表し方がわかる。 ・分数が単位分数の幾つ分かで表すことができることがわかる。 ・簡単な場合について、分数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算ができることを知っている。 ・簡単な場合について、大きさの等しい分数があることがわかる。 ・同分母の分数の加法及び減法の計算をしている。 (思･判･表) ・単位分数という数のまとまりに着目し、分数でも数の大きさを比べたり、計算したりできるかどうかを考えるとともに、分数を日常生活に生かそうとしている。 ・数を構成する単位に着目し、大きさの等しい分数を探したり、計算の仕方を考えたりするとともに、それを日常生活に生かそうとしている。 (主学) ・数量について数学的に表現・処理し、多面的に捉え検討し、粘り強く考えようとしている。	単元「分数」 ・分数の表し方 ・分数の大きさ ・単位分数 ・分数の足し算、引き算① ・大きさの等しい分数 ・分数の足し算、引き算②	・プリント学習や具体物操作をする。 ・身の回りや生活で実際に使われている題材を授業に取り入れる。 ・テープや水、ケーキの等分など、いろいろな題材を等分してできるものを分数で表す方法について知る。 ・分数の表し方を知る。 ・「分母」と「分子」の意味を知る。 ・分数を数直線上に表し、分母と分子が同じ数のときは１になることを知る。 ・同分母の分数の大小を比べる。 ・テープを１/２m、３/１m、１/４m・・・の順に並べ、分母が大きくなった場合の単位分数の大きさについて考える。 ・４等分、８等分したケーキを比較し、大きさの等しい分数があることを知る。
２学期	6	(知及技) ・速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解し、それを求めることができる。（高１段階Cイ(ア)㋐） (思判表力) ・異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり、表現したりする方法を考察し、それらを日常生活に生かそうとすることができる。（高１段階Cイ(イ)㋐） (学・人) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えようとしたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりすることができる。（高１段階）	(知・技) ・単位量あたりの値段の求め方がわかり、適切に表している。 ・速さの意味や表し方がわかり、求めている。 (思･判･表) ・単位量あたりの値段を比較し大きさを比べている。 ・人間の歩く速さ、自動車の速さ、ボールの速さなど、目的に応じて調べる距離や時間の単位を工夫し、速さを求めたり比較したりしている。 (主学) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えようとしたり、数学のよさに気付き学習したことを生活に活用しようとしたりしている。	単元「割合／単位量あたりの大きさ」 ・単位量あたりの大きさ ・単位量あたりの値段 ・速さの求め方 ・速さについて調べよう（人間、自動車、その他）	・プリント学習や具体物操作をする。 ・身の回りや生活で実際に使われている題材を授業に取り入れる。 ・いろいろなものの単位量あたりの大きさについて考える。 ・大容量のものと通常サイズのものの値段について、単位量あたりの値段を比較しどちらがお得か考える。 ・50m走を行いそれぞれが何秒で走ることができたか確認し、１秒あたりに何m走ったか調べ、速さの求め方を知る。 ・人間の歩く速さや自動車の速さ、ボールを投げる速さなどいろいろな速さを調べ、速さに関する理解を深める。
	6	(知及技) ・数量の関係を割合で捉え、円グラフや帯グラフで表したり、読んだりすることができる。（高１段階Dア(ア)㋐） ・円グラフや帯グラフの意味やそれらの用い方を理解することができる。（高１段階Dア(ア)㋑） ・データの収集や適切な手法の選択など統計的な問題解決の方法を知ることができる。（高１段階Dア(ア)㋒） (思判表力) ・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して読み取り、その結論について多面的に捉え考察することができる。（高１段階Dア(イ)㋐） (学・人) ・データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとすることができる。（高１段階）	(知・技) ・数量の関係を割合で捉え、円グラフや帯グラフで表したり、読んだりしている。 ・円グラフや帯グラフの意味やそれらの用い方を理解している。 ・データの収集や適切な手法の選択など統計的な問題解決の方法がわかる。 (思･判･表) ・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して読み取り、その結論について多面的に捉え考察しようとしている。 (主学) ・データの活用について数学的に表現・処理することのよさに気づき、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元「いろいろなグラフ」 ・円グラフ ・帯グラフ ・適切なグラフを選ぼう ・データの収集	・プリント学習や具体物操作をする。 ・身の回りや生活で実際に使われている題材を授業に取り入れる。 ・円グラフや帯グラフの数値の読み取り方を知る。 ・割合を百分率で表し、それを帯グラフ、円グラフに表す。 ・目的に応じて適切なグラフを考える。 ・アンケート調査を行い、データを分類整理し、適切なグラフにまとめて、データの特徴や傾向について考える。
	6	(知及技) ・円と関連させて正多角形の基本的な性質を知ることができる。（高１段階Bア(ア)㋓） ・円周率の意味について理解し、それを用いることができる。（高１段階Bア(ア)㋔） (思判表力) ・図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成の仕方を考察し図形の性質を見いだすとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直すことができる。（高１段階Bア(イ)㋐） (学・人) ・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとすることができる。（高１段階）	(知・技) ・円と関連させて正多角形を作図している。 ・円周率の意味について理解し、それを用いている。 (思･判･表) ・円周と直径を測定する活動をとおして、どんな大きさの円でも円周と直径の割合は一定であることを見いだしている。 (主学) ・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えようとしている。	単元「平面図形」 ・円と正多角形 ・円周率	・プリント学習や具体物操作をする。 ・身の回りや生活で実際に使われている題材を授業に取り入れる。 ・多角形（正六角形、正八角形、正方形）の特徴を調べ、正多角形の意味を知る。 ・円の中心の周りの角を等分する方法で、正八角形や正六角形をかく。 ・いろいろな円の円周の長さと直径の長さを調べる。 ・円周率の意味、円周率＝円周÷直径の関係を知る。 ・円周率を用いて、円の直径から円周を求める方法を考える。 ・円周の長さから直径の長さを求める方法を考える。
	6	(知及技) ・円の面積の計算による求め方について理解することができる。（高２段階Bウ(ア)㋐） (思判表力) ・図形を構成する要素などに着目し、基本図形の面積の求め方を見いだすとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導くことができる。（高２段階Bウ(イ)㋐） (学・人) ・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとすることができる。（高２段階）	(知・技) ・円の面積の計算による求め方を理解している。 (思･判･表) ・円を等分して並べ替え、既習の長方形とみなして面積を求める計算方法を考えている。 ・図形を構成する要素を判断し、円の一部とみられる図形や円などを組み合わせた図形の面積の求め方を、図や式などを用いて考えたり表現したりしている。 (主学) ・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えようとしている。	単元「円の面積」 ・円の面積 ・公式 ・扇形の面積 ・いろいろな図形の面積	・プリント学習や具体物操作をする。 ・身の回りや生活で実際に使われている題材を授業に取り入れる。 ・円を等分して並べ替え、長方形とみて計算で面積を求める。 ・円の面積の求め方を公式にまとめる。 ・おうぎ形の面積を、もとの円の何分の一かを考えて求める。 ・既習事項を活用し、円や四角形、三角形を組み合わせた図形の面積を求める。

3 学 期	22	(知及技) ・縮図や拡大図について理解することができる。（高２段階Bア(ア)㋐） ・対称な図形について理解することができる。（高２段階Bア(ア)㋑） (思判表力) ・図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見いだしたりするとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直したり、日常生活に生かすことができる。（高２段階Bア(イ)㋐） (学・人) ・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとすることができる。（高２段階）	(知・技) ・縮図や拡大図について理解している。 ・対称な図形について理解している。 (思･判･表) ・２つの図形間の関係を拡大、縮小の関係という観点で考察している。 ・拡大図や縮図の作図の仕方を、それらの性質や合同な図形などの既習事項をもとに考えている。 ・対称な図形について、図形を構成する要素の関係を考察して性質を見いだすとともに、その性質をもとに作図の仕方を考えている。 ・対称という観点から既習の図形を捉え直し、図形を分類整理したり、分類した図形の特徴を見いだしたりしている。 (主学) ・図形や数量について数学的に表現・処理することの良さに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元「平面図形」 ・拡大、縮小 ・拡大図と縮図 ・角の大きさ、辺の長さの比 ・地上絵をかこう ・分類しよう（線対称、点対称） ・線対称な図形の書き方 ・点対称な図形の書き方	・プリント学習や具体物操作をする。 ・身の回りや生活で実際に使われている題材を授業に取り入れる。 ・大きさは違っても同じに見える形について、対応する辺の長さや角の大きさを調べ、拡大図、縮図の意味を知る。 ・図形の特徴を調べて、線対称な図形と点対称な図形を分類する。 ・線対称な図形、対称の軸の意味を知る。 ・点対称な図形、対称の中心の意味を知る。 ・線対称な図形の残りの半分のかき方を考える。 ・点対称な図形の残りの半分のかき方を考える。 ・いろいろな四角形や三角形を、線対称、点対称の観点で仲間分けする。
3 学 期	10	(知及技) ・立方体、直方体について知ることができる。（高１段階Bイ(ア)㋐） ・見取図、展開図について知ることができる。（高１段階Bイ(ア)㋑） ・直方体に関連して、直線や平面の平行や垂直の関係について理解することができる。（高１段階Bイ(ア)㋒） ・基本的な角柱や円柱について知ることができる。（高１段階Bイ(ア)㋓） (思判表力) ・図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、立体図形の平面上での表現や構成の仕方を考察し、図形の性質を見いだすとともに、日常の事象を図形の性質から捉え直すことができる。（高１段階Bイ(イ)㋐） (学・人) ・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとすることができる。（高１段階）	(知・技) ・立方体、直方体がわかる。 ・見取図、展開図がわかる。 ・直方体に関連して、直線や平面の平行や垂直の関係について理解している。 ・基本的な角柱や円柱がわかる。 (思･判･表) ・立体図形を分類し、底面や側面の形や位置関係に着目して特徴を捉え、角柱や円柱の性質を見いだしている。また、直方体や立方体も角柱として統合的に捉えている。 ・三角柱、四角柱、五角柱、六角柱の構成要素（頂点、辺、面）の数を表に整理し、それらに共通するきまりを見いだしている。 ・角柱の辺や面のつながりや位置関係、円柱の側面の形や大きさなど、図形を構成する要素に着目している。 (主学) ・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えようとしている。	単元「立体図形」 ・立体の名称 ・見取り図 ・展開図 ・いろいろな立体（三角柱、円柱、三角錐、四角錐、円錐等）	・プリント学習や具体物操作をする。 ・身の回りや生活で実際に使われている題材を授業に取り入れる。 ・直方体、立方体、三角柱、円柱などいろいろな形の箱を仲間分けし、角柱や円柱の名称について知る。 ・直方体、立方体、三角柱、円柱の見取り図の書き方を知る。 ・角柱、円柱の底面、側面を知り、その特徴を調べる。 ・三角柱、四角柱、五角柱、六角柱の頂点、辺、面の数を表に整理し、それらのきまりを調べる。 ・角柱や円柱の展開図を書いたり、実際に組み立てたりして図形の構成の理解を深める。
留意点 引継ぎ等					

令和　8年度 高等部　2年（Ⅱ課程A）　数学　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3／105	2年生Bグループ　7名		くらしに役立つ数学

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

(知及技)
数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけることができる。(高等部1段階)
(思判表力)
日常の事象を数理的に捉え見通しをもち道筋を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表したりすることができる。(高等部1段階)
(学･人)
数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとすることができる。(高等部1段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	20	(知及技) ・大きな数の加法及び減法の計算が、２位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解することができる。また、その筆算の仕方について理解することができる。(高１段階Aエ(ア)㋐) ・加法及び減法の計算が確実にでき、それらを適切に用いることができる。(高１段階Aエ(ア)㋑) ・乗法の計算が確実にでき、それを適切に用いることができる。(高１段階Aオ(ア)㋐) ・乗法に関して成り立つ性質について理解することができる。(高１段階Aオ(ア)㋒) ・除法の計算が確実にでき、それを適切に用いることができる。(高１段階Aカ(ア)㋐) ・除法について、次の関係を理解することができる。(高１段階Aカ(ア)㋒) (思判表力) ・数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり、計算の確かめをしたりすることができる。(高１段階Aエオカ(イ)㋐) (学・人) ・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとすることができる。(高１段階)	(知・技) ・大きな数の加法及び減法の計算が、２位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解している。また、その筆算の仕方について理解している。 ・電卓を用いることで、加法及び減法の計算が確実にでき、それらを適切に用いている。 ・電卓やかけ算九九表を用いることで、乗法の計算が確実にでき、それを適切に用いている。 ・電卓を使用することで、除法の計算が確実にでき、それを適切に用いている。 (思･判･表) ・大きな数の加法、減法、乗法、除法の導入で、既習事項を振り返り、数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしている。 ・計算に関して成り立つ性質を活用して、幾つかの数をまとめたり、順序を変えたりして計算を工夫したり確かめたりしている。 ・乗法について、交換法則や結合法則を用いて計算を簡単にする工夫をしている。 (主学) ・２位数などの基本的な計算を元に、大きな数の計算を考えるよさに気づき、買い物学習で生かそうとしている。 ・既習の数の見方や計算の仕方を活用し、未習の計算の仕方を見付け出そうと粘り強く考えている。 ・自分の学習方法を見直し、授業を振り返りながら粘り強く課題に取り組もうとしている。	単元「整数の加法と減法」 ・大きな数の足し算 ・大きな数の引き算 ・足し算、引き算の筆算 ・買い物学習 ・お小遣い帳をつけよう 単元「整数の乗法」 ・大きな数のかけ算 ・かけ算の筆算 単元「整数の除法」 ・大きな数の割り算 ・割り算の筆算 ・余りのある割り算	・10,100,1000など計算しやすい数字で演算する。 ・電卓やかけ算九九表を用いて、大きな数のかけ算をする。 ・10, 100, 1000などの０の数に着目し、大きな数の割り算をする。 ・プリント学習や視聴教材を活用する。 ・身の回りや生活で実際に使われている題材を授業に取り入れる。
	20	(知及技) ・四則の混合した式や（ ）を用いた式について理解し、正しく計算することができる。 ・公式についての考え方を理解し、公式を用いることができる。 ・数量を□、などを用いて表し、その関係を式に表したり、□、などに数を当てはめて調べたりすることができる。(高１段階Aコ(ア)㋐㋑㋒) (思判表力) ・問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔に、また一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりすることができる。 ・二つの数量の対応や変わり方に着目し、簡単な式で表されている関係について考察することができる。(高１段階Aコ(イ)㋐㋒) (学・人) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えようとしたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりすることができる。(高１段階)	(知・技) ・四則の混合した式や（ ）を用いた式について理解し、正しく計算している。 ・公式についての考え方を理解し、公式を用いている。 ・数量を□、などを用いて表し、その関係を式に表したり、□、などに数を当てはめて調べたりしている。 (思･判･表) ・問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔に、また一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりしている。 ・二つの数量の対応や変わり方に着目し、簡単な式で表されている関係について考察している。 (主学) ・数量について数学的に表現・処理することのよさに気づき、学習したことを生かそうとしている。	単元「四則混合の式」 ・四則混合の式 ・（ ）を用いた式 ・公式 ・□を用いた式 ・数量の関係を表す式	・2種類のノートと1種類の消しゴムを買ったときの残金を求める場面を( )を用いて一つの式に表す方法について考える。 ・乗法や除法は、( )がなくても加法や減法より先に計算することを知る。 ・( )がある場合とない場合の計算順序の違いを比べることをとおして、( )を用いた式や四則の混合した式の計算順序についてまとめる。 ・面積の公式について復習し、公式に数を当てはめ面積を求める。 ・プリント学習や視聴教材を活用する。 ・身の回りや生活で実際に使われている題材を授業に取り入れる。

2学期	20	(知及技) ・円の面積の計算による求め方について理解することができる。（高１段階Bエ(ア)㋐） (思判表力) ・図形を構成する要素などに着目し、基本図形の面積の求め方を見いだすとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導くことができる。（高１段階Bエ(イ)㋐） (学・人) ・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとすることができる。（高１段階）	(知・技) ・円の面積の計算による求め方を理解している。 (思･判･表) ・円を等分して並べ替え、既習の長方形とみなして面積を求める計算方法を考えている。 ・図形を構成する要素を判断し、円の一部とみられる図形や円などを組み合わせた図形の面積の求め方を、図や式などを用いて考えたり表現したりしている。 (主学) ・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えようとしている。	単元「円の面積」 ・円の面積 ・公式 ・扇形の面積 ・いろいろな図形の面積	・多角形（正六角形、正八角形、正方形）の特徴を調べ、正多角形の意味を知る。 ・円の中心の周りの角を等分する方法で、正八角形や正六角形をかく。 ・いろいろな円の円周の長さと直径の長さを調べる。
	20	(知及技) ・数量の関係を割合で捉え、円グラフや帯グラフで表したり、読んだりすることができる。 ・円グラフや帯グラフの意味やそれらの用い方を理解することができる。 ・データの収集や適切な手法の選択など統計的な問題解決の方法を知ることができる。（高１段階D(ア)㋐㋑㋒） (思判表力) ・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して読み取り、その結論について多面的に捉え考察することができる。（高１段階Dイ(ア)㋐） (学・人) ・データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとすることができる。（高１段階）	(知・技) ・数量の関係を割合で捉え、円グラフや帯グラフで表したり、読んだりしている。 ・円グラフや帯グラフの意味やそれらの用い方を理解している。 ・データの収集や適切な手法の選択など統計的な問題解決の方法がわかる。 (思･判･表) ・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して読み取り、その結論について多面的に捉え考察しようとしている。 (主学) ・データの活用について数学的に表現・処理することのよさに気づき、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元「いろいろなグラフ」 ・円グラフ ・帯グラフ ・適切なグラフを選ぼう ・データの収集	・円グラフや帯グラフの数値の読み取り方を知る。 ・割合を百分率で表し、それを帯グラフ、円グラフに表す。 ・帯グラフ、円グラフは「割合」を表し、棒グラフは「数や量の大きさ」を表し、折れ線グラフは「数や量の変化の様子」を表すことを振り返り、目的に応じて適切なグラフを選択する。 ・アンケート調査を行い、データを分類整理し、適切なグラフにまとめて、データの特徴や傾向について考える。
3学期	15	(知及技) ・立方体、直方体について知ることができる。 ・直方体に関連して、直線や平面の平行や垂直の関係について理解することができる。 ・基本的な角柱や円柱について知ることができる。（高１段階B(ア)㋐㋑㋓） (思判表力) ・図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、図形の性質を見いだすとともに、日常の事象を図形の性質から捉え直すことができる。（高１段階B(イ)㋐） (学・人) ・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとすることができる。（高２段階）	(知・技) ・立方体、直方体がわかる。 ・直方体に関連して、直線や平面の平行や垂直の関係について理解している。 ・基本的な角柱や円柱がわかる。 (思･判･表) ・立体図形を分類し、底面や側面の形や位置関係に着目して特徴を捉え、角柱や円柱の性質を見いだしている。また、直方体や立方体も角柱として統合的に捉えている。 ・三角柱、四角柱、五角柱、六角柱の構成要素（頂点、辺、面）の数を表に整理し、それらに共通するきまりを見いだしている。 ・角柱の辺や面のつながりや位置関係、円柱の側面の形や大きさなど、図形を構成する要素に着目している。 (主学) ・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えようとしている。	単元「立体図形」 ・立体の名称 ・いろいろな立体（三角柱、円柱、三角錐、四角錐、円錐等）	・直方体、立方体、三角柱、円柱などいろいろな形の箱を仲間分けし、角柱や円柱の名称について知る。 ・角柱、円柱の底面、側面を知り、その特徴を調べる。 ・三角柱、四角柱、五角柱、六角柱の頂点、辺、面の数を表に整理し、それらのきまりを調べる。 ・角柱や円柱を実際に組み立てたりして図形の構成の理解を深める。
	10	(知及技) ・縮図や拡大図について理解することができる。 ・対称な図形について理解することができる。（高２段階B(ア)㋐㋑） (思判表力) ・図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見いだしたりするとともに、その性質を基に、日常生活に生かしたりすることができる。（高２段階B(イ)㋐） (学・人) ・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとすることができる。（高２段階）	(知・技) ・縮図や拡大図について理解している。 ・対称な図形について理解している。 (思･判･表) ・２つの図形間の関係を拡大、縮小の関係という観点で考察している。 ・拡大図や縮図の作図の仕方を、それらの性質や合同な図形などをもとに考えている。 ・対称という観点から既習の図形を捉え直し、図形を分類整理したり、分類した図形の特徴を見いだしたりしている。 (主学) ・図形や数量について数学的に表現・処理することの良さに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元「平面図形」 ・拡大、縮小 ・拡大図と縮図 ・角の大きさ、辺の長さの比 ・分類しよう（線対称、点対称） ・いろいろな図形の書き方	・大きさは違っても同じに見える形について、対応する辺の長さや角の大きさを調べ、拡大図、縮図の意味を知る。 ・対応する辺の長さ、対応する角の大きさに着目して、方眼上に拡大図、縮図をかく。 ・拡大図のかき方を活用して、画用紙に10倍の拡大図をかく。 ・図形の特徴を調べて、線対称な図形と点対称な図形を分類する。 ・いろいろな四角形や三角形を、線対称、点対称の観点で仲間分けする。
留意点 引継ぎ等					

令和　8年度 高等部　２年（Ⅱ課程A）　数学　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
３／１０５	2年生Cグループ　6名		ひとりだちするための算数・数学

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）整数、小数、分数及び概数の意味と表し方や四則の関係について理解するとともに、整数、小数及び分数の計算についての意味や性質について理解し、それらを計算する技能を身に付けることができる。（高１段階） (思判表力)数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、数の比べ方や表し方を統合的に捉えて考察したり、数とその表現や数量の関係に着目し、目的に合った表現方法を用いて計算の仕方を考察したりするとともに、数量の関係を簡潔に、また一般的に表現することができる。（高１段階） (学･人)数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えようとしたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりすることができる。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	20	(知及技) ・大きな数の加法及び減法の計算が、２位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解することができる。また、その筆算の仕方について理解することができる。（高１段階Aエ(ア)㋐） ・加法及び減法の計算が確実にでき、それらを適切に用いることができる。（高１段階Aエ(ア)㋑） ・乗法の計算が確実にでき、それを適切に用いることができる。（高１段階Aオ(ア)㋑） ・乗法に関して成り立つ性質について理解することができる。（高１段階Aオ(ア)㋒） ・除法の計算が確実にでき、それを適切に用いることができる。（高１段階Aカ(ア)㋑） ・除法について、次の関係を理解することができる。（高１段階Aカ(ア)㋒） (思判表力) ・数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり、計算の確かめをしたりすることができる。（高１段階Aエオカ(イ)㋐） (学・人) ・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとすることができる。（高１段階）	(知・技) ・大きな数の加法及び減法の計算が、２位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解している。また、その筆算の仕方について理解している。 ・電卓を用いることで、加法及び減法の計算が確実にでき、それらを適切に用いている。 ・電卓やかけ算九九表を用いることで、乗法の計算が確実にでき、それを適切に用いている。 ・電卓を使用することで、除法の計算が確実にでき、それを適切に用いている。 (思･判･表) ・大きな数の加法、減法、乗法、除法の導入で、既習事項を振り返り、数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしている。 ・計算に関して成り立つ性質を活用して、幾つかの数をまとめたり、順序を変えたりして計算を工夫したり確かめたりしている。 ・乗法について、交換法則や結合法則を用いて計算を簡単にする工夫をしている。 (主学) ・２位数などの基本的な計算を元に、大きな数の計算を考えるよさに気づき、買い物学習で生かそうとしている。 ・既習の数の見方や計算の仕方を活用し、未習の計算の仕方を見付け出そうと粘り強く考えている。 ・自分の学習方法を見直し、授業を振り返りながら粘り強く課題に取り組もうとしている。	単元「整数の加法と減法」 ・大きな数の足し算 ・大きな数の引き算 ・足し算、引き算の筆算 ・買い物学習 ・お小遣い帳をつけよう 単元「整数の乗法」 ・大きな数のかけ算 ・かけ算の筆算 単元「整数の除法」 ・大きな数の割り算 ・割り算の筆算 ・余りのある割り算	・10,100,1000など計算しやすい数字で演算する。 ・電卓やかけ算九九表を用いて、大きな数のかけ算をする。 ・10，100，1000などの０の数に着目し、大きな数の割り算をする。 ・プリント学習や視聴教材を活用する。 ・身の回りや生活で実際に使われている題材を授業に取り入れる。
	8	(知及技) ・四則の混合した式や（ ）を用いた式について理解し、正しく計算することができる。 ・公式についての考え方を理解し、公式を用いることができる。 ・数量を□、などを用いて表し、その関係を式に表したり、□、などに数を当てはめて調べたりすることができる。（高１段階Aコ（ア）） (思判表力) ・問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔に、また一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりすることができる。 ・二つの数量の対応や変わり方に着目し、簡単な式で表されている関係について考察することができる。（高１段階Aコ（イ）） (学・人) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えようとしたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりすることができる。（高１段階）	(知・技) ・四則の混合した式や（ ）を用いた式について理解し、正しく計算している。 ・公式についての考え方を理解し、公式を用いている。 ・数量を□、などを用いて表し、その関係を式に表したり、□、などに数を当てはめて調べたりしている。 (思･判･表) ・問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔に、また一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりしている。 ・二つの数量の対応や変わり方に着目し、簡単な式で表されている関係について考察している。 (主学) ・数量について数学的に表現・処理することのよさに気づき、学習したことを生かそうとしている。	単元「四則混合の式」 ・四則混合の式 ・（ ）を用いた式 ・公式 ・□を用いた式 ・数量の関係を表す式	・2種類のノートと1種類の消しゴムを買ったときの残金を求める場面を( )を用いて一つの式に表す方法について考える。 ・乗法や除法は、( )がなくても加法や減法より先に計算することを知る。 ・( )がある場合とない場合の計算順序の違いを比べることをとおして、( )を用いた式や四則の混合した式の計算順序についてまとめる。 ・面積の公式について復習し、公式に数を当てはめ面積を求める。 ・プリント学習や視聴教材を活用する。 ・身の回りや生活で実際に使われている題材を授業に取り入れる。

	8	(知及技) ・等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表すのに分数を用いることについて理解することができる。また、分数の表し方について知ることができる。 ・分数が単位分数の幾つ分かで表すことができる。 ・簡単な場合について、分数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算ができる。 ・簡単な場合について、大きさの等しい分数があることを知る。 ・同分母の分数の加法及び減法の計算をすることができる。（高１段階Aケ（ア）） (思判表力) ・数のまとまりに着目し、分数でも数の大きさを比べたり、計算したりできるかどうかを考えるとともに、分数を日常生活に生かすことができる。（高１段階Aケ（イ）） (学・人) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えようとしたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりすることができる。（高１段階）	(知・技) ・等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表すのに分数を用いることについて理解している。また、分数の表し方がわかる。 ・分数が単位分数の幾つ分かで表すことができることがわかる。 ・簡単な場合について、分数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算ができることを知っている。 ・簡単な場合について、大きさの等しい分数があることがわかる。 ・同分母の分数の加法及び減法の計算をしている。 (思･判･表) ・単位分数という数のまとまりに着目し、分数でも数の大きさを比べたり、計算したりできるかどうかを考えるとともに、分数を日常生活に生かすことができる。 ・数を構成する単位に着目し、大きさの等しい分数を探したり、計算の仕方を考えたりするとともに、それを日常生活に生かそうとすることができる。 (主学) ・数量について数学的に表現・処理し、多面的に捉え検討し、粘り強く考えようとしている。	単元「分数」 ・分数の表し方 ・分数の大きさ ・単位分数 ・分数の足し算、引き算 ・大きさの等しい分数	・テープや水、ケーキの等分など、いろいろな題材を等分してできるものを分数で表す方法について知る。 ・１mのテープを３等分した２つ分の長さを２/３mということを知り、分数の表し方の理解を深める。 ・「分母」と「分子」の意味を知る。 ・分数を数直線上に表し、分母と分子が同じ数のときは１になることを知る。 ・同分母の分数の大小を比べる。 ・同分母の真分数の加法や減法の計算の仕方について、単位分数という数のまとまりに着目し、計算方法を考える。 ・４等分、８等分したケーキを比較し、大きさの等しい分数があることを知る。
２学期	17	(知及技) ・数量の関係を割合で捉え、円グラフや帯グラフで表したり、読んだりすることができる。（高１段階） ・円グラフや帯グラフの意味やそれらの用い方を理解することができる。 ・データの収集や適切な手法の選択など統計的な問題解決の方法を知ることができる。（高１段階Dア（ア）） (思判表力) ・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して読み取り、その結論について多面的に捉え考察することができる。（高１段階Dア（イ）） (学・人) ・データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとすることができる。（高１段階）	(知・技) ・数量の関係を割合で捉え、円グラフや帯グラフで表したり、読んだりしている。 ・円グラフや帯グラフの意味やそれらの用い方を理解している。 ・データの収集や適切な手法の選択など統計的な問題解決の方法がわかる。 (思･判･表) ・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して読み取り、その結論について多面的に捉え考察しようとしている。 (主学) ・データの活用について数学的に表現・処理することのよさに気づき、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元「いろいろなグラフ」 ・円グラフ ・帯グラフ ・適切なグラフを選ぼう ・データの収集	・円グラフや帯グラフの数値の読み取り方を知る。 ・割合を百分率で表し、それを帯グラフ、円グラフに表す。 ・帯グラフ、円グラフは「割合」を表し、棒グラフは「数や量の大きさ」を表し、折れ線グラフは「数や量の変化の様子」を表すことを振り返り、目的に応じて適切なグラフを選択する。 ・アンケート調査を行い、データを分類整理し、適切なグラフにまとめて、データの特徴や傾向について考える。
	12	(知及技) ・円と関連させて正多角形の基本的な性質を知ることができる。（高１段階Bア（ア）㋑） ・円周率の意味について理解し、それを用いることができる。（高１段階Bア（ア）㋐） (思判表力) ・図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成の仕方を考察し図形の性質を見いだすとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直すことができる。（高１段階Bア（イ）㋐） (学・人) ・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとすることができる。（高１段階）	(知・技) ・円と関連させて正多角形を作図している。 ・円周率の意味について理解し、それを用いている。 (思･判･表) ・円周と直径を測定する活動をとおして、どんな大きさの円でも円周と直径の割合は一定であることを見いだしている。 (主学) ・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えようとしている。	単元「平面図形」 ・円と正多角形 ・円周率	・円を等分して並べ替え、長方形とみて計算で面積を求める仕方を考える。 ・円の面積の求め方を公式にまとめる。 ・中心角が90°のおうぎ形の面積を、もとの円の何分の一かを考えて求める。 ・中心角が60°のおうぎ形の面積を、もとの円のどれだけにあたるかを考えて求める。 ・円や四角形、三角形を組み合わせた図形の面積を求める。
	16	(知及技) ・円の面積の計算による求め方について理解することができる。（高１段階B工（ア）） (思判表力) ・図形を構成する要素などに着目し、基本図形の面積の求め方を見いだすとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導くことができる。（高１段階B工（イ）） (学・人) ・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとすることができる。（高１段階）	(知・技) ・円の面積の計算による求め方を理解している。 (思･判･表) ・円を等分して並べ替え、既習の長方形とみなして面積を求める計算方法を考えている。 ・図形を構成する要素を判断し、円の一部とみられる図形や円などを組み合わせた図形の面積の求め方を、図や式などを用いて考えたり表現したりしている。 (主学) ・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えようとしている。	単元「円の面積」 ・円の面積 ・公式 ・扇形の面積 ・いろいろな図形の面積	・多角形（正六角形、正八角形、正方形）の特徴を調べ、正多角形の意味を知る。 ・円の中心の周りの角を等分する方法で、正八角形や正六角形をかく。 ・いろいろな円の円周の長さと直径の長さを調べる。

3学期	16	(知及技) ・縮図や拡大図について理解することができる。 ・対称な図形について理解することができる。（高２段階Bア（ア）） (思判表力) ・図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見いだしたりするとともに、その性質を基に、日常生活に生かしたりすることができる。（高２段階Bア（イ）） (学・人) ・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとすることができる。（高２段階）	(知・技) ・縮図や拡大図について理解している。 ・対称な図形について理解している。 (思･判･表) ・２つの図形間の関係を拡大、縮小の関係という観点で考察している。 ・拡大図や縮図の作図の仕方を、それらの性質や合同な図形などをもとに考えている。 ・対称という観点から既習の図形を捉え直し、図形を分類整理したり、分類した図形の特徴を見いだしたりしている。 (主学) ・図形や数量について数学的に表現・処理することの良さに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元「平面図形」 ・拡大、縮小 ・拡大図と縮図 ・角の大きさ、辺の長さの比 ・分類しよう（線対称、点対称） ・いろいろな図形の書き方	・大きさは違っても同じに見える形について、対応する辺の長さや角の大きさを調べ、拡大図、縮図の意味を知る。 ・対応する辺の長さ、対応する角の大きさに着目して、方眼上に拡大図、縮図をかく。 ・拡大図のかき方を活用して、画用紙に10倍の拡大図をかく。 ・図形の特徴を調べて、線対称な図形と点対称な図形を分類する。 ・いろいろな四角形や三角形を、線対称、点対称の観点で仲間分けする。
	8	(知及技) ・立方体、直方体について知ることができる。 ・直方体に関連して、直線や平面の平行や垂直の関係について理解することができる。 ・基本的な角柱や円柱について知ることができる。（高１段階Bイ（ア）㋐㋑㋓） (思判表力) ・図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、図形の性質を見いだすとともに、日常の事象を図形の性質から捉え直すことができる。（高１段階Bイ（イ）㋐） (学・人) ・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとすることができる。（高１段階）	(知・技) ・立方体、直方体がわかる。 ・直方体に関連して、直線や平面の平行や垂直の関係について理解している。 ・基本的な角柱や円柱がわかる。 (思･判･表) ・立体図形を分類し、底面や側面の形や位置関係に着目して特徴を捉え、角柱や円柱の性質を見いだしている。また、直方体や立方体も角柱として統合的に捉えている。 ・三角柱、四角柱、五角柱、六角柱の構成要素（頂点、辺、面）の数を表に整理し、それらに共通するきまりを見いだしている。 ・角柱の辺や面のつながりや位置関係、円柱の側面の形や大きさなど、図形を構成する要素に着目している。 (主学) ・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えようとしている。	単元「立体図形」 ・立体の名称 ・いろいろな立体（三角柱、円柱、三角錐、四角錐、円錐等）	・直方体、立方体、三角柱、円柱などいろいろな形の箱を仲間分けし、角柱や円柱の名称について知る。 ・角柱、円柱の底面、側面を知り、その特徴を調べる。 ・三角柱、四角柱、五角柱、六角柱の頂点、辺、面の数を表に整理し、それらのきまりを調べる。 ・角柱や円柱を実際に組み立てたりして図形の構成の理解を深める。
留意点 引継ぎ等					

令和　8年度 高等部　3年（Ⅱ課程A）　数学　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3／105	3年生Aグループ　10名		くらしに役立つ数学・新数学Ⅰ

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

(知及技) 整数、小数、分数及び概数の意味と表し方や四則の関係について理解するとともに、整数、小数及び分数の計算についての意味や性質について理解し、それらを計算する技能を身に付けることができる。（高１段階）
(思判表力)数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、数の比べ方や表し方を統合的に捉えて考察したり、数とその表現や数量の関係に着目し、目的に合った表現方法を用いて計算の仕方を考察したりするとともに、数量の関係を簡潔に、また一般的に表現することができる。（高１段階）
(学･人)数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えようとしたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりすることができる。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	15	(知及技) ・概数が用いられる場面について知ることができる。(高１段階Aウ(ア)㋐) ・四捨五入について知ることができる。(高１段階Aウ(ア)㋑) ・目的に応じて四則計算の結果の見積りをすることができる。(高１段階Aウ(ア)㋒) (思判表力) ・日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理の仕方を考えるとともに、それを日常生活に生かすことができる。(高１段階Aウ(イ)㋐) (学･人) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えようとしたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりすることができる。（高１段階）	(知・技) ・概数が用いられる場面がわかる。 ・四捨五入がわかる。 ・目的に応じて四則計算の結果の見積りをしている。 (思･判･表) ・買い物における概数の使い方について考える学習をとおして、日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理の仕方を考えるとともに、それを日常生活に生かそうとしている。 (主学) ・単元テストや買い物学習において、数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えようとしたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。	単元「数と計算　概数」 ・概数（おおよその数） ・切り捨て、切り上げ ・四捨五入 ・見積もりの計算、買い物学習	・プリント学習や具体物操作をする。 ・身の回りや生活で実際に使われている題材を授業に取り入れる。 ・概数を用いた見積もりの計算について考える。 ・買い物学習で切り上げの考え方をもちいて必要な金額を求め、予算内でノートを選び購入する。
	8	(知及技) ・万の単位を知ることができる。(高１段階Aア(ア)㋐) ・10 倍、100 倍、1000 倍、の大きさの数及びその表し方の理解を深めることができる。・万の単位を知ることができる。(高１段階Aア(ア)㋑) ・億、兆の単位について知り、十進位取り記数法についての理解を深めることができる。・万の単位を知ることができる。(高１段階Aア(ア)㋒) (思判表力) ・数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を統合的に捉えるとともに、それらを日常生活に生かすことができる。(高１段階Aア(イ)㋐) (学･人) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えようとしたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりすることができる。（高１段階）	(知・技) ・万の単位がわかる。 ・10 倍、100 倍、1000 倍、の大きさの数及びその表し方の理解を深めている。 ・億、兆の単位について知り、十進位取り記数法についての理解を深めている。 (思･判･表) ・数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を統合的に捉えるとともに、それらを日常生活に生かそうとしている。 (主学) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えようとしたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。	単元「数と計算　整数」 ・万までの数 ・億、兆の単位 ・大きな数の読み書き（十進位取り記数法） ・大きな数の大小 ・10倍100倍1000倍の数	・プリント学習や具体物操作をする。 ・身の回りや生活で実際に使われている題材を授業に取り入れる。 ・世の中にある大きな数についてインターネットで調べる。 ・大きな数の構成を知り、大小を比較する。 ・電卓を用いて10倍、100倍、1000倍した大きさを調べ、位に注目して特徴をまとめる。
	12	(知及技) ・ある数の10倍、100倍、1000倍、などの大きさの数を、小数点の位置を移してつくることができる。（高１段階Aイ(ア)㋐) ・小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知るとともに、数の相対的な大きさについての理解を深めることができる。（高１段階Aキ(ア)㋑) (思判表力) ・数の表し方の仕組みに着目し、数の相対的な大きさを考察し、計算などに有効に生かすことができる。（高１段階Aイ(イ)㋐) (学･人) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりすることができる。（高１段階）	(知・技) ・ある数の10倍、100倍、1000倍、などの大きさの数を、小数点の位置を移してつくろうとしている。 ・小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知るとともに、数の相対的な大きさについての理解を深めている。 (思･判･表) ・１に満たない大きさを表すために0.1の単位を作ったときの考えをもとに、0.01などの単位を作ることを考えている。 ・数の表し方の仕組みに着目し、数の相対的な大きさを考察し、計算などに有効に生かそうとしている。 (主学) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。	単元「数と計算　整数と小数」 ・小数の表し方 ・小数の10倍、100倍、1000倍	・プリント学習や具体物操作をする。 ・身の回りや生活で実際に使われている題材を授業に取り入れる。 ・小数の位取り(1/100の位、1/1000の位)と、整数、小数の十進数としてのしくみを知る。 ・電卓を用いて小数の10倍、100倍、1000倍について調べ、位に注目して特徴をまとめる。

2学期	15	(知及技) ・小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知るとともに、数の相対的な大きさについての理解を深めることができる。（高１段階Aキ(ア)㋑） ・小数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算をすることができる。（高１段階Aキ(ア)㋒） (思判表力) ・数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、計算の仕方を考えるとともに、それを日常生活に生かすことができる。（高１段階Aキ(イ)㋑） (学･人) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりすることができる。（高１段階）	(知・技) ・小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知るとともに、数の相対的な大きさについての理解を深めている。 ・小数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算をしている。 (思･判･表) ・1/100の位までの小数の加法及び減法の計算のしかたを、整数の計算のしかたなどと関連づけて考えている。 (主学) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。	単元「数と計算　小数と計算」 ・小数の大きさ ・小数の足し算、引き算	・プリント学習や具体物操作をする。 ・身の回りや生活で実際に使われている題材を授業に取り入れる。 ・0.1や0.01を単位とし、小数をまとまりで捉える。 ・小数の大小比較のしかたを考える。 ・1/10の位の小数の加法の計算のしかたを考える。
	15	(知及技) ・乗数や除数が整数である場合の小数の乗法及び除法の計算をすることができる。（高１段階Aキ(ア)㋓） ・ある量の何倍かを表すのに小数を用いることを知ることができる。（高１段階Aキ(ア)㋐） (思判表力) ・数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、計算の仕方を考えるとともに、それを日常生活に生かすことができる。（高１段階Aキ(イ)㋐） (学･人) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりすることができる。（高１段階）	(知・技) ・乗数や除数が整数である場合の小数の乗法及び除法の計算をしている。 ・ある量の何倍かを表すのに小数を用いることがわかる。 (思･判･表) ・数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、計算の仕方を考えるとともに、それを日常生活に生かそうとしている。 ・乗数が整数である場合の小数の乗法の計算のしかたを、小数の意味や既習の計算などをもとに考えている。 ・除数が整数である場合の小数の除法の計算のしかたを、小数の意味や既習の計算などをもとに考えている。 (主学) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。	単元「数と計算　小数と計算」 ・小数のかけ算 ・小数の割り算 ・小数倍	・プリント学習や具体物操作をする。 ・身の回りや生活で実際に使われている題材を授業に取り入れる。 ・小数をまとまりとして捉え、整数と同じようにかけ算や割り算ができることを知る。 ・何倍かを表す数が小数になる場合があることを知る。
	15	(知及技) ・ある二つの数量関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを理解することができる。（高１段階） ・百分率を用いた表し方を理解し、割合などを求めることができる。（高１段階Cウ(ア)㋐） (思判表力) ・日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係との比べ方を考察し、それを日常生活に生かすことができる。（高１段階Cウ(イ)㋐） (学･人) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりすることができる。（高１段階）	(知・技) ・ある二つの数量関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを理解している。 ・百分率を用いた表し方を理解し、割合などを求めている。 (思･判･表) ・日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係との比べ方を考察し、それを日常生活に生かそうとしている。 ・シュートの成功率を考える学習をとおして、ある２つの数量の関係と別の２つの数量の関係との比べ方を、基準量をそろえるなどして考えている。 (主学) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。	単元「変化と関係　割合/百分率」 ・割合（分数） ・割合（小数） ・分数と小数、百分率の関係 ・割合（百分率） ・割引 ・割り増し ・消費税	・プリント学習や具体物操作をする。 ・身の回りや生活で実際に使われている題材を授業に取り入れる。 ・一人一人の挑戦回数を変えたボール入れゲームに取り組み、シュートの成功率が高いのはだれか考える。 ・シュートの成功割合を分数で表し、数直線上で表し比較する。 ・小数を分数に直す方法を知り、割合を小数で表す方法について知る。 ・小数で表した割合を百分率で表す方法について知る。 ・割引の値段の求め方を考える。 ・割り増しの量の求め方を考える。 ・消費税について考える。
	15	(知及技) ・平行四辺形、ひし形、台形について知ることができる。（高１段階Bア(ア)㋐） (思判表力) ・図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見いだし、その性質を筋道を立てて考え説明したりすることができる。（高１段階Bア(イ)㋐） (学･人) ・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりすることができる。（高１段階）	(知・技) ・垂直や平行がわかる。 ・平行四辺形、ひし形、台形がわかる。 (思･判･表) ・図形を観察する観点として、直線の位置関係に着目している。 ・垂直、平行の定義や性質をもとに、それらの直線の構成のしかたを考えている。 ・平行な直線はほかの直線と等しい角度で交わることに気づいている。 ・平行四辺形の辺の長さや角の大きさを観察し、その性質を見出している。 (主学) ・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。	単元「図形　平面図形」 ・垂直 ・平行 ・平行の性質 ・垂直や平行の作図 ・仲間分けしよう（平行四辺形、菱形、台形） ・平行四辺形、ひし形、台形の性質	・プリント学習や具体物操作をする。 ・身の回りや生活で実際に使われている題材を授業に取り入れる。 ・直線の交わり方を調べ、垂直の意味を知る。 ・平行について知る。 ・いろいろな四角形を、辺の並び方に着目して分類し、台形、平行四辺形について知る。 ・いろいろな長さの棒を組み合わせて平行四辺形を作成し、平行四辺形の辺の長さの性質について知る。 ・平行四辺形の角の大きさを調べ、向かい合った角の大きさはそれぞれ等しいことを知る。

3 学 期	10	(知及技) ・図形の形や大きさが決まる要素について理解するとともに、図形の合同について理解することができる。（高１段階Bア(ア)㋑） ・三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解することができる。（高１段階Bア(ア)㋒） (思判表力) ・図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見いだし、その性質を筋道を立てて考え説明したりすることができる。（高１段階Bア(イ)㋐） (学･人) ・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりすることができる。（高１段階）	(知・技) ・図形の形や大きさが決まる要素について理解するとともに、図形の合同について理解している。 ・三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解している。 (思･判･表) ・図形が「決まる」という意味を理解し、合同な図形の能率的なかき方を考え、合同な三角形や四角形をかくために必要な構成要素を見いだしている。 ・いろいろな三角形について調べ、三角形の３つの角の大きさの和が180°になることを帰納的に見いだしている。 ・四角形の内角の和が360°になることを、三角形の内角の和が180°であることをもとに、演繹的に考えている。 ・多角形の内角の和について、四角形の内角の和の求め方をもとに、発展的に考えている。 (主学) ・図形の合同及び多角形の内角の和の性質について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。	単元「図形　平面図形」 ・図形の大きさが決まる要素 ・図形の形が決まる要素 ・合同な三角形 ・合同な四角形 ・多角形の内角の和	・プリント学習や具体物操作をする。 ・身の回りや生活で実際に使われている題材を授業に取り入れる。 ・合同の意味を知る。 ・合同な２つの四角形を調べ、対応する頂点、辺、角の意味や、対応する辺の長さ、対応する角の大きさがそれぞれ等しいことを知る。 ・三角形の３つの角の大きさの和を調べる。 ・多角形の内角の和について調べる。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度　高等部3年（Ⅱ課程A）　数学科　年間指導計画

単位数／配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
3／105	3年Bグループ：7名		くらしに役立つ数学

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

(知及技)
数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけることができる。(高等部2段階)
(思判表力)
日常の事象を数理的に捉え見通しをもち道筋を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表したりすることができる。(高等部2段階)
(学･人)
数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとすることができる。(高等部2段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技) 偶数と奇数について理解することができる。(高2段階 A ア（ア）㋐) 約数、倍数について理解することができる。(高2段階 A ア（ア）㋐) (思判表力) 乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別する仕方を考えたり、数の構成について考察したりすることができる。(高2段階 A ア（イ）㋐) (学・人) 学習したことを生活や学習に活用することができる。(高2段階)	(知・技) 偶数、奇数について理解している。 約数、倍数について理解している。 (思･判･表) 観点を決めて整数を類別したり、数の構成について考察したりしている。 (主学) 学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元名「整数」 ・偶数と奇数 ・倍数 ・公倍数 ・約数 ・公約数	・2，4，6や1，3，5など偶数と奇数を分ける学習。 ・かけ算九九表を活用し、何の倍数かを判断する。 ・プリント学習や視聴教材を活用する。 ・身の回りや生活で実際に使われている題材を授業に取り入れる。
	24	(知及技) 数量を表す言葉や□などの代わりにａ、ｘなどの文字を用いて式に表したり、文字に数を当てはめて調べたりすることができる。（高２段階Ａオ(ア)㋐) (思判表力) 問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔かつ一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりすることができる。（高２段階Ａオ(イ)㋐) (学･人) 文字を用いた式のよさを実感し、学習したことを生活や学習に活用することができる。（高２段階）	(知・技) □を使って式に表そうとしている。数量を表す言葉や□などの代わりにａ、ｘなどの文字を用いて式に表したり、文字に数を当てはめて調べたりしようとしている。 (思・判・表) 問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔かつ一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりしようとしている。 (主学) 文字を用いた式のよさを実感し、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元名「文字を用いた式」 ・□を使った式 ・文字式 ・文字式の表し方 ・式の値 ・代入 ・文字式の性質	・数字の入っている式に、□や記号、文字に置き換える学習。 ・プリント学習や視聴教材を活用する。 ・身の回りや生活で実際に使われている題材を授業に取り入れる。
2学期	30	(知及技) 比例の関係を用いた問題解決の方法について理解することができる。（高２段階Ｃア(ア)㋑) (思判表力) 日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係との比べ方を考察することができる。（高２段階Ｃイ(イ)㋐) (学･人) 数学のよさを実感し、学習したことを生活や学習に活用しようとすることができる。（高２段階）	(知・技) 一方が増えると、もう一方が増えたり、減ったりするということを理解している。比例の関係を用いた問題解決の方法について理解しようとしている。 (思･判･表) 身のまわりから比例や反比例の関係を見いだし、表現している。また、図や式を用いて考察している。 (主学) 数学のよさを実感し、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元名「比例と反比例」 ・比例 ・比例関係に着目した問題解決 ・反比例	・グラフや表を活用し、二つの比べる物の増減を調べる。 ・プリント学習や視聴教材を活用する。 ・身の回りや生活で実際に使われている題材を授業に取り入れる。
	15	(知及技) 起こり得る場合を順序よく整理するための図や表などの用い方を理解することができる。(高２段階Ｄイ(ア)㋐) (思判表力) 事象の特徴に着目し、順序よく整理する観点を決めて、落ちや重なりなく調べる方法を考察することができる。(高２段階Ｄイ(イ)㋐) (学・人) 数学のよさを実感し、学習したことを生活や学習に活用しようとすることができる。（高２段階）	(知・技) 起こり得る場合を順序よく整理するための図や表などの用い方を理解しようとしている。 (思・判・表) 落ちや重なりなく調べる方法を考察し、工夫している。 (主学) 数学のよさを実感し、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元名「場合の数」 ・起こりうる場合 ・順序よく整理しよう	・簡単なゲームを通して、くじの当たりはずれやコインの裏表を調べる。 ・プリント学習や視聴教材を活用する。 ・身の回りや生活で実際に使われている題材を授業に取り入れる。
3学期	24	(知及技) 基本的な角柱及び円柱の体積の計算による求め方について理解することができる。（高２段階Ｂエ(ア)㋒) (思判表力) 体積の単位や図形を構成する要素に着目し、図形の体積の求め方を考えるとともに、体積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察することができる。（高２段階Ｂエ(イ)㋐) (学･人) 図形について数学的に表現・処理したことを振り返り、学習したことを生活や学習に活用することができる。（高２段階）	(知・技) いろいろな立体の名称を理解している。また、基本的な角柱及び円柱の体積の計算による求め方について理解しようとしている。 (思･判･表) 長さや面積の単位を振り返り、体積の単位との関係について考察している。 (主学) 図形について数学的に表現・処理したことを振り返り、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元名「立体の体積」 ・直方体の体積 ・立方体の体積 ・角柱の体積 ・円柱の体積	・立体の模型を作成し、立体をイメージする。 ・プリント学習や視聴教材を活用する。 ・身の回りや生活で実際に使われている題材を授業に取り入れる。

令和　8年度　高等部　　3年（Ⅱ課程A）　数学科　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
3／105	3年Cグループ　7 名		なし

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

(知及技)
数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけることができる。(高等部１段階)
(思判表力)
日常の事象を数理的に捉え見通しをもち道筋を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表したりすることができる。(高等部１段階)
(学･人)
数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとすることができる。(高等部１段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	20	(知及技) 大きな数の加法及び減法の計算方法について知り、２位数などについての基本的な計算ができる。(高１段階Ａエ(ア)㋐) (思判表力) 数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を統合的に捉えることができる。(高１段階Ａア(イ)㋐) (学･人) 数学のよさを実感し、学習したことを生活や学習に活用することができる。(高２段階)	(知・技) 大きな数の加法及び減法の計算が、２位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解している。 (思･判･表) 数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を統合的に捉えようとしている。 (主学) 数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用している。	単元「整数の加法と減法」 ・大きな数の足し算 ・大きな数の引き算 ・足し算、引き算の筆算 ・大きな数の暗算	・プリント学習や視聴教材を活用する。 ・電卓を活用して自分で解いた問題の正当を確認する。
	16	(知及技) 整数は、観点を決めると偶数と奇数に類別されることを理解することができる。(高２段階Ａア(ア)㋐) (思判表力) 乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別する仕方を考えたり、数の構成について考察したりすることができる。。(高２段階Ａア(イ)㋐) (学･人) 数学のよさを実感し、学習したことを生活や学習に活用することができる。(高２段階)	(知・技) 整数は、観点を決めると偶数と奇数に類別されることを理解している。 (思･判･表) 乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別する仕方を考えたり、数の構成について考察している。 (主学) 数学のよさを実感し、学習したことを生活や学習に活用している。	単元「整数」 ・偶数と奇数 ・倍数	・プリント学習や視聴教材を活用する。 ・偶数と奇数の区別を札を用意し、質問形式で取り組む。 ・身の回りや生活で実際に使われている題材を授業に取り入れる。
2学期	23	(知及技) ２位数や３位数に１位数や２位数をかける乗法の計算ができる。(高１段階Ａオ(ア)㋐) 除数が１位数や２位数で被除数が２位数や３位数の場合の計算ができる。(高１段階Ａカ(ア)㋐) (思判表力) 数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり、計算の確かめができる。(高１段階Ａオカ(イ)㋐) (学･人) 数学のよさを実感し、学習したことを生活や学習に活用することができる。(高２段階)	(知・技) ２位数や３位数に１位数や２位数をかける乗法の計算を筆算や電卓を用いて解いている。 除数が１位数や２位数で被除数が２位数や３位数の場合の計算を筆算や電卓を用いて解いている。 (思･判･表) 数量の関係に着目し、計算の仕方を考え、計算に関して成り立つ性質を見いだしている。 (主学) 数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用している。	単元「整数の乗法」 ・大きな数のかけ算 ・割り算の筆算 ・かけ算の性質 単元「整数の除法」 ・大きな数の割り算 ・割り算の筆算 ・割り算の性質 ・買い物学習	・プリント学習や視聴教材を活用する。 ・電卓を活用して自分で解いた問題の正当を確認する。 ・買い物学習では金額内で目的じた商品の購入やレシートから買い物情報を読み取る練習を行う。
	23	(知及技) 縮図や拡大図について理解できる。 対称な図形について理解できる。 (高２段階Ｂア(ア)㋐㋑) (思判表力) 図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見いだしたりすることができる。(高２段階Ｂア(イ)㋐) (学・人) 数学のよさを実感し、学習したことを生活や学習に活用することができる。(高２段階)	(知・技) 縮図や拡大図について理解している。 対称な図形について理解している。 (思･判･表) 図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見いだしている。 (主学) 数学のよさを実感し、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元「平面図形」 ・拡大、縮小 ・拡大図と縮図 ・線対称 ・点対称	・プリント学習や視聴教材を活用する。 ・具体物を活用して図形の特徴や性質をイメージをしやすくする。 ・調べ学習を通して様々な図形について調べる。 ・身の回りや生活で実際に使われている題材を授業に取り入れる。

3 学 期	23	(知及技) 速さなどの単位量当たりの大きさの意味を理解し、それを求めることができる。(高１段階Ｃイ(ア)㋐) (思判表力) 数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を考察することができる。(高１段階Ｃイ(イ)㋐) (学・人) 数学のよさを実感し、学習したことを生活や学習に活用することができる。(高２段階)	(知・技) 速さなどの単位量当たりの大きさの意味を理解し、それを求めようとしている。 (思･判･表) 数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を考察しようとしている。 (主学) 数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元「割合」 ・速さの求め方 ・速さの比較 単元「単位量当たりの大きさ」 ・単位量当たりの大きさ ・単位量当たりの値段	・プリント学習や視聴教材を活用する。 ・身の回りや生活で実際に使われている題材を授業に取り入れる。 ・速さや量を知ることで生活でどのように繋げるかグループ活動で考える。
留意点 引継ぎ等					

令和　8年度　高等部　　1年（Ⅱ課程B）　数学科　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
3／105	1年9名		なし

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

(知及技)
数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけることができる。(高等部1段階)
(思判表力)
日常の事象を数理的に捉え見通しをもち道筋を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表したりすることができる。(高等部1段階)
(学･人)
数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとすることができる。(高等部1段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	36	(知及技) 概数が用いられる場面について知ることができる。(高１段階Ａウ(ア)㋐) (思判表力) 数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を統合的に捉えることができる。(高１段階Ａア(イ)㋐) (学･人) 数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用することができる。(高１段階)	(知・技) ・関連の深い絵カードを組み合わせている。 ・ものの集まりや数詞と対応して数字を選んでいる。万の単位を知っている。 億、兆の単位について知り、十進位取り記数法を用いている。 (思･判･表) 数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を統合的に捉えようとしている。 (主学) 数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用している。	単元「整数」 ・万までの数 ・大きな数の読み書き ・大きな数の大小	・数に関するゲームを通して、大きな数を学習する。 ・プリント学習や視聴教材を活用する。 ・身の回りや生活で実際に使われている題材を授業に取り入れる。
2学期	23	(知及技) 加法及び減法の計算が確実にでき、それらを適切に用いることができる。(高等部１段Ａエ(ア)㋑) (思判表力) 数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり、計算の確かめをしたりすることができる。(高１段階Ａ（イ）㋐) (学・人) 数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用することができる。(高１段階)	(知・技) 電卓を使い加法及び減法の計算ができ、それらを適切に用いている。 (思･判･表) 数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり、計算の確かめをしたりしようとしている。 (主学) 数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用している。	単元「整数の加法と減法」 ・大きな数の足し算 ・大きな数の引き算 ・足し算、引き算の筆算 ・大きな数の暗算 ・買い物学習	・プリント学習や視聴教材を活用する。 ・電卓を活用して自分で解いた問題の正当を確認する。 ・買い物学習では金額内で目的じた商品の購入やレシートから買い物情報を読み取る練習を行う。
	22	(知及技) 平行四辺形、ひし形、台形について知ることができる。(高1段階Ｂア(ア)㋐) (思判表力) 図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成の仕方を考察し図形の性質を見いだすとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直すことができる。(高１段階Ｂア(イ)㋐) (学・人) 数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用することができる。(高１段階)	(知・技) 平行四辺形、ひし形、台形について知っている。 (思･判･表) 図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成の仕方を考察し図形の性質を見いだすとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直そうとしている。 (主学) 数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用している。	単元「平面図形」 ・平行四辺形、ひし形、台形の仲間分け ・平行四辺形、ひし形、台形の性質 ・図形の形が決まる要素	・プリント学習や視聴教材を活用する。 ・具体物を活用して図形の特徴や性質をイメージをしやすくする。 ・調べ学習を通して様々な図形について調べる。 ・身の回りや生活で実際に使われている題材を授業に取り入れる。
3学期	24	(知及技) 速さなどの単位量当たりの大きさの意味を理解し、それを求めることができる。(高１段階Ｃイ(ア)㋐) (思判表力) 数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を考察することができる。(高１段階Ｃイ(イ)㋐) (学・人) 数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用することができる。(高１段階)	(知・技) 速さなどの単位量当たりの大きさの意味を理解している (思･判･表) 数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べ、数量について考え、表現している。 (主学) 数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用している。	単元「割合」 ・速さの求め方 ・速さの比較 単元「単位量当たりの大きさ」 ・単位量当たりの大きさ ・単位量当たりの値段	・プリント学習や視聴教材を活用する。 ・身の回りや生活で実際に使われている題材を授業に取り入れる。 ・速さや量を知ることで生活でどのように繋げるかグループ活動で考える。
留意点引継ぎ等					

令和８年度　高等部　　２年（Ⅱ課程B）　数学科　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	２年　６名		なし

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけることができる。(高等部1段階) (思判表力)日常の事象を数理的に捉え見通しをもち道筋を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表したりすることができる。(高等部1段階) (学･人)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとすることができる。(高等部1段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して		(知及技) ･ものともとを対応させて配ることができる。(小1段階Aイ(ア)㋐) ･5までの範囲で数唱をすることができる。(小1段階Bア(ア)㋐) (思判表力) ･数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすことができる。(小1段階Bア(イ)㋐) (学･人) ･数量や図形に気付き、数学の学習に関心をもって取り組もうとすることができる。(小1段階)	(知･技) ･ものともとを対応させて配っている。 ･5までの範囲の数唱をしている。 (思･判･表) ･数詞ともとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、身の回りのものを数えたり次の学習に生かしたりしている。 (主学) ･教師と一緒に粘り強く課題に取り組んでいる。	単元｢数量の基礎｣ ･1対1対応、仲間分け 単元｢数と計算｣ ･数字と数字のマッチング ･順序数 ･10までの数唱	･ICT機器やプリントを活用する。 ･なぞりがきやシール貼り等生徒の実態に合わせた活動を行う。 ･継続して取り組み、数量の基礎の定着を図る。
1学期	37	(知及技) ･数を10のまとまりとして数えたり、10のまとまりと端数に分けて数えたり書き表したりすることができる。(小3段階Aア(ア)㋔) ･切り捨てができる。(高1段階Aウ(ア)㋐) (思判表力) ･数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活で生かすことができる。(小3段階Aア(イ)㋐) ･日常の事象における場面に着目し、数の処理の仕方を考えるとともに、それを日常生活に生かすことができる。(高1段階Aウ(イ)㋐) (学･人) ･図形や数量について数学的に表現･処理したことを振り返り、多面的に捉え粘り強く考えることができる。(高1段階)	(知･技) ･数を10のまとまりとして数えたり、10のまとまりと端数に分けて数えたりしている。 ･ブロック操作やプリント学習において、切り捨てをしている。 (思･判･表) ･数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活で生かそうとしている。 (主学) ･教師と一緒に粘り強く課題に取り組んでいる。	単元｢数と計算｣ ･10のまとまり、100のまとまり ･硬貨の組み合わせ ･計算機の使い方 ･予算内で商品を選ぼう ･買い物学習 ･レシートから情報を読み取ろう 単元｢概数｣ ･切り捨て ･見積もりの計算	･ブロックを用いて活動に取り組み、1、10、100の量感を掴む。 ･ブロックの操作を通して切り捨ての考え方を理解する。 ･ブロックと硬貨の関連を意識し、スムーズに移行できるようにする。
2学期	42	(知及技) ･データを日時や場所などの観点から分類及び整理し、表や棒グラフで表したり、読んだりすることができる。(中2段階Dア(ア)㋐) ･立方体、直方体について知ることができる。(高1段階Bイ(ア)㋐) (思判表力) ･身の回りの事象に関するデータを整理する観点に着目し、表や棒グラフを用いながら、読み取ったり、考察したり、結論を表現したりすることができる。(中2段階Dア(イ)㋐) ･図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、立体図形の平面上での表現や構成の仕方を考察し、図形の性質を見いだすとともに、日常の事象を図形の性質から捉え直すことができる。(高1段Bイ(イ)㋐) (学･人) ･データの活用に進んで関わり、数学的に表現･処理するとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとすることができる。(中2段階)	(知･技) ･データを日時や場所などの観点から分類及び整理し、表や棒グラフで表したり、読んだりしている。 ･立方体、直方体についての平行や垂直などの簡単な性質がわかる。 (思･判･表) ･身の回りの事象に関するデータを整理する観点に着目し、簡単な表やグラフを用いながら値を読み取ったり、多少を比べたりしている。 ･身の回りにあるものから平行や垂直を探している。 (主学) ･データの活用に進んで関わろうとしている。 ･数量や図形に進んで関わろうとしている。	単元｢データの活用｣ ･表とグラフ ･棒グラフの見方 ･大きい、小さい、高い、低い、多い、少ない ･情報を読み取ろう ･アンケートをとろう ･情報を整理しよう 単元｢立体図形｣ ･立体図形の仲間分け ･身の回りにある立体図形 ･立体図形の性質 ･立体図形を創ろう ･展開図 ･見取り図	･半具体物やICT機器を活用する。 ･身の回りの題材についてのグラフに取り組む。 ･具体物を利用し、立体図形に関する知識や思考力が深められるようにする。

3 学 期	26	(知及技) ・等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表すのに分数を用いることについて理解すること、また、分数の表し方について知ることができる。(高1段階Aケ(ア)㋐) (思判表力) ・数のまとまりに着目し、分数でも数の大きさを比べたり、計算したりできるかどうかを考えるとともに、分数を日常生活に生かすことができる。(高1段階Aケ(イ)㋐) (学・人) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりすることができる。(高1段階)	(知・技) ・等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表すのに分数を用いることがわかり、また、分数の表し方について知っている。 (思・判・表) ・イラストを用いて分数の大きさを比べたり計算の仕方を考えたりしている。 (主学) ・数量について多面的に捉え粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活かそうとしている。	単元「数と計算」 ・分数 ・2分の1と3分の1 ・4分の1、10分の1 ・2分の2、3分の2、3分の3	・半具体物やICT機器を活用する。 ・身近なものを等分して分数に表し、大きさを比較したり計算の仕方について考えたりする。 ・繰り返し学習に取り組み、理解を図る。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度　高等部　　3年（Ⅱ課程B）　数学科　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	3年　8名		なし

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思・判・表)思考・判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけることができる。(高等部１段階) (思判表力)日常の事象を数理的に捉え見通しをもち道筋を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表したりすることができる。(高等部１段階) (学・人)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとすることができる。(高等部１段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して		(知及技) ・ものとものとを対応させて配ることができる。(小1段階Aイ(ア)㋐) ・5までの範囲で数唱をすることができる。(小1段階Bア(ア)㋐) (思判表力) ・数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすことができる。(小1段階Bア(イ)㋐) (学・人) ・数量や図形に気付き、数学の学習に関心をもって取り組もうとすることができる。(小1段階)	(知・技) ・ものとものとを対応させて配っている。 ・5までの範囲の数唱をしている。 (思・判・表) ・数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、身の回りのものを数えたり次の学習に生かしたりしている。 (主学) ・教師と一緒に粘り強く課題に取り組んでいる。	単元「数量の基礎」 ・1対1対応、仲間分け 単元「数と計算」 ・数字と数字のマッチング ・順序数 ・10までの数唱	・ICT機器やプリントを活用する。 ・なぞりがきやシール貼り等生徒の実態に合わせた活動を行う。 ・継続して取り組み、数量の基礎の定着を図る。
1学期	37	(知及技) ・数を10のまとまりとして数えたり、10のまとまりと端数に分けて数えたり書き表したりすることができる。(小3段階Aア(ア)㋑) (思判表力) ・数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活で生かすことができる。(小3段階Aア(イ)㋐) ・日常の事象における場面に着目し、数の処理の仕方を考えるとともに、それを日常生活に生かすことができる。(高1段階Aウ(イ)㋐) (学・人) ・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え粘り強く考えることができる。(高1段階)	(知・技) ・ものの集まりや数詞と対応して数字を選んでいる。 ・数を10のまとまりとして数えたり、10のまとまりと端数に分けて数えたりしている。 ・計算機を使って、具体的な生活場面における簡単な加法の計算をしている。 ・立方体、直方体がわかる。 (思・判・表) ・数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活で生かそうとしている。 (主学) ・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え粘り強く考えようとしている。	単元「数と計算」 ・10のまとまり、100のまとまり ・硬貨の組み合わせ ・計算機の使い方 ・予算内で商品を選ぼう ・買い物学習 ・レシートから情報を読み取ろう	・ブロックを用いて活動に取り組み、1、10、100の量感を掴む。 ・ブロックの操作を通して切り捨ての考え方を理解する。 ・ブロックと硬貨の関連を意識し、スムーズに移行できるようにする。
2学期	42	(知及技) ・数量の関係を割合で捉え、円グラフや帯グラフで表したり、読んだりすることができる。(高1段階Dア(ア)㋐) (思判表力) ・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して読み取り、その結論について多面的に捉え考察することができる。(高1段階Dア(イ)ア) (学・人) ・データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとすることができる。(高1段階)	(知・技) ・数量の関係を割合で捉え、円グラフや帯グラフで表したり、読んだりしている。 ・円グラフや帯グラフの意味やそれらの用い方を理解している。 (思・判・表) ・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して読み取り、その結論について多面的に捉え考察しようとしている。 (主学) ・データの活用について数学的に表現・処理することのよさに気づき、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元「いろいろなグラフ」 ・円グラフ ・帯グラフ ・データの収集	・半具体物やICT機器を活用する。 ・身の回りの題材についてのグラフに取り組む。

3 学 期	26	(知及技) ・小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知るとともに、数の相対的な大きさについての理解を深めることができる。(高1段階Aキ(ア)㋑) (思判表力) ・数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、計算の仕方を考えたり、大きさを比べたりすることができる。(高1段階Aキ(イ)㋐) (学・人) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりすることができる。(高1段階)	(知及技) ・小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知るとともに、数の相対的な大きさについての理解を深めようとしている。 (思判表力) ・数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、計算の仕方を考えたり、大きさを比べたりしている。 (学・人) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元「小数」 ・小数 ・小数の大小関係 ・小数の加法、減法	・半具体物やICT機器を活用する。 ・身近な小数を取り上げ、大きさを比較したり計算の仕方について考えたりする。 ・繰り返し学習に取り組み、理解を図る。
留意点 引継ぎ等					

令和　8年度 高等部　1年（Ⅱ課程A）　理科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	18名		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 生命の連続性、動物の誕生、流れる水の働き、物の溶け方についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。（高１段階） (思判表力)生命の連続性、動物の誕生、流れる水の働き、物の溶け方について調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を身につける。（高１段階） (学･人)生命の連続性、動物の誕生、流れる水の働き、物の溶け方について進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を身につける。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技) 生命の連続性についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。（高１段階Aア） (思判表力) 生命の連続性について調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を身につけることができる。（高１段階Aイ） (学・人) 生命の連続性について進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を身につけることができる。（高１段階Aウ）	(知・技) ・植物は、種子の中の養分を基にして発芽することを理解しようとしている。 ・植物の発芽には、水、空気及び温度が関係していることを理解しようとしている。 ・植物の成長には、日光や肥料などが関係していることを理解しようとしている。 ・植物の発芽や成長について、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録しようとしている。 ・花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのもとが実になり、実の中に種子ができることを理解しようとしている。 ・植物の花のつくりや結実について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録しようとしている。 (思･判･表) ・植物の発芽や成長について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・植物の発芽や成長について、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・植物の花のつくりや結実について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・植物の花のつくりや結実について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決しようとしている。 (主学) ・植物の発芽や成長についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・植物の発芽や成長について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 ・植物の花のつくりや結実についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・植物の花のつくりや結実について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	単元「植物の発芽、成長、結実」 ・種子の中の養分 ・発芽の条件 ・成長の条件 ・植物の受粉・結実	・種子はどうすれば発芽するのかを考え、種子の発芽と水の関係について、調べる。 ・種子が発芽するためには、水のほかに、何が必要か予想する。 ・種子の発芽と温度や空気との関係を調べる条件を考え、実験の計画を立てる。 ・種子の発芽と温度や空気との関係を調べる条件を整え、実験を行う。 ・種子が発芽する条件についてまとめる。 ・種子が発芽するときの子葉の働きを調べる。 ・種子が発芽するときの養分についてまとめる。 ・植物が大きく成長していくためには何が必要か予想する。 ・植物の成長と日光や肥料との関係を調べる条件を考え、実験の計画を立てる。 ・日光と成長、肥料と成長との関係を調べる実験を行う。 ・日光と成長との関係、肥料と成長との関係についてまとめる。 ・植物の発芽と成長について、学んだことをまとめる。 ・おしべの働きを考え、花粉を顕微鏡で観察する。 ・花のつくりと結実部分、花粉についてまとめる。 ・めしべの写真を見て、花粉は開花後に運ばれ、受粉することを捉える。 ・資料を読み、花粉の運ばれ方について捉える。 ・受粉と実のでき方との関係を調べるための方法を考える。 ・花粉の働きを調べる。 ・受粉と実のでき方についてまとめる。

2学期	15	(知及技) 動物の誕生についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。（高１段階Aア） (思判表力) 動物の誕生について調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を身につけることができる。（高１段階Aイ） (学・人) 動物の誕生について進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を身につけることができる。（高１段階Aウ）	(知・技) ・魚には雌雄があり、生まれた卵は日が経つにつれて中の様子が変化してかえることを理解しようとしている。 ・卵の中の変化について、観察などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録しようとしている。 ・人は、母体内で成長して生まれることを理解しようとしている。 ・胎児の母体内での成長について、調査などの目的に応じて、資料などを選択して調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録しようとしている。 (思･判･表) ・卵の中の変化について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・卵の中の変化について、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・胎児の母体内での成長について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・胎児の母体内での成長について、調査などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決しようとしている。 (主学) ・卵の中の変化についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・卵の中の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 ・胎児の母体内での成長についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・胎児の母体内での成長について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	単元「動物の誕生」 ・卵の中の成長 ・母体内の成長	・メダカの雌雄の見分け方を知る。 ・メダカの卵の育ち方を予想し、調べる方法を考える。 ・メダカの卵の育ち方について観察し、iPadを活用して記録する。 ・魚の卵の中の変化についてまとめる。 ・人の子どもの母体内での成長について予想し、iPadを活用して調べたことをまとめて発表する。
	15	(知及技) 流れる水の働きについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。（高１段階Bア） (思判表力) 流れる水の働きについて調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を身につけることができる。（高１段階Bイ） (学・人) 流れる水の働きについて進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を身につけることができる。（高１段階Bウ）	(知・技) ・流れる水には、土地を侵食したり、石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあることを理解しようとしている。 ・川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあることを理解しようとしている。 ・雨の降り方によって、流れる水の速さや量は変わり、増水により土地の様子が大きく変化する場合があることを理解しようとしている。 ・流れる水の働きと土地の変化について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録しようとしている。 (思･判･表) ・流れる水の働きと土地の変化について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・流れる水の働きと土地の変化について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決しようとしている。 (主学) ・流れる水の働きと土地の変化についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・流れる水の働きと土地の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	単元「流れる水のはたらきと土地の変化」 ・流れる水の働き ・川の上流・下流と川原の石	・水の量を変えて、流れる水の働きを調べる。 ・流れる水の働きについてまとめる。 ・川の写真を見て、気づいたことや疑問に思ったことを話し合う。 ・流れる水の働きが大きくなるのはどのようなときか、予想する。 ・流れる水の量と土地の様子の変化との関係を調べるための方法を考える。 ・川の上流・下流の川原の石を比較し、それらの違いについて話し合い、まとめる。
3学期	16	(知及技) 物の溶け方についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。（高１段階Cア） (思判表力) 物の溶け方について調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を身につけることができる。（高１段Cイ） (学・人) 物の溶け方について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を身につけることができる。（高１段階Cウ）	(知・技) ・物が水に溶けても、水と物とをあわせた重さは変わらないことを理解しようとしている。 ・物が水に溶ける量には、限度があることを理解しようとしている。 ・物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うこと、また、この性質を利用して、溶けている物を取り出すことができることを理解しようとしている。 ・物の溶け方について、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録しようとしている。 (思･判･表) ・物の溶け方について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・物の溶け方について、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決しようとしている。 (主学) ・物の溶け方についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・物の溶け方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	単元「物の溶け方（均一性含）」 ・重さの保存 ・物が水に溶ける量の限度 ・物が水に溶ける量の変化	・水に溶けて見えなくなった食塩の行方について調べまとめる。 ・水に物を入れて溶ける様子iPadで撮影し比較する。それらの気付いたことを話し合い、まとめる。 ・コーヒーシュガーや片栗粉を水に入れて、そのときの様子を観察する。 ・コーヒーシュガーを入れた液と片栗粉を入れた液を比べて、気づいたことを話し合う。 ・物が水に溶けることをまとめ、水溶液について知る。 ・食塩とミョウバンが水に溶ける量には限りがあるかを調べる。 ・物が水に溶ける量には限りがあることをまとめる。 ・食塩やミョウバンを更に水に溶かすことができるかについて問題を見いだし、調べる方法を考える。 ・水の量を変えたり、水の温度を変えたりしたときの、食塩とミョウバンの溶ける量を調べる。 ・水の量を変えたり、水の温度を変えたりしたときの、物の溶ける量についてまとめる。 ・水溶液を冷やしたり、水溶液から水を蒸発させたりして、溶けている物を取り出すことができるか調べる。 ・水に溶けた物の取り出し方についてまとめる。 ・物の溶け方について、学んだことをまとめる。
留意点 引継ぎ等					

令和　8年度 高等部　2年（Ⅱ課程A）　理科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	24名		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）人の体のつくりと働き、天気の変化、月と太陽、電流の働き、燃焼の仕組み、水溶液の性質についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。（高１・２段階） (思判表力)人の体のつくりと働き、天気の変化、月と太陽、電流の働き、燃焼の仕組み、水溶液の性質について調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を身につけることができる。（高１・２段階） (学･人)人の体のつくりと働き、天気の変化、月と太陽、電流の働き、燃焼の仕組み、水溶液の性質について進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとすることができる。（高１・２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技) 人の体のつくりと働きについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。（高２段階Aア） (思判表力) 人の体のつくりと働きについて調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を身につけることができる。（高２段階Aイ） (学・人) 人の体のつくりと働きについて進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を身につけることができる。（高２段階Aウ）	(知・技) ・体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されていることを理解しようとしている。 ・食べ物は、口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかった物は排出されることを理解しようとしている。 ・血液は、心臓の働きで体内を巡り、養分、酸素及び二酸化炭素などを運んでいることを理解しようとしている。 ・体内には、生命活動を維持するためのさまざまな臓器があることを理解しようとしている。 ・人や他の動物の体のつくりと働きについて、実験、調査などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録しようとしている。 (思･判･表) ・人や他の動物の体のつくりと働きについて、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・人や他の動物の体のつくりと働きについて、実験、調査などを行い、体のつくりと呼吸、消化、排出及び循環の働きについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決しようとしている。 (主学) ・人や他の動物の体のつくりと働きについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・人や他の動物の体のつくりと働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	単元「人の体のつくりと働き」 ・呼吸 ・消化・吸収 ・血液循環 ・主な臓器の存在	・人や他の動物が生きていくためには何が必要か考える。 ・唾液の働きを調べる方法を考え、調べる。 ・実験結果を基に、唾液がデンプンを変化させたと言えるのか考え、まとめる。 ・消化と吸収の仕組み、消化管と消化液の働きを調べまとめる。 ・動物の消化管のつくりを捉える。 ・肝臓の働きについて、調べまとめる ・呼吸の働きについて予想し、吐き出した空気と吸う空気はどのように違うのかについて、石灰水や酸素センサーで調べる。 ・結果を基に、呼吸について考え、まとめる。 ・肺の働きと呼吸の仕組みを調べ、まとめる。 ・動物の呼吸の仕組みを捉える。 ・全身の血流の流れと働きについてまとめる。 ・腎臓の働きを調べ、まとめる。 ・人の体内にある臓器について、それぞれの名称や体内の位置を確かめる。
	12	(知及技) 気象現象の規則性についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。（高１段階B4ア） (思判表力) 気象現象の規則性について調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を身につけることができる。（高１段階Bイ） (学・人) 気象現象の規則性について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を身につけることができる。（高１段階Bウ）	(知・技) ・天気の変化は、雲の量や動きと関係があることを理解しようとしている。 ・天気の変化は、気象情報を用いて予想できることを理解しようとしている。 ・天気の変化の仕方について、観察などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録しようとしている。 (思･判･表) ・天気の変化の仕方について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・天気の変化の仕方について、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決しようとしている。 (主学) ・天気の変化の仕方についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・天気の変化の仕方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	単元「天気の変化」 ・雲と天気の変化 ・天気の変化の予想	・時刻を変えて、雲の形や量、動きなどを観測する。 ・天気の変化の仕方を調べるための気象情報の集め方を考え、計画を立てる。 ・数日間の気象情報を集めて天気の変化を調べる。 ・天気を観測したり、気象情報をiPadを活用し集めたりして、明日の天気を予想する。

2学期	15	(知及技) 月の形の見え方と太陽との位置関係についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。（高２段階B4ア） (思判表力) 月の形の見え方と太陽との位置関係について調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を身につけることができる。（高２段階Bイ） (学・人) 月の形の見え方と太陽との位置関係について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を身につけることができる。（高２段階Bウ）	(知・技) ・月の輝いている側に太陽があること、また、月の形の見え方は、太陽と月との位置関係によって変わることを理解しようとしている。 ・月の形の見え方について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録しようとしている。 (思･判･表) ・月の形の見え方について、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・月の形の見え方について、観察、実験などを行い、月の位置や形と太陽の位置との関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決しようとしている。 (主学) ・月の形の見え方についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・月の形の見え方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	単元「月と太陽」 ・月の位置や形と太陽の位置	・月の表面の様子を観測したり、iPadで調べたりする。 ・月の形が日によって変わって見える理由をモデル実験で確かめる。 ・月の見え方と太陽の位置関係に学んだことをまとめる。
	15	(知及技) 水溶液の性質についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。（高２段階Cア） (思判表力) 水溶液の性質について調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を身につけることができる。（高２段階Cイ） (学・人) 水溶液の性質について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を身につけることができる。（高２段階Cウ）	(知・技) ・水溶液には、酸性、アルカリ性及び中性のものがあることを理解しようとしている。 ・水溶液には、気体が溶けているものがあることを理解しようとしている。 ・水溶液には、金属を変化させるものがあることを理解しようとしている。 ・水溶液の性質や働きについて、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録しようとしている。 (思･判･表) ・水溶液の性質や働きについて、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・水溶液の性質や働きについて、実験などを行い、溶けている物による性質や働きの違いについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決しようとしている。 (主学) ・水溶液の性質や働きについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・水溶液の性質や働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	単元「水溶液の性質」 ・酸性、中性、アルカリ性 ・気体が溶けている水溶液 ・金属を変化させる水溶液	・食塩水、重曹水、塩酸、炭酸水にはどのような違いがあるか予想し、違いを調べる方法を考える。 ・水溶液の違いを調べる。 ・実験結果を基に、水溶液には固体が溶けている物があることをまとめる。 ・炭酸水には何が溶けているのか調べる。 ・炭酸水には二酸化炭素が溶けていることをまとめる。 ・リトマス紙を使って、水溶液を仲間分けする。 ・水溶液は、酸性、中性、アルカリ性に仲間分けできることをまとめる。 ・身の回りのいろいろな水溶液をリトマス紙につけて、性質を調べる。 ・水溶液には金属を変化させる働きがあるか予想し、金属に塩酸や水を注ぐとどうなるかを調べ、まとめる。 ・塩酸に溶けた金属はどうなったのか予想し、調べる方法を考える。 ・塩酸にアルミニウム（または鉄）が溶けた液を蒸発させて、溶けた金属を取り出すことができるか調べる。 ・液を蒸発させて出てきた固体の性質を調べる方法を考える。 ・自分たちで考えた方法で、固体の性質を調べる。 ・水溶液には金属を変化させるものがあるか考え、まとめる。 ・水溶液の性質と働きについて、学習したことをまとめる。

3学期	8	(知及技) 電流の働きについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。（高１段階(ア) (思判表力) 電流の働きについて調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を身につけることができる。（高１段階(イ) (学・人) 電流の働きについて進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を身につけることができる。（高１段階(ウ)	(知・技) ・乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わることを理解しようとしている。 ・電流の働きについて、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録しようとしている。 (思･判･表) ・電流の働きについて、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・電流の働きについて、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決しようとしている。 (主学) ・電流の働きについての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・電流の働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	単元「電流の働き」 ・乾電池の数とつなぎ方	・豆電球の明るさやモーターの回り方が何によって変わるのかについて、導入の活動や経験したことを基に予想する。 ・乾電池の数や向きを変えて、豆電球の明るさやモーターの回り方がどう変わるか調べる実験を行う。 ・乾電池の数やつなぎ方と電流の働きについてまとめる。 ・乾電池の向きと、電流の向き、モーターの回る向きとの関係についてまとめる。 ・乾電池２個のつなぎ方を考えて、豆電球の明るさやモーターの回る速さを調べる。 ・「直列つなぎ」と「並列つなぎ」という言葉を使って、乾電池２個のつなぎ方とモーターの回る速さとの関係をまとめる。 ・乾電池２個のつなぎ方によって、モーターが回る速さが違うのはなぜか、これまでに学んだことや経験したことを基に予想する。 ・乾電池２個を直列つなぎにしたときと並列つなぎにしたときの電流の大きさを調べる方法を考える。 ・乾電池の数やつなぎ方を変えて、モーターの回る速さと電流の大きさを調べる。 ・乾電池の数やつなぎ方と電流の働きについてまとめる。 ・電流の働きについて、学んだことをまとめる。 ・学んだことを生かして、プロペラカーを作り動かしてみる。
	8	(知及技) 燃焼の仕組みについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。（高２段階(ア) (思判表力) 燃焼の仕組みについて調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を身につけることができる。（高２段階(イ) (学・人) 燃焼の仕組みについて進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を身につけることができる。（高２段階(ウ)	(知・技) ・植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができることを理解しようとしている。 ・燃焼の仕組みについて、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録しようとしている。 (思･判･表) ・燃焼の仕組みについて、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・燃焼の仕組みについて、実験などを行い、物が燃えたときの空気の変化について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決しようとしている。 (主学) ・燃焼の仕組みについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・燃焼の仕組みについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	単元「燃焼の仕組み」 ・燃焼の仕組み	・集気瓶の中でろうそくを燃やし続けるにはどうすればよいか、調べる方法を考える。 ・集気瓶の中でろうそくを燃やし続ける方法を調べる。 ・実験結果を基に、物が燃え続けるにはどのようなことが必要といえるか考える。 ・物が燃え続けるには、空気が入れ替わる必要があることをまとめる。 ・空気の成分の変化について問題を見いだす。 ・物が燃える前と物が燃えた後の空気の変化について、石灰水で調べる。 ・実験結果を基に、物が燃える前と物が燃えた後の空気の変化について考える。 ・物が燃えると、空気中の酸素の一部が使われて、二酸化炭素ができることをまとめる。 ・物を燃やしたときの、物や空気の変化について調べる。 ・物が燃えるときの空気の働きについて、学んだことをまとめる。
留意点 引継ぎ等					

令和　8年度 高等部　3年（Ⅱ課程A）　理科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	24名		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 生物の体のつくりと働き、生物と環境、土地のつくりと変化、てこの規則性及び電気の性質や働きについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。（高２段階） (思判表力)生物の体のつくりと働き、生物と環境、土地のつくりと変化、てこの規則性及び電気の性質や働きについて調べる中で、 主に予想や仮説を基に、解決の方法を 考える力を身につける。（高２段階） (学･人)生物の体のつくりと働き、生物と環境、土地のつくりと変化、てこの規則性及び電気の性質や働きについて進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を身につける。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	(知及技) 生物の体のつくりと働きについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(高2段Aア) (思判表力) 生物の体のつくりと働きについて調べる中で、主にそれらの働きや関わりについて、より妥当な考えをつくりだす力を身につけることができる。(高2段Aイ) (学・人) 生物の体のつくりと働きについて進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を身につけることができる。（高2段Aウ）	(知・技) ・植物の葉に日光が当たるとでんぷんができることを理解しようとしている。 ・根、茎及び葉には、水の通り道があり、根から吸い上げられた水は主に葉から蒸散により排出されることを理解しようとしている。 ・植物の体のつくりと働きについて、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録しようとしている。 (思･判･表) ・植物の体のつくりと働きについて、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・植物の体のつくりと働きについて、実験などを行い、体内の水などの行方及び葉で養分をつくる働きについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決しようとしている。 (主学) ・植物の体のつくりと働きについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・植物の体のつくりと働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	単元「植物と養分と水の通り道」 ・でんぷんのでき方 ・水の通り道	・植物を着色した水に入れて、植物の体の水の通り道を調べ、まとめる。 ・植物がよくする成長する日光が必要な理由を考え、葉に日光が当たるとでんぷんができるか調べる実験を行う。 ・葉まで運ばれた水が葉などから出ているか調べ、水は水蒸気になって葉から出ていくことをまとめる。 ・気孔を観察する。 ・植物がよく成長するために日光が必要な理由を考え、葉に日光が当たるとでんぷんができるか調べる方法を考える。 ・実験結果を基に、葉に日光が当たるとでんぷんができるか考え、まとめる。 ・植物の水の通り道や日光との関わりについて、学んだことをまとめる。
	11	(知及技) 生物と環境との関わりについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(高2段Aア) (思判表力) 生物と環境との関わりについて調べる中で、主にそれらの働きや関わりについて、より妥当な考えをつくりだす力を身につけることができる。(高2段Aイ) (学・人) 生物と環境との関わりについて進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を身につけることができる。（高2段Aウ）	(知・技) ・生き物は、水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていることを理解しようとしている。 ・生き物の間には、食う食われるという関係があることを理解しようとしている。 ・生き物と環境について、観察、実験、調査などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録しようとしている。 (思･判･表) ・生き物と環境について、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・生き物と環境について、観察、実験、調査などを行い、生き物と環境との関わりについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決しようとしている。 (主学) ・生き物と環境についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・生き物と環境について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	単元「生物と環境」 ・生物と水、空気との関わり ・食べ物による生物の関係（水中の小さな生物を含む） ・人と環境 ・主な臓器の存在	・人の食べ物の元は何か予想する。 ・水中の小さな生き物の様子やダンゴムシが落ち葉を食べる様子を観察するなどして、自然の中での動物の食べ物を調べる。 ・観察結果を基に、生き物の食べ物を通した関わりについて考え、まとめる。 ・空気中に酸素を出している物は何かについて、問題を見いだし、植物が酸素を出しているかを調べ、まとめる。 ・生き物と水との関わりについて考え、まとめる。 ・地球をめぐる水と生き物との関わりについて考える。 ・生き物と食べ物、空気、水との関わりについて、学んだことをまとめる。

2学期	15	(知及技) 土地のつくりと変化についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(高2段Bア) (思判表力) 土地のつくりと変化について調べる中で、主にそれらの変化や関係について、より妥当な考えをつくりだすことができる。(高2段Bイ) (学・人) 土地のつくりと変化について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとすることができる。(高2段Bウ)	(知・技) ・土地は、礫、砂、泥、火山灰などからできており、層をつくって広がっているものがあること、また、層には化石が含まれているものがあることを理解しようとしている。 ・地層は、流れる水の働きや火山の噴火によってできることを理解しようとしている。 ・土地は、火山の噴火や地震によって変化することを理解しようとしている。 ・土地のつくりと変化について、観察、実験、調査などの目的に応じて、器具や機器、資料などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録しようとしている。 (思・判・表) ・土地のつくりと変化について、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・土地のつくりと変化について、観察、実験、調査などを行い、土地のつくりやでき方について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決しようとしている。 (主学) ・土地のつくりと変化についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・土地のつくりと変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	単元「土地のつくりと変化」 ・土地の構成物と地層の広がり ・地層のでき方と化石 ・火山の噴火や地震による土地の変化	・崖の様子の資料写真を見て、大地の下がどのようになっているのか考え、地層についてまとめる。 ・水の働きでできた地層の特徴や火山の働きでできた地層の特徴をまとめる。 ・流れる水の働きによる地層のでき方を予想し、容器に土を流し込むモデル実験を通して調べる。 ・水の働きによる地層のでき方や特徴について、まとめる。 ・化石について知る。 ・火山の働きによる地層のでき方を写真や資料で調べ、まとめる。 ・大地のつくりについて、学んだことをまとめる。 ・地震や火山の噴火による大地の変化について調べる。 ・調べたことを発表し、地震と火山の噴火による大地の変化についてまとめる。 ・地震や火山の噴火による災害や、災害に対する備えついて、調べたり、考えたりする。 ・資料を読んで、地震に関係する言葉の意味や、過去の記録から学んだり後世へ伝えたりする取り組みを知る。 ・資料を読んで、火山の恵みについて捉える。
	15	(知及技) てこの規則性についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(高2段Cア) (思判表力) てこの規則性について調べる中で、主にそれらの仕組みや性質、規則性及び働きについて、より妥当な考えをつくりだすことができる。(高2段Cイ) (学・人) てこの規則性について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとすることができる。(高2段Cウ)	(知・技) ・力を加える位置や力の大きさを変えると、てこを傾ける働きが変わり、てこがつり合うときにはそれらの間に規則性があることを理解しようとしている。 ・身の回りには、てこの規則性を利用した道具があることを理解しようとしている。 ・てこの規則性について、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録しようとしている。 (思・判・表) ・てこの規則性について、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・てこの規則性について、実験などを行い、力を加える位置や力の大きさとてこの働きとの関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決しようとしている。 (主学) ・てこの規則性についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・てこの規則性について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	単元「てこの規則性」 ・てこのつり合いの規則性 ・てこの利用	・てこを使ってできるだけ小さい力で重い物を持ち上げるにはどうしたらよいか予想し、調べる方法を考える。 ・てこが水平につり合うときにはどのようなきまりがあるのか調べる。
3学期	16	(知及技) 電気の性質についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(高2段Cア) (思判表力) 電気の性質について調べる中で、主にそれらの仕組みや性質、規則性及び働きについて、より妥当な考えをつくりだすことができる。(高2段Cイ) (学・人) 電気の性質について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとすることができる。(高2段Cウ)	(知・技) ・電気は、つくりだしたり蓄えたりすることができることを理解しようとしている。 ・電気は、光、音、熱、運動などに変換することができることを理解しようとしている。 ・身の回りには、電気の性質や働きを利用した道具があることを理解しようとしている。 ・電気の性質や働きについて、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録しようとしている。 (思・判・表) ・電気の性質や働きについて、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・電気の性質や働きについて、実験などを行い、電気の量と働きとの関係、発電や蓄電、電気の変換について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決しようとしている。 (主学) ・電気の性質や働きについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・電気の性質や働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	単元「電気の利用」 ・発電（光電池をフックむ）・蓄電 ・電気の変換 ・電気の利用	・身の回りで、発電しているところや物があるか探す。 ・手回し発電機や光電池で電気を作り、作った電気を利用する。また、手回し発電機の回し方や光電池への光の当て方によって発電の様子がどのように変わるか調べる。 ・手回し発電機や光電池を使うと、発電することができることをまとめる。 ・コンデンサーなどを使うと、蓄電できることを知る。 ・作った電気をコンデンサーにため、ためた電気を何に変えて利用できるか調べる。 ・実験結果を基に、電気は、光、音、熱、運動などに変えて利用できることをまとめる。 ・豆電球と発光ダイオードでは、使う電気の量に違いがあるかを調べる。 ・実験結果を基に、豆電球と発光ダイオードの特徴を捉え、まとめる。 ・電気を効率的に使うための工夫について、考える。 ・これまでに学んだことを生かして、電気を利用した物を作る。 ・電気の働きや利用について、学んだことをまとめる。
留意点 引継ぎ等					

令和　8年度 高等部　１年（Ⅱ課程B）　理科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
２／７０	9名		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 生命の連続性、動物の誕生、流れる水の働き、物の溶け方についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。（高１段階） (思判表力)生命の連続性、動物の誕生、流れる水の働き、物の溶け方について調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を身につける。（高１段階） (学･人)生命の連続性、動物の誕生、流れる水の働き、物の溶け方について進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を身につける。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技) 生命の連続性についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。（高１段階Aア） (思判表力) 生命の連続性について調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を身につけることができる。（高１段階Aイ） (学・人) 生命の連続性について進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を身につけることができる。（高１段階Aウ）	(知・技) ・植物は、種子の中の養分を基にして発芽することを理解しようとしている。 ・植物の発芽には、水、空気及び温度が関係していることを理解しようとしている。 ・植物の成長には、日光や肥料などが関係していることを理解しようとしている。 ・植物の発芽や成長について、実験などの目的に応じて、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を記録しようとしている。 ・花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのもとが実になり、実の中に種子ができることを理解しようとしている。 ・植物の花のつくりや結実について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を記録しようとしている。 (思･判･表) ・植物の発芽や成長について、予想を基に、解決の方法を教師と一緒に考え、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・植物の発芽や成長について、実験などを行い、得られた結果を基に教師と一緒に考え、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・植物の花のつくりや結実について、予想を基に、解決の方法を教師と一緒に考え、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・植物の花のつくりや結実について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に教師と一緒に考え、表現するなどして問題解決しようとしている。 (主学) ・植物の発芽や成長についての事物・現象に関わり、問題解決しようとしている。 ・植物の発芽や成長について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 ・植物の花のつくりや結実についての事物・現象に関わり、問題解決しようとしている。 ・植物の花のつくりや結実について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	単元「植物の発芽、成長、結実」 ・種子の中の養分 ・発芽の条件 ・成長の条件 ・植物の受粉・結実	・種子を発芽させ、植物の成長を教師と一緒に観察し、記録をとる。 ・種子はどうすれば発芽するのか、種子の発芽と水の関係について教師と一緒に考える。 ・種子が発芽するためには、水のほかに、何が必要か予想し、選択肢から選ぶ。 ・種子の発芽と温度や空気との関係を調べる条件を考え、実験の計画を教師と一緒に立てる。 ・種子の発芽と温度や空気との関係を調べる条件を整え、教師と一緒に実験を行う。 ・種子が発芽する条件について教師と一緒にまとめる。 ・種子が発芽するときの子葉の働きを教師と一緒に考える。 ・種子が発芽するときの養分について教師と一緒にまとめる。 ・植物が大きく成長していくためには何が必要か予想する。 ・植物の成長と日光や肥料との関係を調べる条件を考え、実験の計画を教師と一緒に立てる。 ・日光と成長、肥料と成長との関係を調べる実験を教師と一緒に行う。 ・日光と成長との関係、肥料と成長との関係について教師と一緒にまとめる。 ・植物の発芽と成長について、学んだことを教師と一緒にまとめる。 ・花のつくりと結実部分、花粉について教師と一緒にまとめる。

	15	(知及技) 動物の誕生についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。（高１段階Aア） (思判表力) 動物の誕生について調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を身につけることができる。（高１段階Aイ） (学・人) 動物の誕生について進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を身につけることができる。（高１段階Aウ）	(知・技) ・魚には雌雄があり、生まれた卵は日が経つにつれて中の様子が変化してかえることを理解しようとしている。 ・卵の中の変化について、観察などの目的に応じて、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を記録しようとしている。 ・人は、母体内で成長して生まれることを理解しようとしている。 ・胎児の母体内での成長について、調査などの目的に応じて、資料などを選択して調べ、それらの過程や得られた結果を記録しようとしている。 (思･判･表) ・卵の中の変化について、予想を基に、解決の方法を教師と一緒に考え、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・卵の中の変化について、観察などを行い、得られた結果を基に教師と一緒に考え、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・胎児の母体内での成長について、予想を基に、解決の方法を教師と一緒に考え、表現するなどして問題解決しようとしている。 (主学) ・卵の中の変化についての事物・現象に関わり、問題解決しようとしている。 ・卵の中の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 ・胎児の母体内での成長についての事物・現象に関わり、問題解決しようとしている。 ・胎児の母体内での成長について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	単元「動物の誕生」 ・卵の中の成長 ・母体内の成長	・メダカの雌雄の見分け方を知る。 ・メダカの卵の育ち方を予想し、調べる方法を教師と一緒に考える。 ・メダカの卵の育ち方について観察し、iPadを活用して教師と一緒に記録する。 ・魚の卵の中の変化について教師と一緒にまとめる。 ・人の子どもの母体内での成長について、iPadを活用して学んだことを教師と一緒にまとめて発表する。
２学期	15	(知及技) 流れる水の働きについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。（高１段階Bア） (思判表力) 流れる水の働きについて調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を身につけることができる。（高１段階Bイ） (学・人) 流れる水の働きについて進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を身につけることができる。（高１段階Bウ）	(知・技) ・流れる水には、土地を侵食したり、石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあることを理解しようとしている。 ・川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあることを理解しようとしている。 ・雨の降り方によって、流れる水の速さや量は変わり、増水により土地の様子が大きく変化する場合があることを理解しようとしている。 ・流れる水の働きと土地の変化について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を記録しようとしている。 (思･判･表) ・流れる水の働きと土地の変化について、予想を基に、解決の方法を教師と一緒に考え、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・流れる水の働きと土地の変化について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に教師と一緒に考察し、表現するなどして問題解決しようとしている。 (主学) ・流れる水の働きと土地の変化についての事物・現象に関わり、問題解決しようとしている。 ・流れる水の働きと土地の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	単元「流れる水のはたらきと土地の変化」 ・流れる水の働き ・川の上流・下流と川原の石	・水の量を変えて、流れる水の働きを教師と一緒に調べる。 ・流れる水の働きについて教師と一緒にまとめる。 ・流れる水の働きが大きくなるのはどのようなときか、教師と一緒に予想する。 ・流れる水の量と土地の様子の変化との関係を調べるための方法を教師と一緒に考える。 ・川の上流・下流の川原の石を比較し、それらの違いについて教師と一緒にまとめる。
３学期	16	(知及技) 物の溶け方についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。（高１段階Cア） (思判表力) 物の溶け方について調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を身につけることができる。（高１段Cイ） (学・人) 物の溶け方について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を身につけることができる。（高１段階Cウ）	(知・技) ・物が水に溶けても、水と物とをあわせた重さは変わらないことを理解しようとしている。 ・物が水に溶ける量には、限度があることを理解しようとしている。 ・物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うこと、また、この性質を利用して、溶けている物を取り出すことができることを理解しようとしている。 ・物の溶け方について、実験などの目的に応じて、器具や機器などを正しく扱いながら教師と一緒に調べ、それらの過程や得られた結果を記録しようとしている。 (思･判･表) ・物の溶け方について、予想を基に、解決の方法を教師と一緒に考え、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・物の溶け方について、実験などを行い、得られた結果を基に教師と一緒に考え、表現するなどして問題解決しようとしている。 (主学) ・物の溶け方についての事物・現象に関わり、問題解決しようとしている。 ・物の溶け方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	単元「物の溶け方（均一性含）」 ・重さの保存 ・物が水に溶ける量の限度 ・物が水に溶ける量の変化	・水に溶けて見えなくなった食塩の行方について教師と一緒に考え、まとめる。 ・水に物を入れて溶ける様子iPadで撮影し比較する。それらの気付いたことを教師と一緒に話し、まとめる。 ・コーヒーシュガーや片栗粉を水に入れて、そのときの様子を観察する。 ・コーヒーシュガーを入れた液と片栗粉を入れた液を比べて気づいたことを教師と話し合う。 ・物が水に溶けることを教師と一緒にまとめ、水溶液について学ぶ。 ・食塩が水に溶ける量には限りがあるかを教師と一緒に調べる。 ・物が水に溶ける量には限りがあることを教師と一緒にまとめる。 ・水の量を変えたり、水の温度を変えたりしたときの、食塩の溶ける量を教師と一緒に調べ、まとめる。 ・水溶液を冷やしたり、水溶液から水を蒸発させたりして、溶けている物を取り出すことができるかを教師と一緒に調べる。 ・水に溶けた物の取り出し方について教師と一緒にまとめる。 ・物の溶け方について、学んだことを教師と一緒にまとめる。
留意点 引継ぎ等					

令和　８年度 高等部　2年（Ⅱ課程B）　理科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
２／７０	６名		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）人の体のつくりと働き、天気の変化、月と太陽、電流の働き、燃焼の仕組み、水溶液の性質についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。（高１・２段階） (思判表力)人の体のつくりと働き、天気の変化、月と太陽、電流の働き、燃焼の仕組み、水溶液の性質について調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を身につけることができる。（高１・２段階） (学･人)人の体のつくりと働き、天気の変化、月と太陽、電流の働き、燃焼の仕組み、水溶液の性質について進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとすることができる。（高１・２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技) 人の体のつくりと働きについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。（高２段階Aア） (思判表力) 人の体のつくりと働きについて調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を身につけることができる。（高２段階Aイ） (学・人) 人の体のつくりと働きについて進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を身につけることができる。（高２段階Aウ）	(知・技) ・体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されていることを理解しようとしている。 ・食べ物は、口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかった物は排出されることを理解しようとしている。 ・血液は、心臓の働きで体内を巡り、養分、酸素及び二酸化炭素などを運んでいることを理解しようとしている。 ・体内には、生命活動を維持するためのさまざまな臓器があることを理解しようとしている。 ・人や他の動物の体のつくりと働きについて、実験、調査などの目的に応じて、器具や機器などを正しく扱いながら教師と一緒に調べ、それらの過程や得られた結果を記録しようとしている。 (思･判･表) ・人や他の動物の体のつくりと働きについて、問題を見いだし、予想を基に、解決の方法を教師と一緒に考え、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・人や他の動物の体のつくりと働きについて、実験、調査などを行い、体のつくりと呼吸、消化、排出及び循環の働きについて、教師と一緒に考え、表現するなどして問題解決しようとしている。 (主学) ・人や他の動物の体のつくりと働きについての事物・現象に関わり、問題解決しようとしている。 ・人や他の動物の体のつくりと働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	単元「人の体のつくりと働き」 ・呼吸 ・消化・吸収 ・血液循環 ・主な臓器の存在	・人や他の動物が生きていくためには何が必要か教師と一緒に考える。 ・唾液の働きを調べる方法を教師と一緒に考え、調べる。 ・実験結果を基に、唾液がデンプンを変化させたと言えるのか教師と一緒に考え、まとめる。 ・消化と吸収の仕組み、消化管と消化液の働きを教師と一緒に調べまとめる。 ・肝臓の働きについて、教師と一緒に調べまとめる。 ・呼吸の働きについて予想し、吐き出した空気と吸う空気はどのように違うのかについて、石灰水や酸素センサーで教師と一緒に調べる。 ・結果を基に、呼吸について教師と一緒に考え、まとめる。 ・肺の働きと呼吸の仕組みを教師と一緒に調べまとめる。 ・全身の血流の流れと働きについて教師と一緒にまとめる。 ・腎臓の働きを教師と一緒に調べまとめる。 ・人の体内にある臓器について、それぞれの名称や体内の位置を教師と一緒に確かめる。
	12	(知及技) 気象現象の規則性についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。（高１段階B4ア） (思判表力) 気象現象の規則性について調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を身につけることができる。（高１段階Bイ） (学・人) 気象現象の規則性について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を身につけることができる。（高１段階Bウ）	(知・技) ・天気の変化は、雲の量や動きと関係があることを理解しようとしている。 ・天気の変化は、気象情報を用いて予想できることを理解しようとしている。 ・天気の変化の仕方について、観察などの目的に応じて、器具や機器などを正しく扱いながら教師と一緒に調べ、それらの過程や得られた結果を記録しようとしている。 (思･判･表) ・天気の変化の仕方について、予想を基に、解決の方法を教師と一緒に考え、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・天気の変化の仕方について、観察などを行い、得られた結果を基に教師と一緒に考え、表現するなどして問題解決しようとしている。 (主学) ・天気の変化の仕方についての事物・現象に関わり、問題解決しようとしている。 ・天気の変化の仕方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	単元「天気の変化」 ・雲と天気の変化 ・天気の変化の予想	・時刻を変えて、雲の形や量、動きなどを教師と一緒に観測する。 ・天気の変化の仕方を調べるための気象情報の集め方を教師と一緒に考え、計画を立てる。 ・数日間の気象情報を教師と一緒に集めて天気の変化を調べる。 ・天気を観測したり、気象情報をiPadを活用して集め、明日の天気を教師と一緒に予想する。

2学期	15	(知及技) 月の形の見え方と太陽との位置関係についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。（高２段階B4ア） (思判表力) 月の形の見え方と太陽との位置関係について調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を身につけることができる。（高２段階Bイ） (学・人) 月の形の見え方と太陽との位置関係について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を身につけることができる。（高２段階Bウ）	(知・技) ・月の輝いている側に太陽があること、また、月の形の見え方は、太陽と月との位置関係によって変わることを理解しようとしている。 ・月の形の見え方について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを正しく扱いながら教師と一緒に調べ、それらの過程や得られた結果を記録しようとしている。 (思･判･表) ・月の形の見え方について、問題を見いだし、予想を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・月の形の見え方について、観察、実験などを行い、月の位置や形と太陽の位置との関係について、教師と一緒に考え、表現するなどして問題解決しようとしている。 (主学) ・月の形の見え方についての事物・現象に関わり、問題解決しようとしている。 ・月の形の見え方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	単元「月と太陽」 ・月の位置や形と太陽の位置	・月の表面の様子を動画で確認したり、iPadで教師と一緒に調べたりする。 ・月の形が日によって変わって見える理由をモデル実験で教師と一緒に確かめる。 ・月の見え方と太陽の位置関係について学んだことを教師と一緒にまとめる。
	15	(知及技) 水溶液の性質についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。（高２段階Cア） (思判表力) 水溶液の性質について調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を身につけることができる。（高２段階Cイ） (学・人) 水溶液の性質について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を身につけることができる。（高２段階Cウ）	(知・技) ・水溶液には、酸性、アルカリ性及び中性のものがあることを理解しようとしている。 ・水溶液には、気体が溶けているものがあることを理解しようとしている。 ・水溶液には、金属を変化させるものがあることを理解しようとしている。 ・水溶液の性質や働きについて、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録しようとしている。 (思･判･表) ・水溶液の性質や働きについて、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・水溶液の性質や働きについて、実験などを行い、溶けている物による性質や働きの違いについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決しようとしている。 (主学) ・水溶液の性質や働きについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・水溶液の性質や働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	単元「水溶液の性質」 ・酸性、中性、アルカリ性 ・気体が溶けている水溶液 ・金属を変化させる水溶液	・食塩水、重曹水、塩酸、炭酸水にはどのような違いがあるか予想し、違いを調べる方法を考える。 ・水溶液の違いを調べる。 ・実験結果を基に、水溶液には固体が溶けている物があることをまとめる。 ・炭酸水には何が溶けているのか調べる。 ・炭酸水には二酸化炭素が溶けていることをまとめる。 ・リトマス紙を使って、水溶液を仲間分けする。 ・水溶液は、酸性、中性、アルカリ性に仲間分けできることをまとめる。 ・身の回りのいろいろな水溶液をリトマス紙につけて、性質を調べる。 ・水溶液には金属を変化させる働きがあるか予想し、金属に塩酸や水を注ぐとどうなるかを調べ、まとめる。 ・塩酸に溶けた金属はどうなったのか予想し、調べる方法を考える。 ・塩酸にアルミニウム（または鉄）が溶けた液を蒸発させて、溶けた金属を取り出すことができるか調べる。 ・液を蒸発させて出てきた固体の性質を調べる方法を考える。 ・自分たちで考えた方法で、固体の性質を調べる。 ・水溶液には金属を変化させるものがあるか考え、まとめる。 ・水溶液の性質と働きについて、学習したことをまとめる。

3学期	8	(知及技) 電流の働きについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。（高１段階(ア) (思判表力) 電流の働きについて調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を身につけることができる。（高１段階(イ) (学・人) 電流の働きについて進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を身につけることができる。（高１段階(ウ)	(知・技) ・乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わることを理解しようとしている。 ・電流の働きについて、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録しようとしている。 (思･判･表) ・電流の働きについて生活経験を基に、教師と一緒に考え、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・電流の働きについて、実験などを行い、得られた結果を基に教師と一緒に考え、表現するなどして問題解決しようとしている。 (主学) ・電流の働きについての事物・現象に関わり問題解決しようとしている。 ・電流の働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	単元「電流の働き」 ・乾電池の数とつなぎ方	・豆電球の明るさやモーターの回り方が何によって変わるのかについて、導入の活動を基に教師と一緒に予想する。 ・乾電池の数や向きを変えて、豆電球の明るさやモーターの回り方がどう変わるか教師と一緒に調べる実験を行う。 ・乾電池の数やつなぎ方と電流の働きについて教師と一緒にまとめる。 ・乾電池の向きと、電流の向き、モーターの回る向きとの関係について教師と一緒にまとめる。 ・乾電池２個のつなぎ方を考えて、豆電球の明るさやモーターの回る速さを教師と一緒に調べる。 ・「直列つなぎ」と「並列つなぎ」という言葉を使って、乾電池２個のつなぎ方とモーターの回る速さとの関係を教師と一緒にまとめる。 ・乾電池の数やつなぎ方を変えて、モーターの回る速さと電流の大きさを教師と一緒に調べる。 ・乾電池の数やつなぎ方と電流の働きについて教師と一緒にまとめる。 ・電流の働きについて、学んだことを教師と一緒にまとめる。 ・学んだことを生かして、デジタル教材でモーターカーを教師と一緒に作り動かしてみる。
	8	(知及技) 燃焼の仕組みについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。（高２段階(ア) (思判表力) 燃焼の仕組みについて調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を身につけることができる。（高２段階(イ) (学・人) 燃焼の仕組みについて進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を身につけることができる。（高２段階(ウ)	(知・技) ・植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができることを理解しようとしている。 ・燃焼の仕組みについて、実験などの目的に応じて、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を記録しようとしている。 (思･判･表) ・燃焼の仕組みについて予想を基に、解決の方法を教師と一緒に考え、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・燃焼の仕組みについて、実験などを行い、物が燃えたときの空気の変化について、教師と一緒に考え、表現するなどして問題解決しようとしている。 (主学) ・燃焼の仕組みについての事物・現象に関わり、問題解決しようとしている。 ・燃焼の仕組みについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	単元「燃焼の仕組み」 ・燃焼の仕組み	・集気瓶の中でろうそくを燃やし続けるにはどうすればよいか、調べる方法を教師と一緒に考える。 ・集気瓶の中でろうそくを燃やし続ける方法を教師と一緒に調べる。 ・実験結果を基に、物が燃え続けるにはどのようなことが必要といえるか教師と一緒に考える。 ・物が燃え続けるには、空気が入れ替わる必要があることを教師と一緒にまとめる。 ・物が燃える前と物が燃えた後の空気の変化について、石灰水で教師と一緒に調べる。 ・実験結果を基に、物が燃える前と物が燃えた後の空気の変化について教師と一緒に考える。 ・物が燃えると、空気中の酸素の一部が使われて、二酸化炭素ができることを教師と一緒にまとめる。 ・物を燃やしたときの、物や空気の変化について教師と一緒に調べる。 ・物が燃えるときの空気の働きについて、学んだことを教師と一緒にまとめる。
留意点 引継ぎ等					

令和　8年度 高等部　3年（Ⅱ課程B）　理科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	8名		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 生物の体のつくりと働き、生物と環境、土地のつくりと変化、てこの規則性及び電気の性質や働きについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。（高２段階） (思判表力)生物の体のつくりと働き、生物と環境、土地のつくりと変化、てこの規則性及び電気の性質や働きについて調べる中で、 主に予想や仮説を基に、解決の方法を 考える力を身につける。（高２段階） (学･人)生物の体のつくりと働き、生物と環境、土地のつくりと変化、てこの規則性及び電気の性質や働きについて進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を身につける。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	(知及技) 生物の体のつくりと働きについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(高2段Aア) (思判表力) 生物の体のつくりと働きについて調べる中で、主にそれらの働きや関わりについて、より妥当な考えをつくりだす力を身につけることができる。(高2段Aイ) (学・人) 生物の体のつくりと働きについて進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を身につけることができる。（高2段Aウ）	(知・技) ・植物の葉に日光が当たるとでんぷんができることを理解しようとしている。 ・根、茎及び葉には、水の通り道があり、根から吸い上げられた水は主に葉から蒸散により排出されることを理解しようとしている。 ・植物の体のつくりと働きについて、実験などの目的に応じて、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を記録しようとしている。 (思･判･表) ・植物の体のつくりと働きについて予想を基に、解決の方法を教師と一緒に考え、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・植物の体のつくりと働きについて、実験などを行い、体内の水などの行方及び葉で養分をつくる働きについて、教師と一緒に考え、表現するなどして問題解決しようとしている。 (主学) ・植物の体のつくりと働きについての事物・現象に関わり、問題解決しようとしている。 ・植物の体のつくりと働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	単元「植物と養分と水の通り道」 ・でんぷんのでき方 ・水の通り道	・植物を着色した水に入れて、植物の体の水の通り道を教師と一緒に調べ、まとめる。 ・植物がよく成長するためには日光が必要であるという理由を教師と一緒に考え、葉に日光が当たるとでんぷんができるか調べる実験を行う。 ・実験結果を基に、葉に日光が当たるとでんぷんができるか教師と一緒に考え、まとめる。 ・葉まで運ばれた水が葉などから出ているかを教師と一緒に調べ、水は水蒸気になって葉から出ていくことをまとめる。 ・気孔を教師と一緒に観察する。 ・植物の水の通り道や日光との関わりについて、学んだことを教師と一緒にまとめる。
	11	(知及技) 生物と環境との関わりについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(高2段Aア) (思判表力) 生物と環境との関わりについて調べる中で、主にそれらの働きや関わりについて、より妥当な考えをつくりだす力を身につけることができる。(高2段Aイ) (学・人) 生物と環境との関わりについて進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を身につけることができる。（高2段Aウ）	(知・技) ・生き物は、水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていることを理解しようとしている。 ・生き物の間には、食う食われるという関係があることを理解しようとしている。 ・生き物と環境について、観察、実験、調査などの目的に応じて、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を記録しようとしている。 (思･判･表) ・生き物と環境について、予想を基に、解決の方法を教師と一緒に考え、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・生き物と環境について、観察、実験などを行い、生き物と環境との関わりについて、教師と一緒に考え表現するなどして問題解決しようとしている。 (主学) ・生き物と環境についての事物・現象に関わり、問題解決しようとしている。 ・生き物と環境について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	単元「生物と環境」 ・生物と水、空気との関わり ・食べ物による生物の関係（水中の小さな生物を含む） ・人と環境 ・主な臓器の存在	・人の食べ物の元は何か教師と一緒に予想する。 ・水中の小さな生き物の様子やダンゴムシが落ち葉を食べる様子を観察するなどして、自然の中での動物の食べ物を教師と一緒に調べる。 ・観察結果を基に、生き物の食べ物を通した関わりについて教師と一緒に考え、まとめる。 ・空気中に酸素を出している物は何かについて、植物が酸素を出しているかを教師と一緒に調べ、まとめる。 ・生き物と水との関わりについて教師と一緒に考え、まとめる。 ・地球をめぐる水と生き物との関わりについて教師と一緒に考える。 ・生き物と食べ物、空気、水との関わりについて、学んだことを教師と一緒にまとめる。

2学期	15	(知及技) 土地のつくりと変化についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(高2段Bア) (思判表力) 土地のつくりと変化について調べる中で、主にそれらの変化や関係について、より妥当な考えをつくりだすことができる。(高2段Bイ) (学・人) 土地のつくりと変化について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとすることができる。(高2段Bウ)	(知・技) ・土地は、礫、砂、泥、火山灰などからできており、層をつくって広がっているものがあること、また、層には化石が含まれているものがあることを理解しようとしている。 ・地層は、流れる水の働きや火山の噴火によってできることを理解しようとしている。 ・土地は、火山の噴火や地震によって変化することを理解しようとしている。 ・土地のつくりと変化について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器、資料などを正しく扱いながら教師と一緒に調べ、それらの過程や得られた結果を記録しようとしている。 (思・判・表) ・土地のつくりと変化について、予想を基に、解決の方法を教師と一緒に考え、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・土地のつくりと変化について、観察、実験などを行い、土地のつくりやでき方について、教師と一緒に考え、表現するなどして問題解決しようとしている。 (主学) ・土地のつくりと変化についての事物・現象に関わり、問題解決しようとしている。 ・土地のつくりと変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	単元「土地のつくりと変化」 ・土地の構成物と地層の広がり ・地層のでき方と化石 ・火山の噴火や地震による土地の変化	・崖の様子の資料写真を見て、大地の下がどのようになっているのか教師と一緒に考え、地層についてまとめる。 ・水の働きでできた地層の特徴や火山の働きでできた地層の特徴を教師と一緒にまとめる。 ・流れる水の働きによる地層のでき方を教師と一緒に予想し、容器に土を流し込むモデル実験を通して調べる。 ・水の働きによる地層のでき方や特徴について、教師と一緒にまとめる。 ・化石について教師と一緒に学ぶ。 ・火山の働きによる地層のでき方を資料で教師と一緒に調べまとめる。 ・大地のつくりについて、学んだことを教師と一緒にまとめる。 ・地震や火山の噴火による大地の変化について教師と一緒に調べ発表し、地震と火山の噴火による大地の変化についてまとめる。 ・地震や火山の噴火による災害や、災害に対する備えついて、教師と一緒に調べたり考えたりする。 ・地震に関係する言葉の意味や、過去の記録から学んだり後世へ伝えたりする取り組みを知る。 ・火山の恵みについて教師と一緒に学ぶ。
	15	(知及技) てこの規則性についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(高2段Cア) (思判表力) てこの規則性について調べる中で、主にそれらの仕組みや性質、規則性及び働きについて、より妥当な考えをつくりだすことができる。(高2段Cイ) (学・人) てこの規則性について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとすることができる。(高2段Cウ)	(知・技) ・力を加える位置や力の大きさを変えると、てこを傾ける働きが変わり、てこがつり合うときにはそれらの間に規則性があることを理解しようとしている。 ・身の回りには、てこの規則性を利用した道具があることを理解しようとしている。 ・てこの規則性について、実験などの目的に応じて、器具や機器などを正しく扱いながら教師と一緒に調べ、それらの過程や得られた結果を記録しようとしている。 (思・判・表) ・てこの規則性について予想を基に、解決の方法を教師と一緒に考え、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・てこの規則性について、実験などを行い、力を加える位置や力の大きさとてこの働きとの関係について、教師と一緒に考え表現するなどして問題解決しようとしている。 (主学) ・てこの規則性についての事物・現象に関わり、問題解決しようとしている。 ・てこの規則性について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	単元「てこの規則性」 ・てこのつり合いの規則性 ・てこの利用	・てこを使ってできるだけ小さい力で重い物を持ち上げるにはどうしたらよいか教師と一緒に予想し、調べる方法を考える。 ・てこが水平につり合うときにはどのようなきまりがあるのか教師と一緒に調べる。
3学期	16	(知及技) 電気の性質についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(高2段Cア) (思判表力) 電気の性質について調べる中で、主にそれらの仕組みや性質、規則性及び働きについて、より妥当な考えをつくりだすことができる。(高2段Cイ) (学・人) 電気の性質について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとすることができる。(高2段Cウ)	(知・技) ・電気は、つくりだしたり蓄えたりすることができることを理解しようとしている。 ・電気は、光、音、熱、運動などに変換することができることを理解しようとしている。 ・身の回りには、電気の性質や働きを利用した道具があることを理解しようとしている。 ・電気の性質や働きについて、実験などの目的に応じて、器具や機器などを正しく扱いながら教師と一緒に調べ、それらの過程や得られた結果を記録しようとしている。 (思・判・表) ・電気の性質や働きについて予想を基に、解決の方法を教師と一緒に考え、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・電気の性質や働きについて、実験などを行い、電気の量と働きとの関係、発電や蓄電、電気の変換について、教師と一緒に考え表現するなどして問題解決しようとしている。 (主学) ・電気の性質や働きについての事物・現象に関わり、問題解決しようとしている。 ・電気の性質や働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	単元「電気の利用」 ・発電（光電池をフックむ）・蓄電 ・電気の変換 ・電気の利用	・身の回りで、発電しているところや物があるか教師と一緒に探す。 ・手回し発電機や光電池で電気を作り、作った電気を利用する。また、手回し発電機の回し方や光電池への光の当て方によって発電の様子がどのように変わるか教師と一緒に調べる。 ・手回し発電機や光電池を使うと、発電することができることを教師と一緒にまとめる。 ・コンデンサーなどを使うと、蓄電できることを教師と一緒に学ぶ。 ・実験結果を基に、電気は、光、音、熱、運動などに変えて利用できることを教師と一緒にまとめる。 ・実験結果を基に、豆電球と発光ダイオードの特徴を教師と一緒にまとめる。 ・電気を効率的に使うための工夫について、教師と一緒に考える。 ・これまでに学んだことを生かして、電気を利用した物を作る。 ・電気の働きや利用について、学んだことを教師と一緒にまとめる。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度　高等部１年（Ⅱ課程Ａ）　音楽科　年間指導計画

単位数／配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	1年：18名		なし

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

(知及技)曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身につけるようにする(高１段階)。
(思判表力)音楽表現を創意工夫することや、音楽をのよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする(高１段階)。
(学・人)主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う(高１段階)。

学期	時数	題材の目標	題材の評価規準	題材名	題材の活動内容
1学期	6	(知及技) ・声の音色や響きと発声との関わりについて理解し、範唱を聴いたり楽譜を見たりして、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌うことができる。（高１段階Ａア(イ)イ、Ａア(ウ)ア、Ａア(ウ)イ） (思判表力) ・曲の旋律や速度を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように歌うかについて思いや意図をもつことができる。（高１段階Aア(ア)） (学・人) ・発声を意識して歌ったり、曲想と音楽の要素との関わりを感じ取ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むことができる。(高1段階)	(知・技) ・身体の使い方や発声のイメージの違いによって、声の音色や響きが変わることに気づいている。【評価】活動の様子 ・呼吸や発音を含む、自然で無理のない、響きのある声を出すためのポイントを理解している。【評価】ワークシート ・範唱を聴いたり、楽譜を見たりして歌っている。【評価】活動の様子(歌唱) ・曲にふさわしい歌い方を意識して歌っている。【評価】活動の様子 (思･判･表) ・2つの曲の速度や旋律を比較しながら、それぞれの曲想を捉え、それらを基に曲にふさわしい歌唱表現について考えている。【評価】ワークシート (主学) ・様々な声の出し方を主体的に聴いたり試したりし、教師や友達との対話を通して、考えを広げようとしている。【評価】活動の様子(グループ活動)、自己評価 ・特に意識して歌いたいポイントについて考え、目標に向かい主体的に練習しようとしている。【評価】ワークシート、活動の様子(練習)、自己評価	●響きのある声で、曲に合う表現を工夫しよう	(知及技に関する活動) ・身体の使い方や発声のイメージについて、実際に声を出しながらいくつかの方法を比較し、声の音色や響きと発声との関わりについて確認する。 ・自然で無理のない、響きのある声を出すためのポイントについてイラストを見たり歌ったりしながら確認する。 ・範唱を聴いたり、楽譜を見たりして歌う。 ・曲にふさわしい歌い方を意識しながら歌う。 (思判表力に関する活動) ・２つの曲の音楽の構造を比較しながら曲想を捉え、それぞれの曲にふさわしい声(発声)や表現について考える。 (学・人に関する活動) ・様々な発声を試したり、教師や友達の表現を聴いたりする。 ・学習したことや自分の課題や個性を踏まえて特に意識したいポイントについて考え、練習に取り組む。
	6	(知及技) ・楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて理解し、範奏を聴いたり楽譜を見たりして、音色や響きに気をつけて旋律楽器を演奏することができる。(高1段階Ａイ(イ)イ、Ａイ(ウ)ア、Ａイ(ウ)イ) (思判表力) ・楽器の音色及び曲のリズムや強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように演奏するかについて思いや意図をもつことができる。(高１段階Ａイ(ア) (学・人) ・三線の基本的な奏法や音色を意識して演奏する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組むことができる。(高１段階)	(知・技) ・三線の基本的な奏法について理解して演奏している。【評価】ワークシート、活動の様子(演奏) ・範奏を聴いたり、楽譜を見たりしてリズムを確認し、曲に合わせて演奏している。【評価】活動の様子(演奏) ・音色や響きを意識した奏法で演奏している。【評価】活動の様子(演奏)、発表 (思・判・表) ・音色やリズム、強弱を捉え、曲のイメージを自分なりに言葉にしている。それらを基に曲にふさわしい音色や奏法について考えている。【評価】活動の様子(グループ学習)、ワークシート (主学) ・様々な奏法を主体的に試したり、教師や友達との対話をしたりして、考えを広げようとしている。【評価】活動の様子(グループ学習)、自己評価 ・友達とお互いに奏法を確認したり音色を聴き合ったりしながら、粘り強く繰り返し練習に取り組もうとしている。【評価】ワークシート、活動の様子(グループ学習)、自己評価	●郷土の音楽に親しみ、三線の演奏をしよう	(知及技に関する活動) ・三線の名称について確認する。 ・三線の基本的な奏法のポイントについて、実際に構えたり音を出したりしながら確認する。 ・範奏を聴いたり楽譜を見たりしてリズムを確認し、曲に合わせて練習する。 ・曲にふさわしい音色及び奏法を意識しながら演奏する。 (思判表力に関する活動) ・音楽の雰囲気を自分なりの言葉にして曲想を捉える。 ・グループで様々な音の出し方を試しながら、曲にふさわしい表現(音色・演奏の仕方)について考える。 (学・人に関する活動) ・様々な奏法を試したり、教師や友達の表現を聴いたりする。 ・学習のポイントを意識しながら、友達と一緒に練習する。
2	8	(知及技) ・いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解し、創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿って音の選択したり組合せたりする技能を身に付けて音楽をつくることができる。(高１段階Ａウ(イ)ア、Ａウ(ウ)) (思判表力) ・音色や強弱、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもつことができる。(高１段階Ａウ(ア)) (学・人) ・音や楽器の音色を意識しイメージに合わせて音楽を作る学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組むことができる。(高１段階)	(知・技) ・楽器の材質や音の響きに気を付けながらいろいろな楽器を鳴らし、音の特徴を理解している。【評価】ワークシート、活動の様子(グループ学習) ・いろいろな音の組み合わせが生み出すよさや面白さについて理解している。【評価】ワークシート、活動の様子(グループ学習) ・表現したいイメージや条件に合わせて、グループごとにアンサンブルに使う楽器を選んでいる。【評価】ワークシート、活動の様子 ・表現したいイメージや条件に合わせて、音を繋げたり組み合わせたりして音楽をつくっている。【評価】ワークシート、作品発表 (思・判・表) ・それぞれの楽器の材質や音の響きを生かしながら、イメージに合うように音を重ねたり、強弱やテクスチュアについて考えたりして、工夫して音楽を作っている。【評価】ワークシート、活動の様子(グループ学習) ・作った音楽について、創作の工夫や意図について言葉でまとめ表現している。【評価】ワークシート、発表 (主学) ・様々な音の出し方や組み合わせ方を主体的に試し、友達と対話をしながら考えを広げようとしている。【評価】活動の様子(グループ学習)、自己評価 ・イメージに合う創作表現について、教師や友達と対話をしながら思いや考えをまとめようとしている【評価】ワークシート、自己評価、活動の様子(グループ学習)	●いろいろな音の響きを味わい、音を組み合わせて音楽を作ろう	(知及技に関する活動/思判表力に関する活動) ・楽器の材質や音の響きに気を付けながら、いろいろな楽器を鳴らして音の特徴を確かめる。 ・いろいろな楽器の音を組み合わせて、それぞれのよさや面白さについて、グループで意見交換をする。 ・音の特徴を意識しながら、グループごとに表現したいイメージに合う楽器を選ぶ。 ・表現したいイメージや条件(最初と最後の音、重ねる順番、楽器の数等)に合わせて、音を繋げたり組み合わせたり、音楽の要素の工夫をしたりする。 ・グループで発表する。 (学・人) ・様々な楽器の音を出したり、音の組み合わせを試したりしてグループで共有し、考えを広げ深める。 ・イメージや条件に合う創作表現について、グループで考える。

学期	7	(知及技) ・曲想と体の動きとの関わりについて理解し、設定した条件に基づいて、様々な動きを組み合わせてまとまりのある表現をするとともに、友達と動きを組み合わせて表現することができる。(高１段階Ａエ(イ)ア、Ａエ(ウ)イ、Ａエ(ウ)ウ) (思判表力) ・曲の形式や各場面の旋律や強弱及びテクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい身体表現としてどのように表現するかについて思いや意図をもつことができる。（高１段階Ａエ(ア)） (学・人) ・曲に合わせて身体を使って表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に身体表現の学習活動に取り組むことができる。(高１段階)	(知・技) ・曲想と体の動きとの関わりについて理解している。【評価】ワークシート、活動の様子(身体表現) ・設定した条件に基づいて様々な動きを組み合わせ、グループ全体でまとまりのある表現をしている。【評価】活動の様子(身体表現)、発表 (思･判･表) ・曲全体の形式や、それぞれの場面の旋律や強弱、テクスチュアを捉え、それらを基に曲にふさわしい表現の工夫について考えている。【評価】ワークシート、活動の様子(グループ学習) ・表現の工夫や意図について言葉でまとめ表現している。【評価】ワークシート、発表 (主学) ・様々な表現を主体的に見たり試したりして友達と共有し、考えを広げようとしている。【評価】活動の様子(グループ学習)、自己評価 ・曲にふさわしい体の動きや条件に合う表現とその構成について、教師や友達と対話をしながら思いや考えをまとめようとしている【評価】ワークシート、自己評価(グループ学習)、活動の様子	●曲の特徴を生かしてボディーパーカッションで表現しよう	(知及技に関する活動・思判表力に関する活動) ・身体を楽器にして表現するボディーパーカッションについて知る。 ・いくつかの曲に合わせて、様々な身体の動き(身体を叩く部位)を試したり比較したりして、曲想と体の動きとの関わりについて確認する。 ・課題曲の旋律や強弱等に注目し、曲の各場面の雰囲気(各場面の曲想)について捉える。それらを全体として捉え、曲の形式について確認する。 ・工夫の際の条件(始まりと終わり、動きの重ね方や人数等)ついて確認し、課題曲の各場面の雰囲気や曲の形式、全体の構成を意識して、リズムや動き(身体を叩く部位)、その組み合わせについて考える。 ・グループで発表する。 (学・人) ・様々な体の動きを主体的に試してグループで共有し、考えを広げ深める。 ・曲にふさわしい体の動きや条件に合う表現とその構成について、グループで考える。
３学期	4	(知及技) ・曲想およびその変化と、音楽の構造との関わりについて理解することができる。(高１段階Ｂア(イ)) (思判表力) ・曲の旋律、音色やリズム、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見出し、曲全体を味わって聴くことができる。（高１段階Ｂア(ア)) (学・人) ・曲想や音楽の特徴を捉えて郷土の音楽を聴く学習に興味をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。(高１段階)	(知・技) ・楽器やリズム、旋律など、沖縄音楽の特徴について理解している。【評価】ワークシート、活動の様子(楽器体験) ・曲想と曲想の変化が、音楽の構造と関わっていることを理解している。【評価】ワークシート (思・判・表) ・曲のよさや沖縄の音楽の特徴について触れながら、沖縄音楽のよさを伝える紹介文が書けている。【評価】ワークシート、発表 (主学) ・沖縄の音楽について、様々な視点から教師や友達と対話をして、考えを広げようとしている。【評価】ワークシート、自己評価、活動の様子(グループ学習) ・曲を聴いて感じたことを発表したり友達の意見を聴いたりして、思いや考えをまとめようとしている【評価】活動の様子(グループ学習)、自己評価	●沖縄の旋律やリズム、楽器の音色を味わおう	(知及技に関する活動) ・沖縄の音楽の特徴的な楽器やリズムについて知る。音楽を聴いたり、楽器を鳴らしてみたりして、沖縄の音楽の旋律の雰囲気と琉球音階との関係について確認する。 ・音楽の構造(音楽の要素)に注目して音楽を聴き、曲想や曲想の変化と、音楽の要素との関わりについて確認する。 (思判表力に関する活動) ・沖縄音楽の旋律、音色、リズム等の特徴や、曲想の変化等に注目して全体を聴き、自分なりに感じた「沖縄音楽のよさ」について紹介する文を書く。 (学・人) ・沖縄音楽の特徴を捉えながら音楽を聴き、感じたことやこれまでの生活の中で沖縄音楽を聞いた経験について発表したり、友達の意見を聴いたりする。
	4	(知及技) ・曲想と歌詞の内容や体の動きとの関わりについて理解し、互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、曲の速度やリズム・曲想に合わせて手話で表現したりすることができる。(高１段階Ａア(イ)ア、Ａア(ウ)ウ、Ａエ(イ)ア、Ａエ(ウ)ア) (思判表力) ・曲の歌詞や旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現や身体表現としてどのように表現するかについて思いや意図をもっている。（高１段階Ａア(ア)、Ａエ(ア)) (学・人) ・歌詞の内容を意識しながら表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や身体表現の学習活動に取り組むことができる。(高１段階)	(知・技) ・曲想と歌詞の内容及び手話表現との関わりについて理解している。【評価】ワークシート、活動の様子(歌唱、手話表現) ・お互いの声や副次的な旋律、伴奏を意識して歌っている。【評価】活動の様子(歌唱)、発表 ・曲の速度やリズム、曲想に合わせて手話で表現している。【評価】活動の様子(手話表現)、発表 (思・判・表) ・曲想や歌詞に込められたメッセージについて自分の言葉で表現し、それを基に曲にふさわしい表現について考えている。【評価】ワークシート (主学) ・歌詞に込められた思いや卒業する先輩に伝えたいメッセージについて、自分の言葉で発表したり、友達の意見を聞いたりして、考えを広げようとしている。【評価】ワークシート、発表、自己評価	●曲のメッセージを意識して、思いを込めて表現しよう	(知及技に関する活動) ・曲想と歌詞の内容との関わりについて確認する。 ・お互いの声や副次的な旋律、伴奏を意識して歌う。 ・歌詞と手話表現について確認しながら、曲の速度やリズム、曲想に合わせて手話をする。 (思判表力) ・曲想や歌詞に込められたメッセージについて自分の言葉で表現し、曲にふさわしい表現について考える。 (学・人) ・歌詞の内容を意識しながら、卒業する先輩に伝えたいメッセージについて考える。

令和8年度　高等部　2年(Ⅱ課程A)　音楽科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	2年24名		なし

目標:(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学・人)学びに向かう力・人間性等
評価:(知・技)知識・技能　(思・判・表)思考・判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身につけるようにする(高１段階)。 (思判表力)音楽表現を創意工夫することや、音楽をのよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする(高１段階)。 (学・人)主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う(高１段階)。

学期	時数	題材の目標	題材の評価規準	題材名	題材の活動内容
1学期	4	(知及技) ・曲想およびその変化と、音楽の構造との関わりについて理解することができる。(高１段階Ｂア(イ)) (思判表力) ・曲の速度、旋律及び形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見出し、曲全体を味わって聴くことができる。(高１段階Ｂア(ア)) (学・人) ・曲想と音楽の構造との関わりを感じ取る学習に興味をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。(高１段階)	(知・技) ・曲想と曲想の変化が、音楽の構造と関わっていることを理解している。【評価】ワークシート ・音楽の場面とそれぞれの曲想に注目し、曲全体を通した形式について理解している。【評価】ワークシート (思・判・表) ・身体を動かしながら曲を聴いたりイメージを言葉にしたりして、曲想と音楽の構造との関わりについて感じ取ったり、考えたりしている。【評価】活動の様子(グループ学習)、ワークシート ・音楽の構造や形式を意識して音楽を聴き、自分なりに感じた曲のよさについて表現している。【評価】ワークシート (主学) ・音楽の場面を想像・予想しながら音楽を聴き、友達や教師と対話を通して、考えを広げようとしている。【評価】活動の様子(対話)、自己評価	●曲想の変化を感じとって音楽を聴こう	(知及技に関する活動) ・音楽の場面ごとに音楽を聴き、曲想と音楽の構造との関わりについて確認する。 ・場面ごとの曲想や音楽の構造を曲全体として捉え、音楽の形式について理解する。 (思判表力に関する活動) ・速度や旋律の動きを意識して、身体を動かしながら音楽を聴いたり、イメージを言葉にしたりして、場面ごとの音楽の構造の違いや曲想について感じ取る。 ・場面ごとに曲想が変化するという曲の形式を意識して曲全体を聴き、自分なりに感じた「この曲のおもしろさ」について表現する。 (学・人) ・音楽の場面を想像・予想しながら音楽を聴き、感じたことを発表したり、友達の意見を聴いたりする。
	4	(知及技) ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解し、ハ長調及びイ短調の楽譜を見て、互いの歌声や副次的な旋律を聴いて声を合わせて歌うことができる。(高1段階Aア(イ)ア、Aア(ウ)ア、Aア(ウ)ウ) (思判表力) ・曲の旋律、強弱、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように歌うかについて思いや意図をもつことができる。(高1段階Aア(ア)) (学・人) ・曲の特徴を意識して、友達と声を合わせて表現する活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むことができる。(高1段階)	(知・技) ・ハ短調やイ短調の楽譜に印をつけたり書き込みをしたりして、旋律の動きや各声部の動きを確認している。【評価】ワークシート(楽譜への書き込み) ・２つの曲の音楽の構造や歌詞の内容を比較し、それらが関連していることを理解している。【評価】ワークシート ・互いの歌声や副次的な旋律に意識を向け、声を合わせることを意識して歌っている。【評価】活動の様子(歌唱) (思・判・表) ・２つの曲の音楽の要素や歌詞を比較したり、副次的な旋律の役割について考えてたりしてワークシートにまとめ、それらを根拠に曲にふさわしい表現について考えている。【評価】ワークシート、活動の様子(グループ学習) (主学) ・学習した内容や自分の課題や個性を踏まえて特に意識したいポイントについて考え、粘り強く練習に取り組もうとしている。【評価】ワークシート(目標設定・自己評価)、活動の様子(対話) ・友達とお互いの声を聴き合ったり、意見交換をしたりしながら、練習にと取り組もうとしている。【評価】ワークシート(自己評価)、活動の様子(グループ学習)	●パートナーソング ●お互いの声を聴こう、重ねよう	(知及技に関する活動) ・ハ長調やイ短調の楽譜を見て、旋律の動きや各声部の動きを確認する。 ・２つの曲の音楽の構造や歌詞の内容を比較し、それらの特徴と曲想の関わりについて確認する。 ・互いの歌声や副次的な旋律、声を合わせることを意識して歌う。 (思判表力に関する活動) ・２つの曲の歌詞や音楽の要素を比較したり、副次的な旋律の役割について考えたりして、曲に合う歌唱表現について考える。 (学・人に関する活動) ・学習した内容や自分の課題や個性を踏まえて特に意識したいポイントについて考え、練習に取り組む。 ・友達とお互いに声を聴き合ったり、意見交換をしたりしながら学習に取り組む。
	4	(知及技) ・曲想と音楽の構造との関わりを理解し、楽譜を見て、伴奏を聴いて音を合わせて演奏することができる。(高1段階Aイ(イ)ア、Aイ(ウ)ア、Aイ(ウ)ウ) (思判表力) ・旋律やリズム、速度を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、器楽表現を創意工夫することができる。(高1段階Aイ(ア)) (学・人) ・楽譜を見たり、曲想と音楽の構造との関わりを生かして三線を演奏したりする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽、創作の学習活動に取り組むことができる。(高1段階)	(知・技) ・工工四の読み方や勘所の押さえ方を理解している。【評価】ワークシート、活動の様子(演奏) ・工工四を読んで、演奏している。【評価】活動の様子(練習曲の演奏) ・曲の速度やリズムを意識して、伴奏に合わせて演奏している。【評価】活動の様子(三線演奏) (思・判・表) ・音楽の雰囲気を自分なりの言葉にして曲想を捉えて、それらと音楽の特徴との関わりについて考え、それらを根拠に曲にふさわしい表現について考えている。【評価】ワークシート (主学) ・工工四を見て、自分に合う練習方法を工夫しながら、繰り返し練習に取り組もうとしている。【評価】ワークシート(目標設定、自己評価)、活動の様子 ・音を合わせて演奏したり、意見交換をしたりして、友達と協力して学習に取り組んでいる。【評価】ワークシート(自己評価)、活動の様子	●郷土の音楽に親しもう ●いろいろな音の響きを味わおう ●音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴を知ろう	(知及技に関する活動) ・工工四の読み方や勘所の押さえ方について確認する。 ・工工四を見て、練習をする。 ・曲の速度やリズムを意識して、伴奏に合わせて演奏する。 (思判表力に関する活動) ・音楽の雰囲気を自分なりの言葉にして曲想を捉えて、それらと音楽の特徴との関わりについて考え、曲にふさわしい表現について考える。 (学・人に関する活動) ・工工四を見て、繰り返し練習に取り組む。 ・曲や周りの友達と速度やリズムを合わせることを意識して練習する。

2学期	7	(知及技) ・音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴についてそれらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解し、創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けて音楽を作ることができる。(高1段階Aウ(イ)イ、Aウ(ウ)) (思判表力) ・旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもつことができる。(高1段階Aウ(ア)) (学・人) ・音をつなげて旋律を作ったりそれらを組み合わせたりする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽、創作の学習活動に取り組むことができる。(高1段階)	(知・技) ・和音の仕組みやその響き、響きの移り変わりについて、それらが生み出すよさや面白さを感じながら理解している。【評価】ワークシート ・和音に含まれる音を使って、音の上がり下がりを考えたりリズムを考えたりして、旋律を作っている。【評価】作品発表 ・様々なフレーズの重ね方について、それらが生み出す良さや面白さを感じながら理解したり、音楽を作ったりしている。【評価】ワークシート、作品発表 (思・判・表) ・音を繋げたりリズムをつけたりする活動で、面白さやよさについて考えながら気に入った旋律になっているか確認し、工夫をして音楽を作っている。【評価】活動の様子(創作) ・作った旋律について、創作の工夫や意図について言葉でまとめ表現している。【評価】ワークシート、発表 (主学) ・作った旋律を友達と聴き合い、様々な視点からの対話を通して、考えを広げようとしている。【評価】ワークシート、活動の様子(ペア学習)、自己評価 ・グループで、いろいろな友達とペアになって旋律を重ね、様々な視点からの対話を通して、考えを広げようとしている。【評価】活動の様子(ペア/グループ学習)、自己評価	●旋律を繋げたり重ねたりして旋律を作ろう	(知及技に関する活動/思判表力に関する活動) ・和音の仕組みや、その響きについて知る。 ・和音と低音を聴いて、響きの移り変わりを確かめる。 ・和音に含まれる音を使って、音の上がり下がりを考えながら音をつなげる。 ・リズムをつける。 ・つくった旋律を、和音と低音と合わせて発表する。 ・グループ内で様々なペアを作り、友達の旋律と重ね合わせて、そのよさや面白さを話し合う。 ・ペアで作った音楽を発表する。 (学・人に関する活動) ・作った旋律を友達と聴き合い、気付いたことや感じ取ったことを伝え合う。 ・グループで、いろいろな友達とペアになって旋律を重ね、気付いたことや感じ取ったことを伝え合う。
	8	(知及技) ・多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて理解し、各声部の楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏することができる。(高1段階Aイ(イ)イ、Aイ(ウ)ウ) (思判表力) ・楽器の音色及び曲の速度や旋律、テクスチュア、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように演奏するかについて思いや意図をもつことができる。(高１段階Aイ(ア)) (学・人) ・楽器の音色や響きと音の重なりを意識して合奏する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽、創作の学習活動に取り組むことができる。(高1段階)	(知・技) ・それぞれの楽器の音色や演奏の仕方について理解している。 【評価】ワークシート、活動の様子(演奏) ・「合奏」の特徴について理解している【評価】ワークシート ・同じパートの生徒の音及び他のパートの音や伴奏を聴いて、速度や旋律、リズムを意識して演奏している。【評価】活動の様子(演奏・合奏)、発表 (思・判・表) ・曲想やその曲のよさについて考え、曲にふさわしい表現について考え表現している。【評価】ワークシート ・それぞれのパートの役割や音色の特徴について考え、音を揃える方法や、音のバランスの取り方、強弱等の工夫をしている。 【評価】ワークシート、活動の様子(パート練習、合奏) (主学) ・特に意識したいポイントについて考え、目標に向かい主体的に練習しようとしている。【評価】ワークシート(目標設定)、活動の様子(パート練習)、自己評価 ・同じパート同士やグループ全体と合わせることを意識して、協力して練習しようとしている。【評価】活動の様子(パート練習・合奏)、自己評価	●音の重なりを感じ取って合奏しよう	(知及技に関する活動) ・担当楽器の奏法を理解し、速度や旋律、リズム等を確認して練習する。 ・他のパートの演奏を聴いて、多様な楽器の音色や演奏の仕方、それらの音色が重なるようについて知る。 ・他のパートの演奏や伴奏を聴きながら、演奏する。 (思判表力に関する活動) ・曲想やその曲のよさについて考え、曲にふさわしい表現を考える。 ・パート練習や他のパートとの合奏練習を通して、音を揃える方法や、音のバランスの取り方、強弱等、曲にふさわしい演奏のための工夫をする。 (学・人に関する活動) ・学習したことや担当パートの音色や役割、自己の課題を踏まえ、特に意識したいポイントについて考えて、練習に取り組む。 ・同じパート同士やグループ全体と合わせることを意識して練習する。
3学期	4	(知及技) ・曲想およびその変化と、音楽の構造との関わりについて理解することができる。(高１段階Ｂア(イ)) (思判表力) ・曲の旋律、音色やリズム、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見出し、曲全体を味わって聴くことができる。(高１段階Ｂア(ア)) (学・人) ・曲想や音楽の特徴を捉えて日本音楽を聴く学習に興味をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。(高１段階)	(知・技) ・楽器やリズム、旋律など、日本の音楽の特徴について理解している。【評価】ワークシート、活動の様子(鑑賞、楽器体験) ・曲想と曲想の変化が、音楽の構造と関わっていることを理解している。【評価】ワークシート (思・判・表) ・曲のよさや日本の音楽の特徴について触れながら、日本音楽のよさを伝える紹介文が書けている。【評価】ワークシート、発表 (主学) ・日本の音楽について、様々な視点から教師や友達と対話をして、考えを広げようとしている。【評価】ワークシート、自己評価、活動の様子(対話、グループ活動) ・曲を聴いて感じたことを発表したり友達の意見を聴いたりして、思いや考えをまとめようとしている【評価】活動の様子(対話、グループ活動)、自己評価	●沖縄の旋律やリズム、楽器の音色を味わおう	(知及技に関する活動) ・日本の音楽の特徴的な楽器やリズムについて知る。 ・音楽を聴いたり、楽器を鳴らしてみたりして、日本の音楽の旋律の雰囲気と五音音階との関係について確認する。 ・曲想とその変化と、音楽の構造との関わりについて確認する。 (思判表力に関する活動) ・日本の音楽の旋律、音色、リズム等の特徴や、曲想の変化等に注目して全体を聴き、自分なりに感じた「日本の音楽のよさ」について紹介する文を書く。 (学・人) ・日本の音楽の特徴を捉えながら音楽を聴き、感じたことやこれまでの生活の中で日本音楽を聞いた経験について発表したり、友達の意見を聴いたりする。
	4	(知及技) ・曲想と歌詞の内容や体の動きとの関わりについて理解し、互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、曲の速度やリズム・曲想に合わせて手話で表現したりすることができる。(高1段階Aア(イ)ア、Aア(ウ)ウ、Aエ(イ)ア、Aエ(ウ)ア) (思判表力) ・曲の歌詞や旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい表現としてどのように歌い、手話表現をするかについて思いや意図をもつことができる。(高1段階Aア(ア)、Aエ(ア)) (学・人) ・歌詞の内容を意識しながら表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や身体表現の学習活動に取り組むことができる。(高1段階)	(知・技) ・曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。【評価】ワークシート ・お互いの声や副次的な旋律、伴奏を意識して歌っている。【評価】活動の様子(歌唱)、発表 ・曲の速度やリズム、曲想に合わせて手話で表現している。【評価】活動の様子(歌唱)、発表 (思・判・表) ・曲想や歌詞に込められたメッセージについて自分の言葉で表現し、それを基に曲にふさわしい表現について考えている。【評価】ワークシート (主学) ・歌詞に込められた思いや卒業する先輩に伝えたいメッセージについて、自分の言葉で発表したり、友達の意見を聞いたりして、考えを広げようとしている。【評価】ワークシート、発表、自己評価	●曲のメッセージを意識して、思いを込めて表現しよう	(知及技に関する活動) ・曲想と歌詞の内容との関わりについて確認しながら練習する。 ・お互いの声や副次的な旋律、伴奏を意識して歌う。 ・曲の速度やリズム、曲想に合わせて手話をする。 (思判表力) ・曲想や歌詞に込められたメッセージについて自分の言葉で表現する。それらを基に、曲にふさわしい歌い方や手話表現(身体の動かし方)について考える。 (学・人) ・歌詞の内容を意識しながら、卒業する先輩に伝えたいメッセージについて考える。

令和8年度　高等部３年（Ⅱ課程Ａ）　音楽科　年間指導計画

単位数／配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	3年：24名		なし

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

(知及技)曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身に付けるようにする。(高２段階)。
(思判表力)音楽表現を創意工夫することや，音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする(高２段階)。
(学・人)主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。(高２段階)。

学期	時数	題材の目標	題材の評価規準	題材名	題材の活動内容
1学期	4	(知及技) ・声の音色や響き及び言葉の特性と発声との関わりについて理解し、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方や、全体の響きや各声部の大人などを聞きながら他者と合わせて歌う技能を身につけることができる。（高２段階Ａア(イ)イ、Ａア(ウ)ア、Ａア(ウ)イ） (思判表力) ・曲の旋律や速度を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように歌うかについて思いや意図をもつことができる。（高２段階Ａア(ア)） (学・人) ・発声を意識して歌ったり、曲想と音楽の要素との関わりを感じ取ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むことができる。(高２段階)	(知・技) ・身体の使い方や発声のイメージの違いによって、声の音色や響きが変わることに気づいている。【評価】活動の様子(歌唱) ・呼吸や発音を含む、自然で無理のない、響きのある声を出すためのポイントを理解している。【評価】ワークシート ・範唱を聴いたり、楽譜を見たりして歌っている。【評価】活動の様子(歌唱) ・曲にふさわしい歌い方を意識して歌っている。【評価】活動の様子(歌唱) (思･判･表) ・2つの曲の速度や旋律を比較しながら、それぞれの曲想を捉え、それらを基に曲にふさわしい歌唱表現について考えている。【評価】ワークシート (主学) ・様々な声の出し方を主体的に聴いたり試したりし、教師や友達との対話を通して、考えを広げようとしている。【評価】活動の様子(グループ活動)、自己評価 ・特に意識して歌いたいポイントについて考え、目標に向かい主体的に練習しようとしている。【評価】ワークシート、活動の様子(練習)、自己評価	●響きのある声で、曲に合う表現を工夫しよう	(知及技に関する活動) ・身体の使い方や発声のイメージについて、実際に声を出しながらいくつかの方法を比較し、声の音色や響きと発声との関わりについて確認する。 ・自然で無理のない、響きのある声を出すためのポイントについてイラストを見たり歌ったりしながら確認する。 ・範唱を聴いたり、楽譜を見たりして歌う。 ・曲にふさわしい歌い方を意識しながら歌う。 (思判表力に関する活動) ・２つの曲の音楽の構造を比較しながら曲想を捉え、それぞれの曲にふさわしい声(発声)や表現について考える。 (学・人に関する活動) ・様々な発声を試したり、教師や友達の表現を聴いたりする。 ・学習したことや自分の課題や個性を踏まえて特に意識したいポイントについて考え、練習に取り組む。
	4	(知及技) ・ 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法，身体の使い方や全体の響きや各声部の音などを聴きながら，他者と合わせて演奏する技能を身に付けることができる。 ・創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な設定した条件に基づいて，様々な動きを組み合わせたり，即興的に動いたりしてまとまりのある表現をする技能、友達と動きを組み合わせたり，即興的に表現したりする技能を身に付けることができる。（高２段階エ（ウ）イ、ウ） （思判表力） ・リズムや強弱、身体表現での動きや合わせ方の知識や方法を得たり生かしたりしながら、器楽表現や身体表現を創意工夫することができる。 (学・人) ・器楽表現や身体表現の学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現の学習活動に取り組むことができる。(高２段階)	（知・技） ・太鼓などの楽器のもつ響きのある音を表現するために、叩く場所や力加減、体の使い方や、周りの音を聞いて狙ったタイミングで演奏をするための技能を知り身に付けている。【評価】ワークシート ・演奏を表現する方法の一つとして、設定した振り付けなどを選びながら組み合わせたり、即興時に動いたりする技能や友達と動きを組み合わせたり即興的に動いたりする方法を知り身に付けている。【評価】ワークシート、作品発表 （思・判・表） ・表現に合うような音を出す工夫をしたり、身体表現の振り付けを形作っていく活動で、面白さやよさについて考えながら気に入った表現になっているか確認し、工夫して表現活動を行っている。【評価】活動の様子 （主学） ・音の表現やタイミングを合わせる方法、演奏の振り付けを主体的に取り組んだり試したりし、教師や友達との対話を通して、考えを広げようとしている。【評価】活動の様子(グループ活動)、自己評価	身体表現 ドラムサークル 器楽	(知及技に関する活動/思判表力に関する活動) ・太鼓のたたき方について、叩く場所や力加減による変化を確かめる。 ・周りとタイミングを合わせる感覚や体の使い方を確かめる。 ・設定した振り付けを選んだり、友達と組みあわせる方法を知り試す。 (学・人に関する活動) ・演奏や振り付けをお互いに見合い、気付いたことや感じ取ったことを伝え合う。 ・グループで、いろいろな友達とペアになって音を重ね、気付いたことや感じ取ったことを伝え合う。
	4	(知及技) ･音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対象などの構成上の特徴についてそれらが表したいイメージと関わらせて理解し、創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身につけることができる。(高2段階Aウ(イ)イ、Aウ(ウ) (思判表力) ･音色、旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことについて思いや意図をもつことができる。(高2段階Aウ(ア) (学･人) ･音を選んだり、重ねて旋律や音楽をつくる活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的･協働的に器楽、創作の活動に取り組むことができる。(高2段階)	(知･技) ･和音の仕組みやその響き、響きの移り変わりについて、それらが生み出すよさや面白さを感じながら理解している。【評価】ワークシート ･和音に含まれる音を使って、音の上がり下がりを考えたりリズムを考えたりして、旋律を作っている。【評価】作品発表 ･様々なフレーズの重ね方について、それらが生み出す良さや面白さを感じながら理解したり、音楽を作ったりしている。【評価】ワークシート、作品発表 (思･判･表) ･条件に沿った音を選択したり、音を繋げたりリズムをつけたりする活動で、面白さやよさについて考えながら気に入った旋律になっているか確認し、工夫をして音楽を作っている。【評価】活動の様子(創作) ･作った旋律について、創作の工夫や意図について言葉でまとめ表現している。【評価】ワークシート、発表 (主学) ･作った旋律を友達と聴き合い、様々な視点からの対話を通して、考えを広げようとしている。【評価】ワークシート、活動の様子(ペア学習)、自己評価 ･グループで、いろいろな友達とペアになって旋律を重ね、様々な視点からの対話を通して、考えを広げようとしている。【評価】活動の様子(ペア/グループ学習)、自己評価	●条件に沿った音を選択して旋律をつくろう	(知及技に関する活動/思判表力に関する活動) ・和音の仕組みや、その響きについて知る。 ・和音と低音を聴いて、響きの移り変わりを確かめる。 ・和音に含まれる音を使って、音の上がり下がりを考えながら音をつなげる。 ・リズムをつける。 ・つくった旋律を、和音と低音と合わせて発表する。 ・グループ内で様々なペアを作り、友達の旋律と重ね合わせて、そのよさや面白さを話し合う。 ・ペアで作った音楽を発表する。 (学・人に関する活動) ・作った旋律を友達と聴き合い、気付いたことや感じ取ったことを伝え合う。 ・グループで、いろいろな友達とペアになって旋律を重ね、気付いたことや感じ取ったことを伝え合う。

2学期	6	(知及技) ・楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて理解し、創意工夫を生かした表現で演奏をするために必要な奏法、身体の使い方などの技法を身に付けて旋律楽器を演奏することができる。(高２段階Ａイ(イ)イ、Ａイ(ウ)ア) (思判表力) ・楽器の音色及び曲のリズムや強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように演奏するかについて思いや意図をもつことができる。(高２段階Ａイ(ア) (学・人) ・器楽の奏法や音色を意識して演奏する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組むことができる。(高２段階)	(知・技) ・器楽楽器の基本的な奏法について理解して演奏している。【評価】ワークシート、活動の様子(演奏) ・範奏を聴いたり、楽譜を見たりしてリズムを確認し、曲に合わせて演奏している。【評価】活動の様子(演奏) ・音色や響きを意識した奏法で演奏している。【評価】活動の様子(演奏)、発表 (思・判・表) ・音色やリズム、強弱を捉え、曲のイメージを自分なりに言葉にしている。それらを基に曲にふさわしい音色や奏法について考えている。【評価】活動の様子(グループ学習)、ワークシート (主学) ・様々な奏法を主体的に試したり、教師や友達との対話をしたりして、考えを広げようとしている。【評価】活動の様子(グループ学習)、自己評価 ・友達とお互いに奏法を確認したり音色を聴き合ったりしながら、粘り強く繰り返し練習に取り組もうとしている。【評価】ワークシート、活動の様子(グループ学習)、自己評価	●楽器マスターになろう	(知及技に関する活動) ・器楽楽器の基本的な奏法のポイントについて、実際に構えたり音を出したりしながら確認する。 ・範奏を聴いたり楽譜を見たりしてリズムを確認し、曲に合わせて練習する。 ・曲にふさわしい音色及び奏法を意識しながら演奏する。 (思判表力に関する活動) ・音楽の雰囲気を自分なりの言葉にして曲想を捉える。 ・様々な音の出し方や奏法を試しながら、曲にふさわしい表現(音色・演奏の仕方)について考える。 (学・人に関する活動) ・様々な奏法を試したり、教師や友達の表現を聴いたりする。 ・学習のポイントを意識しながら、友達と一緒に練習する。
	9	(知及技) ・多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて理解し、全体の響きや各声部の音などを聞きながら、他者と合わせて演奏することができる。(高２段階Ａイ(イ)イ、Ａイ(ウ)イ) (思判表力) ・楽器の音色及び曲の速度や旋律、テクスチュア、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように演奏するかについて思いや意図をもつことができる。(高２段階Ａイ(ア)) (学・人) ・楽器の音色や響きと音の重なりを意識して合奏する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽、創作の学習活動に取り組むことができる。(高２段階)	(知・技) ・それぞれの楽器の音色や演奏の仕方について理解している。【評価】ワークシート、活動の様子(演奏) ・「合奏」の特徴について理解している。【評価】ワークシート ・同じパートの生徒の音及び他のパートの音や伴奏を聴いて、速度や旋律、リズムを意識して演奏している。【評価】活動の様子(演奏・合奏)、発表 (思・判・表) ・曲想やその曲のよさについて考え、曲にふさわしい表現について考え表現している。【評価】ワークシート ・それぞれのパートの役割や音色の特徴について考え、音を揃える方法や、音のバランスの取り方、強弱等の工夫をしている。【評価】ワークシート、活動の様子(パート練習、合奏) (主学) ・特に意識したいポイントについて考え、目標に向かい主体的に練習しようとしている。【評価】ワークシート(目標設定)、活動の様子(パート練習)、自己評価 ・同じパート同士やグループ全体と合わせることを意識して、協力して練習しようとしている。【評価】活動の様子(パート練習・合奏)、自己評価	●音の重なりを感じ取って合奏しよう	(知及技に関する活動) ・担当楽器の奏法を理解し、速度や旋律、リズム等を確認して練習する。 ・他のパートの演奏を聴いて、多様な楽器の音色や演奏の仕方、それらの音色が重なるよさについて知る。 ・他のパートの演奏や伴奏を聴きながら、演奏する。 (思判表力に関する活動) ・曲想やその曲のよさについて考え、曲にふさわしい表現を考える。 ・パート練習や他のパートとの合奏練習を通して、音を揃える方法や、音のバランスの取り方、強弱等、曲にふさわしい演奏のための工夫をする。 (学・人に関する活動) ・学習したことや担当パートの音色や役割、自己の課題を踏まえ、特に意識したいポイントについて考えて、練習に取り組む。 ・同じパート同士やグループ全体と合わせることを意識して練習する。
3学期	4	(知及技) ・曲想およびその変化と、音楽の構造との関わり及び音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などとの関りについて理解することができる。(高２段階Ｂア(イ)) (思判表力) ・曲の旋律、音色やリズム、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見出し、曲全体を味わって聴くことができる。(高２段階Ｂア(ア)) (学・人) ・曲想や音楽の特徴を捉えて郷土の音楽を聴く学習に興味をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。(高１段階)	(知・技) ・楽器やリズム、旋律など、世界の音楽の特徴について理解している。【評価】ワークシート、活動の様子(楽器体験) ・曲想と曲想の変化が、音楽の構造と関わっていることを理解している。【評価】ワークシート (思・判・表) ・曲のよさや世界の音楽の特徴について触れながら、世界の音楽のよさを伝える紹介文を書いてまとめることができる。【評価】ワークシート、発表 (主学) ・世界の音楽について、様々な視点から教師や友達と対話をして、考えを広げようとしている。【評価】ワークシート、自己評価、活動の様子(グループ学習) ・曲を聴いて感じたことを発表したり友達の意見を聴いたりして、思いや考えをまとめようとしている【評価】活動の様子(グループ学習)、自己評価	●世界の旋律やリズム、楽器の音色を味わおう	(知及技に関する活動) ・世界の音楽の特徴的な楽器やリズムについて知る。音楽を聴いたり、楽器を鳴らしてみたりして、世界の音楽の旋律の雰囲気と音階との関係について確認する。 ・音楽の構造(音楽の要素)に注目して音楽を聴き、曲想や曲想の変化と、音楽の要素との関わりについて確認する。 (思判表力に関する活動) ・世界の音楽の旋律、音色、リズム等の特徴や、曲想の変化等に注目して全体を聴き、自分なりに感じた「世界の音楽のよさ」について紹介する文を書く。 (学・人に関する活動) ・世界の音楽の特徴を捉えながら音楽を聴き、感じたことやこれまでの生活の中で世界の音楽を聞いた経験について発表したり、友達の意見を聴いたりする。
	4	(知及技) ・曲想と歌詞の内容や体の動きとの関わりについて理解し、互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、曲の速度やリズム・曲想に合わせて手話で表現したりすることができる。(高２段階Ａア(イ)ア、Ａア(ウ)ウ、Ａエ(イ)ア、Ａエ(ウ)ア) (思判表力) ・曲の歌詞や旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現や身体表現としてどのように表現するかについて思いや意図をもつことができる。(高１段階Ａア(ア)、Ａエ(ア)) (学・人) ・歌詞の内容を意識しながら表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や身体表現の学習活動に取り組むことができる。(高２段階)	(知・技) ・曲想と歌詞の内容及び手話表現との関わりについて理解している。【評価】ワークシート、活動の様子(歌唱、手話表現) ・お互いの声や副次的な旋律、伴奏を意識して歌っている。【評価】活動の様子(歌唱)、発表 ・曲の速度やリズム、曲想に合わせて手話で表現している。【評価】活動の様子(手話表現)、発表 (思・判・表) ・曲想や歌詞に込められたメッセージについて自分の言葉で表現し、それを基に曲にふさわしい表現について考えている。【評価】ワークシート (主学) ・歌詞に込められた思いや卒業する先輩に伝えたいメッセージについて、自分の言葉で発表したり、友達の意見を聞いたりして、考えを広げようとしている。【評価】ワークシート、発表、自己評価	●曲のメッセージを意識して、思いを込めて表現しよう	(知及技に関する活動) ・曲想と歌詞の内容との関わりについて確認する。 ・お互いの声や副次的な旋律、伴奏を意識して歌う。 ・歌詞と手話表現について確認しながら、曲の速度やリズム、曲想に合わせて手話をする。 (思・判・表) ・曲想や歌詞に込められたメッセージについて自分の言葉で表現し、曲にふさわしい表現について考える。 (学・人に関する活動) ・歌詞の内容を意識しながら、卒業する先輩に伝えたいメッセージについて考える。

令和８年度　高等部１年（Ⅱ課程Ｂ）　音楽科　年間指導計画

単位数／配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	1年：9名		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

(知及技)曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身につけるようにする(高１段階)。
(思判表力)音楽表現を創意工夫することや、音楽をのよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする(高１段階)。
(学・人)主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う(高１段階)。

学期	時数	題材の目標	題材の評価規準	題材名	題材の活動内容
1学期	4	(知及技) ・声の音色や響きと発声との関わりについて理解し、範唱を聴いたり楽譜を見たりして、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌うことができる。(高１段階Ａア(イ)イ、Ａア(ウ)ア、Ａア(ウ)イ) (思判表力) ・曲の旋律や速度を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように歌うかについて思いや意図をもつことができる。(高１段階Ａア(ア)) (学・人) ・発声を意識して歌ったり、曲想と音楽の要素との関わりを感じ取ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むことができる。(高1段階)	(知・技) ・身体の使い方や発声のイメージの違いによって、声の音色や響きが変わることに気づいている。【評価】活動の様子(歌唱)、教師との対話、選択肢からの選択 ・呼吸や発音を含む、自然で無理のない、響きのある声を出すためのポイントを理解している。【評価】ワークシート、選択肢からの選択 ・範唱を聴いたり、楽譜や動画、楽譜を見たりして歌っている。【評価】活動の様子(歌唱) ・曲にふさわしい歌い方を意識して歌っている。【評価】活動の様子(歌唱) (思･判･表) ・2つの曲の速度や旋律を比較しながら、それぞれの曲想を捉え、それらを基に曲にふさわしい歌唱表現について考えている。【評価】ワークシート、選択肢からの選択 (主学) ・様々な声の出し方を主体的に聴いたり試したりし、教師や友達との対話を通して、考えを広げようとしている。【評価】活動の様子(グループ活動、教師との対話)、自己評価 ・特に意識して歌いたいポイントについて考え、目標に向かい主体的に練習しようとしている。【評価】ワークシート、活動の様子(練習)、自己評価	●響きのある声で、曲に合う表現を工夫しよう	(知及技に関する活動) ・身体の使い方や声のイメージについて、教師の例を見ていくつかの方法を比較し、声の音色や響きと発声との関わりについて確認する。 ・自然で無理のない、響きのある声を出すためのポイントについて教師の例やイラストを見たり歌ったりしながら確認する。 ・教師の範唱を聴いて真似をして歌う。楽譜や動画、合図を見て歌う。 (思判表力に関する活動) ・身体を動かすことで音楽の要素を捉え、曲にふさわしい声について考える。 (学・人に関する活動) ・様々な発声を試したり、教師や友達の表現を聴いたりする。 ・学習したことや自分の課題や個性を踏まえて、教師と対話をしながら特に意識したいポイントを選び、練習に取り組む。
	6	(知及技) ・楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて理解し、範奏を聴いたり楽譜を見たりして、音色や響きに気をつけて旋律楽器を演奏することができる。(高1段階Ａイ(イ)イ、Ａイ(ウ)ア、Ａイ(ウ)イ) (思判表力) ・楽器の音色及び曲のリズムや強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように演奏するかについて思いや意図をもつことができる。(高１段階Ａイ(ア) (学・人) ・三線の基本的な奏法や音色を意識して演奏する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組むことができる。(高１段階)	(知・技) ・三線の基本的な奏法について理解して演奏している。【評価】ワークシート、選択肢からの選択、活動の様子(演奏) ・範奏を聴いたり教師の合図や楽譜を見たりしてリズムを確認し、曲に合わせて演奏している。【評価】活動の様子(演奏) ・音色や響きを意識した奏法で演奏している。【評価】活動の様子(演奏)、発表 (思・判・表) ・音色やリズム、強弱を捉え、曲のイメージを自分なりに表現している。それらを基に曲にふさわしい音色や奏法について考えている。【評価】活動の様子(教師との対話)、選択肢からの選択、ワークシート (主学) ・様々な奏法を主体的に試したり、教師や友達との対話をしたりして、考えを広げようとしている。【評価】活動の様子(グループ学習)、自己評価 ・教師と奏法を確認したり音色を聴いたりしながら、繰り返し練習に取り組もうとしている。【評価】活動の様子(練習)、自己評価	●郷土の音楽に親しみ、三線の演奏をしよう	(知及技に関する活動) ・三線の名称について教師と一緒に確認する。 ・三線の基本的な奏法のポイントについて、実際に構えたり音を出したりしながら確認する。 ・範奏を聴いたり楽譜や教師の合図を見たりしてリズムを確認し、曲に合わせて練習する。 ・曲にふさわしい音色及び奏法を教師と一緒に確認して意識しながら演奏する。 (思判表力に関する活動) ・音楽の雰囲気を自分なりの言葉にしたり、イラストから選んだりして曲想を捉える。 ・様々な音の出し方を試したり、教師の例示を聴いたりしながら、曲にふさわしい表現について考え、選択肢から選ぶ。 (学・人に関する活動) ・様々な奏法を試したり、教師や友達の表現を聴いたりする。 ・学習のポイントを意識しながら、教師と一緒に繰り返し練習する。
2	8	(知及技) ・いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解し、創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿って音の選択したり組合せたりする技能を身に付けて音楽をつくることができる。(高１段階Ａウ(イ)ア、Ａウ(ウ)) (思判表力) ・音色や強弱、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもつことができる。(高１段階Ａウ(ア)) (学・人) ・音や楽器の音色を意識しイメージに合わせて音楽を作る学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組むことができる。(高１段階)	(知・技) ・楽器の材質や音の響きに気を付けながらいろいろな楽器を鳴らし、音の特徴を理解している。【評価】ワークシート、活動の様子(楽器体験) ・いろいろな音の組み合わせが生み出すよさや面白さについて理解している。【評価】ワークシート、活動の様子(楽器体験) ・表現したいイメージや条件に合わせて、アンサンブルに使う楽器を選んでいる。【評価】ワークシート、活動の様子（教師との対話） ・表現したいイメージや条件に合わせて、音を繋げたり組み合わせたりして音楽をつくっている。【評価】ワークシート、作品発表 (思・判・表) ・それぞれの楽器の材質や音の響きを生かしながら、イメージに合うように音を重ねたり、強弱やテクスチュアについて考えたりして、工夫して音楽を作っている。【評価】ワークシート、活動の様子(グループ学習) ・作った音楽について、創作の工夫や意図について言葉でまとめたり選択肢から選んだりして表現している。【評価】ワークシート、選択肢からの選択、発表 (主学) ・様々な音の出し方や組み合わせ方を主体的に試し、友達の表現を見たり取り入れたりしながら、考えを広げようとしている。【評価】活動の様子(グループ学習)、自己評価 ・イメージに合う創作表現について、教師と対話をしたり友達の表現を見ながら思いや考えをまとめようとしている【評価】自己評価、活動の様子(グループ学習)	●いろいろな音の響きを味わい、音を組み合わせて音楽を作ろう	(知及技に関する活動/思判表力に関する活動) ・楽器の材質や音の響きに気を付けながら、いろいろな楽器を鳴らして音の特徴を確かめる。 ・いろいろな楽器の音を組み合わせて、それぞれのよさや面白さについて、教師と対話をしながら考える。 ・音の特徴を教師と一緒に確認しながら、いくつかの楽器の中から表現したいイメージに合う楽器を選ぶ。 ・表現したいイメージや条件(最初と最後の音、重ねる順番、楽器の数等)を教師と一緒に確認し、音を繋げたり組み合わせたり、音楽の要素の工夫をしたりする。 ・教師の合図に合わせたり、例示を見たりしながら、グループで音を合わせて発表する。 (学・人に関する活動) ・様々な楽器の音を出したり音の組み合わせを試したりして、友達の表現を取り入れながら、考えを広げ深める。 ・イメージや条件に合う創作表現について、教師と対話をしたり、友達の考えを聞いたりして、グループで考える。

学期	7	(知及技) ・曲想と体の動きとの関わりについて理解し、設定した条件に基づいて、様々な動きを組み合わせてまとまりのある表現をするとともに、友達と動きを組み合わせて表現することができる。(高１段階Ａエ(イ)ア、Ａエ(ウ)イ、Ａエ(ウ)ウ) (思判表力) ・曲の形式や各場面の旋律や強弱及びテクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい身体表現としてどのように表現するかについて思いや意図をもつことができる。（高１段階Ａエ(ア)） (学・人) ・曲に合わせて身体を使って表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に身体表現の学習活動に取り組むことができる。(高１段階)	(知・技) ・曲想と体の動きとの関わりについて理解している。【評価】ワークシート、選択肢からの選択、活動の様子(身体表現) ・設定した条件に基づいて様々な動きを組み合わせ、グループ全体でまとまりのある表現をしている。【評価】活動の様子(身体表現)、発表 (思･判･表) ・曲全体の形式や、それぞれの場面の旋律や強弱、テクスチュアを教師と一緒に確認し、それらを基に曲にふさわしい表現の工夫について考えている。【評価】ワークシート、選択肢からの選択、活動の様子(教師との対話) ・表現の工夫や意図について、自分なりの方法で表現している。【評価】ワークシート、活動の様子(教師との対話)、発表 (主学) ・様々な表現を主体的に見たり試したりして友達と共有し、考えを広げようとしている。【評価】活動の様子(グループ学習)、自己評価 ・曲にふさわしい体の動きや条件に合う表現とその構成について、教師や友達と対話をしながら思いや考えをまとめようとしている【評価】ワークシート、自己評価(グループ学習)、活動の様子	●曲の特徴を生かしてボディーパーカッションで表現しよう	(知及技に関する活動・思判表力に関する活動) ・身体を楽器にして表現するボディーパーカッションについて知る。 ・いくつかの曲に合わせて、様々な身体の動き(身体を叩く部位)を試したり比較したりして、曲想と体の動きとの関わりについて確認する。 ・課題曲の旋律や強弱等に注目し、身体を動かしたりイラストを見たりして、曲の各場面の雰囲気(各場面の曲想)について捉える。それらを全体として捉え、曲の形式について確認する。 ・工夫の際の条件(始まりと終わり、動きの重ね方や人数等)ついて教師と一緒に確認し、課題曲の各場面の雰囲気や曲の形式、全体の構成を意識して、リズムや動き(身体を叩く部位)、その組み合わせについて考えたり、選択肢から選んだりする。 ・教師と一緒に確認をしながら、グループで発表する。 (学・人に関する活動) ・様々な体の動きを教師と一緒に試したり友達の表現を見たりして、考えを広げ深める。 ・曲にふさわしい体の動きや条件に合う表現とその構成について、友達の意見も聞きながら考える。
３学期	4	(知及技) ・曲想およびその変化と、音楽の構造との関わりについて理解することができる。(高１段階Ｂア(イ)) (思判表力) ・曲の旋律、音色やリズム、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見出し、曲全体を味わって聴くことができる。（高１段階Ｂア(ア)） (学・人) ・曲想や音楽の特徴を捉えて郷土の音楽を聴く学習に興味をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。(高１段階)	(知・技) ・楽器やリズム、旋律など、沖縄音楽の特徴について理解している。【評価】ワークシート、活動の様子(楽器体験) ・曲想と曲想の変化が、音楽の構造と関わっていることを理解している。【評価】ワークシート、選択肢からの選択 (思・判・表) ・曲のよさや沖縄の音楽の特徴について触れながら、沖縄音楽のよさを伝えようとしている。【評価】ワークシート、選択肢からの選択、発表 (主学) ・沖縄の音楽について、様々な視点から教師と対話をしたり、他の人の話を聴いたりして、考えを広げようとしている。【評価】ワークシート、自己評価、活動の様子(グループ学習) ・曲を聴いて感じたことを発表したり友達の意見を聴いたりして、思いや考えをまとめようとしている【評価】活動の様子(グループ学習)、自己評価	●沖縄の旋律やリズム、楽器の音色を味わおう	(知及技に関する活動) ・沖縄の音楽の特徴的な楽器やリズムについて知る。音楽を聴いたり、教師と一緒に楽器を鳴らしてみたりして、沖縄の音楽の旋律の雰囲気と琉球音階との関係について確認する。 ・曲想の変化と、音楽の要素との関わりについて身体を動かしたり、イラストを見たりして確認する。 (思判表力に関する活動) ・沖縄音楽の旋律、音色、リズム等の特徴や、曲想の変化等に注目して全体を聴き、自分なりに感じた「沖縄音楽のよさ」について選択肢から選び発表する。 (学・人に関する活動) ・沖縄音楽を聴いて感じたことや、生活の中での沖縄音楽について話し合う。
	6	(知及技) ・曲想と歌詞の内容や体の動きとの関わりについて理解し、互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、曲の速度やリズム・曲想に合わせて手話で表現したりすることができる。(高１段階Ａア(イ)ア、Ａア(ウ)ウ、Ａエ(イ)ア、Ａエ(ウ)ア) (思判表力) ・曲の歌詞や旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現や身体表現としてどのように表現するかについて思いや意図を持つことができる。（高１段階Ａア(ア)、Ａエ(ア)） (学・人) ・歌詞の内容を意識しながら表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や身体表現の学習活動に取り組むことができる。(高１段階)	(知・技) ・曲想と歌詞の内容及び手話表現との関わりについて理解している。【評価】ワークシート、選択肢からの選択、活動の様子(歌唱、手話表現) ・お互いの声や副次的な旋律、伴奏を意識して歌っている。【評価】活動の様子(歌唱)、発表 ・曲の速度やリズム、曲想に合わせて手話で表現している。【評価】活動の様子(手話表現)、発表 (思・判・表) ・曲想や歌詞に込められたメッセージについて自分なりに表現し、それを基に曲にふさわしい表現について考えている。【評価】ワークシート、選択肢からの選択 (主学) ・歌詞に込められた思いや卒業する先輩に伝えたいメッセージについて、自分なりに表現したり、友達の意見を聞いたりして、考えを広げようとしている。【評価】ワークシート、発表、自己評価	●曲のメッセージを意識して、思いを込めて表現しよう	(知及技に関する活動) ・教師との対話やイラストを見ることを通して、曲想と歌詞の内容との関わりについて確認しながら練習する。 ・お互いの声や副次的な旋律、伴奏を意識して歌う。 ・教師の真似をしながら、曲の速度やリズム、曲想に合わせて手話をする。 (思判表力に関する活動) ・曲想や歌詞に込められたメッセージについて自分なりの思いを表現し、曲にふさわしい表現について考える。 (学・人に関する活動) ・歌詞の内容を意識しながら、卒業する先輩に伝えたいメッセージについて考える。

令和8年度　高等部　2年(Ⅱ課程B)　音楽科　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	2年6名		

目標:(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学・人)学びに向かう力・人間性等
評価:(知・技)知識・技能　(思・判・表)思考・判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

(知及技)曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身につけるようにする(高１段階)。
(思判表力)音楽表現を創意工夫することや、音楽をのよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする(高１段階)。
(学・人)主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う(高１段階)。

学期	時数	題材の目標	題材の評価規準	題材名	題材の活動内容
1学期	2	(知及技) ・曲想およびその変化と、音楽の構造との関わりについて理解することができる。(高１段階Ｂア(イ)) (思判表力) ・曲の速度、旋律及び形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見出し、曲全体を味わって聴くことができる。(高１段階Ｂア(ア)) (学・人) ・曲想と音楽の構造との関わりを感じ取る学習に興味をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。(高１段階)	(知・技) ・曲想と曲想の変化が、音楽の構造と関わっていることを理解している。【評価】ワークシート ・音楽の場面とそれぞれの曲想に注目し、曲全体を通した形式について理解している。【評価】ワークシート (思・判・表) ・身体を動かしながら曲を聴いたりイメージを言葉にしたりして、曲想と音楽の構造との関わりについて感じ取ったり、考えたりしている。【評価】活動の様子(グループ学習)、ワークシート ・音楽の構造や形式を意識して音楽を聴き、自分なりに感じた曲のよさについて表現している。【評価】ワークシート (主学) ・音楽の場面を想像・予想しながら音楽を聴き、友達や教師と対話を通して、考えを広げようとしている。【評価】活動の様子(対話)、自己評価	●曲想の変化を感じとって音楽を聴こう	(知及技に関する活動) ・音楽の場面ごとに音楽を聴き、曲想と音楽の構造との関わりについて確認する。 ・場面ごとの曲想や音楽の構造を曲全体として捉え、音楽の形式について確認する。 (思判表力に関する活動) ・速度や旋律の動きを意識して、身体を動かしながら音楽を聴いたり、イメージを言葉にしたりして、場面ごとの音楽の構造の違いや曲想について感じ取る。 ・場面ごとに曲想が変化するという曲の形式を意識して曲全体を聴き、自分なりに感じた「この曲のおもしろさ」について表現する。 (学・人) ・音楽の場面を想像・予想しながら音楽を聴き、感じたことを発表したり、友達の意見を聴いたりする。
	4	(知及技) ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解し、ハ長調及びイ短調の楽譜を見て、互いの歌声や副次的な旋律を聴いて声を合わせて歌うことができる。(高1段階Aア(イ)ア、Aア(ウ)ア、Aア(ウ)ウ) (思判表力) ・曲の旋律、強弱、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように歌うかについて思いや意図をもつことができる。(高1段階Aア(ア)) (学・人) ・曲の特徴を意識して、友達と声を合わせて表現する活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むことができる。(高1段階)	(知・技) ・ハ短調やイ短調の楽譜に印をつけたり書き込みをしたりして、旋律の動きや各声部の動きを確認している。【評価】ワークシート(楽譜への書き込み) ・２つの曲の音楽の構造や歌詞の内容を比較し、それらが関連していることを理解している。【評価】ワークシート ・互いの歌声や副次的な旋律に意識を向け、声を合わせることを意識して歌おうとしている。【評価】活動の様子(歌唱) (思・判・表) ・２つの曲の音楽の要素や歌詞を比較したり、副次的な旋律の役割について考えたりしてワークシートにまとめ、それらを根拠に曲にふさわしい表現について考えている。【評価】ワークシート、活動の様子(グループ学習) (主学) ・学習した内容や自分の課題や個性を踏まえて特に意識したいポイントについて考え、粘り強く練習に取り組もうとしている。【評価】ワークシート(目標設定・自己評価)、活動の様子(対話) ・友達とお互いの声を聴き合ったり、意見交換をしたりしながら、練習にと取り組もうとしている。【評価】ワークシート(自己評価)、活動の様子(グループ学習)	●曲想の雰囲気や違いを感じ取って歌おう。 ●	(知及技に関する活動) ・ハ長調やイ短調の楽譜を見て、旋律の動きや各声部の動きを確認する。 ・２つの曲の音楽の構造や歌詞の内容を比較し、それらの特徴と曲想の関わりについて確認する。 ・互いの歌声や副次的な旋律、声を合わせることを意識して歌う。 (思判表力に関する活動) ・２つの曲の歌詞や音楽の要素を比較したり、副次的な旋律の役割について考えたりして、曲に合う歌唱表現について教師と一緒に考える。 (学・人に関する活動) ・学習した内容や自分の課題や個性を踏まえて特に意識したいポイントについて考え、教師や友達と一緒に練習に取り組む。 ・友達とお互いに声を聴き合ったり、意見交換をしたりしながら学習に取り組む。
	4	(知及技) ・曲想と音楽の構造との関わりを理解し、楽譜を見て、伴奏を聴いて音を合わせて演奏することができる。(高1段階Aイ(イ)ア、Aイ(ウ)ア、Aイ(ウ)ウ) (思判表力) ・旋律やリズム、速度を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、器楽表現を創意工夫することができる。(高1段階Aイ(ア)) (学・人) ・楽譜を見たり、曲想と音楽の構造との関わりを生かして三線を演奏したりする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽、創作の学習活動に取り組むことができる。(高1段階)	(知・技) ・工工四の読み方や勘所の押さえ方を理解している。【評価】ワークシート、活動の様子 (演奏) ・工工四を読んで、演奏している。【評価】活動の様子(練習曲の演奏) ・曲の速度やリズムを意識して、伴奏に合わせて演奏している。【評価】活動の様子(三線演奏) (思・判・表) ・音楽の雰囲気を自分なりの言葉にして曲想を捉えて、それらと音楽の特徴との関わりについて考え、それらを根拠に曲にふさわしい表現について考えている。【評価】ワークシート (主学) ・工工四を見て、自分に合う練習方法を工夫しながら、繰り返し練習に取り組もうとしている。【評価】ワークシート(目標設定、自己評価)、活動の様子 ・音を合わせて演奏したり、意見交換をしたりして、友達と協力して学習に取り組んでいる。【評価】ワークシート(自己評価)、活動の様子	●郷土の音楽に親しもう ●いろいろな音の響きを味わおう ●音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴を知ろう	(知及技に関する活動) ・工工四の読み方や勘所の押さえ方について確認する。 ・工工四を見て、練習をする。 ・曲の速度やリズムを意識して、伴奏に合わせて演奏する。 (思判表力に関する活動) ・音楽の雰囲気を自分なりの言葉にして曲想を捉えて、それらと音楽の特徴との関わりについて考え、曲にふさわしい表現について考える。 (学・人に関する活動) ・工工四を見て、繰り返し練習に取り組む。 ・曲や周りの友達と速度やリズムを合わせることを意識して練習する。
2学期	7	(知及技) ・音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴についてそれらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解し、創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けて音楽を作ることができる。(高1段階Aウ(イ)イ、Aウ(ウ)) (思判表力) ・旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもつことができる。(高1段階Aウ(ア)) (学・人) ・音をつなげて旋律を作ったりそれらを組み合わせたりする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽、創作の学習活動に取り組むことができる。(高1段階)	(知・技) ・和音の仕組みやその響き、響きの移り変わりについて、それらが生み出すよさや面白さを感じながら理解している。【評価】ワークシート ・和音に含まれる音を使って、音の上がり下がりを考えたりリズムを考えたりして、旋律を作っている。【評価】作品発表 ・様々なフレーズの重ね方について、それらが生み出す良さや面白さを感じながら理解したり、音楽を作ったりしている。【評価】ワークシート、作品発表 (思・判・表) ・音を繋げたりリズムをつけたりする活動で、面白さやよさについて考えながら気に入った旋律になっているか確認し、工夫をして音楽を作っている。【評価】活動の様子(創作) ・作った旋律について、創作の工夫や意図について言葉でまとめ表現している。【評価】ワークシート、発表 (主学) ・作った旋律を友達と聴き合い、様々な視点からの対話を通して、考えを広げようとしている。【評価】ワークシート、活動の様子(ペア学習)、自己評価 ・グループで、いろいろな友達とペアになって旋律を重ね、様々な視点からの対話を通して、考えを広げようとしている。【評価】活動の様子(ペア/グループ学習)、自己評価	●旋律を繋げたり重ねたりして旋律を作ろう	(知及技に関する活動/思判表力に関する活動) ・和音の仕組みや、その響きについて知る。 ・和音と低音を聴いて、響きの移り変わりを確かめる。 ・和音に含まれる音を使って、音の上がり下がりを考えながら音をつなげる。 ・リズムをつける。 ・つくった旋律を、和音と低音と合わせて発表する。 ・グループ内で様々なペアを作り、友達の旋律と重ね合わせて、そのよさや面白さを話し合う。 ・ペアで作った音楽を発表する。 (学・人に関する活動) ・作った旋律を友達と聴き合い、気付いたことや感じ取ったことを伝え合う。 ・グループで、いろいろな友達とペアになって旋律を重ね、気付いたことや感じ取ったことを伝え合う。
	8	(知及技) ・多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて理解し、各声部の楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏することができる。(高1段階Aイ(イ)イ、Aイ(ウ)ウ) (思判表力) ・楽器の音色及び曲の速度や旋律、テクスチュア、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように演奏するかについて思いや意図をもつことができる。(高１段階Aイ(ア)) (学・人) ・楽器の音色や響きと音の重なりを意識して合奏する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽、創作の学習活動に取り組むことができる。(高1段階)	(知・技) ・それぞれの楽器の音色や演奏の仕方について理解している。【評価】ワークシート、活動の様子(演奏) ・「合奏」の特徴について理解している【評価】ワークシート ・同じパートの生徒の音及び他のパートの音や伴奏を聴いて、速度や旋律、リズムを意識して演奏している。【評価】活動の様子(演奏・合奏)、発表 (思・判・表) ・曲想やその曲のよさについて考え、曲にふさわしい表現について考え表現している。【評価】ワークシート ・それぞれのパートの役割や音色の特徴について考え、音を揃える方法や、音のバランスの取り方、強弱等の工夫をしている。【評価】ワークシート、活動の様子(パート練習、合奏) (主学) ・特に意識したいポイントについて考え、目標に向かい主体的に練習しようとしている。【評価】ワークシート(目標設定)、活動の様子(パート練習)、自己評価 ・同じパート同士やグループ全体と合わせることを意識して、協力して練習しようとしている。【評価】活動の様子(パート練習・合奏)、自己評価	●音の重なりを感じ取って合奏しよう	(知及技に関する活動) ・担当楽器の奏法を理解し、速度や旋律、リズム等を確認して練習する。 ・他のパートの演奏を聴いて、多様な楽器の音色や演奏の仕方、それらの音色が重なるよさについて知る。 ・他のパートの演奏や伴奏を聴きながら、演奏する。 (思判表力に関する活動) ・曲想やその曲のよさについて考え、曲にふさわしい表現を選択肢から選んだりする。 ・パート練習や他のパートとの合奏練習を通して、音を揃える方法や、音のバランスの取り方、強弱等、曲にふさわしい演奏のための工夫をする。 (学・人に関する活動) ・学習したことや担当パートの音色や役割、自己の課題を踏まえ、特に意識したいポイントについて確認し、練習に取り組む。 ・同じパート同士やグループ全体と合わせることを確認し練習する。

3学期	4	(知及技) ・曲想およびその変化と、音楽の構造との関わりについて理解することができる。(高１段階Ｂア(イ)) (思判表力) ・曲の旋律、音色やリズム、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見出し、曲全体を味わって聴くことができる。（高１段階Ｂア(ア)） (学・人) ・曲想や音楽の特徴を捉えて日本音楽を聴く学習に興味をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。(高１段階)	(知・技) ・楽器やリズム、旋律など、日本の音楽の特徴について理解している。【評価】ワークシート、活動の様子(鑑賞、楽器体験) ・曲想と曲想の変化が、音楽の構造と関わっていることを理解している。【評価】ワークシート (思・判・表) ・曲のよさや日本の音楽の特徴について触れ、日本音楽のよさを伝えるためにイラストを貼りながらワークシートをまとめようとしている。【評価】ワークシート、発表 (主学) ・日本の音楽について、様々な視点から教師や友達と対話をして、考えを広げようとしている。【評価】ワークシート、自己評価、活動の様子(対話、グループ活動) ・曲を聴いて感じたことを発表したり友達の意見を聴いたりして、思いや考えをまとめようとしている【評価】活動の様子(対話、グループ活動)、自己評価	●沖縄の旋律やリズム、楽器の音色を味わおう	(知及技に関する活動) ・日本の音楽の特徴的な楽器やリズムについて知る。 ・音楽を聴いたり、楽器を鳴らしてみたりして、日本の音楽の旋律の雰囲気と五音音階との関係について確認する。 ・曲想とそのの変化と、音楽の構造との関わりについて身体を動かしたり、イラストを見て確認する。 (思判表力に関する活動) ・日本の音楽の旋律、音色、リズム等の特徴や、曲想の変化等に注目して全体を聴き、自分なりに感じた「日本の音楽のよさ」について選択肢から選び発表する。 (学・人に関する活動) ・日本の音楽の特徴を捉えながら音楽を聴き、感じたことやこれまでの生活の中で日本音楽を聞いた経験について発表したり、友達の意見を聴いたりする。
	6	(知及技) ・曲想と歌詞の内容や体の動きとの関わりについて理解し、互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、曲の速度やリズム・曲想に合わせて手話で表現したりすることができる。(高1段階Aア(イ)ア、Aア(ウ)ウ、Aエ(イ)ア、Aエ(ウ)ア) (思判表力) ・曲の歌詞や旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい表現としてどのように歌い、手話表現をするかについて思いや意図をもつことができる。(高1段階Aア(ア)、Aエ(ア)) (学・人) ・歌詞の内容を意識しながら表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や身体表現の学習活動に取り組むことができる。(高1段階)	(知・技) ・曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。【評価】ワークシート ・お互いの声や副次的な旋律、伴奏を意識して歌っている。【評価】活動の様子(歌唱)、発表 ・曲の速度やリズム、曲想に合わせて手話で表現している。【評価】活動の様子(歌唱)、発表 (思・判・表) ・曲想や歌詞に込められたメッセージについて自分の言葉で表現し、それを基に曲にふさわしい表現について考えている。【評価】ワークシート (主学) ・歌詞に込められた思いや卒業する先輩に伝えたいメッセージについて、自分の言葉で発表したり、友達の意見を聞いたりして、考えを広げようとしている。【評価】ワークシート、発表、自己評価	●曲のメッセージを意識して、思いを込めて表現しよう	(知及技に関する活動) ・教師と話したりイラストや映像を見ることを通して、曲想と歌詞の内容との関わりについて確認しながら練習する。 ・お互いの声や副次的な旋律、伴奏を意識して歌う。 ・曲の速度やリズム、曲想に合わせて手話をする。 (思・判・表) ・曲想や歌詞に込められたメッセージについて自分の言葉で表現する。それらを基に、曲にふさわしい歌い方や手話表現(身体の動かし方)について考える。 (学・人に関する活動) ・歌詞の内容を意識しながら、卒業する先輩に伝えたいメッセージについて考える。

令和８年度　高等部３年（Ⅱ課程Ｂ）　音楽科　年間指導計画

単位数／配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	3年：8名		なし

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

(知及技)曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身に付けるようにする。(高２段階)。
(思判表力)音楽表現を創意工夫することや，音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする(高２段階)。
(学・人)主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。(高２段階)。

学期	時数	題材の目標	題材の評価規準	題材名	題材の活動内容
1学期	4	(知及技) ・声の音色や響き及び言葉の特性と発声との関わりについて理解し、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方や、全体の響きや各声部の大人などを聞きながら他者と合わせて歌う技能を身につけることができる。（高２段階Ａア(イ)イ、Ａア(ウ)ア、Ａア(ウ)イ） (思判表力) ・曲の旋律や速度を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように歌うかについて思いや意図をもつことができる。（高２段階Ａア(ア)） (学・人) ・発声を意識して歌ったり、曲想と音楽の要素との関わりを感じ取ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むことができる。(高２段階)	(知・技) ・身体の使い方や発声のイメージの違いによって、声の音色や響きが変わることに気づいている。【評価】活動の様子(歌唱) ・呼吸や発音を含む、自然で無理のない、響きのある声を出すためのポイントを理解している。【評価】ワークシート ・範唱を聴いたり、楽譜を見たりして歌っている。【評価】活動の様子(歌唱) ・曲にふさわしい歌い方を意識して歌っている。【評価】活動の様子(歌唱) (思･判･表) ・2つの曲の速度や旋律を比較しながら、それぞれの曲想を捉え、それらを基に曲にふさわしい歌唱表現について考えている。【評価】ワークシート (主学) ・様々な声の出し方を主体的に聴いたり試したりし、教師や友達との対話を通して、考えを広げようとしている。【評価】活動の様子(グループ活動)、自己評価 ・特に意識して歌いたいポイントについて考え、目標に向かい主体的に練習しようとしている。【評価】ワークシート、活動の様子(練習)、自己評価	●響きのある声で、曲に合う表現を工夫しよう	(知及技に関する活動) ・身体の使い方や発声のイメージについて、実際に声を出しながらいくつかの方法を比較し、声の音色や響きと発声との関わりについて確認する。 ・自然で無理のない、響きのある声を出すためのポイントについてイラストを見たり歌ったりしながら確認する。 ・範唱を聴いたり、楽譜を見たりして歌う。 ・曲にふさわしい歌い方を意識しながら歌う。 (思判表力に関する活動) ・２つの曲の音楽の構造を比較しながら曲想を捉え、それぞれの曲にふさわしい声(発声)や表現について考える。 (学・人に関する活動) ・様々な発声を試したり、教師や友達の表現を聴いたりする。 ・学習したことや自分の課題や個性を踏まえて特に意識したいポイントについて考え、練習に取り組む。
	4	(知及技) ・ 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法，身体の使い方や全体の響きや各声部の音などを聴きながら，他者と合わせて演奏する技能を身に付けることができる。 ・創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な設定した条件に基づいて，様々な動きを組み合わせたり，即興的に動いたりしてまとまりのある表現をする技能、友達と動きを組み合わせたり，即興的に表現したりする技能を身に付けることができる。（高２段階エ（ウ）イ、ウ） （思判表力） ・リズムや強弱、身体表現での動きや合わせ方の知識や方法を得たり生かしたりしながら、器楽表現や身体表現を創意工夫すること。 (学・人) ・器楽表現や身体表現の学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現の学習活動に取り組むことができる。(高２段階)	（知・技） ・太鼓などの楽器のもつ響きのある音を表現するために、叩く場所や力加減、体の使い方や、周りの音を聞いて狙ったタイミングで演奏をするための技能を知り身に付けている。【評価】ワークシート ・演奏を表現する方法の一つとして、設定した振り付けなどを選びながら組み合わせたり、即興時に動いたりする技能や友達と動きを組み合わせたり即興的に動いたりする方法を知り身に付けている。【評価】ワークシート、作品発表 （思・判・表） ・表現に合うような音を出す工夫をしたり、身体表現の振り付けを形作っていく活動で、面白さやよさについて考えながら気に入った表現になっているか確認し、工夫して表現活動を行おうとしている。【評価】活動の様子 （主学） ・音の表現やタイミングを合わせる方法、演奏の振り付けを主体的に取り組んだり試したりし、教師や友達との対話を通して、考えを広げようとしている。【評価】活動の様子(グループ活動)、自己評価	身体表現 ドラムサークル 器楽	(知及技に関する活動/思判表力に関する活動) ・太鼓のたたき方について、叩く場所や力加減による変化を確かめる。 ・周りとタイミングを合わせる感覚や体の使い方を確かめる。 ・設定した振り付けを選んだり、友達と組みあわせる方法を知り試す。 (学・人に関する活動) ・演奏や振り付けをお互いに見合い、気付いたことや感じ取ったことを伝え合う。 ・グループで、いろいろな友達とペアになって音を重ね、気付いたことや感じ取ったことを伝え合う。
	4	(知及技) ･音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対象などの構成上の特徴についてそれらが表したいイメージと関わらせて理解し、創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身につけることができる。(高2段階Aウ(イ)イ、Aウ(ウ) (思判表力) ･音色、旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことについて思いや意図をもつことができる。(高2段階Aウ(ア) (学･人) ･音を選んだり、重ねて旋律や音楽をつくる活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的･協働的に器楽、創作の活動に取り組むことができる。(高2段階)	(知･技) ･和音の仕組みやその響き、響きの移り変わりについて、それらが生み出すよさや面白さを感じながら理解している。【評価】ワークシート ･和音に含まれる音を使って、音の上がり下がりを考えたりリズムを考えたりして、旋律を作っている。【評価】作品発表 ･様々なフレーズの重ね方について、それらが生み出す良さや面白さを感じながら理解したり、音楽を作ったりしている。【評価】ワークシート、作品発表 (思･判･表) ･条件に沿った音を選択したり、音を繋げたりリズムをつけたりする活動で、面白さやよさについて考えながら気に入った旋律になっているか確認し、工夫をして音楽を作っている。【評価】活動の様子(創作) ･作った旋律について、創作の工夫や意図について言葉でまとめ表現している。【評価】ワークシート、発表 (主学) ･作った旋律を友達と聴き合い、様々な視点からの対話を通して、考えを広げようとしている。【評価】ワークシート、活動の様子(ペア学習)、自己評価 ･グループで、いろいろな友達とペアになって旋律を重ね、様々な視点からの対話を通して、考えを広げようとしている。【評価】活動の様子(ペア/グループ学習)、自己評価	●条件に沿った音を選択して旋律をつくろう	(知及技に関する活動/思判表力に関する活動) ・和音の仕組みや、その響きについて知る。 ・和音と低音を聴いて、響きの移り変わりを確かめる。 ・和音に含まれる音を使って、音の上がり下がりを考えながら音をつなげる。 ・リズムをつける。 ・つくった旋律を、和音と低音と合わせて発表する。 ・グループ内で様々なペアを作り、友達の旋律と重ね合わせて、そのよさや面白さを話し合う。 ・ペアで作った音楽を発表する。 (学・人に関する活動) ・作った旋律を友達と聴き合い、気付いたことや感じ取ったことを伝え合う。 ・グループで、いろいろな友達とペアになって旋律を重ね、気付いたことや感じ取ったことを伝え合う。

2学期	6	(知及技) ・楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて理解し、創意工夫を生かした表現で演奏をするために必要な奏法、身体の使い方などの技法を身に付けて旋律楽器を演奏することができる。(高２段階Ａイ(イ)イ、Ａイ(ウ)ア) (思判表力) ・楽器の音色及び曲のリズムや強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように演奏するかについて思いや意図をもつことができる。(高２段階Ａイ(ア) (学・人) ・器楽の奏法や音色を意識して演奏する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組むことができる。(高２段階)	(知・技) ・器楽楽器の基本的な奏法について理解して演奏している。【評価】ワークシート、活動の様子(演奏) ・範奏を聴いたり、楽譜を見たりしてリズムを確認し、曲に合わせて演奏している。【評価】活動の様子(演奏) ・音色や響きを意識した奏法で演奏している。【評価】活動の様子(演奏)、発表 (思・判・表) ・音色やリズム、強弱を捉え、曲のイメージを自分なりに言葉にしている。それらを基に曲にふさわしい音色や奏法について考えている。【評価】活動の様子(グループ学習)、ワークシート (主学) ・様々な奏法を主体的に試したり、教師や友達との対話をしたりして、考えを広げようとしている。【評価】活動の様子(グループ学習)、自己評価 ・友達とお互いに奏法を確認したり音色を聴き合ったりしながら、粘り強く繰り返し練習に取り組もうとしている。【評価】ワークシート、活動の様子(グループ学習)、自己評価	●楽器マスターになろう	(知及技に関する活動) ・器楽楽器の基本的な奏法のポイントについて、実際に構えたり音を出したりしながら確認する。 ・範奏を聴いたり楽譜を見たりしてリズムを確認し、曲に合わせて練習する。 ・曲にふさわしい音色及び奏法を意識しながら演奏する。 (思判表力に関する活動) ・音楽の雰囲気を自分なりの言葉にして曲想を捉える。 ・様々な音の出し方や奏法を試しながら、曲にふさわしい表現(音色・演奏の仕方)について考える。 (学・人に関する活動) ・様々な奏法を試したり、教師や友達の表現を聴いたりする。 ・学習のポイントを意識しながら、友達と一緒に練習する。
	9	(知及技) ・多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて理解し、全体の響きや各声部の音などを聞きながら、他者と合わせて演奏することができる。(高２段階Ａイ(イ)イ、Ａイ(ウ)イ) (思判表力) ・楽器の音色及び曲の速度や旋律、テクスチュア、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように演奏するかについて思いや意図をもつことができる。(高２段階Ａイ(ア)) (学・人) ・楽器の音色や響きと音の重なりを意識して合奏する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽、創作の学習活動に取り組むことができる。(高２段階)	(知・技) ・それぞれの楽器の音色や演奏の仕方について理解している。【評価】ワークシート、活動の様子(演奏) ・「合奏」の特徴について理解している【評価】ワークシート ・同じパートの生徒の音及び他のパートの音や伴奏を聴いて、速度や旋律、リズムを意識して演奏している。【評価】活動の様子(演奏・合奏)、発表 (思・判・表) ・曲想やその曲のよさについて考え、曲にふさわしい表現について考え表現している。【評価】ワークシート ・それぞれのパートの役割や音色の特徴について考え、音を揃える方法や、音のバランスの取り方、強弱等の工夫をしている。【評価】ワークシート、活動の様子(パート練習、合奏) (主学) ・特に意識したいポイントについて考え、目標に向かい主体的に練習しようとしている。【評価】ワークシート(目標設定)、活動の様子(パート練習)、自己評価 ・同じパート同士やグループ全体と合わせることを意識して、協力して練習しようとしている。【評価】活動の様子(パート練習・合奏)、自己評価	●音の重なりを感じ取って合奏しよう	(知及技に関する活動) ・担当楽器の奏法を理解し、速度や旋律、リズム等を確認して練習する。 ・他のパートの演奏を聴いて、多様な楽器の音色や演奏の仕方、それらの音色が重なるよさについて知る。 ・他のパートの演奏や伴奏を聴きながら、演奏する。 (思判表力に関する活動) ・曲想やその曲のよさについて考え、曲にふさわしい表現を考える。 ・パート練習や他のパートとの合奏練習を通して、音を揃える方法や、音のバランスの取り方、強弱等、曲にふさわしい演奏のための工夫をする。 (学・人に関する活動) ・学習したことや担当パートの音色や役割、自己の課題を踏まえ、特に意識したいポイントについて考えて、練習に取り組む。 ・同じパート同士やグループ全体と合わせることを意識して練習する。
3学期	4	(知及技) ・曲想およびその変化と、音楽の構造との関わり及び音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などとの関りについて理解することができる。(高２段階Ｂア(イ)) (思判表力) ・曲の旋律、音色やリズム、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見出し、曲全体を味わって聴くことができる。(高２段階Ｂア(ア)) (学・人) ・曲想や音楽の特徴を捉えて郷土の音楽を聴く学習に興味をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。(高１段階)	(知・技) ・楽器やリズム、旋律など、世界の音楽の特徴について理解している。【評価】ワークシート、活動の様子(楽器体験) ・曲想と曲想の変化が、音楽の構造と関わっていることを理解している。【評価】ワークシート (思・判・表) ・曲のよさや世界の音楽の特徴について触れながら、世界の音楽のよさを伝える紹介文を書いてまとめようとしている。【評価】ワークシート、発表 (主学) ・世界の音楽について、様々な視点から教師や友達と対話をして、考えを広げようとしている。【評価】ワークシート、自己評価、活動の様子(グループ学習) ・曲を聴いて感じたことを発表したり友達の意見を聴いたりして、思いや考えをまとめようとしている。【評価】活動の様子(グループ学習)、自己評価	●世界の旋律やリズム、楽器の音色を味わおう	(知及技に関する活動) ・世界の音楽の特徴的な楽器やリズムについて知る。音楽を聴いたり、楽器を鳴らしてみたりして、世界の音楽の旋律の雰囲気と音階との関係について確認する。 ・音楽の構造(音楽の要素)に注目して音楽を聴き、曲想や曲想の変化と、音楽の要素との関わりについて確認する。 (思判表力に関する活動) ・世界の音楽の旋律、音色、リズム等の特徴や、曲想の変化等に注目して全体を聴き、自分なりに感じた「世界の音楽のよさ」について紹介する文を書く。 (学・人に関する活動) ・世界の音楽の特徴を捉えながら音楽を聴き、感じたことやこれまでの生活の中で世界の音楽を聞いた経験について発表したり、友達の意見を聴いたりする。
	4	(知及技) ・曲想と歌詞の内容や体の動きとの関わりについて理解し、互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、曲の速度やリズム・曲想に合わせて手話で表現したりすることができる。(高２段階Ａア(イ)ア、Ａア(ウ)ウ、Ａエ(イ)ア、Ａエ(ウ)ア) (思判表力) ・曲の歌詞や旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現や身体表現としてどのように表現するかについて思いや意図をもつことができる。(高１段階Ａア(ア)、Ａエ(ア)) (学・人) ・歌詞の内容を意識しながら表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や身体表現の学習活動に取り組むことができる。(高２段階)	(知・技) ・曲想と歌詞の内容及び手話表現との関わりについて理解している。【評価】ワークシート、活動の様子(歌唱、手話表現) ・お互いの声や副次的な旋律、伴奏を意識して歌っている。【評価】活動の様子(歌唱)、発表 ・曲の速度やリズム、曲想に合わせて手話で表現している。【評価】活動の様子(手話表現)、発表 (思・判・表) ・曲想や歌詞に込められたメッセージについて自分の言葉で表現し、それを基に曲にふさわしい表現について考えている。【評価】ワークシート (主学) ・歌詞に込められた思いや卒業する先輩に伝えたいメッセージについて、自分の言葉で発表したり、友達の意見を聞いたりして、考えを広げようとしている。【評価】ワークシート、発表、自己評価	●曲のメッセージを意識して、思いを込めて表現しよう	(知及技に関する活動) ・曲想と歌詞の内容との関わりについて確認する。 ・お互いの声や副次的な旋律、伴奏を意識して歌う。 ・歌詞と手話表現について確認しながら、曲の速度やリズム、曲想に合わせて手話をする。 (思・判・表) ・曲想や歌詞に込められたメッセージについて自分の言葉で表現し、曲にふさわしい表現について考える。 (学・人に関する活動) ・歌詞の内容を意識しながら、卒業する先輩に伝えたいメッセージについて考える。

令和8年度　高等部1年（Ⅱ課程A）　美術科年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	1年：18名		アートであそぼの副教材、iPad

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

（知及技）造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。（高1段階）
（思判表力）造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。（高1段階）
（学･人）美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。（高1段階）

学期	時数		単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	11	(知及技) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。（高1段階ア） (思判表力) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができる。（高1段階イ） (学･人) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を扱い、心豊かな生活を創造していく態度を養うことができる。（高1段階ウ）	(知・技) 顔の描き方や色彩について理解し、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。 (思・判・表) 対象モチーフのよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術活動などに対する見方や感じ方を、創作を通して広げようとしている。 (主学) 興味のあるものから楽しく美術の活動に取り組もうとしている。	●オリエンテーション ・ワークシート ・発表をしよう ・自由に描いてみよう ●自由画・人物画を描こう ・好きな物を探そう ・自分や友だちを観察してみよう ・スケッチしよう ●スチレン版画 ・色々な素材を集めてみよう ・テーマを決めよう ・下描きをしよう ・本描きをしよう ・彫りをしよう ・摺りをしよう ・仕上げをしよう ●鑑賞・展示 ・感想発表をしよう ・意見交換をしよう	●オリエンテーション ・自己紹介ワークシートの作成、発表。 ・アートで遊ぼの本のワークシート。（モナリザを笑わせよう・色についてなど） ●自由画・人物画を描こう ・自分の興味・関心がある対象を描く。 ・自画像や友だちの似顔絵を描く。 ●スチレン版画 ・過去の作品や見本紹介、版画の特徴や種類やスチレンボード版画の制作工程の説明。 ・素材集め、テーマ決め、下描き。 ・カーボン紙で転写。 ・転写された線画をなぞる、削る。 ・スチレンボードにインクを刷る。 ・バレンやインクローラーなどの用具活用。 ●鑑賞・対話 ・自分の作品タイトルや感想を考える。 ・友人の作品を見て、感想や意見を述べる。
2学期	15	(知及技) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。（高1段階ア） (思判表力) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができる。（高1段階イ） (学･人) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を扱い、心豊かな生活を創造していく態度を養うことができる。（高1段階ウ）	(知・技) 立体物を様々な視点で理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫しようとしている。 (思・判・表) 構図の美しさや、立体表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想しようとしている。 (主学) 自己や他者の作品鑑賞を通して、楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わおうとしている。	●焼き物制作 ・アイディアスケッチをしよう ・粘土で作ってみよう ●写真に親しもう ・写真について学ぼう ・iPadで写真を撮ろう ・iPadで写真を編集しよう ●ランプシェード制作 ・アイディアスケッチをしよう ・作ってみよう ・展示をしよう ●鑑賞・展示 ・感想発表をしよう ・意見交換をしよう	●焼き物制作 ・日本の焼き物の概要を知る。 ・作品例、成形から焼成までの制作工程を知る。 ・アイディアスケッチから作品の構想を練る。 ●写真に親しもう ・写真について歴史や作家などを知る。 ・撮影技法、構図、偶然性などを知る。 ・デジタル機器（iPad、カメラ）を活用し、主題に合った方法で撮影する。 ●ランプシェード制作 ・暮らしの中の照明について知る。 ・素材集めをする。 ・アイディアスケッチをして構想を練る。 ●鑑賞・対話 ・自分の作品タイトルや感想を考える。 ・友人の作品を見て、感想や意見を述べる。
3学期	9	(知及技) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。（高1段階ア） (思判表力) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができる。（高1段階イ） (学･人) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を扱い、心豊かな生活を創造していく態度を養うことができる。（高1段階ウ）	(知・技) 平面構成について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫しようとしている。 (思・判・表) 色彩構成の美しさ、版画表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術文化などに対する見方や感じ方を広げようとしている。 (主学) 周囲と協力しながら楽しく美術活動に取り組み、心豊かな生活を創造しようとしている。	●卒業壁画制作 ・テーマについて知ろう ・役割分担をしよう ・素材を使い分けよう ●エコバッグ制作 ・デザインを考えよう ・着彩をしよう ●１年間のまとめ ・意見交換をしよう ・作品について考えてみよう ●鑑賞・展示 ・感想発表をしよう ・意見交換をしよう	●卒業壁画制作 ・テーマについてアイディアを出し合う。 ・主体的に役割分担、素材、制作方法などについて話合う。 ・個々が得意な役割を進めながら、協力して制作していく。 ●エコバック制作（絵画、デザイン） ・構想を練る。（スケッチ、構図、配色） ・布バックにスタンプや好きな絵を描く。 ●１年のまとめ（鑑賞、対話、振り返り） ・友人の作品を見て、感想を述べる。 ・自分の作品タイトルを考える。 ●鑑賞・対話 ・自分の作品タイトルや感想を考える。 ・友人の作品を見て、感想や意見を述べる。

令和8年度　高等部２年（Ⅱ課程A）　美術科年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	2年：24名		アートであそぼの副教材、iPad

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

（知及技）造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。（高1段階）
（思判表力）造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。（高1段階）
（学･人）美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。（高1段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	11	(知及技) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。（高1段階ア） (思判表力) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができる。（高1段階イ） (学･人) 楽しく美術活動に取り組み、心豊かな生活を創造していく態度を養うことができる。（高1段階ウ）	(知・技) 身近な働く人や将来なりたい職業を調べ理解し、意図に応じて表現方法を工夫して表現しようとしている。 (思・判・表) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、さまざまな道具を使用して平面作品を表現しようとしている。 (主学) 自分の作品と他者の作品を見て、それぞれのよさを感じ取ろうとしている。	●オリエンテーション ・１年間の内容把握 ・発表を工夫する ・生活にある形を探る ●働く姿を描こう ・身近な人へのインタビュー ・自分がなりたい将来の夢 ・構図を考えスケッチを描く ●版画制作 ・様々な表現方法を知る ・版画の種類の決定 ・下描きをして転写 ・本描き ・道具を使用して彫る ・色を選んで摺りをする ・仕上げ ●鑑賞・展示をする ・作品について自分の考えや他者の作品への感想発表 ・展示を行う	●オリエンテーション ・１年間の授業内容、時間配分の確認 ・今年の目標・自己PR発表、プレゼンテーションの工夫について ・アートで遊ぼの本のワークシート。（丸・四角・三角を描く・身近な物で同じ形を探す） ●働く姿を描こう ・身近で働く人から話を聞く（親・教師など） ・将来の夢やあこがれの職業を調べて描く ・構図を考えてスケッチを描く ●版画制作 ・様々な版画の技法を確認する ・スチレンボード、木版画、紙版画など自分が挑戦したい版画の種類を選ぶ ・下書き、カーボン紙への転写 ・転写後、道具を使用して彫る ・黒インクやカラーインクを選択して印刷する ・バレンやインクローラーなど使用前使用後を知る。 ●鑑賞・展示をする ・自分が特に頑張った点、感想を発表する ・他者の良い点に注目して発表する ・友人と協力しながら展示を行う。
2学期	15	(知及技) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。（高1段階ア） (思判表力) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができる。（高1段階イ） (学･人) 楽しく美術活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、心豊かな生活を創造していく態度を養うことができる。（高１段階ウ）	(知・技) 写真撮影の方法として、意図に応じて表現の選択があることを理解しながら、工夫しようとしている。 (思・判・表) テーマについて思考しながら豊かに発想し構想を練ろうとしている。 (主学) 他者と関わりながら、創造活動の喜びを味わおうとしている。	●立体制作 ・生活の中の立体造形について ・日常のゴミについて考える ・廃材などで作品制作 ●新旧の写真撮影を体験する ・アナログとデジタル写真の現在 ・撮影する ・印刷された作品を鑑賞し、見比べる ●鑑賞・展示をする ・自分の考えや他者の作品への感想、発表	●立体制作 ・オブジェ、焼き物作品、家具、飲み物のボトルなどデザインの意味や工夫を知る。 ・使用された物がゴミとなってどうなるのかをiPad等で調べる。 ・使用し終えた物（ペットボトルやアイス棒など）が新たな作品へと蘇る「リサイクル作品」の制作 ●新旧の写真撮影を体験する ・アナログ写真とデジタル写真の違いや良さを学ぶ ・アナログ写真（フィルムカメラ、またはピンホールカメラ）とデジタル写真（iPad、デジカメ）で、校内・校外等同じ場所を撮影し比較する。 ・仕上がった写真を見比べ、画用紙に比較できるように貼り付ける。 ●鑑賞・展示をする ・自分が特に頑張った点、感想を発表する。 ・他者の良い点に注目して発表する。 ・友人と協力しながら展示を行う。
3学期	9	(知及技) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。（高1段階ア） (思判表力) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができる。（高1段階イ） (学･人) 楽しく美術活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養うことができる。（高１段階ウ）	(知・技) 立体的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表そうとしている。 (思・判・表) 壁画制作を通して、色の配置に変化をつけたり、デザインされた造形の美しさ、見方や感じ方を広げたりしようとしている。 (主学) 自己と他者の作品のよさを鑑賞・展示を通して感じ取り、お互いを認め合いながら楽しく美術活動に取り組み、心豊かな生活を創造していく態度を養おうとしている。	●卒業壁画制作 ・テーマについて話し合う ・共同制作について必要なこと話し合う。 ・自分と他者について ●キーホルダー制作 ・iPadで調べる ・作業工程を知る ●鑑賞・展示をする ・意見交換をしよう ・作品について考えてみよう ●１年間のまとめ ・１年の作品を振り返る ・３年生への意気込み・目標	●卒業壁画制作 ・テーマについて友人と相談して発表を行う。 ・共同制作を行う前に、役割分担、素材、制作方法等について必要な仕事は何かを考え全体で話し合う。 ・自分の仕事を終えても友人を手伝うなど、全体を見ることができるようにする。 ●キーホルダー制作 ・アイディアスケッチ ・プラ板、レジンなど素材によって作業工程が変わるので把握しながらケガのないように進めていく。 ●鑑賞・展示をする ・自分が特に頑張った点、感想を発表する。 ・他者の良い点に注目して発表する。 ・友人と協力しながら展示を行う。 ●１年間のまとめ ・１年間制作した作品の中で特に好きな作品を発表して振り返る。 ・３年生になって制作したい物の希望と自分の目標を発表する。

令和８年度　高等部3年（Ⅱ課程A）　美術科年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	3年：24名		アートであそぼの副教材、タブレット

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

(知及技)・造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すことができるようにする。（高2段階ア）
(思判表力)・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。（高2段階イ）
(学･人)・主体的に楽しく美術活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。（高2段階ウ）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技) 感じとったことや考えたこと、目的や機能などを基に、描いたり、つくったりする活動をすることができる。（高２段階Aア（イ）） (思判表力) 対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想ができる。（高２段階Aア(ア)） (学･人) 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深めることができる。（高2段階Bア（ア）） 	(知・技) 校内の風景や人物から感じとったことを、描画や写真撮影で表現しようとしている。 (思・判・表) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫について考え、版画作品に生かそうとしている。 (主学) お互いの作品などの造形的なよさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考え、自分らしい見方や感じ方を深めようとしている。	●オリエンテーション ●写真① （校内散策） ●描画・イラスト ●版画制作について ●鑑賞	●1年間の授業内容や時間配分確認 ●タブレットの使用方法について ・タブレットやデジタルカメラの特性を理解し撮影する。 ・風景、花、人物の撮影方法、構図、偶然性の面白さ等意識しながら撮影する。（アングルの発見） ●平面制作（描画・イラスト） ●版画作品を鑑賞 ・テーマを深く考える ・見本（例） ・下描き ・ボードにカーボン紙で転写（トレシングペーパーの活用） ・線画をなぞって削る活動 ・黒インクをローラで伸ばし版画紙に刷る（バレン等の用具の活用） ・裏彩色に挑戦する。 ・互いに作品を鑑賞し良い点やおもしろい箇所等の発見し感想の発表
2学期	18	(知及技) 材料や用具の特性を生かし方など身に付け、意図に応じた表現方法を追求し、自分らしく表現できる。（高2段階Aア（イ）） (思判表力) 対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫することができる。（高２段階Aア（ア）） (学･人) 生活や社会の中の美術や文化遺産などのよさや美しさを感じ取り、生活や社会を美しく豊かにする美術の働きや美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を深めることができる。（高2段階Bア（イ）） 	(知・技) 素材や用具の特性を理解し、立体的な造形表現に生かそうとしている。 (思・判・表) テーマについて考え、表現方法を模索し造形的な特徴などから全体のイメージで捉えようとしている。 (主学) 身近な暮らしにある美術作品や文化遺産などのよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深めようとしている。	●平面画制作 ●立体制作 ●鑑賞	●素材を変えて制作（布やプラスチックの違い） ・画材や用具の取扱いを学び、丁寧に安全に扱うようにする。 ●様々な素材の活用（立体制作） （ペットボトル、キャップ、ビーズ、紐、色紙、画用紙、ペン、鉛筆、クレヨン、空き箱、等） ●見近な暮らしの中にある美術品の発見をしよう。（焼きもの） （窯業との関連） ・首里城の建築に注目して見よう。 ・様々な職人の技巧について考える。 ・タブレットの活用（調べて発見する）
3学期	5	(知及技) 形や色彩、材料や光などの働きを理解し、自分らしく表現できる（高２段階共ア（ア）） (思判表力) 生活や社会を美しく豊かにする美術の働きや美術文化について考えるなどして、見方感じ方を深めることができる。（高2段階Ｂア（イ）） (学･人) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養うことができる。（高2段階Bウ）	(知・技) 筆ペンを活用した形や色彩を意識しながら相手のイメージした表現をしようとしている。 (思・判・表) 生活内での美しい言葉に着目し、デザイン文字を豊かに表現しようとしている。 (主学) 主体的に、作品制作哉活動に取り組み創造活動の喜びを味わおうとしている。 お互いの作品鑑賞を通して、認め高め合い、美術を愛好する心情をいだこうとしている。	●絵はがき制作 ●写真② （展示方法） ●鑑賞 ●作品のまとめ	●相手のことをイメージしながら、メッセージを考える。 ・筆ペンの特徴を理解しながら、文字の形やレイアウトの工夫をする。 ●言葉と写真（写真に合う言葉をタイトルにする） ●3年間を通して感じたことを自分の気持ちを言葉で表現する（お互いに感想を発表） ●作品を鑑賞しながら、振り返り活動の様子について、感想等を話し合う。

令和8年度　高等部１年（Ⅱ課程B）　美術科年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	１年：9名		アートであそぼの副教材、iPad

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

（知及技）造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。（高1段階）
（思判表力）造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。（高1段階）
（学･人）美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。（高1段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。（高1段階ア） (思判表力) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができる。（高1段階イ） (学･人) 楽しく美術活動に取り組み、心豊かな生活を創造していく態度を身につけることができる。（高1段階ウ）	(知・技) 版画板素材の形や色などに気付き、必要な材料や用具を使おうとしている。 (思・判・表) 表現したいことを模倣したり、作品を見ようとしている (主学) 素材にふれ、作り出すことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることでより楽しい生活を創造しようとしている。	●オリエンテーション ・仲間紹介・授業の流れ確認 ●五感を刺激する活動 ・様々な素材を体験してみよう ●版画体験をしよう ・版画の説明 ・見本提示、テーマについて ・素材を触る、描く ・版画工程の見通し設定 ●鑑賞・展示をする	●オリエンテーション ・友人の名前、出席確認、時間配分、集合と始まり、挨拶、１年間の授業内容の確認。 ・ ●五感を刺激する活動 ・自然に触れる（水、散策、風、光、匂い等） ・人工物に触れる（シャボン玉、段ボール、エアークッション等） ●版画体験をしよう ・様々な版画の技法を確認する ・去年の生徒作品やテーマになるイメージ写真などを見せる。 ・スチレンボードに触れて、道具を使用して描いてみる。 ・印刷の作業工程を見せながら一つずつ行う。 ①黒インクやカラーインクを選択する。 ②インクローラー、筆で色を塗って、版画紙を重ねる。 ③バレンを使用して擦って印刷し、印刷された部分を見せる。 ●鑑賞・展示をする ・作品を見る。 ・座って作品について聴く。 ・頑張った自分や仲間の作品に拍手をする。
2学期	30	(知及技) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。（高1段階ア） (思判表力) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができる。（高1段階イ） (学･人) 楽しく美術活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、心豊かな生活を創造していく態度を身につけることができる。（高１段階ウ）	(知・技) 立体的な造形や匂い触感などに気付き、材料や用具を使おうとしている。 (思・判・表) 紙粘土を触りながら表したいことを模倣したり、作品を見ようとしている。 (主学) 他者の作品を見たり、声を掛けたりすることで互いに作品制作の楽しさを味わおうとしている。	●感触遊び ・手で触れる経験 ・足で触れる経験 ・素材の選択 ●立体制作 ・好きな物を組み立てる ・紙粘土の感触に触れてみる ●季節を感じよう ・自然の風や空気を感じとる ●鑑賞・展示をする	●感触遊び ・手を使用して、心地よい素材に触れる。（スライム、綿など） ・足を使用して心地よい素材に触れる。（足湯、泥んこ遊びなど） ・たくさんある素材を選ぶ（毛糸、紙、ペットボトル、発砲スチロール、ワイヤー、色砂等） ●立体制作 ・好きな素材を重ねて固めて立体物を制作する。 ・紙粘土に触れて、手でこねて様々な形を制作する。 ●季節を感じよう ・日光や草花の香り、影、風、水、雨、雲など四季の変化を感じながらその様子を見たり、関わったり触れたりする。 ●鑑賞・展示をする ・作品を見る。 ・座る、静かに聴く態度。 ・頑張った自分や仲間に拍手する。
3学期	16	(知及技) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。（高1段階ア） (思判表力) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができる。（高1段階イ） (学･人) 楽しく美術活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を身につけることができる。（高１段階ウ）	(知・技) 壁画作品に使用する素材に触れ、他の素材との違いに気付こうとしている。 (思・判・表) さまざまな道具を使用することで、表したいことを思いついたり、作品を見ようとしている。 (主学) 制作した作品が次の作品に結びついたり、他者の作品に触れたり見たりすることで楽しく美術に取り組もうとしている。	●学習発表会に向けて ・役割分担を行う ●卒業壁画制作 ・テーマの発表 ・共同制作について ●大型バッグ制作 ・絵を描く、スタンプを押す ●鑑賞・展示をする ●１年間のまとめ ・１年の作品を振り返る	●学習発表会に向けて ・自分が得意なことを見つける。 ・ラベルなぞり、シール貼り、展示など全員で協力して行う。 ●卒業壁画制作 ・去年の壁画を思い出す。今年のテーマを発表して、関連のある写真や素材を見て確認する。 ・具体的なパーツなどをセットし、分担して共同で作業を行う。 ●大型バッグ制作 ・作品をまとめるバッグに絵を描いたり、スタンプを押すなどし、可愛らしくデザインする。 ●鑑賞・展示をする ・作品を見る。 ・座って作品について聴く。 ・頑張った自分や仲間に拍手する。 ●１年間のまとめ ・１年間制作した作品で好きな作品を選んだり、皆の前で発表する。 ・大型バッグに作品を入れて整理する。

令和８年度　高等部２年（Ⅱ課程B）　美術科年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	２年：６名		アートであそぼの副教材、iPad

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

（知及技）造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。（高1段階）
（思判表力）造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。（高1段階）
（学･人）美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。（高1段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。（高1段階ア） (思判表力) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができる。（高1段階イ） (学･人) 楽しく美術活動に取り組み、心豊かな生活を創造していく態度を身につけることができる。（高1段階ウ）	(知・技) 材料や用具を選び、用途に合わせて使おうとしている。 (思・判・表) 表現したいことを模倣したり、手で触れるなどして作品を見ようとしている。 (主学) 進んで表したり、見たりする活動に取り組み、作り出すことの楽しさに気づくとともに、形や色などに関わることでより楽しい生活を創造しようとしている。	●オリエンテーション ・自己紹介・授業の流れ確認 ●五感を刺激する活動 ・様々な素材を体験してみよう ●版画制作 ・版画の説明 ・見本提示、テーマについて ・素材を触る、描く ・版画工程の見通し設定 ●鑑賞・展示をする	●オリエンテーション ・友人の名前、出席確認、時間配分、集合と始まり、挨拶、１年間の授業内容の確認。 ●五感を刺激する活動 ・自然に触れる（水、散策、風、光、匂い等） ・人工物に触れる（新聞紙、風船、スライム、粘土、シャボン玉、段ボール、エアークッション等） ●版画制作 ・様々な版画の技法を確認する ・去年の生徒作品やテーマになるイメージ写真などを見せる。 ・道具を使用して版板に描いてみる。 ・印刷の作業工程を見せながら確認して制作する。 ①黒インクやカラーインクを選択する。 ②インクローラー、筆で色を塗って、版画紙を重ねる。 ③バレンを使用して擦って印刷し、印刷された部分を自分で紙をめくって変化を楽しむ。 ●鑑賞・展示をする ・作品を見る。 ・座って作品について静かに聴く。 ・頑張った自分や仲間の作品に拍手をする。
2学期	30	(知及技) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。（高1段階ア） (思判表力) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができる。（高1段階イ） (学･人) 楽しく美術活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、心豊かな生活を創造していく態度を身にるけることができる。（高１段階ウ）	(知・技) 使用する素材や感触の違いに気付き、それぞれの材料や用具を使おうとしている。 (思・判・表) 自然の形、色を感じて画用紙などに自ら違う造形に変化をさせて作品を作り出そうとしている。 (主学) 他者と関わりながら作り出すことの楽しさに気付くとともに、形や色の変化を美しいと感じ取る心を育もうとしている。	●感触遊び ・手で触れる経験 ・足で触れる経験 ・素材の選択 ●立体制作 ・紙粘土で小物入れ制作 ●季節を感じよう ・自然の風や空気を感じとる ●鑑賞・展示をする	●感触遊び ・手を使用して、心地よい素材に触れる。（植物の皮をむく、プチプチをつぶすなど） ・足を使用して心地よい素材に触れる。（足湯にバスクリンを入れて発砲した泡や香りを楽しむなど） ・たくさんある素材から好きな素材を２つ選択させる（毛糸、紙、ペットボトル、発砲スチロール、ワイヤー、色砂等） ●立体制作 ・紙粘土に触れて、手でこねて様々な形を制作する。 ・自分で使用する小物をスチロール皿から型を取って形作り、固める。 ・固まった作品を着彩する。 ・実際に使用してみる。 ●季節を感じよう ・日光や草花の香り、影、風、水、雨、雲など四季の変化を感じながらその様子を見たり、関わったり触れたりする。 ・葉っぱの上から用紙を重ねてクーピーなどで葉脈などを写し取るなど自然の面白さを発見する。 ●鑑賞・展示をする ・作品を見る。 ・座って静かに作品について聴く。 ・頑張った自分や仲間に拍手する。
3学期	16	(知及技) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。（高1段階ア） (思判表力) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができる。（高1段階イ） (学･人) 楽しく美術活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を身につけることができる。（高１段階ウ）	(知・技) 壁画の材料を手に取り、積極的に用具を使おうとしている。 (思・判・表) 色を塗り重ねることでできる新たな表現や、他者と共同制作でできる作品の変化を感じ取ろうとしている。 (主学) 壁画作品の鑑賞を通して、行事や季節を感じるなど、心豊かに生活を創造していく態度を身につけようとしている。	●学習発表会に向けて ・役割分担を行う ●卒業壁画制作 ・テーマの発表 ・共同制作について ●鑑賞・展示をする ●１年間のまとめ ・１年の作品を振り返る	●学習発表会に向けて ・自分が得意なことを見つける。 ・ラベルなぞり、シール貼り、展示など全員で協力して行う。 ●卒業壁画制作 ・去年の壁画を思い出す。今年のテーマを発表して、関連のある写真や素材を見て確認する。 ・具体的なパーツなどをセットし、分担して共同で作業を行う。 ●鑑賞・展示をする ・作品を見る。 ・座って静かに作品について聴く。 ・頑張った自分や仲間に拍手する。 ●１年間のまとめ ・１年間制作した作品で好きな作品を選んだり、皆の前で発表する。 ・大型バッグに作品を入れて整理する。

令和８年度　高等部３年（Ⅱ課程B）　美術科年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	３年：　８名		アートであそぼの副教材、iPad

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

（知及技）造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。（高1段階）
（思判表力）造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。（高1段階）
（学･人）美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。（高1段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。（高1段階ア） (思判表力) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができる。（高1段階イ） (学･人) 楽しく美術活動に取り組み、心豊かな生活を創造していく態度を身につけることができる。（高1段階ウ）	(知・技) テーマに沿って必要な材料や用具を考えて使おうとしている。 (思・判・表) 自然の造形を観察し、自ら手で触れて草花を貼り付けるなど表現しようとしている。 (主学) 作品を並べて全員で鑑賞しながら、他者の作品と自分の作品の形や色の違いに気付こうとしている。	●オリエンテーション ・仲間紹介・授業の流れ確認 ●五感を刺激する活動 ・様々な素材を体験してみよう ●版画制作 ・版画の説明 ・見本提示、テーマについて ・素材を触る、描く ・版画工程の見通し設定 ●鑑賞・展示をする	●オリエンテーション ・友人の名前、出席確認、時間配分、集合と始まり、挨拶、１年間の授業内容の確認。 ●五感を刺激する活動 ・自然に触れる（水、風、光、匂い等） ・人工物に触れる（シャボン玉、段ボール、エアークッション等） ●版画制作 ・様々な版画の技法を確認する ・去年の生徒作品やテーマになるイメージ写真などを見せる。 ・道具を使用して版板に描いてみる。 ・印刷の作業工程を見せながら確認して制作する。 ①黒インクやカラーインクを選択する。 ②インクローラー、筆で色を塗って、版画紙を重ねる。 ③バレンを使用して擦って印刷し、印刷された部分を自分で紙をめくって変化を楽しむ。 ④色違いで版をずらして重ねて印刷をしてみる。 ●鑑賞・展示をする ・作品をしっかりと見る。 ・正しい姿勢で座って作品について静かに聴く。 ・頑張った自分や仲間の作品に拍手をする。
2学期	30	(知及技) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。（高1段階ア） (思判表力) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができる。（高1段階イ） (学･人) 楽しく美術活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、心豊かな生活を創造していく態度を身につけることができる。（高１段階ウ）	(知・技) 立体に使う素材や材料を知り、制作の工程を集中して観察しようとしている。 (思・判・表) 作品を重ねたり、着彩をして素材変化を楽しみながら制作しようとしている。 (主学) 自然の土が食器になる工程から、実際にお皿となって生活に使用する体験を行うことで、より楽しい生活を創造しようとしている。	●感触遊び ・手で触れる経験 ・足で触れる経験 ・素材の選択 ●立体制作 ・焼き物でお皿を作ろう ●季節の壁画制作 ・自然の風や空気を感じとる ●鑑賞・展示をする	●感触遊び ・手を使用して、心地よい素材に触れる。（植物の皮をむく、プチプチをつぶすなど） ・足を使用して心地よい素材に触れる。（足湯にバスクリンを入れて発砲した泡や香りを楽しむなど） ・たくさんある素材から好きな素材を２つ選択させる（毛糸、紙、ペットボトル、発砲スチロール、ワイヤー、色砂等） ●立体制作 ・出来上がりまでの工程を並べて違いを目で確認する。 ・完成してツルツルした皿の表面を優しく触る、手で持つ。 ・手で粘土をこねて、棒で伸ばす、型を取って乾燥させるなど成形から焼成までの制作工程を行う。 ・実際に完成した作品に食べ物をのせるなど、生活になくてはならない器を五感で感じ取る。 ●季節の壁画制作 ・日光や草花の香り、影、風、水、雨、雲など四季の変化を感じながらその様子を見たり、関わったり触れたりする。 ・季節の曲に合わせて、鯉のぼり、雨、スイカや海、紅葉、雪だるまなど工夫しながら楽しくパーツを制作する。 ●鑑賞・展示をする ・作品をしっかりと見る。 ・正しい姿勢で座り静かに作品について聴く。 ・頑張った自分や仲間に拍手する。
3学期	16	(知及技) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。（高1段階ア） (思判表力) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができる。（高1段階イ） (学･人) 楽しく美術活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を身につけることができる。（高１段階ウ）	(知・技) 昨年の壁画作品と今年の作品とのテーマの違いを知り、新たな表現方法で材料や用具を使おうとしている。 (思・判・表) パーツを組み合わせたり、他者の色と混色させることで、美しい形に変化する様子をしっかりと観察しようとしている。 (主学) 完成した壁画作品を式場の中で掲示した状態で鑑賞を行うことで、雰囲気を感じ取りながら心豊かに美術を愛好する心情をいだこうとしている。	●学習発表会に向けて ・役割分担を行う ●卒業壁画制作 ・テーマの発表 ・共同制作について ●鑑賞・展示をする ●１年間のまとめ ・１年の作品を振り返る	●学習発表会に向けて ・自分が得意なことを見つける。 ・ラベルなぞり、シール貼り、展示など全員で協力して行う。 ●卒業壁画制作 ・去年の壁画を思い出す。今年のテーマを発表して、関連のある写真や素材を見て確認する。 ・具体的なパーツなどをセットし、分担して共同で作業を行う。 ●鑑賞・展示をする ・作品をしっかりと見る。 ・正しい姿勢で座り、静かに作品について聴く。 ・頑張った自分や仲間に拍手する。 ●１年間のまとめ ・１年間制作した作品で好きな作品を選んだり、皆の前で発表する。

令和　8年度　　高等部　　1年（Ⅱ課程A）　保健体育科　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	18名		なし

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

(知及技)
各種の運動の特性に応じた技能等並びに個人生活及び社会生活における健康・安全についての理解を深めるとともに，目的に応じた技能を身に付けるようにする。（高１段階）
(思判表力)
各種の運動や健康・安全についての自他の課題を発見し，その解決に向けて仲間と思考し判断するとともに，目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。（高１段階）
(学･人)
生涯にわたって継続して運動に親しむことや，健康の保持増進と体力の向上を目指し，明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	37	(知及技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して，体を動かす楽しさや心地よさを味わい，その行い方や方法を理解するとともに，仲間と積極的に関わったり，動きを持続する能力などを高める運動をしたりすることができる。 （高1段階Aア） (思判表力) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 （高1段階Aイ） (学･人) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して，きまりを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができる。 （高1段階Aウ）	(知・技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して，集合・整列，準備体操やリズミカルな運動等の動き方や方法がわかり、体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに，仲間と積極的に取り組もうとしている。 (思・判・表) 体つくり運動やスポーツテスト等を通して，自他の課題を発見し課題解決のための方策を工夫したり，記録の向上を目指し挑戦することや仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して，ルールやマナーなどを守り，用具の準備や片付けなど，自己の役割を理解し仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に活動しようとしている。 【評価資料】実技テスト、活動の様子	単元「体つくり運動」 ・正しい姿勢 ・リズム体操 ・歩く、走るの姿勢	・号令や指示に従って行動する ・前後左右などの向きや動き方を理解する。 ・時間通りに整列する。 ・正しい姿勢を保持する。 ・特体連ダンスを覚える。 ・リズムに合わせて体を動かす。 ・動きを覚える。 ・走り方・自分のフォームの確認をする。 ・スポーツテストで各種目の記録を残す。 （上体起こし，反復横跳び，50m走，100m走，立ち幅跳び、走り幅跳び，走り高跳び，ソフトボール投げ，シャトルラン）
		(及技) 水泳の楽しさや喜びを味い，その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けることができる。 （高1段階Dア） (思判表力) 水泳についての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 （高1段階Dイ） (学･人) 水泳の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高１段階Dウ）	(知・技) 水泳の楽しさや喜びを味い，水に触れる・顔付け・浮く・もぐるなどの水慣れから始まり，蹴る・掻く・泳いで進む等，その特性に応じた技能を理解するとともに自己に合った泳ぎの泳法を身に付けようとしている。 (思・判・表) 水泳についての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学) 水泳の多様な経験を通して，ルールやマナーなどを守り，用具の準備や片付けなど，自己の役割を理解し仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に活動しようとしている。 【評価資料】実技テスト、活動の様子	単元「水泳」 ・水慣れ ・顔付け ・もぐる ・浮く ・泳いで進む ・息継ぎ ・クロール ・平泳ぎ	・水に慣れ、能力に応じた深さのプールに入水できる。 ・水中に顔付けから始まりもぐることができる。 ・水に浮くことができる。 ・泳いで進むことができる。 ・息継ぎができる。 ・クロールや平泳ぎなどの泳法を身につけることができる。
		(知及技) 武道の楽しさや喜びを深く味わい，その特性に応じた技能の理解を深めるとともに，基本動作や基本となる技を用いて，相手の動きの変化に応じた攻防を展開することができる。 （高１段階Fア） (思判表力) 武道についての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 （高１段階Fイ） (学･人) 武道の多様な経験を通して，きまりや伝統的な行動の仕方を守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をすることができる。 （高１段階Fウ）	(知・技) 武道の楽しさや喜びを深く味わい，その特性に応じた技能の理解を深めるとともに，基本動作や基本となる技を用いて，相手の動きの変化に応じた攻防を展開しようとしている。 (思・判・表) 武道についての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学) 武道の多様な経験を通して，きまりや伝統的な行動の仕方を守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をしようとしている。 【評価資料】実技テスト、活動の様子	単元「空手」 ・体の向き ・構え ・突き ・蹴り ・礼 （運動会開催年度のみ）	・姿勢を正し、構えることができる。 ・突きや蹴りの動きができる。 ・普及型Ⅰの動きを合わせて取り組む。
2		(知及技) ダンスの楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに、基本的な技能を身に付け，表現や踊りを通した交流をすることができる。 （高1段階Aア） (思判表力) ダンスについての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 （高1段階Aイ） (学･人) ダンスの多様な経験を通して，仲間の表現を認め助け合ったり，場や用具の安全を確保したり，自主的に運動することができる。 （高1段階Aウ）	(知・技) 特体連ダンスやその他のダンスを通して，ダンスの楽しさや喜びを味わい，曲に合わせてダンスを覚える等の基本的な技能を身に付け，表現や踊りを通した交流をしようとしている。 (思・判・表) ダンスについての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，リズムに合わせて体の動かし方を表現することや，仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学) ダンスの多様な経験を通して，きまりを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をしようとしている。 【評価資料】実技テスト、活動の様子	単元「ダンス」 ・正しい姿勢 ・リズム体操 ・歩く、走るの姿勢	・特体連ダンスを覚える。 ・リズムに合わせて体を動かす。 ・動きを覚える

学期	42	(知及技) 陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい，その特性に応じた技能の理解を深めるとともに，目的に応じた技能を身に付けることができる。 （高1段階Cア） (思判表力) 　陸上競技についての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 （高1段階Cイ） (学･人) 陸上競技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をすることができる。 （高1段階Cウ）	(知・技) 陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい，５０m走や１００m走、リレー等の短距離走の特性に応じた技能の理解を深めるとともに，目的に応じた技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 短距離走における記録の向上や挑戦することを通して，自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学) 陸上競技の多様な経験を通して，ルールやマナーなどを守り，用具の準備や片付けなど，自己の役割を理解し仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に活動しようとしている。 【評価資料】実技テスト、活動の様子	単元「陸上競技」 ・５０m走 ・１００走 ・リレー ・走り幅飛び ・走り高跳び ・持久走	・正しいフォームや姿勢を意識して走ることができる。 ・自分の課題を発見し、改善に取り組むことができる。
3学期	26	(知及技) 陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい，その特性に応じた技能の理解を深めるとともに，目的に応じた技能を身に付けることができる。 （高1段階Cア） (思判表力) 　陸上競技についての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 （高1段階Cイ） (学･人) 陸上競技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をすることができる。 （高1段階Cウ）	(知・技) 陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい，の長距離走の特性に応じた技能の理解を深めるとともに，自己の体力に適したペースで走る技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 持久走における記録の向上や挑戦することを通して，自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学) 陸上競技の多様な経験を通して，ルールやマナーなどを守り，用具の準備や片付けなど，自己の役割を理解し仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に活動しようとしている。 【評価資料】実技テスト、活動の様子	単元「持久走」 ・10分完走 ・インターバル走 ・走る姿勢 ・走りのリズム ・ペース配分	・走り方・自分のフォームの確認をする。 ・自己のペースで最後まで走り続ける。 ・自分のペースを知り、記録に挑戦することができる。
		(知及技) 　球技の楽しさや喜びを深く味わい，その特性に応じた技能の理解を深めるとともに，目的に応じた技能を身に付け，ゲームを行うことができる。 （高1段階Eア） (思判表力) 　球技についての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 （高1段階Eイ） (学･人) 　球技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をすることができる。 （高1段階Eウ）	(知・技) 球技の楽しさや喜びを深く味わい，ボールをキャッチすることやパスすること、キックすることなどの特性に応じた技能の理解を深めるとともに，目的に応じた技能を身に付け，ゲームを行おうとしている。 (思・判・表) 球技についての自他の課題を発見し，均等になるようにチームのメンバーを考えたり、勝敗を理解し、ゲームの内容に応じてよりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学) 球技の多様な経験を通して，ルールやマナーなどを守り，用具の準備や片付けなど，自己の役割を理解し仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に活動しようとしている。 【評価資料】実技テスト、活動の様子	単元「球技」 ゴール型球技 ・キックベースボール ・Tベースボール ・ベースボール５ ・バスケットボール	・Tベースボールのルールを覚える。 ・キックベースボールのルールを覚える。 ・ベースボール５のルールを覚える。 ・ボールをキャッチし、投げることができる。 ・ボールをタイミングに合わせてキックすることができる。 ※さまざまな球技を体験し自分の好きな球技を見つけることができる。
通年		(知及技) 心身の発育・発達，傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに，健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができる。 （高1段階Iア） (思判表力) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 （高1段階Iイ）	(知・技) 心身の発育・発達，傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに，感染症やがんについて、具体的な原因や予防について考え、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。 【評価資料】活動の様子。提出物	保健 ・現代の感染症とその予防について ・がんの原因と予防について ・性意識と性行動の選択について	・感染症に関する知識を獲得し、予防について学ぶ。 ・がんの原因と予防について実生活に照らし合わせて学び、課題を見つける。 ・性意識と行動について基本的な知識を学び、正しい行動を実生活に生かす。

令和　8年度　高等部　　2年（Ⅱ課程A）　保健体育科　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	24名		なし

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

(知及技)
各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を習得すると共に、心身の発育・発達、個人生活に必要な健康・安全に関する事柄などを理解する。（高１段階）
(思判表力)
各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを、他者に伝える力を養う。（高１段階）
(学･人)
各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をする態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に積極的に取り組む態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	37	(知及技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して，体を動かす楽しさや心地よさを味わい，その行い方や方法を理解するとともに，仲間と積極的に関わったり，動きを持続する能力などを高める運動をしたりすること （高1段階Aア） (思判表力) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。 （高1段階Aイ） (学･人) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して，きまりを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができる。 （高1段階Aウ）	(知・技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動について、体の向き、整列、準備体操や、曲に合わせたダンスなどを覚えたり、走り方や自分のフォームを確認し、スポーツテストの記録を残すことと、他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。 (思・判・表) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，リズムに合わせて体の動かし方を表現することや、記録の向上を目指し挑戦すること、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して，きまりを守り，仲間と協力したり，窓の開け閉めやマット、コーン等用具の準備を安全を確保しながら行い，自主的に運動をしようとしている。 【評価資料】実技テスト、活動の様子	単元「体つくり運動」 ・正しい姿勢 ・リズム体操 ・歩く、走るの姿勢	・号令や指示に従って行動する ・みぎ、ひだりなどの向きや動き方を覚える。 ・時間通りに整列する。 ・正しい姿勢を保持する。 ・特体連ダンスを覚える。 ・リズムに合わせて体を動かす。 ・動きを覚える ・走り方・自分のフォームの確認をする。 ・スポーツテストで各種目の記録を残す。 （50m走、100m走、立ち幅跳び、走り幅跳び、走り高跳び、ソフトボール投げ、シャトルラン）
		(知及技) 陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい，その特性に応じた技能の理解を深めるとともに，目的に応じた技能を身に付けることができる。 （高1段階Cア） (思判表力) 　陸上競技についての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 （高1段階Cイ） (学･人) 陸上競技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をすることができる。 （高1段階Cウ）	(知・技) 陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい，５０m走や１００m走、走り幅跳びなどの特性に応じた技能の理解を深めるとともに，目的に応じた技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 　陸上競技についての自他の課題を発見し，自身の記録の向上や挑戦することを通して、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学) 陸上競技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，用具の準備を安全を確保しながら行い，準備運動や整理運動の大切さを学び、見通しをもって自主的に運動しようとしている。 【評価資料】実技テスト、活動の様子	単元「陸上競技」 ・５０m走 ・１００走 ・走り幅飛び ・走り高跳び ・ソフトボール投げ ・持久走	・正しいフォームや姿勢を意識して走ることができる。 ・自分の課題を発見し、改善に取り組むことができる。 ・自分のペースを知り、記録に挑戦することができる。
		(知及技) 水泳の楽しさや喜びを味い，その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けることができる。 （高1段階Dア） (思判表力) 水泳についての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 （高1段階Dイ） (学･人) 水泳の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高１段階Dウ）	(知・技) 水泳の楽しさや喜びを味い，水慣れから始まり、もぐる、浮く、泳いで進むなどその特性に応じた技能を理解するとともにクロールや平泳ぎの泳法を身に付けようとしている。 (思・判・表) 水泳についての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間とお互いの動きを見て判断したことを，目的や状況に応じて伝えようとしている。 (主学) 水泳学習の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，道具の準備等仲間と協力して自己の役割を果たし，場や用具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をしようとしている。 【評価資料】実技テスト、活動の様子	単元「水泳」 ・水慣れ ・顔付け ・もぐる ・浮く ・泳いで進む ・息継ぎ ・クロール ・平泳ぎ	・水に慣れ、能力に応じた深さのプールに入水できる。 ・水中に顔付けから始まりもぐることができる。 ・水に浮くことができる。 ・泳いで進むことができる。 ・息継ぎができる。 ・クロールや平泳ぎなどの泳法を身につけることができる。
2学	42	(知及技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して，体を動かす楽しさや心地よさを味わい，その行い方や方法を理解するとともに，仲間と積極的に関わったり，動きを持続する能力などを高める運動をしたりすること （高1段階Aア） (思判表力) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。 （高1段階Aイ） (学･人) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して，きまりを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができる。 （高1段階Aウ）	(知・技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動について、体の向き、整列、準備体操や、曲に合わせたダンスなどを覚えたり、走り方や自分のフォームを確認し、スポーツテストの記録を残すことと、他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。 (思・判・表) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，リズムに合わせて体の動かし方を表現することや、記録の向上を目指し挑戦すること、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して，きまりを守り，仲間と協力したり，窓の開け閉めやマット、コーン等用具の準備を安全を確保しながら行い，自主的に運動をしようとしている。 【評価資料】実技テスト、活動の様子	単元「体つくり運動」 ・正しい姿勢 ・リズム体操 ・歩く、走るの姿勢	・号令や指示に従って行動する ・みぎ、ひだりなどの向きや動き方を覚える。 ・時間通りに整列する。 ・正しい姿勢を保持する。 ・特体連ダンスを覚える。 ・リズムに合わせて体を動かす。 ・動きを覚える ・走り方・自分のフォームの確認をする。
		（知及技） 　武道の楽しさや喜びを深く味わい，その特性に応じた技能の理解を深めるとともに，基本動作や基本となる技を用いて，相手の動きの変化に応じた攻防を展開することができる。 （高１段階Fア） (思判表力) 　武道についての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 （高１段階Fイ） (学･人) 武道の多様な経験を通して，きまりや伝統的な行動の仕方を守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をすることができる。 （高１段階Fウ）	(知・技) 　武道の楽しさや喜びを深く味わい，その特性に応じた技の名称や技能の理解を深めるとともに，基本動作や基本となる技を用いて，相手の動きの変化に応じた攻防を展開しようとしている。 (思・判・表) 　武道についての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間とお互いの動きを見て思考し判断したことを，反復練習や試合の時に状況に応じて他者に伝え場や用具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をしようとしている。 見通しをもって自主的に運動をしようとしている。 (主学) 武道の多様な経験を通して，きまりや伝統的な行動の仕方を守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や防具、用具の準備を安全を確保しながら行い，自主的に運動をしようとしている。 【評価資料】実技テスト、活動の様子	単元「空手」 ・体の向き ・構え ・突き ・蹴り ・礼	・姿勢を正し、構えることができる。 ・突きや蹴りの動きができる。 ・普及型Ⅰの動きを合わせて取り組む。 １０月前半に行う。

学期	42	(知及技) 　球技の楽しさや喜びを深く味わい，その特性に応じた技能の理解を深めるとともに，目的に応じた技能を身に付け，ゲームを行うことができる。 （高1段階Eア） (思判表力) 　球技についての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 （高1段階Eイ） (学･人) 　球技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をすることができる。 （高1段階Eウ）	(知・技) 　球技の楽しさや喜びを深く味わい，ボールをキャッチすることやパスすること、キックすることなどの特性に応じた技能の理解を深めるとともに，目的に応じた技能を身に付け，ゲームを行おうとしている。 (思・判・表) 　球技についての自他の課題を発見し，均等になるようにチームのメンバーを考えたり、勝敗を理解し、ゲームの内容に応じてよりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学) 　球技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，チームの一員として自己の役割を果たし仲間と協力し，見通しをもって自主的に運動をしようとしている。 【評価資料】実技テスト、活動の様子	単元「球技」 ・キックベースボール ・Tベースボール ・ベースボール５ ・バスケットボール ・サッカー ・ボッチャ ・バドミントン	・Tベースボールのルールを覚える。 ・キックベースボールのルールを覚える。 ・ベースボール５のルールを覚える。 ・ボールをキャッチし、投げることができる。 ・ボールをタイミングに合わせてキックすることができる。 ・バスケットやサッカーのルールを覚え、ゲームを楽しむことができる。 ・バドミントンのルールを覚え、ラケットで風船やシャトルを打つことができる。 ・さまざまな球技を体験し自分の好きな球技を見つけることができる。 メジャースポーツの有名選手について知る。 １０月後半に行う。
		(知及技) 陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい，その特性に応じた技能の理解を深めるとともに，目的に応じた技能を身に付けることができる。 （高1段階Cア） (思判表力) 　陸上競技についての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 （高1段階Cイ） (学･人) 陸上競技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をすることができる。 （高1段階Cウ）	(知・技) 陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい，５０m走や１００m走、走り幅跳びなどの特性に応じた技能の理解を深めるとともに，目的に応じた技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 　陸上競技についての自他の課題を発見し，自身の記録の向上や挑戦することを通して、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学) 陸上競技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，用具の準備を安全を確保しながら行い，準備運動や整理運動の大切さを学び、見通しをもって自主的に運動しようとしている。 【評価資料】実技テスト、活動の様子	単元「陸上競技」 ・５０m走 ・１００走 ・走り幅飛び ・走り高跳び ・ソフトボール投げ ・持久走	・正しいフォームや姿勢を意識して走ることができる。 ・自分の課題を発見し、改善に取り組むことができる。 ・自分のペースを知り、記録に挑戦することができる。 ９月と１１月に行う。
３学期	26	(知及技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して，体を動かす楽しさや心地よさを味わい，その行い方や方法を理解するとともに，仲間と積極的に関わったり，動きを持続する能力などを高める運動をしたりすること （高1段階Aア） (思判表力) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。 （高1段階Aイ） (学･人) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して，きまりを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができる。 （高1段階Aウ）	(知・技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動について、体の向き、整列、準備体操や、曲に合わせたダンスなどを覚えたり、走り方や自分のフォームを確認し、スポーツテストの記録を残すことと、他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。 (思・判・表) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，リズムに合わせて体の動かし方を表現することや、記録の向上を目指し挑戦すること、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して，きまりを守り，仲間と協力したり，窓の開け閉めやマット、コーン等用具の準備を安全を確保しながら行い，自主的に運動をしようとしている。 【評価資料】実技テスト、活動の様子	単元「体つくり運動」 ・正しい姿勢 ・リズム体操 ・歩く、走るの姿勢	・号令や指示に従って行動する ・みぎ、ひだりなどの向きや動き方を覚える。 ・時間通りに整列する。 ・正しい姿勢を保持する。 ・特体連ダンスを覚える。 ・リズムに合わせて体を動かす。 ・動きを覚える ・走り方・自分のフォームの確認をする。
		(知及技) 　球技の楽しさや喜びを深く味わい，その特性に応じた技能の理解を深めるとともに，目的に応じた技能を身に付け，ゲームを行うことができる。 （高1段階Eア） (思判表力) 　球技についての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 （高1段階Eイ） (学･人) 　球技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をすることができる。 （高1段階Eウ）	(知・技) 　球技の楽しさや喜びを深く味わい，ボールをキャッチすることやパスすること、キックすることなどの特性に応じた技能の理解を深めるとともに，目的に応じた技能を身に付け，ゲームを行おうとしている。 (思・判・表) 　球技についての自他の課題を発見し，均等になるようにチームのメンバーを考えたり、勝敗を理解し、ゲームの内容に応じてよりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学) 　球技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，チームの一員として自己の役割を果たし仲間と協力し，見通しをもって自主的に運動をしようとしている。 【評価資料】実技テスト、活動の様子	単元「球技」 ・キックベースボール ・Tベースボール ・ベースボール５ ・バスケットボール ・サッカー ・ボッチャ ・バドミントン	・Tベースボールのルールを覚える。 ・キックベースボールのルールを覚える。 ・ベースボール５のルールを覚える。 ・ボールをキャッチし、投げることができる。 ・ボールをタイミングに合わせてキックすることができる。 ・バスケットやサッカーのルールを覚え、ゲームを楽しむことができる。 ・バドミントンのルールを覚え、ラケットで風船やシャトルを打つことができる。 ・さまざまな球技を体験し自分の好きな球技を見つけることができる。
通年		(知及技) 心身の発育・発達，傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに，健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができる。 （高1段階Iア） (思判表力) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 （高1段階Iイ）	(知・技) 心身の発育・発達，傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに，感染症やがんについて、具体的な原因や予防について考え、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し，その解決のため意見発表したり,仲間の意見に耳を傾けたりし，考えたり、まとめたことを他者に伝えようとしている。 【評価資料】活動の様子。提出物	保健 ・現代の感染症とその予防について ・がんの原因と予防について ・性意識と性行動の選択について	・感染症に関する知識を獲得し、予防について学ぶ。 ・がんの原因と予防について実生活に照らし合わせて学び、課題を見つける。 ・性意識と行動について基本的な知識を学び、正しい行動を実生活に生かす。 ・世間で行われているプロスポーツや世界大会について知る。

令和8年度　高等部３年（Ⅱ課程A）　体育科　年間指導計画

単位数／配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	3年：24名		なし

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	（知及技）各種の運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人及び社会生活に必要な健康・安全に関する事柄など理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身につけるようにする。（高２段階） （思判表力）各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。（高２段階） （学･人）各種の運動における多様な経験を通して、ルールやマナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり場や用具の安全を確保したり、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に積極的に取り組む態度を養う。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	37	(知及技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して，体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい，その行い方や方法の理解を深めるとともに，仲間と自主的に関わったり，動きを持続する能力などを高める運動をしたりするとともに，それらを組み合わせることができる。（高2段階Aア） (思判表力) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高2段階Aイ） (学･人) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して，きまりを守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高2段階Aウ）	(知・技) 体ほぐしの運動や特体連ダンス、スポーツテストなどの体の動きを高める運動を通して，体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい，仲間と自主的に関わったり，それらを組み合わせようとしたりしている。 (思･判･表) 体ほぐしの運動や特体連ダンス、スポーツテストについての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学) 集団行動など多様な経験を通して，きまりを守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をしようとしている。	単元「体つくり運動」 ・姿勢 ・リズム体操 ・歩く、走る	・号令や指示に従って素早く行動することができる。 ・右、左などの向きや動き方を教師の指示や、周りに合わせて行うことができる。 ・時間通りに整列できる。 ・特体連ダンスを覚える。 ・リズムに合わせて体を動かすことができる。 ・次の動きを覚える。 ・ｽﾎﾟｰﾂﾃｽﾄで各種目の記録を残す。 （50m走、100m走、立ち幅跳び、走り幅跳び、走り高跳び、ソフトボール投げ、シャトルラン）
		(知及技) 水泳の楽しさや喜びを深く味わい，その特性に応じた技能の理解を深めるとともに，目的に応じた泳法を身に付けることができる。（高2段階Dア） (思判表力) 水泳についての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と 思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高2段階Dイ） (学･人) 水泳の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高2段階Dウ）	(知・技) 水泳の楽しさや喜びを深く味わい，水に慣れたり、もぐる、浮くなどの特性に応じた技能の理解を深めるとともに，泳法を身に付けようとしている。 (思･判･表) 水泳についての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学) 水泳の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をしようとしている。	単元「水泳」 ・水慣れ ・もぐる、浮く ・泳いで進む、息継ぎ ・クロール、平泳ぎ	・水に慣れ、能力に応じた深さのプールに入水できる。 ・顔付けや水中にもぐることができる。 ・浮くことができる。 ・泳いで進むことができる。 ・息継ぎができる。 ・クロール、平泳ぎの泳法を身につけることができる。 ・記録の確認をすることができる。
		(知及技) 武道の楽しさや喜びを深く味わい，その特性に応じた技能の理解を深めるとともに，基本動作や基本となる技を用いて，相手の動きの変化に応じた攻防を展開することができる。（高2段階Fア） (思判表力) 武道についての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したこと を，目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高2段階Fイ） (学･人) 武道の多様な経験を通して，きまりや伝統的な行動の仕方を守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高2段階Fウ）	(知・技) 空手の楽しさや喜びを深く味わい，構えや突き、蹴りなどの技能の理解を深めるとともに，基本動作や基本となる技を用いて，相手の動きの変化に応じた攻防を展開しようとしている。 (思･判･表) 空手についての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学) 空手の多様な経験を通して，きまりや伝統的な行動の仕方を守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をしようとしている。	単元「武道：空手」 ・体の向き ・構え ・突き ・蹴り ・礼 （運動会開催年度のみ）	・武道に慣れることができる。 ・姿勢を正し、構えることができる。 ・突きや蹴りの動きができる。 ・伝統的な行動（礼など）を行うことができる。 ・普及型Ⅰを曲に合わせて取り組むことができる。

2学期	42	(知及技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して，体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい，その行い方や方法の理解を深めるとともに，仲間と自主的に関わったり，動きを持続する能力などを高める運動をしたりするとともに，それらを組み合わせることができる。（高2段階Aア） (思判表力) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高2段階Aイ） (学･人) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して，きまりを守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高2段階Aウ）	(知・技) 体ほぐしの運動や特体連ダンスなどの体の動きを高める運動を通して，体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい，仲間と自主的に関わったり，それらを組み合わせようとしたりしている。 (思･判･表) 体ほぐしの運動や特体連ダンスについての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学) 集団行動など多様な経験を通して，きまりを守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をしようとしている。	単元「体つくり運動」 ・姿勢 ・リズム体操 ・歩く、走る	・号令や指示に従って素早く行動することができる。 ・右、左などの向きや動き方を教師の指示や、周りに合わせて行うことができる。 ・時間通りに整列できる。 ・特体連ダンスを覚える。 ・リズムに合わせて体を動かすことができる。 ・次の動きを覚える。
		(知及技) 陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい，その特性に応じた技能の理解を深めるとともに，目的に応じた技能を身に付けることができる。（高2段階Cア） (思判表力) 陸上競技についての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高2段階Cイ） (学･人) 陸上競技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高2段階Cウ）	(知・技) 陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい，スタートの仕方、正しいフォームなど技能の理解を深めるとともに，目的に応じた技能を身に付けようとしている。 (思･判･表) 陸上競技の自己記録を確認し、自他の課題を発見したり、記録に挑戦したり、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学) 陸上競技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をしようとしている。	単元「陸上競技」 ・５０m走 ・１００走 ・走り幅飛び ・走り高跳び ・ソフトボール投げ ・持久走	・スタートのやり方を覚えることができる。 ・自分のフォームの確認をし、意識して走ることができる。 ・ゴールまでの走り方 ・走る距離の確認をすることができる。 ・自分のペースを作ることができる。 ・自己記録を確認し、記録に挑戦することができる。
3学期	26	(知及技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して，体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい，その行い方や方法の理解を深めるとともに，仲間と自主的に関わったり，動きを持続する能力などを高める運動をしたりするとともに，それらを組み合わせることができる。（高2段階Aア） (思判表力) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高2段階Aイ） (学･人) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して，きまりを守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高2段階Aウ）	(知・技) 体ほぐしの運動や特体連ダンスなどの体の動きを高める運動を通して，体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい，仲間と自主的に関わったり，それらを組み合わせようとしたりしている。 (思･判･表) 体ほぐしの運動や特体連ダンスについての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学) 集団行動など多様な経験を通して，きまりを守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をしようとしている。	単元「体つくり運動」 ・姿勢 ・リズム体操 ・歩く、走る	・号令や指示に従って素早く行動することができる。 ・右、左などの向きや動き方を教師の指示や、周りに合わせて行うことができる。 ・時間通りに整列できる。 ・特体連ダンスを覚える。 ・リズムに合わせて体を動かすことができる。 ・次の動きを覚える。
		(知及技) 球技の楽しさや喜びを深く味わい，その特性に応じた技能の理解を深めるとともに，目的に応じた技能を身に付け，ゲームを行うことができる。（高2段階Eア） (思判表力) 球技についての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高2段階Eイ） (学･人) 球技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高2段階Eウ）	(知・技) 球技の楽しさや喜びを深く味わい，その特性に応じた技能の理解を深めるとともに，目的に応じた技能を身に付け，ゲームを行おうとしている。 (思･判･表) 球技についての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学) 球技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をしようとしている。	単元「球技：ネット型」 ・バトミントン ・卓球 ・ソフトバレー	・ネット型の特性に慣れる。 ・各競技のルールを覚える。 ・必要な道具を準備する。 ・道具の使い方に慣れる。 ・ボール等を打つことができる。 ・ボールをつなぐことができる。 ・相手のコートに打ち返すことができる。 ・きまりやルール、マナーを守り、ゲームを楽しむことができる。
通年		(知及技) 心身の発育・発達，傷害の防止及び疾病の予防等の理解を深めるとともに，健康で安全な個人生活及び社会生活を営むための目的に応じた技能を身に付けることができる。（高2段階Iア） (思判表力) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高2段階Iイ）	(知・技) 心身の発育・発達，傷害の防止及び疾病の予防等の理解を深めるとともに，健康で安全な個人生活及び社会生活を営むための目的に応じた技能を身に付けようとしている。 (思･判･表) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。	保健 「けがや疾病の予防」 ・生活習慣病やがんの予防について	・がんや疾病を予防するために、生活習慣を身につけることが有効であることを知り、実践することができる。

令和　8年度　高等部　　1年（Ⅱ課程B）　保健体育科　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	9名		なし

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

(知及技)
各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活に必要な健康・安全に関する事柄などを理解するとともに、技能を身につけるようにする。（高１段階）
(思判表力)
各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを、他者に伝える力を養う。（高１段階）
(学･人)
各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り仲、間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自己の最善を尽くして自主的に運動をする態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に積極的に取り組む態度を養う（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	36	(知及技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を学ぶとともに、仲間と積極的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりすることができる。 （高1段階Aア） (思判表力) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自分の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 （高1段階Aイ） (学･人) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。 （高1段階Aウ）	(知・技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を教師と一緒に体の向き、整列、準備体操や、曲に合わせたダンスなどを覚えたり、走り方や自分のフォームを確認し、スポーツテストの記録を残すことと、他の課題を発見し、自分なりの方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。 (思・判・表) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を教師と一緒に課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしようとしている。	単元「体つくり運動」 ・姿勢 ・リズム体操 ・歩く、走る 運動におけるさまざまな動きを体験する。	体つくり運動（体の向き、整列など） ・号令や指示に従って行動する。 ・みぎ、ひだりなどの向きや動き方を行う。 ・時間通りに整列できる。 ・正しい姿勢を保持できる。 ・特体連ダンスに参加できる ・リズムに合わせて体を動かす ・動きを覚える ・走り方・自分のフォームの確認 ・スポーツテストで各書目を測定する（50m走、100m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ、シャトルラン）
		(知及技) 水泳の楽しさや喜びを味い、その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けることができる。 （高1段階Aア） (思判表力) 水泳についての自分の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 （高1段階Aイ） (学･人) 水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高１段階Aウ）	(知・技) 水泳の楽しさや喜びを味い、慣れから始まり、もぐる、浮く、泳いで進むなどその特性に応じた技能を教師と一緒に学び泳法を身に付けようとしている。 (思・判・表) 水泳についての自分の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学) 水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしようとしている。	単元「水泳」 ・水慣れ ・顔付け ・もぐる ・浮く ・泳いで進む ・息継ぎ	水泳 ・水に慣れ、能力に応じた深さのプールに入水できる。 ・水中に顔付けから始まりもぐることができる。 ・水に浮くことができる。 ・泳いで進むことができる。 ・息継ぎができる。
		(知及技) 武道の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、基本動作や基本となる技を用いて、演舞することができる。 （高１段階Aア） (思判表力) 武道についての自分の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 （高１段階Aイ） (学･人) 武道の多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。 （高１段階Aウ）	(知・技) 武道の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の構え、突き、蹴り、礼など基本動作や基本となる技を教師と一緒に演舞しようとしている。 (思・判・表) 武道についての自分の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学) 武道の多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしようとしている。	単元「空手」 ・体の向き ・構え ・突き ・蹴り ・礼	空手(運動会開催年度のみ) ・姿勢を正し、構えることができる。 ・突きや蹴りの動きができる。 ・武道に触れ、普及型Ⅰの動きを合わせて取り組む。
2学期	45	(知及技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を学ぶとともに、仲間と積極的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりすることができる。 （高1段階Aア） (思判表力) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自分の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 （高1段階Aイ） (学･人) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。 （高1段階Aウ）	(知・技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を教師と一緒に体の向き、整列、準備体操や、曲に合わせたダンスなどを覚えたり、走り方や自分のフォームを確認し、安定して長く走ることと、他の課題を発見し、自分なりの方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。 (思・判・表) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を教師と一緒に課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしようとしている。	単元「体つくり運動」 ・正しい姿勢 ・リズム体操 ・歩く、走るの姿勢	体つくり運動（体の向き、整列など） ・号令や指示に従って行動する。 ・みぎ、ひだりなどの向きや動き方を行う。 ・時間通りに整列できる。 ・正しい姿勢を保持できる。 ・特体連ダンスをする。 ・リズムに合わせて体を動かす。 ・動きを覚える ・走り方・自分のフォームの確認する。 ・安定して長く走ることができる。
		(知及技) 陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けることができる。（高1段階Aア） (思判表力) 陸上競技についての自分の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高1段階Aイ） (学･人) 陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高1段階Aウ）	(知・技) 陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、５０m走や１００m走、立ち幅跳びなどの特性に応じた技能を教師と一緒に身に付けようとしている。 (思・判・表) 陸上競技についての自分の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学) 陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動しようとしている。	単元「陸上競技」 ・５０m走 ・１００走 ・走り幅飛び ・立ち幅跳び ・ソフトボール投げ ・持久走	陸上競技（短距離、長距離走） ・正しいフォームや姿勢を意識して走る。 ・自分の課題を発見し、改善に取り組む。 ・自分のペースを知り、記録に挑戦することができる。
3学期	24	(知及技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を学ぶとともに、仲間と積極的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりすることができる。 （高1段階Aア） (思判表力) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自分の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 （高1段階Aイ） (学･人) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。 （高1段階Aウ）	(知・技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を教師と一緒に体の向き、整列、準備体操や、曲に合わせたダンスなどを覚えたり、走り方や自分のフォームを確認し、安定して長く走ることと、他の課題を発見し、自分なりの方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。 (思・判・表) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を教師と一緒に課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしようとしている。	単元「体つくり運動」 ・正しい姿勢 ・リズム体操 ・歩く、走るの姿勢	体つくり運動（体の向き、整列など） ・号令や指示に従って行動する。 ・みぎ、ひだりなどの向きや動き方を行う。 ・時間通りに整列できる。 ・正しい姿勢を保持できる。 ・特体連ダンスをする。 ・リズムに合わせて体を動かす ・動きを覚える ・走り方・自分のフォームの確認する。 ・安定して長く走ることができる。
		(知及技) 球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。 （高1段階Aア） (思判表力) 球技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 （高1段階Aイ） (学･人) 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。 （高1段階Aウ）	(知・技) 球技の楽しさや喜びを深く味わい、教師と一緒にボールをキャッチすることやパスすること、キックすることなどの特性に応じた技能を身に付け、ゲームを行おうとしている。 (思・判・表) 球技についての自分の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学) 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしようとしている。	単元「球技」 ・キックベースボール ・Tベースボール ・ベースボール５ ・バスケットボール ・サッカー ・ボッチャ ・バドミントン ・バレーボール	球技：ゴール型（バスケットボール、サッカー） ・球技のルールを理解し、楽しみながら活動する。 ・ボールをキャッチし、投げることができる。 ・ボールをタイミングに合わせてシュートやキックすることができる。 ・さまざまな球技を体験し自分の好きな球技を見つけることができる。
通年		(知及技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができる。 （高1段階Aア） (思判表力) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 （高1段階Aイ）	(知・技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。	保健 ・現代の感染症とその予防について ・がんの原因と予防について	・感染症に関する知識や予防について学ぶ。 ・がんの原因と予防について学ぶ。

令和　8年度　　高等部　　2年（Ⅱ課程B）　保健体育科　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	6名		なし

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技) 各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活に必要な健康・安全に関する事柄などを理解するとともに、技能を身につけるようにする。（高１段階） (思判表力) 各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを、他者に伝える力を養う。（高１段階） (学･人) 各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り仲、間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自己の最善を尽くして自主的に運動をする態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に積極的に取り組む態度を養う（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	36	(知及技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を学ぶとともに、仲間と積極的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりすることができる。 （高1段階Aア） (思判表力) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自分の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 （高1段階Aイ） (学･人) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。 （高1段階Aウ）	(知・技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を教師と一緒に体の向き、整列、準備体操や、曲に合わせたダンスなどを覚えたり、走り方や自分のフォームを確認し、スポーツテストの記録を残すことと、他の課題を発見し、自分なりの方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。 (思・判・表) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を教師と一緒に課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしようとしている。	単元「体つくり運動」 ・姿勢 ・リズム体操 ・歩く、走る 運動におけるさまざまな動きを体験する。	体つくり運動（体の向き、整列など） ・号令や指示に従って行動する。 ・みぎ、ひだりなどの向きや動き方を行う。 ・時間通りに整列できる。 ・正しい姿勢を保持できる。 ・特体連ダンスに参加できる ・リズムに合わせて体を動かす ・動きを覚える ・走り方・自分のフォームの確認 ・スポーツテストで各書目を測定する（50m走、100m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ、シャトルラン）
		(知及技) 水泳の楽しさや喜びを味い、その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けることができる。 （高1段階Aア） (思判表力) 水泳についての自分の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 （高1段階Aイ） (学･人) 水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高１段階Aウ）	（知・技） 水泳の楽しさや喜びを味い、慣れから始まり、もぐる、浮く、泳いで進むなどその特性に応じた技能を教師と一緒に学び泳法を身に付けようとしている。 (思・判・表) 水泳についての自分の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学) 水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしようとしている。	単元「水泳」 ・水慣れ ・顔付け ・もぐる ・浮く ・泳いで進む ・息継ぎ	水泳 ・水に慣れ、能力に応じた深さのプールに入水できる。 ・水中に顔付けから始まりもぐることができる。 ・水に浮くことができる。 ・泳いで進むことができる。 ・息継ぎができる。
		(知及技) 武道の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、基本動作や基本となる技を用いて、演舞することができる。 （高１段階Aア） (思判表力) 武道についての自分の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 （高１段階Aイ） (学･人) 武道の多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。 （高１段階Aウ）	（知・技） 武道の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の構え、突き、蹴り、礼など基本動作や基本となる技を教師と一緒に演舞しようとしている。 (思・判・表) 武道についての自分の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学) 武道の多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしようとしている。	単元「空手」 ・体の向き ・構え ・突き ・蹴り ・礼	空手(運動会開催年度のみ) ・姿勢を正し、構えることができる。 ・突きや蹴りの動きができる。 ・武道に触れ、普及型Ⅰの動きを合わせて取り組む。
2学期	45	(知及技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を学ぶとともに、仲間と積極的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりすることができる。 （高1段階Aア） (思判表力) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自分の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 （高1段階Aイ） (学･人) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。 （高1段階Aウ）	(知・技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を教師と一緒に体の向き、整列、準備体操や、曲に合わせたダンスなどを覚えたり、走り方や自分のフォームを確認し、安定して長く走ることと、他の課題を発見し、自分なりの方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。 (思・判・表) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を教師と一緒に課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしようとしている。	単元「体つくり運動」 ・正しい姿勢 ・リズム体操 ・歩く、走るの姿勢	体つくり運動（体の向き、整列など） ・号令や指示に従って行動する。 ・みぎ、ひだりなどの向きや動き方を行う。 ・時間通りに整列できる。 ・正しい姿勢を保持できる。 ・特体連ダンスをする。 ・リズムに合わせて体を動かす。 ・動きを覚える ・走り方・自分のフォームの確認する。 ・安定して長く走ることができる。
		(知及技) 陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けることができる。（高1段階Aア） (思判表力) 陸上競技についての自分の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高1段階Aイ） (学･人) 陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高1段階Aウ）	(知・技) 陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、５０m走や１００m走、立ち幅跳びなどの特性に応じた技能を教師と一緒に身に付けようとしている。 (思・判・表) 陸上競技についての自分の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学) 陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動しようとしている。	単元「陸上競技」 ・５０m走 ・１００走 ・走り幅飛び ・立ち幅跳び ・ソフトボール投げ ・持久走	陸上競技（短距離、長距離走） ・正しいフォームや姿勢を意識して走る。 ・自分の課題を発見し、改善に取り組む。 ・自分のペースを知り、記録に挑戦することができる。
3学期	24	(知及技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を学ぶとともに、仲間と積極的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりすることができる。 （高1段階Aア） (思判表力) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自分の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 （高1段階Aイ） (学･人) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。 （高1段階Aウ）	(知・技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を教師と一緒に体の向き、整列、準備体操や、曲に合わせたダンスなどを覚えたり、走り方や自分のフォームを確認し、安定して長く走ることと、他の課題を発見し、自分なりの方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。 (思・判・表) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を教師と一緒に課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしようとしている。	単元「体つくり運動」 ・正しい姿勢 ・リズム体操 ・歩く、走るの姿勢	体つくり運動（体の向き、整列など） ・号令や指示に従って行動する。 ・みぎ、ひだりなどの向きや動き方を行う。 ・時間通りに整列できる。 ・正しい姿勢を保持できる。 ・特体連ダンスをする。 ・リズムに合わせて体を動かす ・動きを覚える ・走り方・自分のフォームの確認する。 ・安定して長く走ることができる。
		(知及技) 球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。 （高1段階Aア） (思判表力) 球技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 （高1段階Aイ） (学･人) 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。 （高1段階Aウ）	(知・技) 球技の楽しさや喜びを深く味わい、教師と一緒にボールをキャッチすることやパスすること、キックすることなどの特性に応じた技能を身に付け、ゲームを行おうとしている。 (思・判・表) 球技についての自分の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学) 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしようとしている。	単元「球技」 ・キックベースボール ・Tベースボール ・ベースボール５ ・バスケットボール ・サッカー ・ボッチャ ・バドミントン ・バレーボール	球技：ベースボール型（Tベースボール、キックベースボール） ・球技のルールを理解し、楽しみながら活動する。 ・ボールをキャッチし、投げることができる。 ・ボールをタイミングに合わせてキックすることができる。 ・さまざまな球技を体験し自分の好きな球技を見つけることができる。
通年		(知及技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができる。 （高1段階Aア） (思判表力) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 （高1段階Aイ）	(知・技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。	保健 ・現代の感染症とその予防について ・がんの原因と予防について	・感染症に関する知識や予防について学ぶ。 ・がんの原因と予防について学ぶ。

令和　8年度　高等部　　3年（Ⅱ課程B）　保健体育科　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	8名		なし

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 各種の運動の楽しさや喜びを深く味わい，その特性に応じた技能等や心身の発育・発達，個人生活及び社会生活に必要な健康・安全に関する事柄などの理解を深めるとともに，目的に応じた技能を身に付けるようにする。（高２段階） (思判表力) 各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。（高２段階） (学･人) 各種の運動における多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。また，健康・安全に留意し，健康の保持増進と回復に自主的に取り組む態度を養う。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	36	(知及技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して，体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい，その行い方や方法の理解を深めるとともに，仲間と自主的に関わったり，動きを持続する能力などを高める運動をしたりするとともに，それらを組み合わせることができる。 （高2段階Aア） (思判表力) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 （高2段階Aイ） (学･人) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して，きまりを守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をすることができる。 （高2段階Aウ）	(知・技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を教師と一緒に体の向き、整列、準備体操や、曲に合わせたダンスなどを覚えたり、走り方や自分のフォームを確認し、スポーツテストの記録を残すことと、他の課題を発見し、自分なりの方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。 (思・判・表) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を教師と一緒に課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしようとしている。	単元「体つくり運動」 ・姿勢 ・リズム体操 ・歩く、走る 運動におけるさまざまな動きを体験する。	体つくり運動（体の向き、整列など） ・号令や指示に従って行動する。 ・みぎ、ひだりなどの向きや動き方を行う。 ・時間通りに整列できる。 ・正しい姿勢を保持できる。 ・特体連ダンスに参加できる ・リズムに合わせて体を動かす ・動きを覚える ・走り方・自分のフォームの確認 ・スポーツテストで各種目を測定する （50m走、100m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ、シャトルラン）
		(知及技) 水泳の楽しさや喜びを深く味わい，その特性に応じた技能の理解を深めるとともに，目的に応じた泳法を身に付けることができる。 （高2段階Aア） (思判表力) 水泳についての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 （高2段階Aイ） (学･人) 水泳の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をすることができる。 （高2段階Aウ）	(知・技) 水泳の楽しさや喜びを味い、慣れから始まり、もぐる、浮く、泳いで進むなどその特性に応じた技能を教師と一緒に学び泳法を身に付けようとしている。 (思・判・表) 水泳についての自分の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学) 水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしようとしている。	単元「水泳」 ・水慣れ ・顔付け ・もぐる ・浮く ・泳いで進む ・息継ぎ	水泳 ・水に慣れ、能力に応じた深さのプールに入水できる。 ・水中に顔付けから始まりもぐることができる。 ・水に浮くことができる。 ・泳いで進むことができる。 ・息継ぎができる。
		(知及技) 武道の楽しさや喜びを深く味わい，その特性に応じた技能の理解を深めるとともに，基本動作や基本となる技を用いて，相手の動きの変化に応じた攻防を展開することができる。 （高2段階Aア） (思判表力) 武道についての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 （高2段階Aイ） (学･人) 武道の多様な経験を通して，きまりや伝統的な行動の仕方を守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をすることができる。 （高2段階Aウ）	(知・技) 武道の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の構え、突き、蹴り、礼など基本動作や基本となる技を教師と一緒に演舞しようとしている。 (思・判・表) 武道についての自分の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学) 武道の多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしようとしている。	単元「空手」 ・体の向き ・構え ・突き ・蹴り ・礼	空手(運動会開催年度のみ) ・姿勢を正し、構えることができる。 ・突きや蹴りの動きができる。 ・武道に触れ、普及型Ⅰの動きを合わせて取り組む。
2学期	45	(知及技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して，体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい，その行い方や方法の理解を深めるとともに，仲間と自主的に関わったり，動きを持続する能力などを高める運動をしたりするとともに，それらを組み合わせることができる。 （高2段階Aア） (思判表力) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 （高2段階Aイ） (学･人) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して，きまりを守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をすることができる。 （高2段階Aウ）	(知・技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を教師と一緒に体の向き、整列、準備体操や、曲に合わせたダンスなどを覚えたり、走り方や自分のフォームを確認し、安定して長く走ることと、他の課題を発見し、自分なりの方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。 (思・判・表) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を教師と一緒に課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしようとしている。	単元「体つくり運動」 ・正しい姿勢 ・リズム体操 ・歩く、走るの姿勢	体つくり運動（体の向き、整列など） ・号令や指示に従って行動する。 ・みぎ、ひだりなどの向きや動き方を行う。 ・時間通りに整列できる。 ・正しい姿勢を保持できる。 ・特体連ダンスをする。 ・リズムに合わせて体を動かす。 ・動きを覚える ・走り方・自分のフォームの確認する。 ・安定して長く走ることができる。
		(知及技) 陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい，その特性に応じた技能の理解を深めるとともに，目的に応じた技能を身に付けることできる。 （高2段階Aア） (思判表力) 陸上競技についての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 （高2段階Aイ） (学･人) 陸上競技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をすることができる。 （高2段階Aウ）	(知・技) 陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、５０m走や１００m走、立ち幅跳びなどの特性に応じた技能を教師と一緒に身に付けようとしている。 (思・判・表) 陸上競技についての自分の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学) 陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動しようとしている。	単元「陸上競技」 ・５０m走 ・１００走 ・走り幅飛び ・立ち幅跳び ・ソフトボール投げ ・持久走	陸上競技（短距離、長距離走） ・正しいフォームや姿勢を意識して走る。 ・自分の課題を発見し、改善に取り組む。 ・自分のペースを知り、記録に挑戦することができる。
3学期	24	(知及技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して，体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい，その行い方や方法の理解を深めるとともに，仲間と自主的に関わったり，動きを持続する能力などを高める運動をしたりするとともに，それらを組み合わせることができる。 （高2段階Aア） (思判表力) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 （高2段階Aイ） (学･人) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して，きまりを守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をすることができる。 （高2段階Aウ）	(知・技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を教師と一緒に体の向き、整列、準備体操や、曲に合わせたダンスなどを覚えたり、走り方や自分のフォームを確認し、安定して長く走ることと、他の課題を発見し、自分なりの方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。 (思・判・表) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を教師と一緒に課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしようとしている。	単元「体つくり運動」 ・正しい姿勢 ・リズム体操 ・歩く、走るの姿勢	体つくり運動（体の向き、整列など） ・号令や指示に従って行動する。 ・みぎ、ひだりなどの向きや動き方を行う。 ・時間通りに整列できる。 ・正しい姿勢を保持できる。 ・特体連ダンスをする。 ・リズムに合わせて体を動かす ・動きを覚える ・走り方・自分のフォームの確認する。 ・安定して長く走ることができる。
		(知及技) 球技の楽しさや喜びを深く味わい，その特性に応じた技能の理解を深めるとともに，目的に応じた技能を身に付け，ゲームを行うことができる。 （高2段階Aア） (思判表力) 球技についての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 （高2段階Aイ） (学･人) 球技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をすることができる。 （高2段階Aウ）	(知・技) 球技の楽しさや喜びを深く味わい、教師と一緒にボールをキャッチすることやパスすること、キックすることなどの特性に応じた技能を身に付け、ゲームを行おうとしている。 (思・判・表) 球技についての自分の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学) 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしようとしている。	単元「球技」 ・キックベースボール ・Tベースボール ・ベースボール５ ・バスケットボール ・サッカー ・ボッチャ ・バドミントン ・バレーボール	球技：ネット型（風船バレーボール） ・球技のルールを理解し、楽しみながら活動する。 ・ボールをタイミングに合わせて打つことができる。 ・ボールをつなぐことができる。 ・相手のコートに打ち返すことができる。 ・さまざまな球技を体験し自分の好きな球技を見つけることができる。
通年		(知及技) 心身の発育・発達，傷害の防止及び疾病の予防等の理解を深めるとともに，健康で安全な個人生活及び社会生活を営むための目的に応じた技能を身に付けることができる。 （高2段階Aア） (思判表力) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 （高2段階Aイ）	(知・技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。	保健 ・現代の感染症とその予防について ・がんの原因と予防について	・感染症に関する知識や予防について学ぶ。 ・がんの原因と予防について学ぶ。

令和8年度　高等部３年（Ⅱ課程Ａ）　職業科（木工班）　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
6/210	5名		ひとりだちするためのライフキャリア教育

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思・判・表)思考・判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技) 職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身につけるようにする。（高2段階） (思判表力)将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。（高2段階） (学・人)よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。（高2段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	72	(知及技)勤労の意義について理解を深めることができる。(高2段階Aア(ア)) (思判表力)目標を持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現できる。(高2段階Aア(イ)) (学・人)作業や実習などを通して貢献する喜びを体得し、計画性を持って主体的に取り組むことができる。(高2段階Aア(ウ))	(知・技)卒業後の「具体的な夢」と「収入」と「支出」を考え、勤労の意義を理解しようとしている。 (思・判・表)制作物の大量生産するための効率の高い「役割分担」を理解し、高い仕事意識を持って取り組もうとしている。 (主学)作業や実習などを通して貢献する喜びを体得し、計画性を持って主体的に取り組もうとしている。 【評価資料】活動内容の様子で評価	・オリエンテーション(4月) ・授業の目標や活動内容について ・職業の心得 ・環境問題とSDGs	・製作する木工作品・製作個数・製作工程を説明 ・年間と授業への見通しが持てる説明 ・「職業の8つの心得」の意味・社会人としての必要事項を説明 ・木材という自然素材の有効活用方法の説明と無駄の少ない「材料取り」の実習
		(知及技)情報セキュリティー及び情報モラルについて理解するとともに、表現、記録、計算、通信、等に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を理解し、目的に応じて適切に操作することができる。(高2段階Bア) (思判表力)情報セキュリティー及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことについて適切に表現できる。(高2段階Bイ) (学・人)作業や実習などを通して貢献する喜びを体得し、計画性を持って主体的に取り組むことができる。(高2段階Aア(ウ))	(知・技)iPadを活用した写真撮影、PCへのデータ転送、文字入力、フォント調整と自然な流れで取り組もうとしている。 (思・判・表)取り込んだ画像や各氏名は「個人情報」と理解し、大切に扱う姿勢が見られ、設計図は「共有データ」と理解し、分別した考え方を意識し、積極的な活用しようとしている。 (主学)ローマ字入力やブラインドタッチと、自らを積極的にアップデートしていこうとしている。 【評価資料】活動内容の様子、iPadによるTeams内の返信内容で評価	・身だしなみ・挨拶・言葉使い ・報告、連絡、相談 「折り畳み椅子」作成 ・正しい計測器具を使った、材料の寸法計測 ・iPadの写真機能を使った計測結果の記録まとめ ・Teamsの活用方法 ・杉の5分板とベニヤ板を使った無駄の少ない材料取り	・職業の心得に対する実践的な取組と習慣化 ・実物の複製に向けた寸法確認(測る長さによって、正しい計測器具の理解と実践) ・制作物の部品数や、部品の種類の確認 ・計測した記録の結果を、iPadで撮影し、Teamsを使って共有する。 ・iPadにて取組内容や反省の入力と発表
		(知及技)職業生活に必要とされる実践的な知識を深め技能を身につけることができる。(高2段階Aイ(ア)ァ) (思判表力)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、他者との協働により改善を図ることができる。(高2段階Aイ(イ)ウ) (学・人)作業や実習などを通して貢献する喜びを体得し、計画性を持って主体的に取り組むことができる。(高2段階Aア(ウ))	(知・技)サンダーやボール盤、パネルソー、角のみ盤など、機械の名前や用途を明確に理解し、安全に使用としている。 (思・判・表)任された仕事内容を明確に理解し、正確な達成個数を確認し、教師に正確に報告しようとしている。 (主学)任された仕事内容を理解し、毎時間課題の量を積極的に更新しようとしている。 【評価資料】活動内容の様子、iPadによるTeams内の返信内容で評価	「手工具や電動工具、木工機械などの安全な使用法について」 ・磨く工具と電動工具 ・穴を開ける木工機械 ・組み立てるための工具と電動機械	・手工具名や電動工具の名前や用途、メンテナンス、収納場所の確認 ・様々な工程の補助具の使用方法と効率化について ・安全な手工具や電動工具の使用方法と実践 ・協力して取り組むことの意義と協力体制作り
		(知及技)職業など卒業後の進路に必要となることについて理解を深めることができる。(高2段階Cア) (思判表力)産業現場等における実習で課題の解決について考えたことを表現できる。(高2段階Cイ) (学・人)作業や実習などを通して貢献する喜びを体得し、計画性を持って主体的に取り組むことができる。(高2段階Aア(ウ))	(知・技)地域販売会に向けて、「販売に必要な物、スキル」等を考え、積極的に実践しようとしている。 (思・判・表)地域販売実習を通し、個人の課題の解決について考えたことを表現しようとしている。 (主学)地域販売会での「完売」に向けて、お客様に対する姿勢など、主体的に取り組むうとしている。 【評価資料】活動内容の様子、iPadによるTeams内の返信内容で評価	「西崎1丁目集会所にて販売会」 ・販売会に向けた宣伝活動 ・作品の特徴やPRポイントのまとめ、発表、反省 ・物流における、価格と利益と仲介手数料金の関係 「手工具や電動工具、木工機械などの安全な使用法について」 ・パネルソー ・自動かんな盤	・第1回地域連携に向けた取組準備 ・実際の販売会 ・販売会の反省と今後に向けた改善方法の検討 ・物流における価格の内訳について ・木工機械の安全で正しい使用法と実践 ・役割分担と協力体制の確立
		(知及技)使用する道具や機械等の特性や扱い方の理解を深め、作業課題に応じて効果的に扱うことができる。(高2段階Aイ(ア)エ) (思判表力)作業や実習において、自ら適切な役割を見いだすとともに、自分の成長や課題について考え、表現することができる。(高2段階Aイ(イ)ア) (学・人)作業や実習などを通して貢献する喜びを体得し、計画性を持って主体的に取り組むことができる。(高2段階Aア(ウ))	(知・技)けがき線に沿って、丁寧にのこぎりや糸のこ盤で切断しようとしている。 (思・判・表)様々な仕事を体験することにより、自分の成長や得意なことや課題について考え、表現しようとしている。 (主学)学習した内容を理解し、学習内容を把握すると自ら進んで準備・活動・後片付けを行おうとする。 【評価資料】活動内容の様子、iPadによるTeams内の返信内容で評価	「調味料入れ」「テーブル」等の作成 ・のこぎり挽き ・糸のこ盤 ・電動工具ルーターの使用 ・研磨 ・油性塗装 ・刷毛のメンテナンスと油性塗料の処理方法(環境問題を考える)	・複雑な形をした部品を1つ1つ分けて、整理する。 ・けがき線に沿って、木材を切断する。押さえる、切る、支えるの役割分担を考えて活動する。 ・部品個数のチェックと報告 ・油性塗料の扱い方、水と油の関係 ・木目と刷毛を使った塗装の関連性
		(知及技)職業など卒業後の進路に必要となることについて理解を深めることができる。(高2段階Cア) (思判表力)産業現場等における実習で課題の解決について考えたことを表現できる。(高2段階Cイ) (学・人)作業や実習などを通して貢献する喜びを体得し、計画性を持って主体的に取り組むことができる。(高2段階Aア(ウ))	(知・技)個々で得意不得意を理解し、職業など卒業後の進路に必要となることについて考えよとしている。 (思・判・表)前回の反省点を考え、失敗を糧にチャレンジする意欲を前面に出し、お客様対応を行おうとする。 (主学)前回の反省を活かし、地域販売会での「完売」に向けて、主体的に取り組もうとしている。 【評価資料】活動内容の様子、iPadによるTeams内の返信内容で評価	「西川公民館にて販売会」 ・販売会に向けた宣伝活動 ・作品の特徴やPRポイントのまとめ、発表、反省 ・7月の反省を活かした、販売活動に向けて ・物流における、価格と利益と仲介手数料金の関係 「制作物の部品加工」 ・電動工具サンダーがけ	・第2回地域連携に向けた取組準備 ・実際の販売会 ・「前回の販売会の反省を活かせたか」の確認 ・物流における価格の内訳(復習)について ・木工機械の安全で正しい使用法と実践 ・役割分担と協力体制の確立と実践 ・材料仕分けと、報告・連絡・相談

2学期	84	(知及技)職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法について理解を深めることができる。(高2段階Aイ(ア)イ) (思判表力)生産や生育活動などに係る技術に込められた工夫について考えることができる。(高2段階Aイ(イ)イ) (学・人)作業や実習などを通して貢献する喜びを体得し、計画性を持って主体的に取り組むことができる。(高2段階Aア(ウ))	(知・技)「生産」⇒「販売」⇒「収入の消費」のサイクルを理解し、将来の自分の活躍の場をイメージしながら取り組もうとしている。 (思・判・表)任された仕事の技術面に注目する意欲的な姿勢が見られ、その思いを表現しようとしている。 (主学)任された仕事内容を理解し、丁寧かつ最後まで意欲的に取り組もうとしている。 【評価資料】活動内容の様子、iPadによるTeams内の返信内容で評価	「調味料入れ」「テーブル」の仕上げ ・スプレーガン塗装 ・電動工具のランダムサンダーを使った、コーティング仕上げ	・設計上複雑に入り組んだ形の構造計算について ・入り組んだ箇所の塗装の手法の1つとして、「スプレーガン塗装」の安全な行い方の実践 ・スプレーガン塗装が行える木工室環境作りと、ガンのメンテナンスについて ・ランダムサンダーをかける前と後の違いを学ぶ。
		(知及技)材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動などに関わる技術について深めることができる。(高2段階Aイ(ア)ウ) (思判表力)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、他者との協働により改善を図ることができる。(高2段階Aイ(イ)ウ) (学・人)作業や実習などを通して貢献する喜びを体得し、計画性を持って主体的に取り組むことができる。(高2段階Aア(ウ))	(知・技)木材の性質や材料の向き、繊維方向から得られる強度を考え、木材を活用しようとしている。 (思・判・表)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、班メンバーと共に相談しながら進めようとしている。 (主学)様々な仕事を体験し、自分に合った「やりたい仕事内容」を主体的に教師に明確に伝え、取り組もうとしている。 【評価資料】活動内容の様子、iPadによるTeams内の返信内容で評価	「時計」の作成 ・必要な工具・電動工具の選定 ・役割分担の話し合い ・任された活動への責任 ・目標製作個数の確認 ・実践活動 ・報告連絡相談	・今まで学んだ、寸法計測、材料取り、部品加工、組み立て、塗装の手順を考え、活用していく。 ・材料取りに必要な工具・電動工具の安全な活用 ・部品加工に必要な工具・電動工具の安全な活用 ・組立に必要な工具・電動工具の安全な活用 ・塗装に必要な道具の安全な活用 ・安全面に気を付け、仲間同士話し合い、役割分担を決め、活動に取り組む。
3学期	54	(知及技)作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業し、習熟することができる。(高2段階Aイ(ア)オ) (思判表力)職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方の工夫について考えることができる。(高2段階Aイ(イ)エ) (学・人)作業や実習などを通して貢献する喜びを体得し、計画性を持って主体的に取り組むことができる。(高2段階Aア(ウ))	(知・技)販売学習を意識し、学んだ知識と技術を作品一つ一つに込める意欲で取り組もうとしている。 (思・判・表)「高い技術を日々持続して発揮する」事を判断し、日頃から健康管理の意識を高めようとしている。 (主学)これまでの販売会での経験を活かし、「完売するためには？」を主体的に考え、取り組もうとしている。 【評価資料】活動内容の様子、iPadによるTeams内の返信内容で評価	「学習発表会に向けて」 ・ふぁーまーずマーケットいとまん、との調整 ・日頃の健康管理 ・制作物の最終仕上げ ・不具合の調整と完成度向上 ・材料数と工程数と値段の関係 ・販売の礼儀、会計学習、販売会実践 ・事後学習	・「販売会への取組」を目標とした、健康管理の実践 ・制作物の全てをチェックし、品質の向上に向けた思考、判断と教師への報告 ・不具合の調整と完成度の向上に向けた活動 ・材料の値段(元値)と工程数(技術料)を考えた、制作物の値段設定に向けて ・お客様に対する礼儀を考え、実践 ・お金の取扱方 ・余暇の過ごし方について立案、調整、給与の使い方 ・ポスター作成、感謝の作文の記入
		(知及技)勤労の意義について理解を深めることができる。(高2段階Aア(ア)) (思判表力)目標を持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現できる。(高2段階Aア(イ)) (学・人)作業や実習などを通して貢献する喜びを体得し、計画性を持って主体的に取り組むことができる。(高2段階Aア(ウ))	(知・技)働いて得た収入のありがたみを理解し、感謝の心で活動に取り組もうとしている。 (思・判・表)日々目標を持って取り組み、仲間を尊重し、日頃から協力体制の精神で取り組もうとしている。 (主学)職業の反省会では、今後の未来に向けて職業で学習した内容を「リンク」させた言葉で教師に伝えようとしている。 【評価資料】活動内容の様子、iPadによるTeams内の返信内容で評価	「西崎1丁目集会所にて販売会」 ・作品の個数と売り上げ ・学んだことを使い、皆で販売会作り 「年間のまとめ」 ・成果と課題 ・課題解決策を考える ・社会人として	・販売会に向けて、自らで考え、過去の経験を思い出しながら、準備する。 ・過去の経験を活かした販売会の実施 ・1年間の学習の振り返りを行いながら、自分の成長点や今後の課題点を確認し、卒業後の望ましい社会生活の実現に向けて、課題改善策を考え、記録と発表をする。 ・社会人になるための「職業の8つの心得」の再確認
留意点 引継ぎ等		「勤労の意義」を常に意識・確認をしながら、授業進行を行う。 生徒たちの実践力の向上に向け、年に3回、地域の集会所・公民館で販売会を行う。第1回は6か7月。第2回は10月下旬か11月。第3回は2月頃実施で調整。近隣の道の駅「ふぁーまーずマーケットいとまん」での販売会も適宜開催予定。			

令和８年度　高等部1年（Ⅱ課程A）　職業（窯業）　年間指導計画

単位数／配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
6/210	2名		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	（知及技）職業に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。（高1段階） （思判表力）将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を養う。（高1段階） （学・人）よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。（高1段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	72	(知及技）勤労の意義について理解することができる（高1段階Aア（ア）） (思判表力)意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現できる。（高1段階Aア（イ）） (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高1段階Aア（ウ））	(知・技）将来の収入と支出を考え、勤労の意義を理解しようとしている。 (思･判･表)任された役割を理解し、教師と相談して決めた目標に向かい、意欲的に取り組む姿勢が見られる。 (主学)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組む姿勢や言動がみられる。 【評価資料】活動内容の様子	・オリエンテーション ・授業の目標や活動内容・安全について ・職業の心得とその意味 ・機械や道具の安全と体験 ・身だしなみ	・年間販売計画の提示。 ・制作物作成納期と制作物の販売数と販売日、売上金との関係性を考える。 ・職業の心得の意義を考える。 ・機械や道具の安全な活用について。
		(知及技）職業生活における必要とされる実践的な知識及び技能を身につけることができる。（高1段階Aイ（ア）ア） （思判表力）作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現できる。（高1段階Aイ（イ）ア） (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高1段階Aア（ウ））	(知・技）タタラ機で粘土のタタラ板を作り、型に沿って切り抜き均一製品を作ろうとしている。 (思･判･表)任された仕事内容を理解し、達成個数を確認し、教師に報告する姿勢が見られる。 (主学)任された仕事内容を理解し、毎時間の課題量を更新しようとする姿勢が見られる。 【評価資料】活動内容の様子、制作物の仕上がり具合	・型を使った成形「小皿、大皿」 ・タタラ機の活用 ・陶土作りと水ひ作業 ・けずり、底だし作業 ・釉薬の種類と準備 ・材料、道具、完成品の効率の良い陳列の仕方 ・「報告連絡相談」について	・タタラ機で均一な厚さの板作り ・成形に必要な道具について ・粘土を切り取る、けずる道具の扱いについて ・陶土を再生して活用する。 ・無駄な動線を少なくし、製品の破損のない陳列方法について ・「任された仕事」への誇り、「達成したとき」の連絡、「次の仕事等」の相談への習慣化に向けて。
		(知及技）使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができる。（高1段階Aイ（ア）エ） （思判表力）作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。（高1段階Aイ（イ）ウ） (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高1段階Aア（ウ））	(知・技）「石膏型」「手回しろくろ」「切り取り型」を正確に活用しようとする姿勢が見られる。 (思･判･表)効率性と安全性と確実性を両立して仕事を進めようとする姿勢が見られる。 (主学)任された仕事内容を理解し、丁寧かつ確実性を上げる姿勢が見られる。 【評価資料】活動内容の様子、制作物の仕上がり具合	・石膏型を使った成形「小鉢、平皿」 ・手回しろくろの活用 ・サンドペーパーによるけずり ・見当、型、量りを使い均一で正確な大きさ、重さを切り取る ・道具を使った表面の意匠を行う ・釉薬の選択と施釉 ・「報告連絡相談」について	・様々な形、大きさの石膏型に粘土の板を置く、乗せて成形する。 ・型に合わせた意匠で製作する。 ・スタンプ型や各種道具による皿や鉢の装飾。 ・製品に合う釉薬を選択し施釉を行う。
2学期	90	(知及技）作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業することができる。（高1段階Aイ（ア）オ） （思判表力）意欲や見通しを持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現できる。（高1段階Aア（イ） (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高1段階Aア（ウ））	(知・技）任された仕事を理解し、使用する道具や意匠を工夫し、取り組む様子が見られる。 (思･判･表)各班で任された仕事に誇りを持ち、成果を報告している。 (主学)任された仕事内容を理解し、丁寧かつ確実性を上げる姿勢が見られる。 【評価資料】活動内容の様子、制作物の仕上がり具合	「花瓶」「ペーパーウエイト」「置物」「アクセサリー」の作成を通して ・撥水剤塗り ・施釉（釉薬がけ）作業 ・「窯詰め、窯出し」 ・手びねりでの製作 ・「大皿」「六角皿」 ・撥水剤塗り ・２種類の釉薬を使った釉薬がけ	・買う人の使用方法を考えた製品作りの理解について。 ・焼き物の焼成の理解について。 ・「素焼き」と「本焼き」の違いと必要性について。 ・釉薬の特性と焼成後の色の変化について。 ・２度がけによる釉薬の効果について
		(知及技）職業など卒業後の進路に必要となることについて理解できる。（高1段階Cア） （思判表力）産業現場等における実習での自己の成長について考えたことを表現できる。（高1段階Cイ） (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高1段階Aア（ウ））	(知・技）雑貨屋での納品、地域販売会に向けて、「販売に必要な物、スキル」等を考える様子が見られる。 (思･判･表)雑貨屋での納品、地域販売会に向けて、「販売に必要な物、スキル」等を考える発表でき、共有しようとする意識が見られる。 (主学)任された仕事内容を理解し、丁寧かつ確実性を上げる姿勢や言動が見られる。	・雑貨屋さんでの納品、地域の販売及び準備 ・目標個数に向けて製作物作成 ・「値段設定」と「材料代」と「技術料」との関係について	・「納品・販売」に必要な道具、「完売」するために必要な個人のスキルについて。 ・「目標個数製作」に向けて、作業のペース配分について考え、取り組み及び振り返り。 ・「値段設定」に向けて、消費者の購買意欲と「必要最低値段」の因果関係を考える。
		(知及技）材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解できる。（高1段階Aイ（ア）ウ） （思判表力）生産や生育活動等に関わる技術について考えることができる。（高1段階Cイ） (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高1段階Aア（ウ））	(知・技）磁器の特性や材料に対する強度を理解し、成形を行う姿勢が見られる。 (思･判･表)磁器の特性や材料に対する強度を理解し、見た目・味わいを考えた成形に取り組もうとする。 (主学)任された仕事内容を理解し、丁寧かつ確実性を上げる姿勢や言動が見られる。	「シーサーの置物」「ランプシェード」の製作を通して ・土練機の活用 ・「鋳型」を活用したで泥しょうでの製作	・「学習発表会販売会」に向けて、目標達成個数に向けての活動。 ・個々のスキルアップに向けて、役割を持って実習へ取り組む。 ・「任された仕事」を理解し、主体的な活動の中で実習へ取り組む。

3学期	48	(知及技）職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法を理解することができる。（高1段階Aイ（ア）イ） （思判表力）情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表できる。（高1段階Bイ） (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高1段階Aア（ウ））

令和８年度　高等部2年（Ⅱ課程A）　職業（窯業）　年間指導計画

単位数／配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
6/210	8名		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	（知及技）職業に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。（高1段階） （思判表力）将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を養う。（高1段階） （学・人）よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。（高1段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	72	(知及技）勤労の意義について理解することができる（高1段階Aア（ア）） (思判表力)意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現できる。（高1段階Aア（イ）） (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高1段階Aア（ウ）） （知及技）職業生活における必要とされる実践的な知識及び技能を身につけることができる。（高1段階Aイ（ア）ア） （思判表力）作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現できる。（高1段階Aイ（イ）ア） (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高1段階Aア（ウ）） (知及技）使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができる。（高1段階Aイ（ア）エ） （思判表力）作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。（高1段階Aイ（イ）ウ） (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高1段階Aア（ウ）） (知及技）作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業することができる。（高1段階Aイ（ア）オ） （思判表力）意欲や見通しを持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現できる。（高1段階Aア（イ） (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高1段階Aア（ウ）） (知及技）職業など卒業後の進路に必要となることについて理解できる。（高1段階Cア） （思判表力）産業現場等における実習での自己の成長について考えたことを表現できる。（高1段階Cイ） (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高1段階Aア（ウ）） (知及技）材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解できる。（高1段階Aイ（ア）ウ） （思判表力）生産や生育活動等に関わる技術について考えることができる。（高1段階Cイ） (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高1段階Aア（ウ））	(知・技）将来の収入と支出を考え、勤労の意義を理解しようとしている。 (思･判･表)任された役割を理解し、教師と相談して決めた目標に向かい、意欲的に取り組む姿勢が見られる。 (主学)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組む姿勢や言動がみられる。 【評価資料】活動内容の様子 (知・技）タタラ機で粘土のタタラ板を作り、型に沿って切り抜き均一製品を作ろうとしている。 (思･判･表)任された仕事内容を理解し、達成個数を確認し、教師に報告する姿勢が見られる。 (主学)任された仕事内容を理解し、毎時間の課題量を更新しようとする姿勢が見られる。 【評価資料】活動内容の様子、制作物の仕上がり具合 (知・技）「石膏型」「手回しろくろ」「切り取り型」を正確に活用しようとする姿勢が見られる。 (思･判･表)効率性と安全性と確実性を両立して仕事を進めようとする姿勢が見られる。 (主学)任された仕事内容を理解し、丁寧かつ確実性を上げる姿勢が見られる。 【評価資料】活動内容の様子、制作物の仕上がり具合	・オリエンテーション ・授業の目標や活動内容・安全について ・職業の心得とその意味 ・機械や道具の安全と体験 ・身だしなみ ・型を使った成形「小皿、大皿」 ・タタラ機の活用 ・陶土作りと水ひ作業 ・けずり、底だし作業 ・釉薬の種類と準備 ・材料、道具、完成品の効率の良い陳列の仕方 ・「報告連絡相談」について ・石膏型を使った成形「小鉢、平皿」 ・手回しろくろの活用 ・サンドペーパーによるけずり ・見当、型、量りを使い均一で正確な大きさ、重さを切り取る ・道具を使った表面の意匠を行う ・釉薬の選択と施釉 ・「報告連絡相談」について	・年間販売計画の提示。 ・制作物作成納期と制作物の販売数と販売日、売上金との関係性を考える。 ・職業の心得の意義を考える。 ・機械や道具の安全な活用について。 ・タタラ機で均一な厚さの板作り ・成形に必要な道具について ・粘土を切り取る、けずる道具の扱いについて ・陶土を再生して活用する。 ・無駄な動線を少なくし、製品の破損のない陳列方法について ・「任された仕事」への誇り、「達成したとき」の連絡、「次の仕事等」の相談への習慣化に向けて。 ・様々な形、大きさの石膏型に粘土の板を置く、乗せて成形する。 ・型に合わせた意匠で製作する。 ・スタンプ型や各種道具による皿や鉢の装飾。 ・製品に合う釉薬を選択し施釉を行う。
2学期	90	(知及技）作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業することができる。（高1段階Aイ（ア）オ） （思判表力）意欲や見通しを持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現できる。（高1段階Aア（イ） (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高1段階Aア（ウ）） (知及技）職業など卒業後の進路に必要となることについて理解できる。（高1段階Cア） （思判表力）産業現場等における実習での自己の成長について考えたことを表現できる。（高1段階Cイ） (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高1段階Aア（ウ）） (知及技）材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解できる。（高1段階Aイ（ア）ウ） （思判表力）生産や生育活動等に関わる技術について考えることができる。（高1段階Cイ） (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高1段階Aア（ウ））	(知・技）任された仕事を理解し、使用する道具や意匠を工夫し、取り組む様子が見られる。 (思･判･表)各班で任された仕事に誇りを持ち、成果を報告している。 (主学)任された仕事内容を理解し、丁寧かつ確実性を上げる姿勢が見られる。 【評価資料】活動内容の様子、制作物の仕上がり具合 (知・技）雑貨屋での納品、地域販売会に向けて、「販売に必要な物、スキル」等を考える様子が見られる。 (思･判･表)雑貨屋での納品、地域販売会に向けて、「販売に必要な物、スキル」等を考える発表でき、共有しようとする意識が見られる。 (主学)任された仕事内容を理解し、丁寧かつ確実性を上げる姿勢や言動が見られる。 (知・技）磁器の特性や材料に対する強度を理解し、成形を行う姿勢が見られる。 (思･判･表)磁器の特性や材料に対する強度を理解し、見た目・味わいを考えた成形に取り組もうとする。 (主学)任された仕事内容を理解し、丁寧かつ確実性を上げる姿勢や言動が見られる。	「花瓶」「ペーパーウエイト」「置物」「アクセサリー」の作成を通して ・撥水剤塗り ・施釉（釉薬がけ）作業 ・「窯詰め、窯出し」 ・手びねりでの製作 ・「大皿」「六角皿」 ・撥水剤塗り ・２種類の釉薬を使った釉薬がけ ・雑貨屋さんでの納品、地域の販売及び準備 ・目標個数に向けて製作物作成 ・「値段設定」と「材料代」と「技術料」との関係について 「シーサーの置物」「ランプシェード」の製作を通して ・土練機の活用 ・「鋳型」を活用したで泥しょうでの製作	・買う人の使用方法を考えた製品作りの理解について。 ・焼き物の焼成の理解について。 ・「素焼き」と「本焼き」の違いと必要性について。 ・釉薬の特性と焼成後の色の変化について。 ・２度がけによる釉薬の効果について ・「納品・販売」に必要な道具、「完売」するために必要な個人のスキルについて。 ・「目標個数製作」に向けて、作業のペース配分について考え、取り組み及び振り返り。 ・「値段設定」に向けて、消費者の購買意欲と「必要最低値段」の因果関係を考える。 ・「学習発表会販売会」に向けて、目標達成個数に向けての活動。 ・個々のスキルアップに向けて、役割を持って実習へ取り組む。 ・「任された仕事」を理解し、主体的な活動の中で実習へ取り組む。

3学期	48	(知及技）職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法を理解することができる。（高1段階Aイ（ア）イ） （思判表力）情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表できる。（高1段階Bイ） (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高1段階Aア（ウ））

令和８年度　高等部　１年（Ⅱ課程A）　職業科（家庭班）　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
6/210	7名		なし

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

(知及技)職業に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身につけるようにする。（高１段階）
(思判表力)将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を養う。（高１段階）
(学･人)よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	72	(知及技) 勤労の意義を理解することができる。（高１段階Ａア(ア)） (思判表力)意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。（高１段階Ａア(イ)） (学･人)作業や実習等に教師の支援を受けながら、取り組むことができる。（高１段階Ａア(ウ)）	(知・技) 働くことの意味を理解しようとしている。 (思･判･表)作業内容について見通しや意欲をもって取り組もうとしている。 毎時の目標に対して、自らの成果や仲間と協力しながら係活動の役割が担えたかどうか考え、ワークシートや情報機器を活用して振り返りをまとめたり、反省や感想を発表しようとしている。 (主学)家庭班での活動に意欲的に取り組み、達成感を得ようとしている。 遂行すべき作業内容について、自ら積極的に計画を立て、主体的に製作しようとしている。	オリエンテーション ・授業の目標と活動内容について	・自己紹介 ・職業での学習内容や将来働くために必要なことについて考え、個人目標を決める。 ・家庭分野の作業が仕事に繋がる事を知る。 ・縫工室や調理室の安全、衛生的な利用方法について知る。
		(知及技) 職業生活に必要とされる実践的な知識及び技能を身に付けることができる。(高１段階Ａイ(ア)㋐) （思判表力）作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現することができる。（高1段階Ａイ（イ）㋐） （学･人）作業や実習等に達成感を得て、見通しを持って主体的に取り組むことができる。（高１段階Ａア(ウ)）	(知･技) 就労に必要とされる職業の心構えについて理解しようとしている。 就労に必要な実践的な知識や技能を身に付けようとしている。 (思･判･表) 作業における役割を踏まえて、成長したことや課題について考え、振り返りや感想を発表しようとしている。 (主学)職業班の仲間と協力し、遂行すべき作業内容や清掃活動について、積極的に計画を立て、主体的に行動しようとしている。	社会人としての基礎的な態度やマナー ・職業の心得 ・身だしなみ ・接客７大用語 評価・反省 清掃活動 ＊年間を通して行う	・職業の心得を読み合わせし、意識して作業に取り組む。 ・身なりチェックを行い、服装を確認する。 ・授業開始時に作業内容と取り組む作業量の目標を設定する。 ・授業終了時に取り組んだ作業量の確認をし、目標達成した理由またはできなかった理由を考える。 ・情報機器の扱い方を学び、反省の発表を情報機器を用いて行う。 ・実習室の清掃活動に、班の仲間と協力して取り組む。
		(知及技)使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができる。(高１段階Ａイ(ア)㋑) (思判表力)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。(高１段階Ａイ(イ)㋒) (学･人)作業や実習等に達成感を得て、自ら役割を意識し、継続的に計画性を持って取り組むことができる。(高１段階Ａア(ウ))	(知・技)作業で使用する縫製道具や調理器具、ミシン等の名称や特性、使用方法を理解し、作業行程に応じて正しく扱おうとしている。 (思･判･表)作業をする上で、安全や衛生面に注意し、効率良く活動ができるように考え、改善点があれば、良い方向へ導こうとしている。 (主学)作業に必要な材料や道具等を、見通しを持って自ら準備し、達成感が得られるよう、計画を立て、主体的に取り組もうとしている。	縫製道具や調理器具の特性と扱い方 ・道具の種類 ・名称 ・使用方法	・縫製道具や調理器具の種類や名称について知る。 ・縫製道具や調理器具の正しく安全で衛生的な使用方法について知る。
		(知及技)材料や）材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解することができる。(高１段階Ａイ(ア)㋒) (思判表力)生産や生育活動等に関わる技術について考えることができる。(高１段階Ａイ(イ)㋑) (学･人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高１段階Ａア(ウ))	(知・技)被服製作材料や裁縫道具の特徴や扱い方について理解しようとしている。 (思･判･表)被服製作材料や裁縫道具などの安全、衛生的な取り扱い方や使用方法を身に付け、創意工夫したり、次の工程を考えながら作業に取り組もうとしている。 (主学)被服材料を用いたかんたんな物の製作計画を考え（対象者の性別、年齢、使用場面等）、工夫しようとしている。	布小物制作 ・製作計画 ・布の選択 ・裁断 ・手縫い ・ミシン縫い ・仕上げ ・ラッピング ・販売用装飾 ・販売（接客） ・在庫、売り上げ管理	・使用する道具や材料の扱い方を把握し、安全面や衛生面に気をつけながら販売品製作に取り組む。 ・材料の準備、製作、片付けまでの一連の作業をに見通しを持って取り組む。 ・トイレや水分補給、好きなことをしてリフレッシュするなどして休憩時間を過ごす。
2学期	84	(知及技)材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解することができる。(高１段階Ａイ(ア)㋒) (思判表力)生産や生育活動等に関わる技術について考えることができる。(高１段階Ａイ(イ)㋑) (学･人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高１段階Ａア(ウ))	(知・技)取り扱う食材や調味料、調理器具などの特徴や扱い方について理解しようとしている。 (思･判･表)食材や調理器具などの安全、衛生的な取り扱い方や使用方法を身に付け、創意工夫したり、次の工程を考えながら作業に取り組もうとしている。 (主学)販売する対象となる人の性別、年齢、食する場面等を考えてメニューを考えたり、意欲的に食品加工に取り組もうとしている。	食品加工 ・調理計画 ・レシピの検索 ・衛生、身支度の整え ・体調管理 ・道具の安全な使用 ・食品の取り扱い ・計量 ・菓子製作 ・片付け ・ラッピング ・販売用装飾 ・販売（接客） ・在庫、売り上げ管理	・使用する道具や材料の扱い方を把握し、安全面や衛生面に気をつけながら販売品製作に取り組む。 ・材料の準備、製作、片付けまでの一連の作業をに見通しを持って取り組む。 ・トイレや水分補給、好きなことをしてリフレッシュするなどして休憩時間を過ごす。
		(知及技)情報セキュリティ及び情報モラルについて知るとともに、表現、記録、計算、通信等に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を知り、操作の仕方が分かり、扱うことができる。(高１段階Ｂア) (思判表力)情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表することができる。(高１段階Ｂイ) (学･人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高１段階Ａア(ウ))	(知・技)情報セキュリティを大切にしながら、iPadに興味・関心をもち、基本的なiPadの使い方を理解しようとしている。 (思･判･表)情報セキュリティを大切にしながら、iPadを用い、記録、検索、文書作成し、達成量のまとめや振り返りの発表をしようとしている。 (主学)販売会に向けて、商品ラベルやポスターを自らデザインし、計画を立て、主体的に作成しようとしている。	商品ラベルやポスター作成 ・ポスターPOP作成 ・販売用ラベルデザインの作成 ・販売用ポスター作成	・情報セキュリティ及び情報モラルについて知る。 ・情報機器の特性や機能を知り、操作する。 ・ICT機器を活用し、商品ごとに分かりやすさや見やすさを考慮しながらPOPや販売促進チラシを作成･発表し活用する。

3学期	54	(知及技)職業生活に必要とされる実践的な知識及び技能を身に付けることができる。（高１段階Aイ(ア)㋐) (思判表力)意欲や見通しを持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。（高１段階Ａア（イ）） (学･人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高１段階Aア(ウ)）	(知・技）就労に必要とされる心構えについて理解しようとしている。 就労に必要な実践的な接客方法や金銭管理について身に付けようとしている。 (思･判･表)学習発表会に向けて、見通しや意欲を持って、製作に取り組もうとしている。 自ら成果や仲間と協力しながら準備、実践を行い、自分の役割が担えたかどうか考え、iPad用いて振り返り、反省や感想を発表しようとしている。 (主学)報酬により達成感を得て、休日や余暇の過ごし方や買い物をしようと、計画性を立て、主体的に取り組もうとしている。	学習発表会（販売学習）関連 ・事前学習 ・実践 ・事後学習 ・校外学習	・学習発表会に向けた準備、実践、振り返り、報告会等を行う。 ・効果的な陳列や表示、接客方法や金銭のやりとりについて考えて実践する。 ・学習発表会を通して報酬について知ることができる。 ・実際に多くの人が働く場所を見学する。 ・休日や余暇の過ごし方や買い物の方法について学習する。 ・学習発表会の振り返りを次年度の職業選択や進路意識につなげる。
		(知及技)材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解することができる。(高１段階Ａイ(ア)㋑) (思判表力)生産や生育活動等に関わる技術について考えることができる。(高１段階Ａイ(イ)㋑) (学･人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高１段階Ａア(ウ))	(知・技)材料となる布地や毛糸の特徴や扱い方について理解しようとしている。 (思･判･表)しつけやミシンの使用方法を身に付け、自己製作品に使用する糸の配色やデザインについて考えようとしている。 (主学)職業班の仲間と協力し、遂行すべき作業内容や清掃活動について、積極的に計画を立て、主体的に行動しようとしている。	自己作品の製作 ・希望する布小物作品の製作	・これまで習得した技術を生かし、自己作品の制作に主体的に取り組み、完成させる。 ・材料の準備、製作、片付けまでの一連の作業をに見通しを持って取り組む。 ・トイレや水分補給、好きなことをしてリフレッシュするなどして休憩時間を過ごす。
		(知及技）勤労の意義を理解することができる。（高１段階Ａア(ア)） (思判表力)意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。（高１段階Ａア(イ)） (学･人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高１段階Ａア(ウ)）	(知・技）1年間の活動を通して、働くことの意味を理解しようとしている。 (思･判･表)次年度の職業について考え、見通しや意欲をもって取り組もうとしている。 自らの成果や仲間と協力しながら係活動の役割が担えたかどうか考え、iPadを用いて振り返り、反省や感想を発表しようとしている。 (主学)1年間の活動で得た達成感を大切にし、自ら積極的に将来の進路先についてに考えようとしている。	年間のまとめ ・評価と課題	・1年間の振り返りを行い、反省することで自分の良い点と課題に気付く。 ・情報機器の扱い方を学び、反省の発表を情報機器を用いて行う。
留意点 引継ぎ等		【その他の取り組み】 ①技能検定,アビリンピックへの取り組み ②喫茶サービス ③地域社会への参画（地域の集会所にて販売会、交流）※年３回予定 ・生徒の実態に応じて、作業量・工程数・補助具・視覚支援を調整する ・体調・感覚過敏等に配慮し、休憩を柔軟に設定する			

令和８年度　高等部　２年（Ⅱ課程A）　職業科（家庭班）　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
6/210	５名		なし

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技)職業に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身につけるようにする。（高１段階） (思判表力)将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を養う。（高１段階） (学･人)よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	72	(知及技）勤労の意義を理解することができる。（高１段階Ａア(ア)） (思判表力)意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。（高１段階Ａア(イ)） (学･人)作業や実習等に教師の支援を受けながら、取り組むことができる。（高１段階Ａア(ウ)）	(知・技）働くことの意味を理解しようとしている。 (思･判･表)作業内容について見通しや意欲をもって取り組もうとしている。 毎時の目標に対して、自らの成果や仲間と協力しながら係活動の役割が担えたかどうか考え、ワークシートや情報機器を活用して振り返りをまとめたり、反省や感想を発表しようとしている。 (主学)家庭班での活動に意欲的に取り組み、達成感を得ようとしている。 遂行すべき作業内容について、自ら積極的に計画を立て、主体的に製作しようとしている。	オリエンテーション ・授業の目標と活動内容について	・自己紹介 ・職業での学習内容や将来働くために必要なことについて考え、個人目標を決める。 ・家庭分野の作業が仕事に繋がる事を知る。 ・縫工室や調理室の安全、衛生的な利用方法について知る。
		(知及技）職業生活に必要とされる実践的な知識及び技能を身に付けることができる。(高１段階Ａイ(ア)㋐) （思判表力）作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現することができる。（高1段階Ａイ（イ）㋐） （学･人）作業や実習等に達成感を得て、見通しを持って主体的に取り組むことができる。（高１段階Ａア(ウ)）	(知･技）就労に必要とされる職業の心構えについて理解しようとしている。 就労に必要な実践的な知識や技能を身に付けようとしている。 (思･判･表）作業における役割を踏まえて、成長したことや課題点について考え、振り返りや感想を発表しようとしている。 (主学)職業班の仲間と協力し、遂行すべき作業内容や清掃活動について、積極的に計画を立て、主体的に行動しようとしている。	社会人としての基礎的な態度やマナー ・職業の心得 ・身だしなみ ・接客７大用語 評価・反省 清掃活動 ＊年間を通して行う	・職業の心得を読み合わせし、意識して作業に取り組む。 ・身なりチェックを行い、服装を確認する。 ・授業開始時に作業内容と取り組む作業量の目標を設定する。 ・授業終了時に取り組んだ作業量の確認をし、目標達成した理由またはできなかった理由を考える。 ・情報機器の扱い方を学び、反省の発表を情報機器を用いて行う。 ・実習室の清掃活動に、班の仲間と協力して取り組む。
		(知及技)使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができる。(高１段階Ａイ(ア)㋑) (思判表力)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。(高１段階Ａイ(イ)㋐) (学･人)作業や実習等に達成感を得て、自ら役割を意識し、継続的に計画性を持って取り組むことができる。(高１段階Ａア(ウ))	(知・技)作業で使用する縫製道具や調理器具、ミシン等の名称や特性、使用方法を理解し、作業行程に応じて正しく扱おうとしている。 (思･判･表)作業をする上で、安全や衛生面に注意し、効率良く活動ができるように考え、改善点があれば、良い方向へ導こうとしている。 (主学)作業に必要な材料や道具等を、見通しを持って自ら準備し、達成感が得られるよう、計画を立て、主体的に取り組もうとしている。	縫製道具や調理器具の特性と扱い方 ・道具の種類 ・名称 ・使用方法	・縫製道具や調理器具の種類や名称について知る。 ・縫製道具や調理器具の正しく安全で衛生的な使用方法について知る。
		(知及技)材料や）材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解することができる。(高１段階Ａイ(ア)㋒) (思判表力)生産や生育活動等に関わる技術について考えることができる。(高１段階Ａイ(イ)㋑) (学･人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高１段階Ａア(ウ))	(知・技)被服製作材料や裁縫道具の特徴や扱い方について理解しようとしている。 (思･判･表)被服製作材料や裁縫道具などの安全、衛生的な取り扱い方や使用方法を身に付け、創意工夫したり、次の工程を考えながら作業に取り組もうとしている。 (主学)被服材料を用いたかんたんな物の製作計画を考え（対象者の性別、年齢、使用場面等）、工夫しようとしている。	布小物制作 ・製作計画 ・布の選択 ・裁断 ・手縫い ・ミシン縫い ・仕上げ ・ラッピング ・販売用装飾 ・販売（接客） ・在庫、売り上げ管理	・使用する道具や材料の扱い方を把握し、安全面や衛生面に気をつけながら販売品製作に取り組む。 ・材料の準備、製作、片付けまでの一連の作業をに見通しを持って取り組む。 ・トイレや水分補給、好きなことをしてリフレッシュするなどして休憩時間を過ごす。
2学期	84	(知及技)材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解することができる。(高１段階Ａイ(ア)㋒) (思判表力)生産や生育活動等に関わる技術について考えることができる。(高１段階Ａイ(イ)㋑) (学･人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高１段階Ａア(ウ))	(知・技)取り扱う食材や調味料、調理器具などの特徴や扱い方について理解しようとしている。 (思･判･表)食材や調理器具などの安全、衛生的な取り扱い方や使用方法を身に付け、創意工夫したり、次の工程を考えながら作業に取り組もうとしている。 (主学)販売する対象となる人の性別、年齢、食する場面等を考えてメニューを考えたり、意欲的に食品加工に取り組もうとしている。	食品加工 ・調理計画 ・レシピの検索 ・衛生、身支度の整え ・体調管理 ・道具の安全な使用 ・食品の取り扱い ・計量 ・菓子製作 ・片付け ・ラッピング ・販売用装飾 ・販売（接客） ・在庫、売り上げ管理	・使用する道具や材料の扱い方を把握し、安全面や衛生面に気をつけながら販売品製作に取り組む。 ・材料の準備、製作、片付けまでの一連の作業をに見通しを持って取り組む。 ・トイレや水分補給、好きなことをしてリフレッシュするなどして休憩時間を過ごす。
		(知及技)情報セキュリティ及び情報モラルについて知るとともに、表現、記録、計算、通信等に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を知り、操作の仕方が分かり、扱うことができる。(高１段階Ｂア) (思判表力)情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表することができる。(高１段階Ｂイ) (学･人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高１段階Ａア(ウ))	(知・技)情報セキュリティを大切にしながら、iPadに興味・関心をもち、基本的なiPadの使い方を理解しようとしている。 (思･判･表)情報セキュリティを大切にしながら、iPadを用い、記録、検索、文書作成し、達成量のまとめや振り返りの発表をしようとしている。 (主学)販売会に向けて、商品ラベルやポスターを自らデザインし、計画を立て、主体的に作成しようとしている。	商品ラベルやポスター作成 ・ポスターPOP作成 ・販売用ラベルデザインの作成 ・販売用ポスター作成	・情報セキュリティ及び情報モラルについて知る。 ・情報機器の特性や機能を知り、操作する。 ・ICT機器を活用し、商品ごとに分かりやすさや見やすさを考慮しながらPOPや販売促進チラシを作成･発表し活用する。

3学期	54	(知及技)職業生活に必要とされる実践的な知識及び技能を身に付けることができる。（高１段階Aイ(ア)㋐) (思判表力)意欲や見通しを持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。（高１段階Ａア（イ）） (学･人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高１段階Aア(ウ)）	(知・技）就労に必要とされる心構えについて理解しようとしている。 就労に必要な実践的な接客方法や金銭管理について身に付けようとしている。 (思･判･表)学習発表会に向けて、見通しや意欲を持って、製作に取り組もうとしている。 自ら成果や仲間と協力しながら準備、実践を行い、自分の役割が担えたかどうか考え、iPad用いて振り返り、反省や感想を発表しようとしている。 (主学)報酬により達成感を得て、休日や余暇の過ごし方や買い物をしようと、計画性を立て、主体的に取り組もうとしている。	学習発表会（販売学習）関連 ・事前学習 ・実践 ・事後学習 ・校外学習	・学習発表会に向けた準備、実践、振り返り、報告会等を行う。 ・効果的な陳列や表示、接客方法や金銭のやりとりについて考えて実践する。 ・学習発表会を通して報酬について知ることができる。 ・実際に多くの人が働く場所を見学する。 ・休日や余暇の過ごし方や買い物の方法について学習する。 ・学習発表会の振り返りを次年度の職業選択や進路意識につなげる。
		(知及技)材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解することができる。(高１段階Ａイ(ア)㋑) (思判表力)生産や生育活動等に関わる技術について考えることができる。(高１段階Ａイ(イ)㋑) (学･人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高１段階Ａア(ウ))	(知・技)材料となる布地や毛糸の特徴や扱い方について理解しようとしている。 (思･判･表)しつけやミシンの使用方法を身に付け、自己製作品に使用する糸の配色やデザインについて考えようとしている。 (主学)職業班の仲間と協力し、遂行すべき作業内容や清掃活動について、積極的に計画を立て、主体的に行動しようとしている。	自己作品の製作 ・希望する布小物作品の製作	・これまで習得した技術を生かし、自己作品の制作に主体的に取り組み、完成させる。 ・材料の準備、製作、片付けまでの一連の作業をに見通しを持って取り組む。 ・トイレや水分補給、好きなことをしてリフレッシュするなどして休憩時間を過ごす。
		(知及技）勤労の意義を理解することができる。（高１段階Ａア(ア)） (思判表力)意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。（高１段階Ａア(イ)） (学･人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高１段階Ａア(ウ)）	(知・技）1年間の活動を通して、働くことの意味を理解しようとしている。 (思･判･表)次年度の職業について考え、見通しや意欲をもって取り組もうとしている。 自らの成果や仲間と協力しながら係活動の役割が担えたかどうか考え、iPadを用いて振り返り、反省や感想を発表しようとしている。 (主学)1年間の活動で得た達成感を大切にし、自ら積極的に将来の進路先についてに考えようとしている。	年間のまとめ ・評価と課題	・1年間の振り返りを行い、反省することで自分の良い点と課題に気付く。 ・情報機器の扱い方を学び、反省の発表を情報機器を用いて行う。
留意点 引継ぎ等		【その他の取り組み】 ①技能検定,アビリンピックへの取り組み ②喫茶サービス ③地域社会への参画（地域の集会所にて販売会、交流）※年３回予定 ・生徒の実態に応じて、作業量・工程数・補助具・視覚支援を調整する ・体調・感覚過敏等に配慮し、休憩を柔軟に設定する			

令和８年度　高等部　３年（Ⅱ課程A）　職業科（家庭班）　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
6/210	7名		なし

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技)職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身につけるようにする。（高２段階） (思判表力)将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。（高２段階） (学･人)よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	72	(知及技) 勤労の意義を理解を深めることができる。（高２段階Ａア(ア)） (思判表力)目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。（高２段階Ａア(イ)） (学･人)作業や実習等を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的取り組むことができる。（高２段階Ａア(ウ)）	(知・技) 働くことの理解を深めようとしている。 (思･判･表)作業内容について目標をもって取り組もうとしている。 毎時の目標に対して、自らの成果や仲間と協力しながら係活動の役割が担えたかどうか考え、ワークシートや情報機器を活用して振り返りをまとめたり、反省や感想を発表しようとしている。 (主学)家庭班での活動に意欲的に取り組み、貢献する喜びを体得しようとしている。 遂行すべき作業内容について、自ら積極的に計画を立て、主体的に製作しようとしている。	オリエンテーション ・授業の目標と活動内容について	・自己紹介 ・職業での学習内容や将来働くために必要なことについて考え、個人目標を決める。 ・家庭分野の作業が仕事に繋がる事を知る。 ・縫工室や調理室の安全、衛生的な利用方法について知る。
		(知及技) 職業生活に必要とされる実践的な知識を深め技能を身に付けることができる。(高２段階Ａイ(ア)㋐) （思判表力）作業や実習において、自ら適切な役割を見いだすとともに、自分の成果や課題について考え、表現することができる。（高２段階Ａイ（イ）㋐） （学･人）作業や実習等を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高２段階Ａア(ウ)）	(知･技) 就労に必要とされる職業の心構えについて理解を深めようとしている。 就労に必要な実践的な知識や技能を身に付けようとしている。 (思･判･表) 作業における適切な役割を見いだすとともに、成長したことや課題点について考え、振り返りや感想を発表しようとしている。 (主学)職業班の仲間と協力し、遂行すべき作業内容や清掃活動について、貢献する喜びを体得し、積極的に計画を立て、主体的に行動しようとしている。	社会人としての基礎的な態度やマナー ・職業の心得 ・身だしなみ ・接客７大用語 評価・反省 清掃活動 ＊年間を通して行う	・職業の心得を読み合わせし、意識して作業に取り組む。 ・身なりチェックを行い、服装を確認する。 ・授業開始時に作業内容と取り組む作業量の目標を設定する。 ・授業終了時に取り組んだ作業量の確認をし、目標達成した理由またはできなかった理由を考える。 ・情報機器の扱い方を学び、反省の発表を情報機器を用いて行う。 ・実習室の清掃活動に、班の仲間と協力して取り組む。
		(知及技)使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解を深め、作業課題に応じて効果的に扱うことができる。(高２段階Ａイ(ア)㋓) (思判表力)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、他者との協働により改善を図ることができる。(高２段階Ａイ(イ)㋒) (学･人)作業や実習等を通して貢献する喜びを体得し、計画性を持って主体的に取り組むことができる。(高２段階Ａア(ウ))	(知・技)作業で使用する縫製道具や調理器具、ミシン等の名称や特性、使用方法について理解を深め、作業行程に応じて効果的に扱おうとしている。 (思･判･表)作業をする上で、安全や衛生面に注意し、効率良く活動ができるように考え、他者との協働により改善点があれば、良い方向へ導こうとしている。 (主学)作業に必要な材料や道具等を、見通しを持って自ら準備し、貢献する喜びを体得し、計画を立て、主体的に取り組もうとしている。	縫製道具や調理器具の特性と扱い方 ・道具の種類 ・名称 ・使用方法	・縫製道具や調理器具の種類や名称について知る。 ・縫製道具や調理器具の正しく安全で衛生的な使用方法について知る。
		(知及技)材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解を深めることができる。(高２段階Ａイ(ア)㋒) (思判表力)生産や生育活動等に係る技術に込められた工夫について考えることができる。(高２段階Ａイ(イ)㋑) (学･人)作業や実習等を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高２段階Ａア(ウ))	(知・技)被服製作材料や裁縫道具の特徴や扱い方について理解を深めようとしている。 (思･判･表)被服製作材料や裁縫道具などの安全、衛生的な取り扱い方や使用方法を身に付け、それらに係る技術に込められた工夫について、考えながら作業に取り組もうとしている。 (主学)被服材料を用いたかんたんな物の製作計画を考え（対象者の性別、年齢、使用場面等）、貢献する喜びを体得しようとしている。	布小物制作 ・製作計画 ・布の選択 ・裁断 ・手縫い ・ミシン縫い ・仕上げ ・ラッピング ・販売用装飾 ・販売（接客） ・在庫、売り上げ管理	・使用する道具や材料の扱い方を把握し、安全面や衛生面に気をつけながら販売品製作に取り組む。 ・材料の準備、製作、片付けまでの一連の作業をに見通しを持って取り組む。 ・トイレや水分補給、好きなことをしてリフレッシュするなどして休憩時間を過ごす。
2学期	84	(知及技)材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解することができる。(高１段階Ａイ(ア)㋒) (思判表力)生産や生育活動等に関わる技術について考えることができる。(高１段階Ａイ(イ)㋑) (学･人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高１段階Ａア(ウ))	(知・技)取り扱う食材や調味料、調理器具などの特徴や扱い方について理解しようとしている。 (思･判･表)食材や調理器具などの安全、衛生的な取り扱い方や使用方法を身に付け、創意工夫したり、次の工程を考えながら作業に取り組もうとしている。 (主学)販売する対象となる人の性別、年齢、食する場面等を考えてメニューを考えたり、意欲的に食品加工に取り組もうとしている。	食品加工 ・調理計画 ・レシピの検索 ・衛生、身支度の整え ・体調管理 ・道具の安全な使用 ・食品の取り扱い ・計量 ・菓子製作 ・片付け ・ラッピング ・販売用装飾 ・販売（接客） ・在庫、売り上げ管理	・使用する道具や材料の扱い方を把握し、安全面や衛生面に気をつけながら販売品製作に取り組む。 ・材料の準備、製作、片付けまでの一連の作業をに見通しを持って取り組む。 ・トイレや水分補給、好きなことをしてリフレッシュするなどして休憩時間を過ごす。
		(知及技)情報セキュリティ及び情報モラルについて理解するとともに、表現、記録、計算、通信等に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を理解し、目的に応じて適切に操作することができる。(高２段階Ｂア) (思判表力)情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことについて適切に表現することができる。(高２段階Ｂイ) (学･人)作業や実習等を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高２段階Ａア(ウ))	(知・技)情報セキュリティを大切にしながら、iPadに興味・関心をもち、基本的なiPadの使い方を理解し、目的に応じて適切に操作しようとしている。 (思･判･表)情報セキュリティを大切にしながら、iPadを用い、記録、検索、文書作成し、達成量のまとめや振り返りについて適切に発表をしようとしている。 (主学)販売会に向けて、商品ラベルやポスターを自らデザインし、計画を立て、貢献する喜びを体得し、主体的に作成しようとしている。	商品ラベルやポスター作成 ・ポスターPOP作成 ・販売用ラベルデザインの作成 ・販売用ポスター作成	・情報セキュリティ及び情報モラルについて知る。 ・情報機器の特性や機能を知り、操作する。 ・ICT機器を活用し、商品ごとに分かりやすさや見やすさを考慮しながらPOPや販売促進チラシを作成･発表し活用する。

3学期	54	(知及技)職業生活に必要とされる実践的な知識を深め、技能を身に付けることができる。（高２段階Aイ(ア)㋐） (思判表力)目標を持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。（高２段階Ａア（イ）） (学･人)作業や実習等を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高２段階Aア(ウ)）	(知・技）就労に必要とされる心構えについて理解を深めようとしている。 就労に必要な実践的な接客方法や金銭管理について身に付けようとしている。 (思･判･表)学習発表会に向けて、目標を持って、製作に取り組もうとしている。 自ら成果や仲間と協力しながら準備、実践を行い、自分の役割が担えたかどうか考え、iPad用いて振り返り、反省や感想を発表しようとしている。 (主学)報酬や貢献できた喜びを得た経験を踏まえ、余暇の過ごし方や買い物をについて計画を立て、主体的に取り組もうとしている。	学習発表会（販売学習）関連 ・事前学習 ・実践 ・事後学習 ・校外学習	・学習発表会に向けた準備、実践、振り返り、報告会等を行う。 ・効果的な陳列や表示、接客方法や金銭のやりとりについて考えて実践する。 ・学習発表会を通して報酬について知ることができる。 ・実際に多くの人が働く場所を見学する。 ・休日や余暇の過ごし方や買い物の方法について学習する。 ・学習発表会の振り返りを通して、卒業後の就労意欲を高める。
		(知及技)材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に係る技術について理解を深めることができる。(高２段階Ａイ(ア)㋑) (思判表力)生産や生育活動等に係る技術に込められた工夫ついて考えることができる。(高２段階Ａイ(イ)㋑) (学･人)作業や実習等を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高２段階Ａア(ウ))	(知・技)材料となる布地や毛糸の特徴や扱い方について理解を深めようとしている。 (思･判･表)しつけやミシンの使用方法に込められた工夫について考えながら身に付け、自己製作品に使用する糸の配色やデザインについて考えようとしている。 (主学)職業班の仲間と協力し、貢献する喜びを体得し、遂行すべき作業内容や清掃活動について、積極的に計画を立て、主体的に行動しようとしている。	自己作品の製作 ・希望する布小物作品の製作	・これまで習得した技術を生かし、自己作品の制作に主体的に取り組み、完成させる。 ・材料の準備、製作、片付けまでの一連の作業をに見通しを持って取り組む。 ・トイレや水分補給、好きなことをしてリフレッシュするなどして休憩時間を過ごす。
		(知及技）勤労の意義について理解を深めることができる。（高２段階Ａア(ア)） (思判表力)目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。（高２段階Ａア(イ)） (学･人)作業や実習等を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高２段階Ａア(ウ)）	(知・技）1年間の活動を通して、働くことの意義についてを理解を深めようとしている。 (思･判･表)次年度の職業について考え、目標をもって取り組もうとしている。 自らの成果や仲間と協力しながら係活動の役割が担えたかどうか考え、iPadを用いて振り返り、反省や感想を発表しようとしている。 (主学)1年間の活動で得た貢献する喜びを大切にし、自ら積極的に将来の進路先についてに考えようとしている。	年間のまとめ ・評価と課題	・1年間の振り返りを行い、反省することで自分の良い点と課題に気付く。 ・情報機器の扱い方を学び、反省の発表を情報機器を用いて行う。
留意点 引継ぎ等		【その他の取り組み】 ①技能検定,アビリンピックへの取り組み ②喫茶サービス ③地域社会への参画（地域の集会所にて販売会、交流）※年３回予定 ・生徒の実態に応じて、作業量・工程数・補助具・視覚支援を調整する ・体調・感覚過敏等に配慮し、休憩を柔軟に設定する			

令和8年度　高等学部１年（Ⅱ課程　A）職業科（農園班）年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
6/210	高等部　1年生　　6　名		ひとりだちするための進路学習

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 職業に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身につけるようにする。（高１段階） (思判表力)将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を養う。（高１段階） (学･人)よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	72	(知及技) 勤労の意義を理解することができる。（高１段階Aア(ア)） (思判表力)意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。（高１段階Aア(イ)） (学･人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高１段階Aア(ウ)）	(知・技) 職業の目的を理解しようとし、服装を整えてミーティングに参加しようとしている。 (思･判･表)職業の心得を理解しようとし、大きな声で読み合わせしようとしている。 (主学)ミーティングでは、本時の振り返りを行い、頑張ったことや改善点を自分の言葉で表現しようとしている。 ・班長として自覚し、ミーティングの司会を行ったり、仲間に声をかけようとしている。	●オリエンテーション ・授業の目標と活動内容について	・授業の目標や活動内容について知り、学習の見通しを持つ。 ・農業室やガラス温室などに施設、農機具の取り扱いや約束について知る。
		(知及技)材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解することができる。(高１段階Aイ(ア)㋒) (思判表力)生産や生育活動等に関わる技術について考えることができる。(高１段階Aイ(イ)㋑) (学･人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高１段階Aア(ウ))	(知･技) 季節の野菜の収穫や調整、袋詰めの方法を理解しようとし、手順に従って実践しようとしている。 (思･判･表) 作業日誌やiPadで本時の目標や課題を振り返り、発表しようとしている。 (主学) 生産物に興味を持ち、仲間と協力して主体的に活動に取り組もうとしている。	●季節の野菜・草花の栽培 ・野菜(ナス、ピーマン、オクラ、ゴーヤー 等) ・草花(マリーゴールド、ベゴニア 等) ・観葉植物 ・多肉植物 ・校外学習（買い物学習） ・調理実習	・植物の種類と栽培方法を知る。 ・播種、鉢上げ、定植、収穫等の手順について学び、実践する。 ・肥料の種類や効果について知る。 ・施肥の時期や方法を知り、実践する。 ・生産物の販売を通して、販売に必要な道具や方法、接客態度を知り、実践する。 ・買い物学習を通して、店員の接客態度と、自らの接客態度の違いを知る。 ・自ら栽培した作物を調理し、試食して、感想を話し合う。
2学期	90	(知及技)情報セキュリティ及び情報モラルについて知るとともに、表現、記録、計算、通信等に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を知り、操作の仕方が分かり、扱うことができる。(高１段階Bア) (思判表力)情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表することができる。(高１段階Bイ) (学･人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高１段階Aア(ウ))	(知・技)iPadを活用し、草花や野菜の名称や栽培方法についての検索、栽培記録（静止画）の保存、会計学習の方法を知り、扱おうとしている。 (思･判･表)iPadを活用し、作物の成長や調理法について検索したり、調べたことを発表しようとしている。 (主学)iPad等を活用し、他者の意見を参考にしながら実習を振り返り、改善点を知ろうとしている。	●iPadによる学習 ・草花や野菜の名称や栽培方法についての検索 ・栽培記録の保存と活用 ・計算	・情報セキュリティ及び情報モラルについて知る。 ・情報機器の特性や機能を学び、操作する。 ・iPadを活用し、草花や野菜の名称や栽培方法についての検索を行い、調べたことを発表する。 ・栽培記録（静止画）の保存と活用、会計について学ぶ。
		(知及技)材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解することができる。(高１段階Aイ(ア)㋒) (思判表力)意欲や見通しを持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。（高１段階Aア（イ）） (学･人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高１段階Aア(ウ))	(知・技)季節の草花の播種・鉢上げ・定植等一連の流れを理解し、丁寧に仕上げようとしている。 (思･判･表))作業手順について確認や質問を行ったり、完成時に教師に報告しようとしている。 (主学)生産物に興味を持ち、仲間と協力して主体的に活動に取り組もうとしている。	●季節の野菜・草花の栽培 ・野菜(キャベツ、ニンジン、ジャガイモ、ミニトマト、ブロッコリー、カリフラワー 等) ・草花(ベゴニア、ナデシコ、ガザニア、パンジー、ビオラ、マリーゴルド 等) ・観葉植物 ・多肉植物 ・校外学習（買い物学習） ・調理実習	・植物の種類や栽培方法、肥料の種類や効果について知る。 ・播種、鉢上げ、定植、収穫等の手順について知り、実践する。 ・施肥の時期や方法を知り、実践する。 ・生産物の販売を通して、販売に必要な道具や方法、接客態度を学び、実践する。 ・買い物学習を通して、店員の接客態度のいい点を、自らの接客に活かしていく。 ・自ら栽培した作物を調理し、試食して、感想を話し合う。
		(知及技)職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法を理解することができる。（高１段階Aイ(ア)㋑) (思判表力)産業現場などにおける実習での自己の成長について考えたことを表現できる。（高1段階Cイ） (学･人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高１段階Aア(ウ))	(知・技)職業生活と地域との関わりを知り、活動に参加しようとしている。 (思･判･表)体調管理について知り、職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えようとしている。 (主学)もの作りを主体的に学ぼうとし、より良い商品の販売方法を知ろうとしている。	●地域との関わり ・地域とのボランティア活動 （草花の植え付け、交流等） ・地域での販売活動 （販売会に向けた接客技術について。商品のPRポイントのまとめ、発表、反省。物流における､価格と利益､その他について。）	・草花の植え付けや運搬方法などについて知り、実践する。 ・草花の植え付け等を通して、地域の人とコミュニケーションを意識しながら学習を行う。

3学期	48	(知及技)材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解することができる。(高１段階Ａイ(ア)㋒) (思判表力)生産や生育活動等に関わる技術について考えることができる。(高１段階Ａイ(イ)㋑) (学・人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高１段階Ａア(ウ))	(知・技) 生産物の販売を通して、販売に必要なものや方法、接客態度やマナーを学ぼうとしている。 (思・判・表)生産や生育活動等に関わる技術について考えようとしている。 (主学)植物の生長を喜び、自信を持って販売会に参加し、より良い商品の販売方法を考えようとしている。	●季節の野菜・草花の栽培 ・野菜(キャベツ、ニンジン、ジャガイモ、ミニトマト、ブロッコリー、カリフラワー 等) ・草花(ベゴニア、ナデシコ、ガザニア、パンジー、ビオラ、マリーゴールド等) ・観葉植物 ・多肉植物 ●学習発表会、及び学習発表会に向けた準備、振り返り、買い物学習、等	・植物の種類と栽培方法を知る。 ・播種、鉢上げ、定植、収穫等の手順について知り、実践する。 ・肥料の種類や効果について学ぶ。 ・収穫の時期や目安を知り、実践する。 ・生産物の販売を通して、販売に必要なものや方法、接客態度を知り、実践する。 ・買い物学習を通じて生産物の流通や給料の使い方について学ぶ。
		(知及技) 職業など卒業後の進路に必要となることについて理解することができる。(高1段階Ｃア) (思判表力)職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えることができる。(高１段階Ａイ(イ)㋓) (学・人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高１段階Aア(ウ))	(知・技) 職業など卒業後の進路に必要となることについて理解しようとしている。 (思判表力) 1年間の振り返りを行い、職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方の工夫について理解し、表現しようとしている。 (主学) １年間の学習の振り返りを行い、主体的に自己の成長を考えようとしている。	●年間のまとめ ・成果と課題 ・課題解決策を考える ・校外学習（買い物学習） ・調理実習	・1年間の学習の振り返りを行いながら、自分の成長点や今後の課題点を確認し、卒業後の進路実現に向けて、課題改善策を考え、記録・発表する。 ・買い物学習を通して、店員の接客態度のいい点を、自らの接客に活かしていく。 ・自ら栽培した作物を調理し、試食して、感想を話し合う。
年間を通じて指導を行う		(知及技) 職業生活に必要とされる実践的な知識及び技能を身に付けることができる。(高１段階Aイ(ア)㋐) (思判表力) 作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現することができる。(高1段階Ａイ（イ）㋐) (学・人) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高１段階Aア(ウ))	(知・技)・適切な言葉遣いを学び、人や場に応じたコミュニケーションを身に付けようとしている。 ・就労に必要な実践的な知識や技能を身につけようとしている。 (思・判・表) 働くための力について学び、自分の適性と進路について考え表現しようとしている。 (主学) 職業生活について考え、場に合わせた挨拶や言葉遣い、指示を受けた時の返事を身に付けようとしている。	●職業人としての基礎的な態度やマナー ・職業の心得 ・挨拶 ・言葉遣い ・身だしなみ ・「報告・連絡・相談」 ・準備、片付け ・清掃活動	・職業の心得について学び、知る。 ・挨拶、言葉遣い、身だしなみ、連絡、報告等、職業人としての基礎的な態度やマナーについて確認し、意識を高める。 ・授業の目標を確認し、意識して取り組む。 ・自己理解を深め、適正な進路について考える。
		(知及技)使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができる。(高１段階Ａイ(ア)㋓) (思判表力)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。(高１段階Ａイ(イ)㋐) (学・人)作業や実習等に達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組むことができる。(高１段階Ａア(ウ))	(知・技)使用する道具の特性や扱い方を知り、作業課題に応じて正しく扱おうとしている。 (思・判・表)ハサミやスコップ、一輪車などの道具を安全に扱い、作業の効率について考えようとしている。 (主学)道具の準備など、自ら考えて報告、実施をしようとしている。	●農機具の特性と扱い方 ・農機具の種類 ・使用方法 ・効率化 ・危険性	・農機具の種類や名称について学ぶ。 ・農機具の正しく安全な使用方法について学ぶ。 ・農機具の効率的な利用方法について学ぶ。 ・農機具の特性や危険性について学ぶ。 ・実習内容に適した農機具を選び、安全に配慮しながら使用する。
留意点 引継ぎ等		・「勤労の意義」を常に意識・確認をしながら、授業進行を行う。 ・生徒たちの実践力の向上に向け、地域の集会所・公民館での販売会に参加する。年に２～３回程度で調整する。 【評価資料】活動の様子、ミーティングでの発表、授業ファイル、iPadによる報告、記録等で評価する。			

令和８年度　高等学部２年（Ⅱ課程　A）職業科（農園班）年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
6/210	高等部　２年生　　4名		私たちの進路

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技) 職業に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身につけるようにする。（高１段階） (思判表力)将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を養う。（高１段階） (学･人)よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	72	(知及技) 勤労の意義を理解することができる。（高１段階Aア(ア)） (思判表力)意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。（高１段階Aア(イ)） (学･人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高１段階Aア(ウ)）	(知・技) 職業の目的を理解しようとし、服装を整えてミーティングに参加しようとしている。 (思･判･表)職業の心得を理解しようとし、大きな声で読み合わせしようとしている。 (主学)ミーティングでは、本時の振り返りを行い、頑張ったことや改善点を自分の言葉で表現しようとしている。 ・班長として自覚し、ミーティングの司会を行ったり、仲間に声をかけようとしている。	●オリエンテーション ・授業の目標と活動内容について	・授業の目標や活動内容について知り、学習の見通しを持つ。 ・農業室や温室の使用法や約束について学ぶ。
		(知及技)材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解することができる。(高１段階Aイ(ア)㋐) (思判表力)生産や生育活動等に関わる技術について考えることができる。(高１段階Aイ(イ)㋑) (学･人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高１段階Aア(ウ))	(知･技) 季節の野菜の収穫や調整、袋詰めの方法を理解しようとし、手順に従って実践しようとしている。 (思･判･表) 作業日誌やiPadで本時の目標や課題を振り返り、発表しようとしている。 (主学) 生産物に興味を持ち、仲間と協力して主体的に活動に取り組もうとしている。	●季節の野菜・草花の栽培 ・野菜(ナス、ピーマン、オクラ、ゴーヤー 等) ・草花(マリーゴールド、ベゴニア 等) ・観葉植物 ・多肉植物 ・校外学習（買い物学習） ・調理実習	・植物の種類と栽培方法を学ぶ。 ・播種、鉢上げ、定植、収穫等の手順について知り、実践する。 ・肥料の種類や効果について学ぶ。 ・施肥の時期や方法を知り、実践する。 ・生産物の販売を通して、販売に必要なものや方法、接客態度を学び、実践する。
2学期	90	(知及技)情報セキュリティ及び情報モラルについて知るとともに、表現、記録、計算、通信等に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を知り、操作の仕方が分かり、扱うことができる。(高１段階Bア) (思判表力)情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表することができる。(高１段階Bイ) (学･人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高１段階Aア(ウ))	(知・技)iPadを活用し、草花や野菜の名称や栽培方法についての検索、栽培記録（静止画）の保存、会計学習の方法を知り、扱おうとしている。 (思･判･表)iPadを活用し、作物の生長や調理法について検索したり、調べたことを発表しようとしている。 (主学)iPad等を活用し、他者の意見を参考にしながら実習を振り返り、改善点を知ろうとしている。	●iPadによる学習 ・草花や野菜の名称や栽培方法についての検索 ・栽培記録の保存と活用 ・計算	・情報セキュリティ及び情報モラルについて学ぶ。 ・情報機器の特性や機能を学び、操作する。 ・iPadを活用し、草花や野菜の名称や栽培方法についての検索を行い、学んだことを発表する。 ・栽培記録（静止画）の保存と活用、会計について学ぶ。
		(知及技)材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解することができる。(高１段階Aイ(ア)㋑) (思判表力)意欲や見通しを持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。（高１段階Aア（イ）） (学･人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高１段階Aア(ウ))	(知・技)季節の草花の播種・鉢上げ・定植等一連の流れを理解し、丁寧に仕上げようとしている。 (思･判･表))作業手順について確認や質問を行ったり、完成時に教師に報告しようとしている。 (主学)生産物に興味を持ち、仲間と協力して主体的に活動に取り組もうとしている。	●季節の野菜・草花の栽培 ・野菜(キャベツ、ニンジン、ジャガイモ、ミニトマト、ブロッコリー、カリフラワー 等) ・草花(ベゴニア、ナデシコ、ガザニア、パンジー、ビオラ、マリーゴルド 等) ・観葉植物 ・多肉植物 ・校外学習（買い物学習） ・調理実習	・植物の種類や栽培方法、肥料の種類や効果について学ぶ。 ・播種、鉢上げ、定植、収穫等の手順について知り、実践する。 ・施肥の時期や方法を知り、実践する。 ・基本的な健康管理のしかたや余暇の有意義な過ごし方について学ぶ。 ・生産物の販売を通して、販売に必要なものや方法、接客態度を学び、実践する。
		(知及技)職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法を理解することができる。（高１段階Aイ(ア)㋑） (思判表力)産業現場などにおける実習での自己の成長について考えたことを表現できる。（高1段階Cイ） (学･人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高１段階Aア(ウ)）	(知・技)職業生活と地域との関わりを知り、活動に参加しようとしている。 (思･判･表)体調管理について知り、職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えようとしている。 (主学)もの作りを主体的に学ぼうとし、より良い商品の販売方法を知ろうとしている。	●地域との関わり ・地域とのボランティア活動 （草花の植え付け、交流等） ・地域での販売活動 （販売会に向けた接客技術について。商品のPRポイントのまとめ、発表、反省。物流における､価格と利益、その他について。）	・草花の植え付けや運搬方法などについて学び、実践する。 ・草花の植え付け等を通して、地域の人とコミュニケーションを意識しながら学習を行う。

3学期	48	(知及技)材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解することができる。(高１段階Ａイ(ア)㋐) (思判表力)生産や生育活動等に関わる技術について考えることができる。(高１段階Ａイ(イ)㋑) (学･人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高１段階Ａア(ウ))	(知･技) 生産物の販売を通して、販売に必要なものや方法、接客態マナーを学ぼうとしている。 (思･判･表)生産や生育活動等に関わる技術について考えようとしている。 (主学)植物の生長を喜び、自信を持って販売会に参加し、より良い商品の販売方法を考えようとしている。	●季節の野菜・草花の栽培 ・野菜(キャベツ、ニンジン、ジャガイモ、ミニトマト、ブロッコリー、カリフラワー 等) ・草花(ペゴニア、ナデシコ、ガザニア、パンジー、ビオラ、マリーゴールド等) ・観葉植物 ・多肉植物 ●学習発表会、及び学習発表会に向けた準備、振り返り、買い物学習、等	・植物の種類と栽培方法を学ぶ。 ・播種、鉢上げ、定植、収穫等の手順について学び、実践する。 ・肥料の種類や効果について学ぶ。 ・収穫の時期や目安を学び、実践する。 ・生産物の販売を通して、販売に必要なものや方法、接客態度を学び、実践する。 ・買い物学習を通じて生産物の流通や給料の使い方について学ぶ。
		(知及技) 職業など卒業後の進路に必要となることについて理解することができる。 (高1段階Ｃア) (思判表力)職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えることができる。 (高１段階Ａイ(イ)㋓) (学･人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。 (高１段階Aア(ウ))	(知・技) 職業など卒業後の進路に必要となることについて理解しようとしている。 (思判表力) 1年間の振り返りを行い、職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方の工夫について理解し、表現しようとしている。 (主学)１年間の学習の振り返りを行い、主体的に自己の成長を考えようとしている。	●年間のまとめ ・成果と課題 ・課題解決策を考える ・校外学習（買い物学習） ・調理実習	・1年間の学習の振り返りを行いながら、自分の成長点や今後の課題点を確認し、卒業後の進路実現に向けて、課題改善策を考え、記録・発表する。 ・買い物学習を通して、店員の接客態度のいい点を、自らの接客に活かしていく。 ・自ら栽培した作物を調理し、試食して、感想を話し合う。
年間を通じて指導を行う		(知及技) 職業生活に必要とされる実践的な知識及び技能を身に付けることができる。(高１段階Aイ(ア)㋐) (思判表力) 作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現することができる。 (高1段階Aイ (イ) ㋐) (学･人) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。 (高１段階Aア(ウ))	(知･技) ・適切な言葉遣いを学び、人や場に応じたコミュニケーションを身に付けようとしている。 ・就労に必要な実践的な知識や技能を身につけようとしている。 (思･判･表) 働くための力について学び、自分の適性と進路について考え表現しようとしている。 (主学) 職業生活について考え、場に合わせた挨拶や言葉遣い、指示を受けた時の返事を身に付けようとしている。	●職業人としての基礎的な態度やマナー ・職業の心得 ・挨拶 ・言葉遣い ・身だしなみ ・「報告・連絡・相談」 ・準備、片付け ・清掃活動について	・職業の心得について学ぶ。 ・挨拶、言葉遣い、身だしなみ、連絡、報告等、職業人としての基礎的な態度やマナーについて確認し、意識を高める。 ・授業の目標を確認し、意識して取り組む。 ・自己理解を深め、適正な進路について考える。
		(知及技)使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができる。(高１段階Ａイ(ア)㋑) (思判表力)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。(高１段階Ａイ(イ)㋒) (学･人)作業や実習等に達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組むことができる。(高１段階Ａア(ウ))	(知・技)使用する道具の特性や扱い方を知り、作業課題に応じて正しく扱おうとしている。 (思･判･表)ハサミやスコップ、一輪車などの道具を安全に扱い、作業の効率について考えようとしている。 (主学)パネルを活用し、必要な道具の準備や片付けを自分で考えて行おうとしている。	●農機具の特性と扱い方 ・農機具の種類 ・使用方法 ・効率化 ・危険性	・農機具の種類や名称について学ぶ。 ・農機具の正しく安全な使用方法について学ぶ。 ・農機具の効率的な利用方法について学ぶ。 ・農機具の特性や危険性について学ぶ。 ・実習内容に適した農機具を選び、安全に配慮しながら使用する。
留意点 引継ぎ等		・「勤労の意義」を常に意識・確認をしながら、授業進行を行う。 ・生徒たちの実践力の向上に向け、地域の集会所・公民館での販売会に参加する。年に２～３回程度で調整する。 【評価資料】活動の様子、ミーティングでの発表、授業ファイル、iPadによる報告、記録等で評価する。			

令和８年度　高等学部３年（Ⅱ課程　A）職業科（農園班）年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
6/210	高等部　３年生　　7名		私たちの進路、ライフキャリア教育

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身につけるようにする。（高２段階） (思判表力)将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。（高２段階） (学･人)よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	72	(知及技) 勤労の意義について理解を深めることができる。（高２段階Aア(ア)） (思判表力)目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。（高２段階Aア(イ)） (学･人)作業や実習等を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高２段階Aア(ウ)）	(知・技) 職業の目的を理解し、忘れ物をすることなく服装を整えてミーティングに参加しようとしている。 (思･判･表)職業の心得を理解しようとし、大きな声で読み合わせしようとしている。 (主学)ミーティングでは、本時の振り返りを行い、頑張ったことや改善点を自分の言葉で表現しようとしている。 ・班長として自覚し、ミーティングの司会を行ったり、仲間に声をかけようとしている。	●オリエンテーション ・授業の目標と活動内容について	・授業の目標や活動内容について理解を深め、学習の見通しを持つ。 ・雇用のある職種について理解を深める。
		(知及技)材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解を深めることができる。(高２段階Aイ(ア)㋐) (思判表力)生産や生育活動等に係る技術に込められた工夫について考えることができる。(高２段階Aイ(イ)㋐) (学･人)作業や実習等を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高２段階Aア(ウ))	(知･技) 季節の野菜や草花についての生産や生育活動等に係わる技術について理解を深めようとしている。 (思･判･表) 作業日誌やiPadを活用し、本時の目標や課題を振り返り、表現しようとしている。 (主学) 生産物や生産活動に興味を持ち、仲間と協力して主体的に活動に取り組もうとしている。	●季節の野菜・草花の栽培 ・野菜(ナス、ピーマン、オクラ、ゴーヤー 等) ・草花(マリーゴールド、ベゴニア 等) ・観葉植物 ・多肉植物 ・校外学習（買い物学習） ・調理実習	・植物の種類と栽培方法について理解を深める。 ・播種、鉢上げ、定植、収穫等の手順について理解を深め、実践する。 ・肥料の種類や効果について理解を深め,実践する。 ・生産物の販売を通して、販売に必要なものや方法、接客態度について理解を深め、実践する。 ・買い物学習を通して、店員の接客態度の良い点を、自らの接客に活かしていく。 ・自ら栽培した作物を調理し、試食して、感想を話し合う。
2学期	90	(知及技)情報セキュリティ及び情報モラルについて理解するとともに、表現、記録、計算、通信等に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を理解し、目的に応じて適切に操作することができる。(高２段階Bア) (思判表力)情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことについて適切に表現することができる。(高２段階Bイ) (学･人)作業や実習等を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高２段階Aア(ウ))	(知・技)iPadを活用し、草花や野菜の名称や栽培方法についての検索、栽培記録（静止画）の保存と活用法、会計学習の方法の理解を深め、扱おうとしている。 (思･判･表)iPadを活用し、作物の生長や調理法について収集したり、考えたことを発表しようとしている。 (主学)iPad等を活用し、他者の意見を参考にして考えを深め、改善点を次の活動に活かそうとしている。	●iPadによる学習 ・草花や野菜の名称や栽培方法についての検索 ・栽培記録の保存と活用 ・計算	・情報セキュリティ及び情報モラルについて理解を深める。 ・情報機器の特性や機能について理解を深め、操作する。 ・iPadを活用し、草花や野菜の名称や栽培方法についての検索、栽培記録（静止画）の保存と活用、会計学習について理解を深める。
		(知及技)材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解を深めることができる。(高２段階Aイ(ア)㋐) (思判表力)目標を持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。（高２段階Aア（イ）） (学･人)作業や実習等を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高２段階Aア(ウ))	(知・技)季節の草花の播種・鉢上げ・定植等一連の流れの理解を深め、丁寧に仕上げようとしている。 (思･判･表))作業手順について確認や質問を行ったり、完成時に教師に報告しようとしている。 (主学)もの作りを主体的に学び、生活に活かそうとしている。	●季節の野菜・草花の栽培 ・野菜(キャベツ、ニンジン、ジャガイモ、ミニトマト、ブロッコリー、カリフラワー 等) ・草花(ベゴニア、ナデシコ、ガザニア、パンジー、ビオラ、マリーゴルド 等) ・観葉植物 ・多肉植物 ・校外学習（買い物学習） ・調理実習	・植物の種類や栽培方法、肥料の種類や効果について理解を深める。 ・播種、鉢上げ、定植、収穫等の手順について理解を深め、実践する。 ・施肥の時期や方法について理解を深め、実践する。 ・生産物の販売を通して、販売に必要なものや方法、接客態度について理解を深め、実践する。
		(知及技)職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法について理解を深めることができる。（高２段階Aイ（ア）㋑) (思判表力)産業現場等における実習で課題の解決について考えたことを表現できる。（高２段階Cイ） (学･人)作業や実習等を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高２段階Aア(ウ))	(知・技)職業生活と地域との関わりを理解し、積極的に活動に参加しようとしている。 (思･判･表)職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について理解を深め考え足り、表現しようとしている。 (主学)生産物の販売や装飾活動に興味ややりがいを持ち、卒業後の進路を考えようとしている。	●地域との関わり ・地域とのボランティア活動 （草花の植え付け、交流等） ・地域での販売活動 （販売会に向けた接客技術について。商品のPRポイントのまとめ、発表、反省。物流における､価格と利益、その他について。）	・草花の植え付けや運搬方法などについて理解を深め、実践する。 ・草花の植え付け等を通して、地域の人とのコミュニケーションについて理解を深めながら実践する。 ・地域の公民館等での販売会に参加し、接客技術への理解を深め、実践する。 ・商品の理解を深め、調理の仕方等を説明する。 ・生産から消費までの物流について理解を深め、自分の今後の職業生活をイメージし発表する。

3学期	48	(知及技)材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解を深めることができる。(高２段階Ａイ(ア)㋐) (思判表力)生産や生育活動等に係る技術に込められた工夫について考えることができる。(高２段階Ａイ(イ)㋑) (学･人)作業や実習等を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高２段階Ａア(ウ))	(知･技) 生産物の販売を通して、販売に必要なものや方法、接客態度やマナーへの理解を深め、実践しようとしている。 (思･判･表)生産や生育活動等に関わる技術について理解を深め、より効率的な方法を考えようとしている。 (主学)植物の生長を喜び、自信を持って販売会に参加し、より良い商品の販売方法を考えようとしている。	●季節の野菜・草花の栽培 ・野菜(キャベツ、ニンジン、ジャガイモ、ブロッコリー、カリフラワー 等) ・草花(ベゴニア、ナデシコ、ガザニア、パンジー、ビオラ、マリーゴルド 等) ・観葉植物 ・多肉植物 ●学習発表会、及び学習発表会に向けた準備、振り返り、買い物学習、等	・植物の種類と栽培方法について理解を深める。。 ・播種、鉢上げ、定植、収穫等の手順について理解を深め、実践する。 ・肥料の種類や効果について理解を深める。。 ・収穫の時期や目安について理解を深め、実践する。 ・生産物の販売を通して、販売に必要なものや方法、接客態度について理解を深め、実践する。 ・買い物学習を通じて生産物の流通や給料の使い方について学び、理解を深める。
		(知及技) 職業など卒業後の進路に必要となることについて理解を深めることができる。 (高２段階Ｃア) (思判表力)職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方の工夫について考えることができる。 (高２段階Ａイ (イ) ㋓) (学･人)作業や実習等を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。 (高２段階Aア(ウ))	(知・技) 職業や卒業後の進路(生活)について理解を深めようとしている。 (思･判･表)1年間の振り返りを行い、職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方の工夫について理解を深めようとしている。 (主学)１年間の振り返りを行い、卒業後の進路に向けて主体的に自己の成長を考え、生活に生かそうとしている。	●年間のまとめ ・成果と課題 ・課題解決策を考える	・1年間の学習の振り返りを行いながら、自分の成長点や今後の課題点を確認し、卒業後の進路実現に向けて、課題改善策を考え、記録・発表する。
年間を通じて指導を行う		(知及技) 職業生活に必要とされる実践的な知識を深め技能を身に付けることができる。(高２段階Aイ(ア)㋐) (思判表力) 作業や実習において、自ら適切な役割を見いだすとともに、自分の成長や課題について考え、表現することができる。 (高２段階Ａイ (イ) ㋐) (学･人) 作業や実習等を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。 (高２段階Aア(ウ))	(知･技) 職業人としてのマナーを身につけ、実習に積極的に取り組もうとしている。・就労に必要な実践的な知識や技能について理解を深め身につけようとしている。 (思･判･表) 働くための力について理解を深め、自分の適性と進路について考え、進路決定しようとしている。 (主学) 職業生活について考え、場に合わせた挨拶や言葉遣い、指示を受けた時の返事を身に付け生活に活かそうとしている。	●職業人としての態度やマナー ・職業の心得、他 ・清掃活動 ●社会人としての生活	・職業の心得について理解を深める。 ・挨拶、言葉遣い、身だしなみ、連絡、報告等労働者としての基礎的な態度やマナーについて理解を深める。 ・授業の目標を確認し、意識して取り組む。 ・基本的な健康管理のしかたや余暇の有意義な過ごし方について理解を深める。 ・自己理解を深め、適正な進路について考える。
		(知及技)使用する道具や機械等の特性や扱い方の理解を深め、作業課題に応じて効果的に扱うことができる。(高２段階Ａイ(ア)㋓) (思判表力)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、他者との協働により改善を図ることができる。(高２段階Ａイ(イ)㋒) (学･人)作業や実習等を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高２段階Ａア(ウ))	(知・技)使用する道具の特性や扱い方の理解を深め、作業課題に応じて効果的に扱おうとしている。 (思･判･表)ハサミやスコップ、一輪車などの道具を効率的に扱い、作業の効率性を図ろうとしている。 (主学)パネルを活用し、必要な道具の準備や片付けを計画性を持って主体的に取り組もうとしている。	●農機具の特性と扱い方 ・農機具の種類 ・使用方法 ・効率化 ・危険性	・農機具の種類や名称について理解を深める。 ・農機具の正しく安全な使用方法について理解を深める。 ・農機具の効率的な利用方法について理解を深める。 ・農機具の特性や危険性について理解を深める。 ・実習内容に適した農機具を選び、安全に配慮しながら効率的に使用する。
留意点 引継ぎ等	・「勤労の意義」を常に意識・確認をしながら、授業進行を行う。 ・生徒たちの実践力の向上に向け、地域の集会所・公民館での販売会に参加する。年に２～３回程度で調整する。 【評価資料】活動の様子、ミーティングでの発表、授業ファイル、iPadによる報告、記録等で評価する。				

令和８年度　高等部　1年（Ⅱ課程A）　職業科（トータル班）　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
6/210	高1年		ひとりだちするための進路学習 ひとりだちするためのライフキャリア教育

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	（知及技）職業に関する事項について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身につけるようにする。（高２段階） （思判表力）将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。（高２段階） （学・人）よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	72	（知及技） 勤労の意義について理解を深めることができる。(高2段階Aア(ア)) 職業生活に必要とされる実践的な知識を深め技能を身に付けることができる。(高2段階Aイ(アㇰ)) （思判表力） 目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。(高2段階Aア(イ)) 作業や実習において、自ら適切な役割を見いだすとともに，自分の成長や課題について考え、表現することができる。(高2段階Aイ(イㇰ)) （学・人） 作業や実習等を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高2段階Aア(ウ))	（知・技） 職業の心得について理解を深めようとしている。 職業生活に必要とされる実践的な知識を深め、清掃に関する技能を身に付けようとしている。 （思・判・表） 目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、振り返りを通して表現しようとしている。 清掃や就業体験等において、自ら適切な役割を見いだすとともに、自分の成長や課題について考え、表現しようとしている。 （主学） 清掃や就業体験等を通して社会の一員として自信を持って働くために主体的に取り組もうとしている。	・職業の心得 ・就労に向けて ・就労の基礎、基本 ・用具について知る ・清掃の基本（テーブル拭き、ガラス清掃、床清掃等） ・事務補助の基本（印刷、帳合、古紙処分、書類等の仕分け） ・流通の基本（商材の仕入れ、卸販売など） ・職場見学 ・近隣の公共施設の清掃 ・販売学習 ・自己評価	・職業の心得の確認（８つ） ・就労に向けて、自己評価、興味関心、知識を確認する。 ・就労に向けて、挨拶や返事、身なりなどを学ぶ。（含接遇） ・用具の名称や基礎的な使い方を学ぶ。 ・清掃について学ぶ。 ・職場見学をする。 ・販売学習に向けて準備、販売、反省に取り組む。 ・仕入れ、卸売りで、流通業の仕組み、接客や金銭の扱いについて学ぶ。 ・自己評価を行う。
2学期	84	（知及技） 使用する道具や機械等の特性や扱い方の理解を深め、作業課題に応じて効果的に扱うことができる。(高2段階Aイ(アㇳ)) 情報セキュリティ及び情報モラルについて理解するとともに、表現、記録、計算、通信等に係るコンピュータ等の情報機器について，その特性や機能を理解し，目的に応じて適切に操作することができる。(高2段階Bア) （思判表力） 目標をもって取り組み，その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え，表現することができる。(高2段階Aア(イ)) 作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え，他者との協働により改善を図ることができる。(高2段階Aイ(イㇴ)) （学・人） 作業や実習等を通して貢献する喜びを体得し，計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高2段階Aア(ウ))	（知・技） 清掃道具や掃除機等の特性や扱い方の理解を深め、作業課題に応じて効果的に扱おうとしている。 情報セキュリティ及び情報モラルについて理解するとともに、コンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を理解し，目的に応じて適切に操作しようとしている。 （思・判・表） 目標をもって取り組み，その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、振り返り等を通して表現しようとしている。 作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、他者との協働により改善しようとしている。 （主学） 清掃や就業体験等を通して社会の一員として自信を持って働くために主体的に取り組もうとしている。	・職業の心得 ・就労に向けて ・就労の基礎、基本 ・用具について知る ・清掃の基本（テーブル拭き、ガラス清掃、床清掃等） ・事務補助の基本（印刷、帳合、古紙処分、書類等の仕分け） ・流通の基本（商材の仕入れ、卸販売など） ・職場見学 ・近隣の公共施設の清掃 ・販売学習 ・自己評価	・接遇学習（SSTなど） ・就労に向けて、挨拶や返事、身なりなどを学ぶ。（含接遇） ・用具の名称や効率的な使い方を学ぶ。 ・清掃について学ぶ。 ・洗車について学ぶ。 ・職場見学をする。 ・販売学習に向けて準備、販売、反省に取り組む。 ・仕入れ、卸売りで、流通業の仕組み、接客や金銭の扱いについて学ぶ。 ・自己評価を行う。
3学期	54	（知及技） 勤労の意義について理解を深めることができる。(高2段階Aア(ア)) （思判表力） 目標をもって取り組み，その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え，表現することができる。(高2段階Aア(イ)) 職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方の工夫について考えることができる。(高2段階Aイ(イㇳ)) （学・人） 作業や実習等を通して貢献する喜びを体得し，計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高2段階Aア(ウ))	（知・技） 卒業後の就労の向き合い方について理解を深めようとしている。 （思・判・表） 目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及びメンバーとの協力について考え、表現しようとしている。 職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方を工夫しようとしている。 （主学） 清掃や就業体験等を通して社会の一員として自信を持って働くために主体的に取り組もうとしている。	・職業の心得 ・就労に向けて ・就労の基礎、基本 ・用具について知る ・清掃の基本（テーブル拭き、ガラス清掃、床清掃等） ・事務補助の基本（印刷、帳合、古紙処分、書類等の仕分け） ・流通の基本（商材の仕入れ、卸販売など） ・職場見学 ・近隣の公共施設の清掃 ・販売学習 ・一年間の評価	・学習発表会に向けた準備、実践、振り返り、報告会など。 ・POP制作。 ・仕入れ、卸売りで、流通業の仕組み、接客や金銭の扱いについて学ぶ。 ・休日や余暇の過ごし方や買い物の方法について学ぶ。 ・卒業後の就労に向けて自己評価を行い、振り返る。

留意点 引継ぎ等	【適宜取り組む実践活動内容例】 ①校内の清掃や消毒活動 ②技能検定、アビリンピックへの参加、練習 ③喫茶サービス ④ベッドメイキング ⑤校外での美化活動(地域施設との連携) ⑥行事しおり等印刷・丁合・製本・納品 ⑦その他（地域の施設にて販売会）

令和８年度　高等部　2年（Ⅱ課程A）　職業科（トータル班）　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
6/210	高2年		ひとりだちするための進路学習 ひとりだちするためのライフキャリア教育

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	（知及技）職業に関する事項について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身につけるようにする。（高２段階） （思判表力）将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。（高２段階） （学・人）よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	72	（知及技） 勤労の意義について理解を深めることができる。(高2段階Aア(ア)) 職業生活に必要とされる実践的な知識を深め技能を身に付けることができる。(高2段階Aイ(ア㋐)) （思判表力） 目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。(高2段階Aア(イ)) 作業や実習において、自ら適切な役割を見いだすとともに，自分の成長や課題について考え、表現することができる。(高2段階Aイ(イ㋐)) （学・人） 作業や実習等を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高2段階Aア(ウ))	（知・技） 職業の心得について理解を深めようとしている。 職業生活に必要とされる実践的な知識を深め、清掃に関する技能を身に付けようとしている。 （思・判・表） 目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、振り返りを通して表現しようとしている。 清掃や就業体験等において、自ら適切な役割を見いだすとともに、自分の成長や課題について考え、表現しようとしている。 （主学） 清掃や就業体験等を通して社会の一員として自信を持って働くために主体的に取り組もうとしている。	・職業の心得 ・就労に向けて ・就労の基礎、基本 ・用具について知る ・清掃の基本（テーブル拭き、ガラス清掃、床清掃等） ・事務補助の基本（印刷、帳合、古紙処分、書類等の仕分け） ・流通の基本（商材の仕入れ、卸販売など） ・職場見学 ・近隣の公共施設の清掃 ・販売学習 ・自己評価	・職業の心得の確認（８つ） ・就労に向けて、自己評価、興味関心、知識を確認する。 ・就労に向けて、挨拶や返事、身なりなどを学ぶ。（含接遇） ・用具の名称や基礎的な使い方を学ぶ。 ・清掃について学ぶ。 ・職場見学をする。 ・販売学習に向けて準備、販売、反省に取り組む。 ・自己評価を行う。
2学期	84	（知及技） 使用する道具や機械等の特性や扱い方の理解を深め、作業課題に応じて効果的に扱うことができる。(高2段階Aイ(ア㋑)) 情報セキュリティ及び情報モラルについて理解するとともに、表現、記録、計算、通信等に係るコンピュータ等の情報機器について，その特性や機能を理解し，目的に応じて適切に操作することができる。(高2段階Bア) （思判表力） 目標をもって取り組み，その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え，表現することができる。(高2段階Aア(イ)) 作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え，他者との協働により改善を図ることができる。(高2段階Aイ(イ㋒)) （学・人） 作業や実習等を通して貢献する喜びを体得し，計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高2段階Aア(ウ))	（知・技） 清掃道具や掃除機等の特性や扱い方の理解を深め、作業課題に応じて効果的に扱おうとしている。 情報セキュリティ及び情報モラルについて理解するとともに、コンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を理解し，目的に応じて適切に操作しようとしている。 （思・判・表） 目標をもって取り組み，その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、振り返り等を通して表現しようとしている。 作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、他者との協働により改善しようとしている。 （主学） 清掃や就業体験等を通して社会の一員として自信を持って働くために主体的に取り組もうとしている。	・職業の心得 ・就労に向けて ・就労の基礎、基本 ・用具について知る ・清掃の基本（テーブル拭き、ガラス清掃、床清掃等） ・事務補助の基本（印刷、帳合、古紙処分、書類等の仕分け） ・流通の基本（商材の仕入れ、卸販売など） ・職場見学 ・近隣の公共施設の清掃 ・販売学習 ・自己評価	・接遇学習（SSTなど） ・就労に向けて、挨拶や返事、身なりなどを学ぶ。（含接遇） ・用具の名称や効率的な使い方を学ぶ。 ・清掃について学ぶ。 ・洗車について学ぶ。 ・職場見学をする。 ・販売学習に向けて準備、販売、反省に取り組む。 ・自己評価を行う。
3学期	54	（知及技） 勤労の意義について理解を深めることができる。(高2段階Aア(ア)) （思判表力） 目標をもって取り組み，その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え，表現することができる。(高2段階Aア(イ)) 職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方の工夫について考えることができる。(高2段階Aイ(イ㋑)) （学・人） 作業や実習等を通して貢献する喜びを体得し，計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高2段階Aア(ウ))	（知・技） 卒業後の就労の向き合い方について理解を深めようとしている。 （思・判・表） 目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及びメンバーとの協力について考え、表現しようとしている。 職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方を工夫しようとしている。 （主学） 清掃や就業体験等を通して社会の一員として自信を持って働くために主体的に取り組もうとしている。	・職業の心得 ・就労に向けて ・就労の基礎、基本 ・用具について知る ・清掃の基本（テーブル拭き、ガラス清掃、床清掃等） ・事務補助の基本（印刷、帳合、古紙処分、書類等の仕分け） ・流通の基本（商材の仕入れ、卸販売など） ・職場見学 ・近隣の公共施設の清掃 ・販売学習 ・一年間の評価	・学習発表会に取り組む。 ・学習発表会に向けた準備、実践、振り返り、報告会など。 ・POP制作。 ・販売学習で、接客や金銭の扱いについて学ぶ。 ・休日や余暇の過ごし方や買い物の方法について学ぶ。 ・卒業後の就労に向けて自己評価を行い、振り返る。

留意点 引継ぎ等	
	【適宜取り組む実践活動内容例】 ①校内の清掃や消毒活動 ②技能検定、アビリンピックへの参加、練習 ③喫茶サービス ④ベッドメイキング ⑤校外での美化活動(地域施設との連携) ⑥行事しおり等印刷・丁合・製本・納品 ⑦その他（地域の施設にて販売会）

令和８年度　高等部　３年（Ⅱ課程A）　職業科（トータル班）　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
6/210	高３年		ひとりだちするための進路学習 ひとりだちするためのライフキャリア教育

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	（知及技）職業に関する事項について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身につけるようにする。（高２段階） （思判表力）将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。（高２段階） （学・人）よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	72	（知及技） 勤労の意義について理解を深めることができる。(高2段階Aア(ア)) 職業生活に必要とされる実践的な知識を深め技能を身に付けることができる。(高2段階Aイ(アㇰ)) （思判表力） 目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。(高2段階Aア(イ)) 作業や実習において、自ら適切な役割を見いだすとともに，自分の成長や課題について考え、表現することができる。(高2段階Aイ(イㇰ)) （学・人） 作業や実習等を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高2段階Aア(ウ))	（知・技） 職業の心得について理解を深めようとしている。 職業生活に必要とされる実践的な知識を深め、清掃に関する技能を身に付けようとしている。 （思・判・表） 目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、振り返りを通して表現しようとしている。 清掃や就業体験等において、自ら適切な役割を見いだすとともに、自分の成長や課題について考え、表現しようとしている。 （主学） 清掃や就業体験等を通して社会の一員として自信を持って働くために主体的に取り組もうとしている。	・職業の心得 ・就労に向けて ・就労の基礎、基本 ・用具について知る ・清掃の基本（テーブル拭き、ガラス清掃、床清掃等） ・職場見学 ・販売学習 ・自己評価	・職業の心得の確認（８つ） ・就労に向けて、自己評価、興味関心、知識を確認する。 ・就労に向けて、挨拶や返事、身なりなどを学ぶ。（含接遇） ・用具の名称や基礎的な使い方を学ぶ。 ・清掃について学ぶ。 ・職場見学をする。 ・販売学習に向けて準備、販売、反省に取り組む。 ・自己評価を行う。
2学期	84	（知及技） 使用する道具や機械等の特性や扱い方の理解を深め、作業課題に応じて効果的に扱うことができる。(高2段階Aイ(アㇳ)) 情報セキュリティ及び情報モラルについて理解するとともに、表現、記録、計算、通信等に係るコンピュータ等の情報機器について，その特性や機能を理解し，目的に応じて適切に操作することができる。(高2段階Bア) （思判表力） 目標をもって取り組み，その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え，表現することができる。(高2段階Aア(イ)) 作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え，他者との協働により改善を図ることができる。(高2段階Aイ(イㇱ)) （学・人） 作業や実習等を通して貢献する喜びを体得し，計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高2段階Aア(ウ))	（知・技） 清掃道具や掃除機等の特性や扱い方の理解を深め、作業課題に応じて効果的に扱うことができる。 情報セキュリティ及び情報モラルについて理解するとともに、コンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を理解し，目的に応じて適切に操作しようとしている。 （思・判・表） 目標をもって取り組み，その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、振り返り等を通して表現しようとしている。 作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、他者との協働により改善しようとしている。 （主学） 清掃や就業体験等を通して社会の一員として自信を持って働くために主体的に取り組もうとしている。	・接遇学習 ・就労の基礎、基本 ・校外ゴミ拾い ・清掃の基本、応用 ・洗車の基本、応用 ・職場見学 ・販売学習 ・自己評価	・接遇学習（SSTなど） ・就労に向けて、挨拶や返事、身なりなどを学ぶ。（含接遇） ・用具の名称や効率的な使い方を学ぶ。 ・清掃について学ぶ。 ・洗車について学ぶ。 ・職場見学をする。 ・販売学習に向けて準備、販売、反省に取り組む。 ・自己評価を行う。
3学期	54	（知及技） 勤労の意義について理解を深めることができる。(高2段階Aア(ア)) （思判表力） 目標をもって取り組み，その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え，表現することができる。(高2段階Aア(イ)) 職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方の工夫について考えることができる。(高2段階Aイ(イㇳ)) （学・人） 作業や実習等を通して貢献する喜びを体得し，計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高2段階Aア(ウ))	（知・技） 卒業後の就労の向き合い方について理解を深めようとしている。 （思・判・表） 目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及びメンバーとの協力について考え、表現しようとしている。 職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方を工夫しようとしている。 （主学） 清掃や就業体験等を通して社会の一員として自信を持って働くために主体的に取り組もうとしている。	・学習発表会 ・事前学習、事後学習 ・校外学習 ・就労に向けて ・清掃の基本、応用 ・洗車の基本、応用 ・一年の自己評価	・学習発表会に取り組む。 ・学習発表会に向けた準備、実践、振り返り、報告会など。 ・POP制作。 ・販売学習で、接客や金銭の扱いについて学ぶ。 ・休日や余暇の過ごし方や買い物の方法について学ぶ。 ・卒業後の就労に向けて自己評価を行い、振り返る。

留意点 引継ぎ等	【適宜取り組む実践活動内容例】 ①校内の清掃や消毒活動 ②技能検定、アビリンピックへの参加、練習 ③喫茶サービス ④ベッドメイキング ⑤校外での美化活動(地域施設との連携) ⑥行事しおり等印刷・丁合・製本・納品 ⑦その他（地域の施設にて販売会）

令和　8年度　高等部　1年（Ⅱ課程B）　職業科（木工）　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	2名		無し

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思・判・表)思考・判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技）職業に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。（高1段階） (思判表力)将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を養う。（高1段階） (学・人)よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。（高1段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	36	(知及技)勤労の意義について理解することができる。(高1段階Aア(ア)) (思判表力)意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現できる。(高1段階Aア(イ)) (学・人)作業や実習などに達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技）将来の収入と支出を考え、勤労の意義を理解しようとしている。 (思・判・表)任された役割を理解し、教師と相談して決めた目標に向かい、意欲的に取り組もうとしている。 (主学)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組もうとしている。 【評価資料】活動内容の様子	・オリエンテーション(4月) ・授業の目標や活動内容について ・職業の心得 ・環境問題とSDGs	・製作する木工作品・製作個数・製作工程を説明。 ・年間と授業への見通しが持てる説明。 ・「職業の8つの心得」の意味・社会人としての必要事項を説明。 ・木材という自然素材の有効活用方法の説明と無駄の少ない「材料取り」の実習。
		(知及技)職業生活に必要とされる実践的な知識及び技能を身につけることができる。(高1段階Aイ(ア)ア) (思判表力)作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現できる。(高1段階Aイ(イ)ア) (学・人)作業や実習などに達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技）サンダーやボール盤、パネルソ等基本的な機械を安全に取り扱おうとしている。 (思・判・表)任された仕事内容を理解し、達成個数を確認し、教師に報告しようとしている。 (主学)任された仕事内容を理解し、毎時間の課題量を更新しようとしている。 【評価資料】活動内容の様子、制作物の仕上がり具合	・身だしなみ・挨拶・言葉使い ・木工室の約束 ・報告、連絡、相談 ・家庭生活と職業生活について 「BOX、コースター、鍋敷き」作成 ・サンダーがけ(150番)	・職業の心得に対する実践的な取組と習慣化。 ・安全な作業に対する身だしなみについて。 ・木工室内でのルールの確認と実践。 ・補助具の形と材料の形のマッチング。 ・タイマーを活用したサンダーがけ。 ・ざらざらとツルツルで、判断しよう。
		(知及技)職業など卒業後の進路に必要となることについて理解することができる。(高1段階Cア) (思判表力)産業現場などにおける実習での自己の成長について考えたことを表現できる。(高1段階Cイ) (学・人)作業や実習などに達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技)卒業後の職業生活を見通した活動に取り組もうとしている。 (思・判・表)就業体験を通した実践を事後報告会などで発表しようとする。 (主学)作業や実習など実践で自ら取り組もうとしている。 【評価資料】活動内容の様子や、達成個数で評価	「校内にて販売会」 「校外にて販売会」 ・販売会に向けた宣伝活動と作品作り 「写真立て、時計、ミニ鉢」作成 ・サンダーがけ(400番)	・第1回地域連携に向けた取組準備。 ・納期に向けた、達成個数と材料個数のマッチング(数学的思考)。 ・材料の仕分けの仕方(必要個数で陳列)。 ・作品を丁寧に扱うこと。 ・出品する作品の拭き取りと、値札書き張り。 ・作品の整理と微調整。 ・より、ツルツルに仕上げよう。
		(知及技)職業生活を支える社会の仕組みなどの利用方法を理解できる。(高1段階Aイ(ア)イ) (思判表力)作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現できる。(高1段階Aイ(イ)ア) (学・人)作業や実習などに達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技）社会の仕組みの基礎：「生産」⇒「販売」⇒「収入」を理解し、活動に取り組もうとしている。 (思・判・表)「売れるためには？」を考え、見栄えを考えた値札などを情報機器を活用しデザインに取り組もうとしている。 (主学)学習発表会販売において「完売」を目指し、主体的に取り組もうとしている。 【評価資料】活動内容の様子、制作物	「カッティングボードづくり」作成 ・杉の5分板とベニヤ板を使った無駄の少ない材料取り ・1学期のまとめ	・材料の長さと、部品の長さを考えて、材料を切断する。 ・写真や動画で1学期を振り返ろう。

2学期	45	(知及技)使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができる。(高1段階Aイ(ア)エ) (思判表力)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。(高1段階Aイ(イ)ウ) (学・人)作業や実習などに達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技)「角のみ盤」「ほぞ切りカッタ」「丸鋸盤」を安全に活用しようとしている。 (思・判・表)効率性と安全性と確実性を両立して仕事を進めようとしている。 (主学)任された仕事内容を理解し、丁寧かつ確実性を上げようとしている。 【評価資料】活動内容の様子、制作物の仕上がり具合	「写真立て、時計、ミニ鉢、ミニ棚」作成 ・パネルソーを使って材料加工 ・ランダムサンダー(150番)	・パネルソー、ランダムサンダーの安全な使い方、片付け方。 ・パネルソーの操作の仕方、ボタンを押す手順を理解する。 ・加工した材料の数を数え、報告する。 ・ランダムサンダーを強く握り、保持する。
		(知及技)職業など卒業後の進路に必要となることについて理解することができる。(高1段階Cア) (思判表力)産業現場などのおける実習での自己の成長について考えたことを表現できる。(高1段階Cイ) (学・人)作業や実習などに達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技) 地域販売会に向けて、「販売に必要な物、スキル」等を考えようとしている。 (思・判・表)地域販売会に向けて、「販売に必要な物、スキル」等を考える発表でき、共有しようとしている。 (主学)職業の反省会では、意欲的な言葉で活動を振り返ろうとしている。 【評価資料】活動内容の様子	・工芸の杜作業場見学、講師による製作講習 ・見学、講習会に向けた事前学習、事後学習	・地域人材等の連携に向けた取組準備。 ・工芸の杜について調べ学習
		(知及技)職業生活を支える社会の仕組みなどの利用方法を理解できる。(高1段階Aイ(ア)イ) (思判表力)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。(高1段階Aイ(イ)ウ) (学・人)作業や実習などに達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技) 社会の仕組みの基礎：「生産」⇒「販売」⇒「収入」を理解し、活動に取り組もうとしている。 (思・判・表)「売れるためには？」を考え、見栄えを考えた値札などを情報機器を活用しデザインしようとしている。 (主学)学習発表会販売において「完売」を目指し、主体的に取り組もうとしている。 【評価資料】活動内容の様子、制作物	「子どもイス・テーブル」作成 ・サンダーがけ(400番) ・ランダムサンダー(400番) ・ボール盤による下穴あけ	・補助具のセッティング、片付け、整理。 ・サンダーの主体的な使用。 ・ボール盤で穴を開けるときの、正しい材料の押さえ方、操作方法。 ・仕上げた数の報告、材料の整理整頓
		(知及技)情報セキュリティー及び情報モラルについて知るとともに、表現、記録、計算、通信などに係るコンピュータなどの情報機器について、その特性や機能を知り、操作の仕方がわかり、扱うことができる。(高1段階Bア) (思判表力)情報セキュリティー及び情報モラルを踏まえ、コンピュータなどの情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表することができる。(高1段階Bイ) (学・人)作業や実習などに達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技) iPadを活用した写真撮影、PCへのデータ転送、文字入力を個々のやり方で達成しようとしている。 (思・判・表)取り込んだ画像や各氏名は「個人情報」と理解し、大切に扱う姿勢が見られ、設計図は「共有データ」と理解し、活用しようとしている。 (主学)仮名入力からローマ字入力と入力の仕方等、自らアップデートしようとしている。 【評価資料】活動内容の様子、製作物	・iPadに頑張った成果をエアドロップ ・頑張った成果の鑑賞会と報告	・日頃の頑張りを教師のiPadで撮影し、そのiPadから生徒自身で主体的に画像や動画を選択する。 ・選択した画像を個人のiPadにエアドロップ機能を使い、転送する。 ・頑張った成果を自らの操作で、閲覧する。
3学期	24	(知及技)作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業をすることができる。(高1段階Aイ(ア)オ) (思判表力)職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えることができる。(高1段階A(イ)エ) (学・人)作業や実習などに達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技) 任された仕事の理解・経験に伴った技量を用いようとしている。 (思・判・表)任された仕事に対し、向上心の見られる質問や報告をしようとしている。 (主学)様々な仕事を体験し、「やりたい仕事」を主体的に教師に伝えようとしている。 【評価資料】活動内容の様子、制作物	「学習発表会に向けて」 ・日頃の健康管理 ・制作物の最終仕上げ ・販売の礼儀、販売会実践 ・売り上げの確認 ・事後学習 「環境整備」 ・教室の清掃、分担区の清掃	・「販売会への取組」を目標とした、健康管理に向けて。 ・制作物の全てをチェックし、作品のサンプルと完成品のマッチングを行い、不具合の確認。 ・お客様に対する笑顔の確認。 ・余暇の過ごし方について、調整、給与の使い方。 ・清掃の手順を理解し、協力して活動を進めよう。
		(知及技)材料や育成する生き物等の特性や扱い方及び生産や生育活動などに関する技術について理解することができる。(高1段階Aイ(ア)ウ) (思判表力)生産や生育活動などに関する技術について考えることができる。(高1段階Aイ(イ)イ) (学・人)作業や実習などに達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技) 木材の木目や材料に対する強度を理解し、材料取りや組立を行おうとしている。 (思・判・表)木材の木目や材料に対する強度を理解し、見た目・強度を考えた組み立てに取り組もうとしている。 (主学)任された仕事内容を理解し、丁寧かつ確実性を上げようとしている。 【評価資料】活動内容の様子、制作物	「年間のまとめ」 ・使用可能な機械を使って ・作品の寸法を測ろう ・成果と課題 ・課題解決策を考える ・社会人として 「環境整備」 ・教室の清掃、分担区の清掃	・一人で安全に使用できる機械の確認、実践、思い出作品作り ・5や10と親しみやすい数字から寸法の計測を行う。 ・「1年間でできたこと」を写真や動画で確認する。 ・学年が上がると、職業班が変わることを確認する。 ・社会人としての8つの心得の確認。 ・皆で協力して、教室や分担区をきれいにする。
留意点 引継ぎ等		「勤労の意義」を常に意識・確認をしながら、授業進行を行う。 生徒たちの実践力の向上に向け、販売会を行う。			

令和　8年度　高等部　2年（Ⅱ課程B）　職業科（木工）　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	1名		無し

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技) 職業に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。（高1段階） (思判表力)将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を養う。（高1段階） (学･人)よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。（高1段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	36	(知及技)勤労の意義について理解することができる。(高1段階Aア(ア)) (思判表力)意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現できる。(高1段階Aア(イ)) (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技) 将来の収入と支出を考え、勤労の意義を理解しようとしている。 (思･判･表)任された役割を理解し、教師と相談して決めた目標に向かい、意欲的に取り組もうとしている。 (主学)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組もうとしている。 【評価資料】活動内容の様子	･オリエンテーション(4月) ･授業の目標や活動内容について ･職業の心得 ･環境問題とSDGs	･製作する木工作品･製作個数･製作工程を説明。 ･年間と授業への見通しが持てる説明。 ･「職業の8つの心得」の意味･社会人としての必要事項を説明。 ･木材という自然素材の有効活用方法の説明と無駄の少ない「材料取り」の実習。
		(知及技)職業生活に必要とされる実践的な知識及び技能を身につけることができる。(高1段階Aイ(ア)ア) (思判表力)作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現できる。(高1段階Aイ(イ)ア) (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技) サンダーやボール盤、パネルソ等基本的な機械を安全に取り扱おうとしている。 (思･判･表)任された仕事内容を理解し、達成個数を確認し、教師に報告しようとしている。 (主学)任された仕事内容を理解し、毎時間の課題量を更新しようとしている。 【評価資料】活動内容の様子、制作物の仕上がり具合	･身だしなみ･挨拶･言葉使い ･木工室の約束 ･報告、連絡、相談 ･家庭生活と職業生活について 「BOX、コースター、鍋敷き」作成 ･サンダーがけ(150番)	･職業の心得に対する実践的な取組と習慣化。 ･安全な作業に対する身だしなみについて。 ･木工室内でのルールの確認と実践。 ･補助具の形と材料の形のマッチング。 ･タイマーを活用したサンダーがけ。 ･ざらざらとツルツルで、判断しよう。
		(知及技)職業など卒業後の進路に必要となることについて理解することができる。(高1段階Cア) (思判表力)産業現場などにおける実習での自己の成長について考えたことを表現できる。(高1段階Cイ) (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知･技)卒業後の職業生活を見通した活動に取り組もうとしている。 (思･判･表)就業体験を通した実践を事後報告会などで発表しようとする。 (主学)作業や実習など実践で自ら取り組もうとしている。 【評価資料】活動内容の様子や、達成個数で評価	「校内にて販売会」 「校外にて販売会」 ･販売会に向けた宣伝活動と作品作り 「写真立て、時計、ミニ鉢」作成 ･サンダーがけ(400番)	･第1回地域連携に向けた取組準備。 ･納期に向けた、達成個数と材料個数のマッチング(数学的思考)。 ･材料の仕分けの仕方(必要個数で陳列)。 ･作品を丁寧に扱うこと。 ･出品する作品の拭き取りと、値札書き張り。 ･作品の整理と微調整。 ･より、ツルツルに仕上げよう。
		(知及技)職業生活を支える社会の仕組みなどの利用方法を理解できる。(高1段階Aイ(ア)イ) (思判表力)作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現できる。(高1段階Aイ(イ)ア) (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技) 社会の仕組みの基礎：「生産」⇒「販売」⇒「収入」を理解し、活動に取り組もうとしている。 (思･判･表)「売れるためには？」を考え、見栄えを考えた値札などを情報機器を活用しデザインに取り組もうとしている。 (主学)学習発表会販売において「完売」を目指し、主体的に取り組もうとしている。 【評価資料】活動内容の様子、制作物	「カッティングボードづくり」作成 ･杉の5分板とベニヤ板を使った無駄の少ない材料取り ･1学期のまとめ	･材料の長さと、部品の長さを考えて、材料を切断する。 ･写真や動画で1学期を振り返ろう。

2学期	45	(知及技)使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができる。(高1段階Aイ(ア)エ) (思判表力)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。(高1段階Aイ(イ)ウ) (学・人)作業や実習などに達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技)「角のみ盤」「ほぞ切りカッタ」「丸鋸盤」を安全に活用しようとしている。 (思・判・表)効率性と安全性と確実性を両立して仕事を進めようとしている。 (主学)任された仕事内容を理解し、丁寧かつ確実性を上げようとしている。 【評価資料】活動内容の様子、制作物の仕上がり具合	「写真立て、時計、ミニ鉢、ミニ棚」作成 ・パネルソーを使って材料加工 ・ランダムサンダー(150番)	・パネルソー、ランダムサンダーの安全な使い方、片付け方。 ・パネルソーの操作の仕方、ボタンを押す手順を理解する。 ・加工した材料の数を数え、報告する。 ・ランダムサンダーを強く握り、保持する。
		(知及技)職業など卒業後の進路に必要となることについて理解することができる。(高1段階Cア) (思判表力)産業現場などのおける実習での自己の成長について考えたことを表現できる。(高1段階Cイ) (学・人)作業や実習などに達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技) 地域販売会に向けて、「販売に必要な物、スキル」等を考えようとしている。 (思・判・表)地域販売会に向けて、「販売に必要な物、スキル」等を考える発表でき、共有しようとしている。 (主学)職業の反省会では、意欲的な言葉で活動を振り返ろうとしている。 【評価資料】活動内容の様子	・工芸の杜作業場見学、講師による製作講習 ・見学、講習会に向けた事前学習、事後学習	・地域人材等の連携に向けた取組準備。 ・工芸の杜について調べ学習
		(知及技)職業生活を支える社会の仕組みなどの利用方法を理解できる。(高1段階Aイ(ア)イ) (思判表力)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。(高1段階Aイ(イ)ウ) (学・人)作業や実習などに達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技) 社会の仕組みの基礎：「生産」⇒「販売」⇒「収入」を理解し、活動に取り組もうとしている。 (思・判・表)「売れるためには？」を考え、見栄えを考えた値札などを情報機器を活用しデザインしようとしている。 (主学)学習発表会販売において「完売」を目指し、主体的に取り組もうとしている。 【評価資料】活動内容の様子、制作物	「子どもイス・テーブル」作成 ・サンダーがけ(400番) ・ランダムサンダー(400番) ・ボール盤による下穴あけ	・補助具のセッティング、片付け、整理。 ・サンダーの主体的な使用。 ・ボール盤で穴を開けるときの、正しい材料の押さえ方、操作方法。 ・仕上げた数の報告、材料の整理整頓
		(知及技)情報セキュリティー及び情報モラルについて知るとともに、表現、記録、計算、通信などに係るコンピュータなどの情報機器について、その特性や機能を知り、操作の仕方がわかり、扱うことができる。(高1段階Bア) (思判表力)情報セキュリティー及び情報モラルを踏まえ、コンピュータなどの情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表することができる。(高1段階Bイ) (学・人)作業や実習などに達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技) iPadを活用した写真撮影、PCへのデータ転送、文字入力を個々のやり方で達成しようとしている。 (思・判・表)取り込んだ画像や各氏名は「個人情報」と理解し、大切に扱う姿勢が見られ、設計図は「共有データ」と理解し、活用しようとしている。 (主学)仮名入力からローマ字入力と入力の仕方等、自らアップデートしようとしている。 【評価資料】活動内容の様子、製作物	・iPadに頑張った成果をエアドロップ ・頑張った成果の鑑賞会と報告	・日頃の頑張りを教師のiPadで撮影し、そのiPadから生徒自身で主体的に画像や動画を選択する。 ・選択した画像を個人のiPadにエアドロップ機能を使い、転送する。 ・頑張った成果を自らの操作で、閲覧する。
3学期	24	(知及技)作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業をすることができる。(高1段階Aイ(ア)オ) (思判表力)職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えることができる。(高1段階A(イ)エ) (学・人)作業や実習などに達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技) 任された仕事の理解・経験に伴った技量を用いようとしている。 (思・判・表)任された仕事に対し、向上心の見られる質問や報告をしようとしている。 (主学)様々な仕事を体験し、「やりたい仕事」を主体的に教師に伝えようとしている。 【評価資料】活動内容の様子、制作物	「学習発表会に向けて」 ・日頃の健康管理 ・制作物の最終仕上げ ・販売の礼儀、販売会実践 ・売り上げの確認 ・事後学習 「環境整備」 ・教室の清掃、分担区の清掃	・「販売会への取組」を目標とした、健康管理に向けて。 ・制作物の全てをチェックし、作品のサンプルと完成品のマッチングを行い、不具合の確認。 ・お客様に対する笑顔の確認。 ・余暇の過ごし方について、調整、給与の使い方。 ・清掃の手順を理解し、協力して活動を進めよう。
		(知及技)材料や育成する生き物等の特性や扱い方及び生産や生育活動などに関する技術について理解することができる。(高1段階Aイ(ア)ウ) (思判表力)生産や生育活動などに関する技術について考えることができる。(高1段階Aイ(イ)イ) (学・人)作業や実習などに達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技) 木材の木目や材料に対する強度を理解し、材料取りや組立を行おうとしている。 (思・判・表)木材の木目や材料に対する強度を理解し、見た目・強度を考えた組み立てに取り組もうとしている。 (主学)任された仕事内容を理解し、丁寧かつ確実性を上げようとしている。 【評価資料】活動内容の様子、制作物	「年間のまとめ」 ・使用可能な機械を使って ・作品の寸法を測ろう ・成果と課題 ・課題解決策を考える ・社会人として 「環境整備」 ・教室の清掃、分担区の清掃	・一人で安全に使用できる機械の確認、実践、思い出作品作り ・5や10と親しみやすい数字から寸法の計測を行う。 ・「1年間でできたこと」を写真や動画で確認する。 ・学年が上がると、職業班が変わることを確認する。 ・社会人としての8つの心得の確認。 ・皆で協力して、教室や分担区をきれいにする。
留意点 引継ぎ等		「勤労の意義」を常に意識・確認をしながら、授業進行を行う。 生徒たちの実践力の向上に向け、販売会を行う。			

令和　8年度　高等部　3年（Ⅱ課程B）　職業科（木工）　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	5名		無し

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 職業に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。（高1段階） (思判表力)将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を養う。（高1段階） (学･人)よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。（高1段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	36	(知及技)勤労の意義について理解することができる。(高1段階Aア(ア)) (思判表力)意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現できる。(高1段階Aア(イ)) (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技) 将来の収入と支出を考え、勤労の意義を理解しようとしている。 (思･判･表)任された役割を理解し、教師と相談して決めた目標に向かい、意欲的に取り組もうとしている。 (主学)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組もうとしている。 【評価資料】活動内容の様子	･オリエンテーション(4月) ･授業の目標や活動内容について ･職業の心得 ･環境問題とSDGs	･製作する木工作品･製作個数･製作工程を説明。 ･年間と授業への見通しが持てる説明。 ･「職業の8つの心得」の意味･社会人としての必要事項を説明。 ･木材という自然素材の有効活用方法の説明と無駄の少ない「材料取り」の実習。
		(知及技)職業生活に必要とされる実践的な知識及び技能を身につけることができる。(高1段階Aイ(ア)ア) (思判表力)作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現できる。(高1段階Aイ(イ)ア) (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技) サンダーやボール盤、パネルソ等基本的な機械を安全に取り扱おうとしている。 (思･判･表)任された仕事内容を理解し、達成個数を確認し、教師に報告しようとしている。 (主学)任された仕事内容を理解し、毎時間の課題量を更新しようとしている。 【評価資料】活動内容の様子、制作物の仕上がり具合	･身だしなみ･挨拶･言葉使い ･木工室の約束 ･報告、連絡、相談 ･家庭生活と職業生活について 「BOX、コースター、鍋敷き」作成 ･サンダーがけ(150番)	･職業の心得に対する実践的な取組と習慣化。 ･安全な作業に対する身だしなみについて。 ･木工室内でのルールの確認と実践。 ･補助具の形と材料の形のマッチング。 ･タイマーを活用したサンダーがけ。 ･ざらざらとツルツルで、判断しよう。
		(知及技)職業など卒業後の進路に必要となることについて理解することができる。(高1段階Cア) (思判表力)産業現場などにおける実習での自己の成長について考えたことを表現できる。(高1段階Cイ) (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知･技)卒業後の職業生活を見通した活動に取り組もうとしている。 (思･判･表)就業体験を通した実践を事後報告会などで発表しようとする。 (主学)作業や実習など実践で自ら取り組もうとしている。 【評価資料】活動内容の様子や、達成個数で評価	「校内にて販売会」 「校外にて販売会」 ･販売会に向けた宣伝活動と作品作り 「写真立て、時計、ミニ鉢」作成 ･サンダーがけ(400番)	･第1回地域連携に向けた取組準備。 ･納期に向けた、達成個数と材料個数のマッチング(数学的思考)。 ･材料の仕分けの仕方(必要個数で陳列)。 ･作品を丁寧に扱うこと。 ･出品する作品の拭き取りと、値札書き張り。 ･作品の整理と微調整。 ･より、ツルツルに仕上げよう。
		(知及技)職業生活を支える社会の仕組みなどの利用方法を理解できる。(高1段階Aイ(ア)イ) (思判表力)作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現できる。(高1段階Aイ(イ)ア) (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技) 社会の仕組みの基礎：「生産」⇒「販売」⇒「収入」を理解し、活動に取り組もうとしている。 (思･判･表)「売れるためには？」を考え、見栄えを考えた値札などを情報機器を活用しデザインに取り組もうとしている。 (主学)学習発表会販売において「完売」を目指し、主体的に取り組もうとしている。 【評価資料】活動内容の様子、制作物	「カッティングボードづくり」作成 ･杉の5分板とベニヤ板を使った無駄の少ない材料取り ･1学期のまとめ	･材料の長さと、部品の長さを考えて、材料を切断する。 ･写真や動画で1学期を振り返ろう。

2学期	45	(知及技)使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができる。(高1段階Aイ(ア)エ) (思判表力)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。(高1段階Aイ(イ)ウ) (学・人)作業や実習などに達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技)「角のみ盤」「ほぞ切りカッタ」「丸鋸盤」を安全に活用しようとしている。 (思・判・表)効率性と安全性と確実性を両立して仕事を進めようとしている。 (主学)任された仕事内容を理解し、丁寧かつ確実性を上げようとしている。 【評価資料】活動内容の様子、制作物の仕上がり具合	「写真立て、時計、ミニ鉢、ミニ棚」作成 ・パネルソーを使って材料加工 ・ランダムサンダー(150番)	・パネルソー、ランダムサンダーの安全な使い方、片付け方。 ・パネルソーの操作の仕方、ボタンを押す手順を理解する。 ・加工した材料の数を数え、報告する。 ・ランダムサンダーを強く握り、保持する。
		(知及技)職業など卒業後の進路に必要となることについて理解することができる。(高1段階Cア) (思判表力)産業現場などのおける実習での自己の成長について考えたことを表現できる。(高1段階Cイ) (学・人)作業や実習などに達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技) 地域販売会に向けて、「販売に必要な物、スキル」等を考えようとしている。 (思・判・表)地域販売会に向けて、「販売に必要な物、スキル」等を考える発表でき、共有しようとしている。 (主学)職業の反省会では、意欲的な言葉で活動を振り返ろうとしている。 【評価資料】活動内容の様子	・工芸の杜作業場見学、講師による製作講習 ・見学、講習会に向けた事前学習、事後学習	・地域人材等の連携に向けた取組準備。 ・工芸の杜について調べ学習
		(知及技)職業生活を支える社会の仕組みなどの利用方法を理解できる。(高1段階Aイ(ア)イ) (思判表力)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。(高1段階Aイ(イ)ウ) (学・人)作業や実習などに達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技) 社会の仕組みの基礎：「生産」⇒「販売」⇒「収入」を理解し、活動に取り組もうとしている。 (思・判・表)「売れるためには？」を考え、見栄えを考えた値札などを情報機器を活用しデザインしようとしている。 (主学)学習発表会販売において「完売」を目指し、主体的に取り組もうとしている。 【評価資料】活動内容の様子、制作物	「子どもイス・テーブル」作成 ・サンダーがけ(400番) ・ランダムサンダー(400番) ・ボール盤による下穴あけ	・補助具のセッティング、片付け、整理。 ・サンダーの主体的な使用。 ・ボール盤で穴を開けるときの、正しい材料の押さえ方、操作方法。 ・仕上げた数の報告、材料の整理整頓
		(知及技)情報セキュリティー及び情報モラルについて知るとともに、表現、記録、計算、通信などに係るコンピュータなどの情報機器について、その特性や機能を知り、操作の仕方がわかり、扱うことができる。(高1段階Bア) (思判表力)情報セキュリティー及び情報モラルを踏まえ、コンピュータなどの情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表することができる。(高1段階Bイ) (学・人)作業や実習などに達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技) iPadを活用した写真撮影、PCへのデータ転送、文字入力を個々のやり方で達成しようとしている。 (思・判・表)取り込んだ画像や各氏名は「個人情報」と理解し、大切に扱う姿勢が見られ、設計図は「共有データ」と理解し、活用しようとしている。 (主学)仮名入力からローマ字入力と入力の仕方等、自らアップデートしようとしている。 【評価資料】活動内容の様子、製作物	・iPadに頑張った成果をエアドロップ ・頑張った成果の鑑賞会と報告	・日頃の頑張りを教師のiPadで撮影し、そのiPadから生徒自身で主体的に画像や動画を選択する。 ・選択した画像を個人のiPadにエアドロップ機能を使い、転送する。 ・頑張った成果を自らの操作で、閲覧する。
3学期	24	(知及技)作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業をすることができる。(高1段階Aイ(ア)オ) (思判表力)職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えることができる。(高1段階A(イ)エ) (学・人)作業や実習などに達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技) 任された仕事の理解・経験に伴った技量を用いようとしている。 (思・判・表)任された仕事に対し、向上心の見られる質問や報告をしようとしている。 (主学)様々な仕事を体験し、「やりたい仕事」を主体的に教師に伝えようとしている。 【評価資料】活動内容の様子、制作物	「学習発表会に向けて」 ・日頃の健康管理 ・制作物の最終仕上げ ・販売の礼儀、販売会実践 ・売り上げの確認 ・事後学習 「環境整備」 ・教室の清掃、分担区の清掃	・「販売会への取組」を目標とした、健康管理に向けて。 ・制作物の全てをチェックし、作品のサンプルと完成品のマッチングを行い、不具合の確認。 ・お客様に対する笑顔の確認。 ・余暇の過ごし方について、調整、給与の使い方。 ・清掃の手順を理解し、協力して活動を進めよう。
		(知及技)材料や育成する生き物等の特性や扱い方及び生産や生育活動などに関する技術について理解することができる。(高1段階Aイ(ア)ウ) (思判表力)生産や生育活動などに関する技術について考えることができる。(高1段階Aイ(イ)イ) (学・人)作業や実習などに達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技) 木材の木目や材料に対する強度を理解し、材料取りや組立を行おうとしている。 (思・判・表)木材の木目や材料に対する強度を理解し、見た目・強度を考えた組み立てに取り組もうとしている。 (主学)任された仕事内容を理解し、丁寧かつ確実性を上げようとしている。 【評価資料】活動内容の様子、制作物	「年間のまとめ」 ・使用可能な機械を使って ・作品の寸法を測ろう ・成果と課題 ・課題解決策を考える ・社会人として 「環境整備」 ・教室の清掃、分担区の清掃	・一人で安全に使用できる機械の確認、実践、思い出作品作り ・5や10と親しみやすい数字から寸法の計測を行う。 ・「1年間でできたこと」を写真や動画で確認する。 ・学年が上がると、職業班が変わることを確認する。 ・社会人としての8つの心得の確認。 ・皆で協力して、教室や分担区をきれいにする。
留意点 引継ぎ等		「勤労の意義」を常に意識・確認をしながら、授業進行を行う。 生徒たちの実践力の向上に向け、販売会を行う。			

令和8年度　高等部1年（Ⅱ課程B）　職業（窯業）　年間指導計画

単位数／配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	3名		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	（知及技）職業に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。（高1段階） （思判表力）将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を養う。（高1段階） （学・人）よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。（高1段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	36	(知及技）勤労の意義について理解することができる（高1段階Aア（ア）） (思判表力)意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現できる。（高1段階Aア（イ）） (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高1段階Aア（ウ））	(知・技）将来の収入と支出を考え、勤労の意義を理解しようとしている。 (思･判･表)任された役割を理解し、教師と相談して決めた目標に向かい、意欲的に取り組む姿勢が見られる。 (主学)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組む姿勢や言動がみられる。 【評価資料】活動内容の様子	・オリエンテーション ・授業の目標や活動内容・安全について ・職業の心得とその意味 ・機械や道具の安全と体験 ・身だしなみ	・年間販売計画の提示。 ・制作物作成納期と制作物の販売数と販売日、売上金との関係性を考える。 ・職業の心得の意義を考える。 ・機械や道具の安全な活用について。
		(知及技）職業生活における必要とされる実践的な知識及び技能を身につけることができる。（高1段階Aイ（ア）ア） （思判表力）作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現できる。（高1段階Aイ（イ）ア） (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高1段階Aア（ウ））	(知・技）粘土のタタラ板を作り、型に沿って切り抜き均一製品を作ろうとしている。 (思･判･表)任された仕事内容を理解し、達成個数を確認し、教師に報告する姿勢が見られる。 (主学)任された仕事内容を理解し、毎時間の課題量を更新しようとする姿勢が見られる。 【評価資料】活動内容の様子、制作物の仕上がり具合	・型を使った成形「小皿、大皿」 ・丸棒の活用 ・陶土作りと水ひ作業 ・けずり、底だし作業 ・釉薬の種類と準備 ・材料、道具、完成品の効率の良い陳列の仕方	・丸棒で均一な厚さの板作り ・成形に必要な道具について ・粘土を切り取る、けずる道具の扱いについて ・陶土を再生して活用する。 ・無駄な動線を少なくし、製品の破損のない陳列方法について ・「任された仕事」への誇り、「達成したとき」の連絡、「次の仕事等」の相談への習慣化に向けて。
		(知及技）使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができる。（高1段階Aイ（ア）エ） （思判表力）作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。（高1段階Aイ（イ）ウ） (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高1段階Aア（ウ））	(知・技）「石膏型」「手回しろくろ」「切り取り型」を正確に活用しようとする姿勢が見られる。 (思･判･表)効率性と安全性と確実性を両立して仕事を進めようとする姿勢が見られる。 (主学)任された仕事内容を理解し、丁寧かつ確実性を上げる姿勢が見られる。 【評価資料】活動内容の様子、制作物の仕上がり具合	・石膏型を使った成形「小鉢、平皿」 ・サンドペーパーによるけずり ・見当、型、量りを使い均一で正確な大きさ、重さを切り取る ・道具を使った表面の意匠を行う ・釉薬の施釉	・様々な形、大きさの石膏型に粘土の板を置く、乗せて成形する。 ・型に合わせた意匠で製作する。 ・スタンプ型や各種道具による皿や鉢の装飾。 ・製品に合う施釉を行う。
2学期	45	(知及技）作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業することができる。（高1段階Aイ（ア）オ） （思判表力）意欲や見通しを持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現できる。（高1段階Aア（イ） (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高1段階Aア（ウ））	(知・技）任された仕事を理解し、使用する道具や意匠を工夫し、取り組む様子が見られる。 (思･判･表)各班で任された仕事に誇りを持ち、成果を報告している。 (主学)任された仕事内容を理解し、丁寧かつ確実性を上げる姿勢が見られる。 【評価資料】活動内容の様子、制作物の仕上がり具合	「花瓶」「ペーパーウエイト」「置物」の作成を通して ・撥水剤塗り ・施釉（釉薬がけ）作業 ・手びねりでの製作 ・「大皿」「六角皿」 ・２種類の釉薬を使った釉薬がけ	・買う人の使用方法を考えた製品作りの理解について。 ・焼き物の焼成の理解について。 ・「素焼き」と「本焼き」の違いと必要性について。 ・釉薬の特性と焼成後の色の変化について ・２度がけによる釉薬の効果について
		(知及技）職業など卒業後の進路に必要となることについて理解できる。（高1段階Cア） （思判表力）産業現場等における実習での自己の成長について考えたことを表現できる。（高1段階Cイ） (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高1段階Aア（ウ））	(知・技）雑貨屋での納品、地域販売会に向けて、「販売に必要な物、スキル」等を考える様子が見られる。 (思･判･表)雑貨屋での納品、地域販売会に向けて、「販売に必要な物、スキル」等を考える発表でき、共有しようとする意識が見られる。 (主学)任された仕事内容を理解し、丁寧かつ確実性を上げる姿勢や言動が見られる。	・雑貨屋さんでの納品、地域の販売及び準備 ・目標個数に向けて製作物作成 ・「値段設定」と「材料代」と「技術料」との関係について	・「納品・販売」に必要な道具、「完売」するために必要な個人のスキルについて。 ・「目標個数製作」に向けて、作業のペース配分について考え、取り組み及び振り返り。 ・「値段設定」に向けて、消費者の購買意欲と「必要最低値段」の因果関係を考える。
		(知及技）材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解できる。（高1段階Aイ（ア）ウ） （思判表力）生産や生育活動等に関わる技術について考えることができる。（高1段階Cイ） (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高1段階Aア（ウ））	(知・技）磁器の特性や材料に対する強度を理解し、成形を行う姿勢が見られる。 (思･判･表)磁器の特性や材料に対する強度を理解し、見た目・味わいを考えた成形に取り組もうとする。 (主学)任された仕事内容を理解し、丁寧かつ確実性を上げる姿勢や言動が見られる。	「置物」「ランプシェード」の製作を通して ・「鋳型」を活用したで泥しょうでの製作 ・販売用袋の製作	・「学習発表会販売会」に向けて、目標達成個数に向けての活動。 ・鋳型に適量の泥しょうを流し込み均一な製品を作る。 ・「任された仕事」を理解し、主体的な活動の中で実習へ取り組む。

3学期	24	(知及技）職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法を理解することができる。（高1段階Aイ（ア）イ） （思判表力）情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表できる。（高1段階Bイ） (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高1段階Aア（ウ））

令和８年度　高等部2年（Ⅱ課程B）　職業（窯業）　年間指導計画

単位数／配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	3名		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	（知及技）職業に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。（高1段階） （思判表力）将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を養う。（高1段階） （学・人）よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。（高1段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	36	(知及技）勤労の意義について理解することができる（高1段階Aア（ア）） (思判表力)意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現できる。（高1段階Aア（イ）） (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高1段階Aア（ウ））	(知・技）将来の収入と支出を考え、勤労の意義を理解しようとしている。 (思･判･表)任された役割を理解し、教師と相談して決めた目標に向かい、意欲的に取り組む姿勢が見られる。 (主学)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組む姿勢や言動がみられる。 【評価資料】活動内容の様子	・オリエンテーション ・授業の目標や活動内容・安全について ・職業の心得とその意味 ・機械や道具の安全と体験 ・身だしなみ	・年間販売計画の提示。 ・制作物作成納期と制作物の販売数と販売日、売上金との関係性を考える。 ・職業の心得の意義を考える。 ・機械や道具の安全な活用について。
		(知及技）職業生活における必要とされる実践的な知識及び技能を身につけることができる。（高1段階Aイ（ア）ア） （思判表力）作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現できる。（高1段階Aイ（イ）ア） (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高1段階Aア（ウ））	(知・技）粘土のタタラ板を作り、型に沿って切り抜き均一製品を作ろうとしている。 (思･判･表)任された仕事内容を理解し、達成個数を確認し、教師に報告する姿勢が見られる。 (主学)任された仕事内容を理解し、毎時間の課題量を更新しようとする姿勢が見られる。 【評価資料】活動内容の様子、制作物の仕上がり具合	・型を使った成形「小皿、大皿」 ・丸棒の活用 ・陶土作りと水ひ作業 ・けずり、底だし作業 ・釉薬の種類と準備 ・材料、道具、完成品の効率の良い陳列の仕方	・丸棒で均一な厚さの板作り ・成形に必要な道具について ・粘土を切り取る、けずる道具の扱いについて ・陶土を再生して活用する。 ・無駄な動線を少なくし、製品の破損のない陳列方法について ・「任された仕事」への誇り、「達成したとき」の連絡、「次の仕事等」の相談への習慣化に向けて。
		(知及技）使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができる。（高1段階Aイ（ア）エ） （思判表力）作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。（高1段階Aイ（イ）ウ） (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高1段階Aア（ウ））	(知・技）「石膏型」「手回しろくろ」「切り取り型」を正確に活用しようとする姿勢が見られる。 (思･判･表)効率性と安全性と確実性を両立して仕事を進めようとする姿勢が見られる。 (主学)任された仕事内容を理解し、丁寧かつ確実性を上げる姿勢が見られる。 【評価資料】活動内容の様子、制作物の仕上がり具合	・石膏型を使った成形「小鉢、平皿」 ・サンドペーパーによるけずり ・見当、型、量りを使い均一で正確な大きさ、重さを切り取る ・道具を使った表面の意匠を行う ・釉薬の施釉	・様々な形、大きさの石膏型に粘土の板を置く、乗せて成形する。 ・型に合わせた意匠で製作する。 ・スタンプ型や各種道具による皿や鉢の装飾。 ・製品に合う施釉を行う。
2学期	45	(知及技）作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業することができる。（高1段階Aイ（ア）オ） （思判表力）意欲や見通しを持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現できる。（高1段階Aア（イ） (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高1段階Aア（ウ））	(知・技）任された仕事を理解し、使用する道具や意匠を工夫し、取り組む様子が見られる。 (思･判･表)各班で任された仕事に誇りを持ち、成果を報告している。 (主学)任された仕事内容を理解し、丁寧かつ確実性を上げる姿勢が見られる。 【評価資料】活動内容の様子、制作物の仕上がり具合	「花瓶」「ペーパーウエイト」「置物」の作成を通して ・撥水剤塗り ・施釉（釉薬がけ）作業 ・手びねりでの製作 ・「大皿」「六角皿」 ・２種類の釉薬を使った釉薬がけ	・買う人の使用方法を考えた製品作りの理解について。 ・焼き物の焼成の理解について。 ・「素焼き」と「本焼き」の違いと必要性について。 ・釉薬の特性と焼成後の色の変化について ・２度がけによる釉薬の効果について
		(知及技）職業など卒業後の進路に必要となることについて理解できる。（高1段階Cア） （思判表力）産業現場等における実習での自己の成長について考えたことを表現できる。（高1段階Cイ） (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高1段階Aア（ウ））	(知・技）雑貨屋での納品、地域販売会に向けて、「販売に必要な物、スキル」等を考える様子が見られる。 (思･判･表)雑貨屋での納品、地域販売会に向けて、「販売に必要な物、スキル」等を考える発表でき、共有しようとする意識が見られる。 (主学)任された仕事内容を理解し、丁寧かつ確実性を上げる姿勢や言動が見られる。	・雑貨屋さんでの納品、地域の販売及び準備 ・目標個数に向けて製作物作成 ・「値段設定」と「材料代」と「技術料」との関係について	・「納品・販売」に必要な道具、「完売」するために必要な個人のスキルについて。 ・「目標個数製作」に向けて、作業のペース配分について考え、取り組み及び振り返り。 ・「値段設定」に向けて、消費者の購買意欲と「必要最低値段」の因果関係を考える。
		(知及技）材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解できる。（高1段階Aイ（ア）ウ） （思判表力）生産や生育活動等に関わる技術について考えることができる。（高1段階Cイ） (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高1段階Aア（ウ））	(知・技）磁器の特性や材料に対する強度を理解し、成形を行う姿勢が見られる。 (思･判･表)磁器の特性や材料に対する強度を理解し、見た目・味わいを考えた成形に取り組もうとする。 (主学)任された仕事内容を理解し、丁寧かつ確実性を上げる姿勢や言動が見られる。	「置物」「ランプシェード」の製作を通して ・「鋳型」を活用したで泥しょうでの製作 ・販売用袋の製作	・「学習発表会販売会」に向けて、目標達成個数に向けての活動。 ・鋳型に適量の泥しょうを流し込み均一な製品を作る。 ・「任された仕事」を理解し、主体的な活動の中で実習へ取り組む。

3学期	24	(知及技）職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法を理解することができる。（高1段階Aイ（ア）イ） （思判表力）情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表できる。（高1段階Bイ） (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高1段階Aア（ウ）） (知及技）勤労の意義を理解することができる。（高1段階Aア（ア）） （思判表力）職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えることができる。（高1段階Aイ（イ）エ） (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高1段階Aア（ウ））	(知・技）社会の仕組みの基礎：「生産」⇒「販売」⇒「収入」を理解し、活動に取り組む様子が見られる。 (思･判･表)「売れるためには？」を考え、見栄えを考えた値札や掲示物、デザインなどを情報機器を活用し検索、デザインする姿勢が見られる。 (主学)任された仕事内容を理解し、丁寧かつ確実性を上げる姿勢や言動が見られる。 (知・技）将来の「自己実現」と「仕事による収入の違い」のバランスを考えた「自分だけの答え」を伝えようとする。 (思･判･表)稼いだ収入を計画通り活用でき、「健康管理」「勤労」「余暇」のサイクルを理解できる言動が見られる。 (主学)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組む姿勢や言動がみられる。	「学習発表会販売会」に向けた取り組み ・目標個数と各種値段設定などの因果関係 ・適切な収入を得るためには？ ・「収入の活用」と「余暇の過ごし方」についての検討会 ・収入の計画的な活用について ・活用した収入の振り返り	・「学習発表会販売会」に向けて、目標達成個数に向けての活動。 ・販売用の袋をのり貼り、スタンプによる装飾で製作し、実習へ取り組む。 ・収入を活用し、生徒個々で「やりたいこと」を考え、発表する。 ・班での「行動」のルールを考え、各自の考えを尊重しながら全体で「収入活用方法」を考え、決定する。 ・活用後の残額と振り返り。

令和８年度　高等部３年（Ⅱ課程B）　職業（窯業）　年間指導計画

単位数／配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	2名		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	（知及技）職業に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。（高1段階） （思判表力）将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を養う。（高1段階） （学・人）よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。（高1段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	36	(知及技）勤労の意義について理解することができる（高1段階Aア（ア）） (思判表力)意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現できる。（高1段階Aア（イ）） (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高1段階Aア（ウ））	(知・技）将来の収入と支出を考え、勤労の意義を理解しようとしている。 (思･判･表)任された役割を理解し、教師と相談して決めた目標に向かい、意欲的に取り組む姿勢が見られる。 (主学)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組む姿勢や言動がみられる。 【評価資料】活動内容の様子	・オリエンテーション ・授業の目標や活動内容・安全について ・職業の心得とその意味 ・機械や道具の安全と体験 ・身だしなみ	・年間販売計画の提示。 ・制作物作成納期と制作物の販売数と販売日、売上金との関係性を考える。 ・職業の心得の意義を考える。 ・機械や道具の安全な活用について。
		(知及技）職業生活における必要とされる実践的な知識及び技能を身につけることができる。（高1段階Aイ（ア）ア） （思判表力）作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現できる。（高1段階Aイ（イ）ア） (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高1段階Aア（ウ））	(知・技）粘土のタタラ板を作り、型に沿って切り抜き均一製品を作ろうとしている。 (思･判･表)任された仕事内容を理解し、達成個数を確認し、教師に報告する姿勢が見られる。 (主学)任された仕事内容を理解し、毎時間の課題量を更新しようとする姿勢が見られる。 【評価資料】活動内容の様子、制作物の仕上がり具合	・型を使った成形「小皿、大皿」 ・丸棒の活用 ・陶土作りと水ひ作業 ・けずり、底だし作業 ・釉薬の種類と準備 ・材料、道具、完成品の効率の良い陳列の仕方	・丸棒で均一な厚さの板作り ・成形に必要な道具について ・粘土を切り取る、けずる道具の扱いについて ・陶土を再生して活用する。 ・無駄な動線を少なくし、製品の破損のない陳列方法について ・「任された仕事」への誇り、「達成したとき」の連絡、「次の仕事等」の相談への習慣化に向けて。
		(知及技）使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができる。（高1段階Aイ（ア）エ） （思判表力）作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。（高1段階Aイ（イ）ウ） (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高1段階Aア（ウ））	(知・技）「石膏型」「手回しろくろ」「切り取り型」を正確に活用しようとする姿勢が見られる。 (思･判･表)効率性と安全性と確実性を両立して仕事を進めようとする姿勢が見られる。 (主学)任された仕事内容を理解し、丁寧かつ確実性を上げる姿勢が見られる。 【評価資料】活動内容の様子、制作物の仕上がり具合	・石膏型を使った成形「小鉢、平皿」 ・サンドペーパーによるけずり ・見当、型、量りを使い均一で正確な大きさ、重さを切り取る ・道具を使った表面の意匠を行う ・釉薬の施釉	・様々な形、大きさの石膏型に粘土の板を置く、乗せて成形する。 ・型に合わせた意匠で製作する。 ・スタンプ型や各種道具による皿や鉢の装飾。 ・製品に合う施釉を行う。
2学期	45	(知及技）作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業することができる。（高1段階Aイ（ア）オ） （思判表力）意欲や見通しを持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現できる。（高1段階Aア（イ） (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高1段階Aア（ウ））	(知・技）任された仕事を理解し、使用する道具や意匠を工夫し、取り組む様子が見られる。 (思･判･表)各班で任された仕事に誇りを持ち、成果を報告している。 (主学)任された仕事内容を理解し、丁寧かつ確実性を上げる姿勢が見られる。 【評価資料】活動内容の様子、制作物の仕上がり具合	「花瓶」「ペーパーウエイト」「置物」の作成を通して ・撥水剤塗り ・施釉（釉薬がけ）作業 ・手びねりでの製作 ・「大皿」「六角皿」 ・２種類の釉薬を使った釉薬がけ	・買う人の使用方法を考えた製品作りの理解について。 ・焼き物の焼成の理解について。 ・「素焼き」と「本焼き」の違いと必要性について。 ・釉薬の特性と焼成後の色の変化について ・２度がけによる釉薬の効果について
		(知及技）職業など卒業後の進路に必要となることについて理解できる。（高1段階Cア） （思判表力）産業現場等における実習での自己の成長について考えたことを表現できる。（高1段階Cイ） (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高1段階Aア（ウ））	(知・技）雑貨屋での納品、地域販売会に向けて、「販売に必要な物、スキル」等を考える様子が見られる。 (思･判･表)雑貨屋での納品、地域販売会に向けて、「販売に必要な物、スキル」等を考える発表でき、共有しようとする意識が見られる。 (主学)任された仕事内容を理解し、丁寧かつ確実性を上げる姿勢や言動が見られる。	・雑貨屋さんでの納品、地域の販売及び準備 ・目標個数に向けて製作物作成 ・「値段設定」と「材料代」と「技術料」との関係について	・「納品・販売」に必要な道具、「完売」するために必要な個人のスキルについて。 ・「目標個数製作」に向けて、作業のペース配分について考え、取り組み及び振り返り。 ・「値段設定」に向けて、消費者の購買意欲と「必要最低値段」の因果関係を考える。
		(知及技）材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解できる。（高1段階Aイ（ア）ウ） （思判表力）生産や生育活動等に関わる技術について考えることができる。（高1段階Cイ） (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高1段階Aア（ウ））	(知・技）磁器の特性や材料に対する強度を理解し、成形を行う姿勢が見られる。 (思･判･表)磁器の特性や材料に対する強度を理解し、見た目・味わいを考えた成形に取り組もうとする。 (主学)任された仕事内容を理解し、丁寧かつ確実性を上げる姿勢や言動が見られる。	「置物」「ランプシェード」の製作を通して ・「鋳型」を活用したで泥しょうでの製作 ・販売用袋の製作	・「学習発表会販売会」に向けて、目標達成個数に向けての活動。 ・鋳型に適量の泥しょうを流し込み均一な製品を作る。 ・「任された仕事」を理解し、主体的な活動の中で実習へ取り組む。

3 学 期		(知及技）職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法を理解することができる。（高1段階Aイ（ア）イ） （思判表力）情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表できる。（高1段階Bイ） (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高1段階Aア（ウ））	(知・技）社会の仕組みの基礎：「生産」⇒「販売」⇒「収入」を理解し、活動に取り組む様子が見られる。 (思･判･表)「売れるためには？」を考え、見栄えを考えた値札や掲示物、デザインなどを情報機器を活用し検索、デザインする姿勢が見られる。 (主学)任された仕事内容を理解し、丁寧かつ確実性を上げる姿勢や言動が見られる。	「学習発表会販売会」に向けた取り組み ・目標個数と各種値段設定などの因果関係 ・適切な収入を得るためには？	・「学習発表会販売会」に向けて、目標達成個数に向けての活動。 ・販売用の袋をのり貼り、スタンプによる装飾で製作し、実習へ取り組む。
	24	(知及技）勤労の意義を理解することができる。（高1段階Aア（ア）） （思判表力）職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えることができる。（高1段階Aイ（イ）エ） (学･人)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高1段階Aア（ウ））	(知・技）将来の「自己実現」と「仕事による収入の違い」のバランスを考えた「自分だけの答え」を伝えようとする。 (思･判･表)稼いだ収入を計画通り活用でき、「健康管理」「勤労」「余暇」のサイクルを理解できる言動が見られる。 (主学)作業や実習などに達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組む姿勢や言動がみられる。	・「収入の活用」と「余暇の過ごし方」についての検討会 ・収入の計画的な活用について ・活用した収入の振り返り	・収入を活用し、生徒個々で「やりたいこと」を考え、発表する。 ・班での「行動」のルールを考え、各自の考えを尊重しながら全体で「収入活用方法」を考え、決定する。 ・活用後の残額と振り返り。

令和８年度 高等部1年（Ⅱ課程B ） 職業科(農業班）年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	1年生　4 名		なし

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技）職業に関する事柄について理解するとともに，将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。（高1段階） (思判表力)将来の職業生活を見据え，必要な事柄を見いだして課題を設定し，解決策を考え，実践を評価し，表現する力を養う。(高１段階) (学･人)よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて，生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	36	(知及技) 勤労の意義を理解することができる。（高１段階Aア(ア)） (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。（高１段階Aア(イ)） (学･人) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高１段階Aア(ウ)	(知・技) 職業の授業の目的や内容について知り、服装を整えてミーティングに参加しようとしている。 (思･判･表) 本時の振り返りを行い、頑張ったことや改善点を自分の言葉で伝えようとしようとしている。 (主学) 働くことの大切さについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	オリエンテーション ・授業の目標と活動内容について ・職業の心得について ・挨拶 ・言葉遣い ・身だしなみ ・「報告・連絡・相談」	・教師の指示や説明をしっかり聞く。 ・授業の目標や活動内容について知り、学習の見通しを持つ。 ・職業の心得について学び、知る。 ・挨拶、言葉遣い、身だしなみ、連絡、報告等、を学ぶ。 ・基礎的な態度やマナーついて実践的な取り組みと習慣化を図る。 ・農業室や温室の使用法と約束について知る。
		(知及技) 材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解することができる。(高１段階Ａイ(ア)㋐) (思判表力) 生産や生育活動等に関わる技術について考えることができる。(高１段階Ａイ(イ)㋑) (学･人) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高１段階Ａア(ウ))	(知･技) 季節の野菜の植え付けや収穫、袋詰めの方法を理解しようとしている。 (思･判･表) 季節の野菜の栽培における丁寧な扱い方について、考え、身につけようとしている。 (主学) 生産物に興味を持ち、仲間と協力して主体的に活動に取り組もうとしている。	季節の野菜・草花の栽培 （５月～７月） ・野菜(ナス、ピーマン、オクラ 等) ・観葉植物 ・校外学習（買い物学習） ・調理実習	・植物の名前や種類について知る。 ・植物の丁寧な扱い方法について知り、実践する。 ・植物の植え付け、収穫、袋詰め等の手順について知り、実践する。 ・施肥の方法や効果について知り、実践する。 ・除草、灌水の方法を確認し、実践する。 ・生産物の販売を通して、販売の方法、接客態度について知り、実践する。 ・買い物学習や試食を通して、生産物の流通について学び、やりがいにつなげる。
2学期	45	(知及技) 職業生活に必要とされる実践的な知識及び技能を身に付けることができる。(高１段階Aイ(ア)㋐) (思判表力) 生産や生育活動等に関わる技術について考えることができる。（高１段階Aイ（イ）㋑) (学･人) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高１段階Ａア(ウ))	（知・技) 職業を行う際の準備、片付けの方法を学び、実践しようとしている。 (思・判・表) 野菜栽培に関わる技術と自分の課題について考えようとしている。 (主学) 作業時間を守り、主体的に実習に取り組もうとしている。	季節の野菜・草花の栽培 （９月～12月） ・野菜(ジャガイモ、タマネギ、ブロッコリー 等) ・草花(ベゴニア、パンジー 等) ・観葉植物	・植物の名前や種類について学ぶ。 ・植物の丁寧な扱い方法について知り、実践する。 ・植物の植え付け、収穫、袋詰め等の手順について知り、実践する。 ・施肥の方法や効果について知り、実践する。 ・除草、灌水の方法を確認し、実践する。 ・生産物の販売を通して、販売に必要なものや方法、接客態度について知り、実践する。
		(知及技) 情報セキュリティ及び情報モラルについて知るとともに、表現、記録、計算、通信等に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を知り、操作の仕方が分かり、扱うことができる。(高１段階Ｂア) (思判表力) 情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表することができる。(高１段階Ｂイ) (学･人) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高１段階Ａア(ウ))	(知・技) iPadを活用し、草花や野菜の栽培記録（静止画）の撮影、保存方法を知り、扱おうとしている (思･判･表) iPadを活用し、作物の生長や調理法を確認し、選択したり、自分の考えを伝えたりしている。 (主学) iPad等を活用し、他者の意見を参考にしながら実習を振り返り、生活に生かそうとしている。	POPおよびラベル作成 ・栽培品目のPOP作成 ・販売促進ポスターの作成 ・値札の作成 ・値札貼りの練習	・情報セキュリティ及び情報モラルについて知る。 ・情報機器の特性や機能を知り、操作する。 ・ICT機器を活用し、商品の写真を撮影しPOPや商品ラベル、販売促進ポスターを作成･発表する。

3学期	24	（知及技） 作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業することができる。（高１段階Ａイ（ア）㋐） (思判表力) 作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。（高１段階Aイ（イ）㋐） (学･人) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高１段階Ａア(ウ))	(知・技) 作業の確実性や持続性、巧緻性等の作業スキルの大切さを理解し、作業しようとしている。 (思･判･表) 作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ろうとしている。 (主学) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組もうとしている。	季節の野菜・草花の栽培（１月～３月） ・野菜(ジャガイモ、タマネギ､ブロッコリー 等) ・草花(ペゴニア、マリーゴールド 等) ・観葉植物	・植物の種類と栽培方法を知る。 ・播種、定植、収穫等の手順について知り、実践する。 ・施肥の方法や効果について知り､実践する。 ・生産物の販売を通して、販売に必要なものや方法、接客態度を知り、実践する。
		(知及技) 職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法を理解できる。（高１段階Aイ（ア）イ） (思判表力) 産業現場などにおける実習での自己の成長について考えたことを表現できる。（高1段階Cイ） (学･人) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高１段階Ａア(ウ))	(知･技) 生産物の販売を通して、販売に必要なものや方法、接客態度やマナーを学ぼうとしている。 (思･判･表) 学習発表会を通して、作業や実習において自己の成長や課題について振り返り、表現しようとしている。 (主学) 植物の生長を喜び、自信を持って販売会に参加し、より良い商品の販売方法を考えようとしている。	「学習発表会に向けて」(1月) ・健康管理 ・販売物の確認と準備 ・接客の基本とマナー ・販売会、事前事後学習、実践 ・買い物学習、調理実習（流通と消費について）	・「販売会への取組」を目標とした、健康管理について知る。 ・生産物の確認と収穫、調整、袋詰めの方法を知り、実践する。 ・お客様に対する礼儀や挨拶を学び、実践する。 ・お金の取扱方法について知る。 ・スーパーでの売り場の配置や生産物の値段を知る。 ・余暇の過ごし方や給与の使い方について考え、実践する。
		(知及技) 職業など卒業後の進路に必要となることについて理解することができる。（高1段階Cア） (思判表力) 職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方の工夫について考えることができる。（高１段階Aイ（イ）㋑） (学･人) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高１段階Aア(ウ))	(知・技) 職業や卒業後の進路(生活）について学び、理解しようとしている。 (思･判･表) 職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方の工夫について考えようとしている。 (主学) 作業や実習等に達成感を得て、学んだことを学習や生活に主体的に生かそうとしている。	年間のまとめ(3月) ・成果と課題 ・課題解決策を考える	・1年間の学習の振り返りを行いながら、自分の成長点や今後の課題点を確認し、卒業後の進路実現に向けて、課題改善策を考え、記録・発表する。
通年		(知及技) 使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができる。(高１段階Aイ(ア)㋑) （思判表力） 作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現することができる。（高1段階Aイ（イ）㋐） （学･人） 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高１段階Aア(ウ))	（知･技） 使用する道具の特性や扱い方を理解しようとし、作業課題に応じて正しく扱おうとしている。 （思･判･表） 作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現しようとしている。 （主学） 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組もうとしている。	環境整備（4月～３月） ・教室等清掃（テーブル拭き、机運び、ほうき、ゴミ集め、ダスターモップ、シュレッダー等） ・校内美化、装飾　等	・教室やﾜｰｸｽﾍﾟｰｽの清掃の方法を確認し、主体的に取り組む。 ・ゴミ等の分別の方法について学ぶ。 ・道具の正しい使い方を学び、繰り返し練習する。
留意点 引継ぎ等		【評価資料】活動の様子、聞き取り確認シート			

令和８年度 高等部２年（Ⅱ課程B ） 職業科(農業班）年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	2年生　２名		なし

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技）職業に関する事柄について理解するとともに，将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。（高１段階） (思判表力)将来の職業生活を見据え，必要な事柄を見いだして課題を設定し，解決策を考え，実践を評価し，表現する力を養う。(高１段階） (学･人)よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて，生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	36	(知及技) 勤労の意義を理解することができる。（高１段階Aア(ア)） (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。（高１段階Aア(イ)） (学･人) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高１段階Aア(ウ）	(知・技) 職業の授業の目的や内容について知り、服装を整えてミーティングに参加しようとしている。 (思･判･表) 本時の振り返りを行い、頑張ったことや改善点を自分の言葉で伝えようとしようとしている。 (主学) 働くことの大切さについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	オリエンテーション ・授業の目標と活動内容について ・職業の心得について ・挨拶 ・言葉遣い ・身だしなみ ・「報告・連絡・相談」	・教師の指示や説明をしっかり聞く。 ・授業の目標や活動内容について知り、学習の見通しを持つ。 ・職業の心得について学び、知る。 ・挨拶、言葉遣い、身だしなみ、連絡、報告等、を学ぶ。 ・基礎的な態度やマナーついて実践的な取り組みと習慣化を図る。 ・農業室や温室の使用法と約束について知る。
		(知及技) 材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解することができる。(高１段階Aイ(ア)㋐) (思判表力) 生産や生育活動等に関わる技術について考えることができる。(高１段階Aイ(イ)㋑) (学･人) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高１段階Aア(ウ))	(知･技) 季節の野菜の植え付けや収穫、袋詰めの方法を理解しようとしている。 (思･判･表) 季節の野菜の栽培における丁寧な扱い方について、考え、身につけようとしている。 (主学) 生産物に興味を持ち、仲間と協力して主体的に活動に取り組もうとしている。	季節の野菜・草花の栽培(５月～７月) ・野菜(ナス、ピーマン、オクラ 等) ・観葉植物 ・校外学習（買い物学習） ・調理実習	・植物の名前や種類について知る。 ・植物の丁寧な扱い方法について知り、実践する。 ・植物の植え付け、収穫、袋詰め等の手順について知り、実践する。 ・施肥の方法や効果について知り、実践する。 ・除草、灌水の方法を確認し、実践する。 ・生産物の販売を通して、販売の方法、接客態度について知り、実践する。 ・買い物学習や試食を通して、生産物の流通について学び、やりがいにつなげる。
2学期	45	(知及技) 職業生活に必要とされる実践的な知識及び技能を身に付けることができる。(高１段階Aイ(ア)㋐) (思判表力) 生産や生育活動等に関わる技術について考えることができる。（高１段階Aイ（イ）㋑) (学･人) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高１段階Aア(ウ))	（知・技） 職業を行う際の準備、片付けの方法を学び、実践しようとしている。 (思・判・表) 野菜栽培に関わる技術と自分の課題について考えようとしている。 (主学) 作業時間を守り、主体的に実習に取り組もうとしている。	季節の野菜・草花の栽培(９月～12月) ・野菜(ジャガイモ、タマネギ、ブロッコリー等) ・草花(ベゴニア、パンジー 等) ・観葉植物	・植物の名前や種類について学ぶ。 ・植物の丁寧な扱い方法について知り、実践する。 ・植物の植え付け、収穫、袋詰め等の手順について知り、実践する。 ・施肥の方法や効果について知り、実践する。 ・除草、灌水の方法を確認し、実践する。 ・生産物の販売を通して、販売に必要なものや方法、接客態度について知り、実践する。
		(知及技) 情報セキュリティ及び情報モラルについて知るとともに、表現、記録、計算、通信等に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を知り、操作の仕方が分かり、扱うことができる。(高１段階Bア) (思判表力) 情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表することができる。(高１段階Bイ) (学･人) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高１段階Aア(ウ))	(知・技) iPadを活用し、草花や野菜の栽培記録（静止画）の撮影、保存方法を知り、扱おうとしている (思･判･表) iPadを活用し、作物の生長や調理法を確認し、選択したり、自分の考えを伝えたりしている。 (主学) iPad等を活用し、他者の意見を参考にしながら実習を振り返り、生活に生かそうとしている。	POPおよびラベル作成 ・栽培品目のPOP作成 ・販売促進ポスターの作成 ・値札の作成 ・値札貼りの練習	・情報セキュリティ及び情報モラルについて知る。 ・情報機器の特性や機能を知り、操作する。 ・ICT機器を活用し、商品の写真を撮影しPOPや商品ラベル、販売促進ポスターを作成･発表する。

3 学 期	24	（知及技） 作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業することができる。（高１段階Ａイ（ア）㋐） （思判表力） 作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。（高１段階Aイ（イ）㋒） （学･人） 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高１段階Ａア(ウ)）	（知・技） 作業の確実性や持続性、巧緻性等の作業スキルの大切さを理解し、作業しようとしている。 （思･判･表） 作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ろうとしている。 （主学） 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組もうとしている。	季節の野菜・草花の栽培(１月～３月) ・野菜(ジャガイモ、タマネギ、ブロッコリー等) ・草花(ベゴニア、マリーゴールド 等) ・観葉植物	・植物の種類と栽培方法を知る。 ・播種、定植、収穫等の手順について知り、実践する。 ・施肥の方法や効果について知り､実践する。 ・生産物の販売を通して、販売に必要なものや方法、接客態度を知り、実践する。
		（知及技） 職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法を理解できる。（高１段階Ａイ（ア）イ） （思判表力） 産業現場などにおける実習での自己の成長について考えたことを表現できる。（高1段階Ｃイ） （学･人） 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高１段階Ａア(ウ)）	（知･技） 生産物の販売を通して、販売に必要なものや方法、接客態度やマナーを学ぼうとしている。 （思･判･表） 学習発表会を通して、作業や実習において自己の成長や課題について振り返り、表現しようとしている。 （主学） 植物の生長を喜び、自信を持って販売会に参加し、より良い商品の販売方法を考えようとしている。	「学習発表会に向けて」(1月) ・健康管理 ・販売物の確認と準備 ・接客の基本とマナー ・販売会、事前事後学習、実践 ・買い物学習、調理実習（流通と消費について）	・「販売会への取組」を目標とした、健康管理について知る。 ・生産物の確認と収穫、調整、袋詰めの方法を知り、実践する。 ・お客様に対する礼儀や挨拶を学び、実践する。 ・お金の取扱方法について知る。 ・スーパーでの売り場の配置や生産物の値段を知る。 ・余暇の過ごし方や給与の使い方について考え、実践する。
		（知及技） 職業など卒業後の進路に必要となることについて理解することができる。（高1段階Ｃア） （思判表力） 職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方の工夫について考えることができる。（高１段階Ａイ（イ）㋑） （学･人） 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高１段階Aア(ウ)）	（知・技） 職業や卒業後の進路(生活）について学び、理解しようとしている。 （思･判･表） 職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方の工夫について考えようとしている。 （主学） 作業や実習等に達成感を得て、学んだことを学習や生活に主体的に生かそうとしている。	年間のまとめ(3月) ・成果と課題 ・課題解決策を考える	・1年間の学習の振り返りを行いながら、自分の成長点や今後の課題点を確認し、卒業後の進路実現に向けて、課題改善策を考え、記録・発表する。
通 年		（知及技） 使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができる。(高１段階Ａイ(ア)㋑） （思判表力） 作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現することができる。（高1段階Ａイ（イ）㋐） （学･人） 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高１段階Aア(ウ)）	（知･技） 使用する道具の特性や扱い方を理解しようとし、作業課題に応じて正しく扱おうとしている。 （思･判･表） 作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現しようとしている。 （主学） 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組もうとしている。	環境整備（4月～３月） ・教室等清掃（テーブル拭き、机運び、ほうき、ゴミ集め、ダスターモップ、シュレッダー等） ・校内美化、装飾　等	・教室やﾜｰｸｽﾍﾟｰｽの清掃の方法を確認し、主体的に取り組む。 ・ゴミ等の分別の方法について学ぶ。 ・道具の正しい使い方を学び、繰り返し練習する。
留意点 引継ぎ等		【評価資料】活動の様子、聞き取り確認シート			

令和８年度 高等部３年（Ⅱ課程B ） 職業科(農業班）年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	３年生　１名		なし

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身につけるようにする。（高２段階） (思判表力)将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。（高２段階） (学･人)よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	36	(知及技) 勤労の意義について理解を深めることができる。（高２段階Aア(ア)） (思判表力) 目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。（高２段階Aア(イ)） (学･人) 作業や実習等を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高２段階Aア(ウ)）	(知・技) 職業の授業の目的や内容について知り、服装を整えてミーティングに参加しようとしている。 (思･判･表) 本時の振り返りを行い、頑張ったことや改善点を自分の言葉で伝えようとしようとしている。 (主学) 働くことの大切さについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	●オリエンテーション ・授業の目標と活動内容について ・職業の心得について ・挨拶 ・言葉遣い ・身だしなみ ・「報告・連絡・相談」	・教師の指示や説明をしっかり聞く。 ・授業の目標や活動内容について知り、学習の見通しを持つ。 ・職業の心得について学び、知る。 ・挨拶、言葉遣い、身だしなみ、連絡、報告等、を学ぶ。 ・基礎的な態度やマナーついて実践的な取り組みと習慣化を図る。 ・農業室や温室の使用法と約束について知る。
		(知及技) 材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解を深めることができる。(高２段階Aイ(ア)㋐) (思判表力) 生産や生育活動等に係る技術に込められた工夫について考えることができる。(高２段階Aイ(イ)㋑) (学･人) 作業や実習等を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高２段階Aア(ウ))	(知･技) 季節の野菜の植え付けや収穫、袋詰めの方法を理解しようとしている。 (思･判･表) 季節の野菜の栽培における丁寧な扱い方について、考え、身につけようとしている。 (主学) 生産物に興味を持ち、仲間と協力して主体的に活動に取り組もうとしている。	季節の野菜・草花の栽培(５月～７月) ・野菜(ナス、ピーマン、ゴーヤー 等) ・観葉植物 ・校外学習（買い物学習） ・調理実習	・植物の名前や種類について知る。 ・植物の丁寧な扱い方法について知り、実践する。 ・植物の植え付け、収穫、袋詰め等の手順について知り、実践する。 ・施肥の方法や効果について知り、実践する。 ・除草、灌水の方法を確認し、実践する。 ・生産物の販売を通して、販売の方法、接客態度について知り、実践する。 ・買い物学習や試食を通して、生産物の流通について学び、やりがいにつなげる。
2学期	45	(知及技) 職業生活に必要とされる実践的な知識を深め技能を身に付けることができる。(高２段階Aイ(ア)㋐) (思判表力) 生産や生育活動等に係る技術に込められた工夫について考えることができる。(高２段階Aイ(イ)㋑) (学･人) 作業や実習等を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高２段階Aア(ウ))	(知・技) 職業を行う際の準備、片付けの方法を学び、実践しようとしている。 (思・判・表) 野菜栽培に関わる技術と自分の課題について考えようとしている。 (主学) 作業時間を守り、主体的に実習に取り組もうとしている。	季節の野菜・草花の栽培(９月～12月) ・野菜(ジャガイモ、タマネギ、ブロッコリー等) ・草花(ベゴニア、パンジー 等) ・観葉植物	・植物の名前や種類について学ぶ。 ・植物の丁寧な扱い方法について知り、実践する。 ・植物の植え付け、収穫、袋詰め等の手順について知り、実践する。 ・施肥の方法や効果について知り、実践する。 ・除草、灌水の方法を確認し、実践する。 ・生産物の販売を通して、販売に必要なものや方法、接客態度について知り、実践する。
		(知及技) 情報セキュリティ及び情報モラルについて理解するとともに、表現、記録、計算、通信等に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を理解し、目的に応じて適切に操作しようとすることができる。(高２段階Bア) (思判表力) 情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことについて適切に表現しようとすることができる。(高２段階Bイ) (学･人) 作業や実習等を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高２段階Aア(ウ))	(知・技) iPadを活用し、草花や野菜の栽培記録（静止画）の撮影、保存方法を知り、扱おうとしている (思･判･表) iPadを活用し、作物の生長や調理法を確認し、選択したり、自分の考えを伝えたりしている。 (主学) iPad等を活用し、他者の意見を参考にしながら実習を振り返り、生活に生かそうとしている。	POPおよびラベル作成 ・栽培品目のPOP作成 ・販売促進ポスターの作成 ・値札の作成 ・値札貼りの練習	・情報セキュリティ及び情報モラルについて知る。 ・情報機器の特性や機能を知り、操作する。 ・ICT機器を活用し、商品の写真を撮影しPOPや商品ラベル、販売促進ポスターを作成･発表する。

3学期	24	（知及技） 作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業することができる。（高２段階Ａイ（ア）㋐） (思判表力) 作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、他者との協働により改善を図ることができる。(高２段階Ａイ(イ)㋒) (学･人) 作業や実習等を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高２段階Ａア(ウ))	(知・技) 作業の確実性や持続性、巧緻性等の作業スキルの大切さを理解し、作業しようとしている。 (思･判･表) 作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ろうとしている。 (主学) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組もうとしている。	季節の野菜・草花の栽培(１月～３月) ・野菜(ジャガイモ、タマネギ、ブロッコリー等) ・草花(ベゴニア、マリーゴールド 等) ・観葉植物	・植物の種類と栽培方法を知る。 ・播種、定植、収穫等の手順について知り、実践する。 ・施肥の方法や効果について知り､実践する。 ・生産物の販売を通して、販売に必要なものや方法、接客態度を知り、実践する。
		(知及技) 職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法について理解を深めること（高２段階Ａイ（ア）㋑） (思判表力) 産業現場等における実習で課題の解決について考えたことを表現できる。（高２段階Ｃイ） (学･人) 作業や実習等を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高２段階Aア(ウ))	(知･技) 生産物の販売を通して、販売に必要なものや方法、接客態度やマナーを学ぼうとしている。 (思･判･表) 学習発表会を通して、作業や実習において自己の成長や課題について振り返り、表現しようとしている。 (主学) 植物の生長を喜び、自信を持って販売会に参加し、より良い商品の販売方法を考えようとしている。	「学習発表会に向けて」(1月) ・健康管理 ・販売物の確認と準備 ・接客の基本とマナー ・販売会、事前事後学習、実践 ・買い物学習、調理実習（流通と消費について）	・「販売会への取組」を目標とした、健康管理について知る。 ・生産物の確認と収穫、調整、袋詰めの方法を知り、実践する。 ・お客様に対する礼儀や挨拶を学び、実践する。 ・お金の取扱方法について知る。 ・スーパーでの売り場の配置や生産物の値段を知る。 ・余暇の過ごし方や給与の使い方について考え、実践する。
		(知及技) 職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法について理解を深めることができる。 （高２段階Ａイ（ア）㋑） (思判表力) 職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方の工夫について考えることができる。 （高２段階Ａイ（イ）㋓） (学･人) 作業や実習等を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高２段階Ａア(ウ))	(知・技) 職業や卒業後の進路(生活）について学び、理解しようとしている。 (思･判･表) 職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方の工夫について考えようとしている。 (主学) 作業や実習等に達成感を得て、学んだことを学習や生活に主体的に生かそうとしている。	年間のまとめ(3月) ・成果と課題 ・課題解決策を考える	・1年間の学習の振り返りを行いながら、自分の成長点や今後の課題点を確認し、卒業後の進路実現に向けて、課題改善策を考え、発表する。
通年		(知及技) 使用する道具や機械等の特性や扱い方の理解を深め、作業課題に応じて効果的に扱うことができる。(高２段階Ａイ(ア)㋑) （思判表力) 作業や実習において、自ら適切な役割を見いだすとともに、自分の成長や課題について考え、表現することができる。（高２段階Ａイ（イ）㋐） （学･人) 作業や実習等を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高２段階Aア(ウ))	（知･技) 使用する道具の特性や扱い方を理解しようとし、作業課題に応じて正しく扱おうとしている。 （思･判･表) 作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現しようとしている。 （主学) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組もうとしている。	環境整備（4月～３月） ・教室等清掃（テーブル拭き、机運び、ほうき、ゴミ集め、ダスターモップ、シュレッダー等） ・校内美化、装飾　等	・教室やﾜｰｸｽﾍﾟｰｽの清掃の方法を確認し、主体的に取り組む。 ・ゴミ等の分別の方法について学ぶ。 ・道具の正しい使い方を学び、繰り返し練習する。
留意点 引継ぎ等		【評価資料】活動の様子、聞き取り確認シート			

令和　８年度　高等部　１年（Ⅱ課程Ａ）　家庭科　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
２／70	18名		くらしに役立つ家庭

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 家庭・家族の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。（高１段階） (思判表力)家族や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。（高１段階） (学･人)家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技)生活の中で食事が果たす役割について理解できる。（高1段階Bア（ア）） (思判表力)健康によい食習慣について考え、工夫することができる。（高1段階Bア（イ）） (学･人)よりよい食生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする態度を育てることができる。(高1段階Bア)	(知・技)食事は体を成長させ、元気に過ごすための規則正しい生活リズムをつくる役割があることについて理解しようとしている。 (思・判・表)健康によい食習慣について考え、食品の中に含まれる栄養素を知り、それらを組み合わせて献立を考え、発表しようとしている。 (主学)よりよい食生活の実現に向けて、好き嫌いをなくそうとしたり、朝食を欠かさず食べようとしたりしようとしている。	●オリエンテーション ●食事の役割 ・３つの食品群 ・栄養と食品の関係	・１年間で学習する主な内容や、学習のルールについて確認 ・食事がもたらす栄養面や精神面での役割について学ぶ ・食品の３つの役割と具体的な食品を理解し、分ける ・栄養素の働きと多く含まれる食品を理解する。 ・健康的な生活と望ましい食事との関わりについ理解する。できるだけ品数が多い献立の望ましさを理解する。
		(知及技)日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について知り、基礎的な日常食の調理ができる。（高1段階Bイ（ア）） (思判表力)基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、表現することができる。（高1段階Bイ（イ）） (学･人)よりよい食生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする態度を育てることができる。（高1段階Bイ）	(知・技)旬の食材や、季節の行事などを考慮した献立を調べたり、考えたりしようとしている。食中毒を防ぐための調理方法や冷蔵庫での保管の仕方について理解し、基礎的な日常食の調理をしようとしている。 (思・判・表)基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、グループで話し合おうとしている。 (主学)よりよい食生活の実現に向けて、学習したこと感想や、次に挑戦したい調理について発言しようとしている。	●日常食の調理 ・調理の流れ ・電子レンジや調理器具の安全な使い方 ・基礎的な調理の仕方 ・あと片付けの仕方 ・調理実習（野菜サラダ、卵料理、カット野菜を用いた料理） ・食事のマナーについて	・食事づくりの手順を知る ・調理したい献立を考えやり、調べたりする ・調理動画で手順を確認し、調理実習をする ・衛生的で安全な調理について実践的に学ぶ ・食品アレルギーや持病に配慮し、保護者と連携して調理計画をたてる ・周りの人と共に楽しく食べるときに気をつけることについて体験的に理解する
		(知及技)家族の生活と住空間の関わりや住居の基本的な機能について知ることができる。（高1段階Bオ（ア）） (思判表力)家族の安全や快適さを考えた住空間について考え、表現することができる。（高1段階Bオ（イ）） (学･人)よりよい住生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする態度を育てることができる。(高1段階Bオ)	(知・技)家族が安全で元気に過ごすために住まいの整え方や住居の基本的な機能について知ろうとしている。 (思・判・表)家族の安全や快適さを考えた住空間について調べたり考えたりし、それらを話し合おうとしている。 (主学)よりよい住生活の実現に向けて、学校生活でも換気や整理整頓を心がけようとしている。	●住居の基本的な機能と快適で安全な住まい方 ・住居の基本的な機能 ・太陽光と採光 ・掃除や整理・整頓 ・安全に住むために	・住居の基本的な機能について学ぶ ・太陽光がもたらす効果について知り、限られた環境の中で快適に住まう工夫について調べたり、話し合ったりする ・掃除の手順を理解し、高い所から低い所へと効率良く掃除する ・家庭内事故について、子どもや高齢者が多いことや、起きやすい場所について理解し、事故がおきないように工夫する
		(知及技)健康管理や余暇の有効な過ごし方について理解し、実践できる。（高1段階Aウ（ア）） (思判表力)健康管理や余暇の有効な過ごし方について考え、表現することができる。（高1段階Aウ（イ）） (学･人)よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする態度を身に付けることができる。(高1段階Aウ)	(知・技)家族が健康で気持ちよく過ごすためには、たくさんの仕事があり、家族が協力し合うことの大切さについて理解し、実践しようとしている。 (思・判・表)計画的な余暇の過ごし方について考え、仲間と話し合おうとしている。 (主学)よりよい生活の実現に向けて、自分の生活を振り返り、将来のためにがんばりたいことに挑戦しようとしている。	●家庭生活における健康管理と余暇 ・健康管理の大切さ ・余暇を楽しく過ごす ・人との付き合い	・健康的な生活を送るために、休養と食事と運動のバランスの大切さについて理解する ・自分の1日の過ごし方について見つめ直し、趣味や生きがいを持って生活するための工夫を考える ・訪問や来客の時にどんなマナーがあるか、調べたり話し合ったりして学ぶ

2学期	28	(知及技）衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解できる。（高１段階Bウ（ア）） (思判表力)衣服の選択について考え、工夫することができる。（高１段階Bウ（イ）） (学･人)よりよい衣生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする態度を育てることができる。（高１段階Bウ）	(知・技）きれいな衣服はまわりの人から見ても気持ちがよいことに気がつき、手入れの種類や方法を理解し、実践しようとしている。 (思・判・表)個性を衣服で表現したり、季節や気温、目的に合わせて衣服を選択しようとし、その過程で気がついたこと発表しようとしている。 (主学)衣服のサイズ表を確認し、自分に合ったサイズを選ぼうとしている。	●衣服の選択 ・季節の変化に応じた服装 ・TPOに合わせた服装 ・衣服の組み合わせとデザイン	・夏の暑さに合わせた素材や服装、冬の寒さに適した小物類等を学び、変化に応じて選択できるようにする ・所属や職業を表す服装、社会習慣に応じた服装等ｎ場面に応じてイラストや写真などからふさわしいものを選ぶ ・流行に流されず、場と目的に応じた衣服を選択することの大切さや購入について考える
		(知及技）目的に応じた縫い方及び用具の安全な取り扱いについて理解し、適切にすることができる。（高１段階B工（ア）） (思判表力)目的に応じた縫い方について考え、工夫することができる。（高１段階B工（イ）） (学･人)よりよい衣生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする態度を育てることができる。（高１段階エ）	(知・技）玉結びやなみぬいなど、基本的な手縫いができ、裁縫道具の名称と安全な使用方法を理解しようとしている。 (思・判・表)布を使って生活に役立つ小物づくりを通して、難しかったことやできるようになったことについて発表しようとしている。 (主学)よりよい衣生活の実現に向けて、次につくりたい小物をデザインしたり、お世話になった人へプレゼントしたりしようとしている。	●布を用いた製作 ・縫製道具の名称と安全な使い方 ・玉結びと玉留め、基礎縫い ・生活に役立つ小物の製作	・布を用いた製作に必要な道具の名称と安全な使用方法、保管方法について知る ・手縫いによる基礎縫いや、玉結び・玉留めを練習する ・生活に役立つ小物について、作ってみたいものを考え、手順を調べたり、話し合ったりする ・生活に役立つ小物を製作し、工夫した点や日常生活でどのように使用したいかについて発表する
		（知及技）乳幼児や高齢者などの生活の特徴，乳幼児や高齢者などとの関わり方について気付くことができる。（高１段階A工（ア）） (思判表力)乳幼児や高齢者などとのよりよい関わり方について考え、表現することができる。（高１段階A工（イ）） (学･人)多様な人々との、よりよい生活実現に向けて、生活を工夫し考えようとする態度を身に付けることができる。（高１段階A工）	（知・技）乳幼児や高齢者などの身体的な特徴について理解し、高校生との違いについて気がつこうとしている。 (思・判・表)乳幼児や高齢者などとの、交流する場面を想定し、よりよい関わり方について考えたり、調べたりしたことを、話し合おうとしている。 (主学)多様な人々とのよりよい生活実現に向けて、他者を思いやり、お互いの違いを尊重しようとする発言や、行動をしようとしている。	●乳幼児や高齢者などの生活 ・乳幼児や高齢者などの生活 ・幼児と高齢者との望ましい関わり方	・乳幼児と高齢者の身体的な特徴を学ぶ ・乳幼児や高齢者との交流場面を想定し、どのような関わり方が望ましいか話し合い発表する
3学期	18	(知及技)購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性に気が付くことができる。売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理ができる。（高１段階Cア（ア）） (思判表力)物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、表現することができる。（高１段階Cア（イ）） (学･人)よりよい消費生活の実現に向けて、工夫し、考えようとする態度を育てることができる。（高１段階Cア） (知及技)消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について気付くことができる。（高１段階Cイ（ア）） (思判表力)身近な消費生活について、自立した消費者として責任のある消費行動を考え、表現することができる。（高１段階Cイ（イ）） (学･人)よりよい消費生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする態度を身に付けることができる。（高１段階Cイ）	(知・技)働くことによって給料をもらうと共に、納めた税金が公共サービスなどに使われ、私たちの生活を豊かにしようとしていることを理解しようとしている。購入方法や支払い方法の違いを理解し、無駄遣いをせず、記録をつけるなど工夫し、お金を貯めようとしている。売買契約の仕組み、消費者トラブルの事例と対処法について理解し、契約や購入するときは比較したり相談したりすることの大切さを学ぼうとしている。 (思・判・表)若者や知的障害者が巻き込まれやすい詐欺やデート商法についてロールプレイする中で、相手にはっきりと断ろうとしている。 (主学)よりよい消費生活の実現に向けて、「うまい話は詐欺を疑う」という批判的な姿勢を持ち、消費生活センターや保護者、信頼できる大人に相談しようとしている。 (知・技)成人年齢引き下げにより、契約には責任が伴うことや、クーリングオフ制度などの権利があることを知ろうとしている。 (思・判・表)資源には限りがあり、使い捨てやフードロスなどの身近な課題と解決策について話し合おうとしている。 (主学)持続可能な社会の実現に向けて、環境に配慮した生活をしようと発言したり、行動したりしようとしている。	●消費生活 ・仕事とお金 ・家庭のお金の出入り ・お金の計画 ・購入方法を知る ・消費者トラブルの事例と対処法 ・消費生活センター ●消費者の基本的な権利と責任 ・成人年齢引き下げについて ・環境を考えて生活しよう ・４Rとは ・グリーンコンシューマーになろう	・働くことによってお金をもらい嬉しい気持ちや、自分が世の中の役に立っている気持ちを想像し、働いて得るお金の大切さに気づく ・家計から出て行くお金の種類や、口座引き落としのように現金を直接とりあつかわないお金のやり取りがあることを知る ・様々な購入方法と特徴を比較しながら理解する ・若者や知的障害者が巻き込まれやすいクリック詐欺やデート商法等について、ロールプレイを通して対処法を学んだり、専門家を活用して相談先で相談する練習をしたりして対処法を学ぶ ・成人年齢引き下げによりできることが増えたが、その分責任が伴うことも知り、安易な契約は絶対にしない、保護者や信頼できる大人に日頃から相談する意識を持つ ・生活が環境に与える影響について視覚的に捉え、持続可能な社会の実現に向けて、できそうな目標から実践する意欲を持つ
留意点 引継等					

令和８年度　高等部　２年（Ⅱ課程Ａ）　家庭科　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
２／70	24名		くらしに役立つ家庭

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

(知及技) 家庭・家族の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。（高１段階）
(思判表力)家族や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。（高１段階）
(学･人)家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
１学期	24	(知及技)生活の中で食事が果たす役割について理解できる。（高1段階Bア（ア）） (思判表力)健康によい食習慣について考え、工夫することができる。（高1段階Bア（イ）） (学･人)よりよい食生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする態度を育てることができる。（高1段階Bア）	(知・技)食事は体を成長させ、元気に過ごすための規則正しい生活リズムをつくる役割があることについて理解しようとしている。 (思・判・表)健康によい食習慣について考え、食品の中に含まれる栄養素を知り、それらを組み合わせて献立を考え、発表しようとしている。 (主学)よりよい食生活の実現に向けて、好き嫌いをなくそうとしたり、朝食を欠かさず食べようとしたりしようとしている。	●オリエンテーション ●食事の役割 ・三色食品群 ・足りない栄養と食品を組み合わせる	・１年間で学習する主な内容や、学習のルールについて確認 ・食事がもたらす栄養面や精神面での役割について学ぶ ・三色の役割と具体的な食品を理解し、分ける ・栄養素の働きと多く含まれる食品を理解する。 ・１食分の献立から、足りない栄養について気づき、補うための食品を具体的に考える
		(知及技)日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について知り、基礎的な日常食の調理ができる。（高1段階Bイ（ア）） (思判表力)基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、表現することができる。（高1段階Bイ（イ）） (学･人)よりよい食生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする態度を育てることができる。（高1段階Bイ）	(知・技)旬の食材や、季節の行事などを考慮した献立を調べたり、考えたりしようとしている。食中毒を防ぐための調理方法や冷蔵庫での保管の仕方について理解し、基礎的な日常食の調理をしようとしている。 (思・判・表)基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、グループで話し合おうとしている。 (主学)よりよい食生活の実現に向けて、学習したこと感想や、次に挑戦したい調理について発言しようとしている。	●日常食の調理 ・調理の流れ ・電子レンジや調理器具の安全な使い方 ・基礎的な調理の仕方 ・あと片付けの仕方 ・調理実習（ピザトースト、卵料理、カット野菜を用いた料理） ・食中毒について	・食事づくりの手順を知る ・調理したい献立を考えやり、調べたりする ・調理動画で手順を確認し、調理実習をする ・衛生的で安全な調理について実践的に学ぶ ・食品アレルギーや持病に配慮し、保護者と連携して調理計画をたてる ・食中毒を予防するために気をつけることを具体的に学ぶ
		(知及技)家族の生活と住空間の関わりや住居の基本的な機能について知ることができる。（高1段階Bオ（ア）） (思判表力)家族の安全や快適さを考えた住空間について考え、表現することができる。（高1段階Bオ（イ）） (学･人)よりよい住生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする態度を育てることができる。（高1段階Bオ）	(知・技)家族が安全で元気に過ごすために住まいの整え方や住居の基本的な機能について知ろうとしている。 (思・判・表)家族の安全や快適さを考えた住空間について調べたり考えたりし、それらを話し合おうとしている。 (主学)よりよい住生活の実現に向けて、学校生活でも換気や整理整頓を心がけようとしている。	●住居の基本的な機能と快適で安全な住まい方 ・住居の基本的な機能 ・室温、湿度、空気の流れ ・掃除や整理・整頓 ・安全に住むために	・住居の基本的な機能について学ぶ ・限られた環境の中で暑さ寒さの調節する工夫について、調べたり、話し合ったりする ・掃除の手順を理解し、高い所から低い所へと効率良く掃除する ・家庭内事故について、子どもや高齢者が多いことや、起きやすい場所について理解し、事故がおきないように工夫する
		(知及技)健康管理や余暇の有効な過ごし方について理解し、実践できる。（高1段階Aウ（ア）） (思判表力)健康管理や余暇の有効な過ごし方について考え、表現することができる。（高1段階Aウ（イ）） (学･人)よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする態度を身につけることができる。（高1段階Aウ）	(知・技)家族が健康で気持ちよく過ごすためには、たくさんの仕事があり、家族が協力し合うことの大切さについて理解し、実践しようとしている。 (思・判・表)計画的な余暇の過ごし方について考え、仲間と話し合おうとしている。 (主学)よりよい生活の実現に向けて、自分の生活を振り返り、将来のためにがんばりたいことに挑戦しようとしている。	●家庭生活における健康管理と余暇 ・健康管理の大切さ ・余暇を楽しく過ごす ・家庭での役割	・健康的な生活を送るために、休養と食事と運動のバランスの大切さについて理解する ・自分の1日の過ごし方について見つめ直し、趣味や生きがいを持って生活するための工夫を考える ・家庭での生活を振り返り、自分でできていること、できそうなことについて考える
２学期	28	(知及技) 衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解できる。（高１段階Bウ（ア）） (思判表力)衣服の選択について考え、工夫することができる。（高１段階Bウ（イ）） (学･人)よりよい衣生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする態度を育てることができる。（高１段階Bウ）	(知・技) きれいな衣服はまわりの人から見ても気持ちがよいことに気がつき、手入れの種類や方法を理解し、実践しようとしている。 (思・判・表)個性を衣服で表現したり、季節や気温、目的に合わせて衣服を選択しようとし、その過程で気がついたこと発表しようとしている。 (主学)衣服のサイズ表を確認し、自分に合ったサイズを選ぼうとしている。	●衣服の選択 ・季節の変化に応じた服装 ・TPOに合わせた服装 ・衣類の表示について	・夏の暑さに合わせた素材や服装、冬の寒さに適した小物類等を学び、変化に応じて選択できるようにする ・所属や職業を表す服装、社会習慣に応じた服装等ｎ場面に応じてイラストや写真などからふさわしいものを選ぶ ・衣類表示の存在に気づき、自分にあったサイズを選べるようにする
		(知及技) 目的に応じた縫い方及び用具の安全な取り扱いについて理解し、適切にすることができる。（高１段階Bエ（ア）） (思判表力)目的に応じた縫い方について考え、工夫することができる。（高１段階Bエ（イ）） (学･人)よりよい衣生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする態度を育てることができる。（高１段階エ）	(知・技) 玉結びやなみぬいなど、基本的な手縫いができ、裁縫道具の名称と安全な使用方法を理解しようとしている。 (思・判・表)布を使って生活に役立つ小物づくりを通して、難しかったことやできるようになったことについて発表しようとしている。 (主学)よりよい衣生活の実現に向けて、次につくりたい小物をデザインしたり、お世話になった人へプレゼントしたりしようとしている。	●布を用いた製作 ・縫製道具の名称と安全な使い方 ・ボタン付け、基礎縫い ・生活に役立つ小物の製作	・布を用いた製作に必要な道具の名称と安全な使用方法、保管方法について知る ・手縫いによる基礎縫いや、ボタン付けを練習する ・生活に役立つ小物について、作ってみたいものを考え、手順を調べたり、話し合ったりする ・生活に役立つ小物を製作し、工夫した点や日常生活でどのように使用したいかについて発表する
		(知及技) 乳幼児や高齢者などの生活の特徴，乳幼児や高齢者などとの関わり方について気づくことができる。（高１段階Aエ（ア）） (思判表力)乳幼児や高齢者などとのよりよい関わり方について考え、表現することができる。（高１段階Aエ（イ）） (学･人)多様な人々との、よりよい生活実現に向けて、生活を工夫し考えようとする態度を身に付けることができる。（高１段階Aエ）	(知・技) 乳幼児や高齢者などの身体的な特徴について理解し、高校生との違いについて気がつこうとしている。 (思・判・表)乳幼児や高齢者などとの、交流する場面を想定し、よりよい関わり方について考えたり、調べたりしたことを、話し合おうとしている。 (主学)多様な人々とのよりよい生活実現に向けて、他者を思いやり、お互いの違いを尊重しようとする発言や、行動をしようとしている。	●乳幼児や高齢者などの特徴 ・乳幼児や高齢者などの生活 ・幼児と高齢者との望ましい関わり方	・乳幼児と高齢者の身体的な特徴を学ぶ ・高齢者や乳幼児との関わり方や、楽しく共に過ごす場合について調べたり、考えたりし、発表する

3学期	18	(知及技)購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性に気がつく。売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理ができる。（高１段階Cア（ア）） (思判表力)物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、表現することができる。（高１段階Cア（イ）） (学･人)よりよい消費生活の実現に向けて、工夫し、考えようとする態度を身に付けることができる。（高１段階Cア）	(知・技)働くことによって給料をもらうと共に、納めた税金が公共サービスなどに使われ、私たちの生活を豊かにしようとしていることを理解しようとしている。購入方法や支払い方法の違いを理解し、無駄遣いをせず、記録をつけるなど工夫し、お金を貯めようとしている。売買契約の仕組み、消費者トラブルの事例と対処法について理解し、契約や購入するときは比較したり相談したりすることの大切さを学ぼうとしている。 (思・判・表)若者や知的障害者が巻き込まれやすい詐欺やデート商法についてロールプレイする中で、相手にはっきりと断ろうとしている。 (主学)よりよい消費生活の実現に向けて、「うまい話は詐欺を疑う」という批判的な姿勢を持ち、消費生活センターや保護者、信頼できる大人に相談しようとしている。	●消費生活 ・お金と物・サービス ・家計簿をつける ・購入方法を知る ・消費者トラブルの事例と対処法 ・消費生活センター	・家計、企業、政府による経済活動を行う３つのまとまりを知り、この３つの経済主体の間でお金や物・サービスが回っていることに気づく ・家計から出て行くお金の種類や、口座引き落としのように現金を直接とりあつかわないお金のやり取りがあることを知る ・家計簿アプリや簡単な家計簿を活用してむだづかいをせず、大切にお金を使えるようにする ・様々な購入方法と特徴を比較しながら理解する ・若者や知的障害者が巻き込まれやすいクリック詐欺やデート商法等について、ロールプレイを通して対処法を学んだり、専門家を活用して相談先で相談する練習をしたりして対処法を学ぶ
		(知及技)消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について気づくことができる。（高１段階Cイ（ア）） (思判表力)身近な消費生活について、自立した消費者として責任のある消費行動を考え、表現することができる。（高１段階Cイ（イ）） (学･人)よりよい消費生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする態度を身に付けることができる。（高１段階Cイ）	(知・技)成人年齢引き下げにより、契約には責任が伴うことや、クーリングオフ制度などの権利があることを知ろうとしている。 (思・判・表)資源には限りがあり、使い捨てやフードロスなどの身近な課題と解決策について話し合おうとしている。 (主学)持続可能な社会の実現に向けて、環境に配慮した生活をしようと発言したり、行動したりしようとしている。	●消費者の基本的な権利と責任 ・成人年齢引き下げについて ・環境を考えて生活しよう ・４Rとは ・グリーンコンシューマーになろう	・成人年齢引き下げによりできることが増えたが、その分責任が伴うことも知り、安易な契約は絶対にしない、保護者や信頼できる大人に日頃から相談する意識を持つ ・生活が環境に与える影響について視覚的に捉え、持続可能な社会の実現に向けて、できそうな目標から実践する意欲を持つ
留意点引継等					

令和８年度　高等部　３年（Ⅱ課程Ａ）　家庭科　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
２／70	24名		くらしに役立つ家庭

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

(知及技)・家庭・家族の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。（高２段階）
(思判表力)・家族や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。（高２段階）
(学･人)・家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技)自分に必要な栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的な特徴を理解できる。（高2段階Bア（ア）） (思判表力)一日分の献立について考え、工夫ことができる。（高2段階Bア（イ）） (学･人)必要な栄養を満たせているか、常に確認することができる。（高２段階Bア）	(知・技)三色食品群の働きと具体的な食品について理解し、特徴ごとに分類しようとしている。 (思・判・表)高校生に必要な栄養を理解し、望ましい１食分の献立について考え、工夫し、発表しようとしている。 (主学)自分の食生活を振り返り、必要な栄養を満たし、健康的な食生活を送れているか、常に確認しようとしている。	●オリエンテーション ●必要な栄養を満たす食事 ・食事の役割 ・三色食品群 ・望ましい献立と食生活	・１年間で学習する主な内容や、学習のルールについて確認 ・食事がもたらす栄養面や精神面での役割について学ぶ ・三色食品群の役割と具体的な食品を理解し、分ける ・高校生に必要な栄養を理解し、望ましい１食分の献立を考える ・自分の食生活を振り返り、健康的な生活と望ましい食事との関わりについ理解する
		(知及技)日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について理解し、基礎的な日常食の調理ができる。（高2段階Bイ（ア）） (思判表力)基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、表現ことができる。（高2段階Bイ（イ）） (学･人)調理を工夫するための情報を得ようとすることができる。（高2段階Bイ）	(知・技)自らの食生活に関連付け、調理内容に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した調理方法について理解し、基礎的な日常食の調理をしようとしている。 (思・判・表)基礎的な日常食や郷土料理の調理について、食品や材料の選択、調理方法、調理手順を調べて表現し、発表しようとしている。 (主学)消費期限と賞味期限の違いや、食品アレルギーの概要など、食に関する情報を得ながら安全な調理について実践的に学ぼうとしている。	●日常食の調理 ・消費期限と賞味期限 ・電子レンジや調理器具の安全な使い方 ・調理実習（弁当づくり、卵料理、カット野菜を用いた料理） ・行事食、郷土料理について	・消費期限と賞味期限の特徴を知り、確認する大切さを理解する ・調理したい献立を考えたり、調べたりする ・調理動画で手順を確認し、調理実習をする ・衛生的で安全な調理について実践的に学ぶ ・食品アレルギーや持病に配慮し、保護者と連携して調理計画をたてる ・沖縄や地域の伝統的な料理について歴史にふれながら学ぶ
		(知及技)家族の生活と住空間の関わりや住居の基本的な機能について知ることができる。（高2段階Bオ（ア）） (思判表力)家族の安全や快適さを考えた住空間の整え方について考え、工夫することができる。（高2段階Bオ（イ）） (学･人)よりよい住生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を育てることができる。(高２段階Bオ)	(知・技)家族が健康で快適に過ごすために、換気や採光など室内環境の整え方について知ろうとしている。 (思・判・表)身近な家庭内事故について知り、原因・予防・改善策を考えたり調べたりし、発表しようとすることができる。 (主学)沖縄の気候や地理的な特徴を理解し、風土に合った住まい方を工夫し考えようとしている。	●住居の基本的な機能と快適で安全な住まい方 ・住居の基本的な機能 ・快適で安全な住まい方 ・家族の安全や快適さ ・沖縄の風土に合った住まい方	・住居の基本的な機能について学ぶ ・限られた環境の中で、より快適で安全な住まい方について調べたり、話し合ったりして工夫する ・沖縄の地理的な特徴を理解し、風土に合った住まい方について考える
		(知及技)健康管理や余暇の有効な過ごし方について理解を深め、実践できる。（高2段階Aウ（ア）） (思判表力)健康管理や余暇の有効な過ごし方について考え、工夫することができる。（高2段階Aウ（イ）） (学･人)よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を身につけることができる。(高２段階Aウ)	(知・技)健康管理の方法や、自分に合った余暇の有効な過ごし方について理解を深め、実践しようとしている。 (思・判・表)健康管理や余暇の有効な過ごし方について考え、工夫しようと思うことを伝え合おうとしている。 (主学)よりよい生活の実現に向けて、学習で身についたことを家庭生活や学校生活で生かそうとする意欲を持ち、発言をしている。実践的な態度を身につけようとしている。	●家庭生活における健康管理と余暇 ・健康管理の大切さ ・余暇の過ごし方 ・自立にむけて	・健康的な生活を送るために、休養と食事と運動のバランスの大切さについて理解する ・自分の1日の過ごし方について見つめ直し、趣味や生きがいを持って生活するための工夫を考える ・家事の中で自分ができること、これから挑戦したいことを整理し、自立にむけてできることから挑戦し続ける態度を養う
2学期	28	(知及技) 衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解し、適切にできる。（高2段階Bウ（ア）） (思判表力)衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて考え、工夫することができる。（高2段階Bウ（イ）） (学･人)よりよい衣生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を身につけることができる。（高２段階Bウ）	(知・技) 日常着の洗濯やアイロンの方法を知り、衛生的で清潔感のある着こなしをしようとしている。 (思・判・表)衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて考え、工夫したいことを話し合おうとしている。 (主学)よりよい衣生活の実現に向けて、学習で身につけたことを学校や休日で生かそうとしている。	●衣服の手入れ ・清潔感と衣服の手入れ ・シミ落としとアイロン ・個性とTPO	・良い印象を相手に与えるために、清潔感が大切であることを視覚的に学ぶ ・衣服を清潔で快適な状態に保つための工夫や、家電の安全な使用方法について実践的に体得する ・場と目的に応じた衣服を選択することの大切さや、その中で個性を表現することの楽しさについて考え、表現し合う
		(知及技) 製作に必要な材料や手順が分かり、製作計画について理解できる。（高2段階B工（ア）） (思判表力)布を用いた簡単な物の製作計画を考え、製作を工夫することができる。（高2段階B工（イ）） (学･人)よりよい衣生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を育てることができる。（高２段階エ）	(知・技) 布を用いた製作について、必要な道具や材料の名称や使い方を理解しようとしている。 (思・判・表)安全で効率化を意識した製作計画について考え、考えたことや工夫したことを伝え合おうとしている。 (主学)よりよい衣生活の実現に向けて、学習で身につけたことを様々な場面で生かそうとしている。	●布を用いた製作 ・縫製道具の名称と安全な使い方 ・ミシンの直線縫い ・生活に役立つ小物の製作	・布を用いた製作に必要な道具の名称と安全な使用方法、保管方法について知る ・ミシンを使って直線縫いや返し縫いに挑戦する ・生活に役立つ小物について、作ってみたいものを考え、手順を調べたり、話し合ったりする ・生活に役立つ小物を製作し、工夫した点や日常生活でどのように使用したいかについて発表する
		(知及技) 乳幼児や高齢者などの生活の特徴，乳幼児や高齢者などとの関わり方について理解することができる。（高2段階A工（ア）） (思判表力)乳幼児や高齢者などとのよりよい関わり方について考え、工夫することができる。（高2段階A工（イ）） (学･人)多様な人々との、よりよい生活実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を身につけることができる。（高２段階A工）	(知・技) 乳幼児や高齢者などの生活や身体的な特徴について知り、家庭内で起こりやすい事故と防ぐ方法について理解しようとしている。 (思・判・表)乳幼児や高齢者などと、高校生との違いに気がつき、よりよい関わり方について考えたことを話し合おうとしている。 (主学)多様な人々との、よりよい生活実現に向けて、自分ができることを考え、取り組もうとしている。	●乳幼児や高齢者などの生活 ・乳幼児や高齢者の特徴 ・家庭内事故を防ごう ・幼児と高齢者との望ましい関わり方	・乳幼児と高齢者の身体的な特徴を学ぶ ・家庭内で起こりやすい事故について具体的にしり、家の中のイラストを見ながらどんな事故が起こりやすいか発表したり、防ぐための工夫について考えたりする

3 学 期	18	(知及技)購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭の必要性を理解する。売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理ができる。（高2段階Cア（ア）） (思判表力)物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、工夫することができる。（高２段階Cア（イ）） (学･人)よりよい消費生活の実現に向けて、工夫し、考えようとする実践的な態度を身につけることができる。（高２段階Cア）	(知・技)購入方法や支払い方法の特徴や違いを理解し、収入と支出のバランスをとり、計画的に資産を増やしていくことの必要性を理解しようとしている。売買契約の仕組みや、消費者被害の具体例とその対応について理解し、契約内容を確認したり本当に必要かどうか深く考えようとしている。 (思・判・表)物資・サービスを選択するときは、類似品と比較したり、相談したりし、情報を活用する意欲を発表しようとしている。 (主学)よりよい消費生活の実現に向けて、工夫したいことや考えたことを生活に生かそうとしている。	●消費生活 ・キャッシュレス決済のメリットとデメリット ・収入と支出 ・ネットショッピングについて ・消費者トラブルの事例と対処法	・キャッシュレス決済を具体的に挙げ、それぞれのメリットとデメリットを比較しながら学ぶ ・収入の範囲内で生活していくことについて知り、収入と支出のシュミレーションをする ・ネットショッピングで起きやすいトラブルについて実話を元に学ぶ ・若者や知的障害者が巻き込まれやすいクリック詐欺やデート商法等について、ロールプレイを通して対処法を学んだり、専門家を活用して相談先で相談する練習をしたりして対処法を学ぶ
	18	(知及技)消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解することができる。（高2段階Cイ（ア）） (思判表力)身近な消費生活について、自立した消費者として責任のある消費行動を考え、工夫することができる。（高2段階Cイ（イ）） (学･人)よりよい消費生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を身につけることができる。（高２段階Cイ）	(知・技)クーリングオフ制度や消費生活センターの役割について理解し、成人年齢引き下により契約には責任が伴うことについて気づき、日頃から相談する意欲を持とうとしている。 (思・判・表)ごみを減らす工夫やリサイクルなど、環境に配慮した生活について考えたことを話し合おうとしている。 (主学)よりよい消費生活の実現に向けて、学習で身についたことを他の授業や生活で生かそうとしている。	●消費者の基本的な権利と責任 ・成人年齢引き下げについて ・自立した消費者を目指して ・消費者の権利と相談先 ・SDGSと私	・成人年齢引き下げによりできることが増えたが、その分責任が伴うことも知り、安易な契約は絶対にしない、保護者や信頼できる大人に日頃から相談する意識を持つ ・生活が環境に与える影響について視覚的に捉え、持続可能な社会の実現に向けて、できそうな目標から実践する意欲を持つ
留意点 引継等					

令和８年度　高等部　１年（Ⅱ課程Ｂ）　家庭科　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
２／７０	９名		まどあけずかん　たべもの

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技）家庭・家族の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。（高１段階） (思判表力)家族や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。（高１段階） (学･人)家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
１学期	24	(知及技) 生活の中で食事が果たす役割について理解できる。（高1段階Bア（ア）） (思判表力) 健康によい食習慣について考え、工夫することができる。（高1段階Bア（イ）） (学･人) よりよい食生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする態度を育てることができる。（高1段階Bア）	(知・技) ・３色食品群の果たす役割に関するイラストや動画等に興味を持ち、色を指差しや言葉で表そうとしている。 (思・判・表) ・食材カードを３色に色分けし、バランスの良い食事について理解しようとしている。 (主学) ・食生活に関する事柄に興味を持ち、身振りや言葉で表現し考えようとしている。	「食生活」 ・３色食品群 (３色の働きとその食材) ・バランスの良い食事	・３色食品群の色と役割、バランスの良い食事について、教師の話を聞いたりイラストや動画を見たりして理解する。 ・食材カードを貼り、３色食品群に属する食材を理解する。
		(知及技) 日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について知り、基礎的な日常食の調理ができる。（高1段階Bイ（ア）） (思判表力) 基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、表現することができる。（高1段階Bイ（イ）） (学･人) よりよい食生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする態度を育てることができる。（高1段階Bイ）	(知・技) ・料理に使われる食材や調理器具について、実物を見ながら名前や取り扱い方を理解しようとしている。 (思・判・表) ・沖縄の食文化を理解しようとしている。 ・調味料の中から好きな味を選び、調理に生かそうとしている。 (主学) ・衛生面を意識し、手洗いやエプロン三角巾の着用をしている。	「食生活」 ・調理実習 (ちんびん、おにぎり、インスタント食品) ・衛生面や安全面について	・動画やイラストで料理の作り方を確認し、調理実習を行う。 ・基本的な調理の仕方や必要な道具について実物を確認しながら理解する。 ・調理室の安全な使い方や手洗いエプロンの着用など調理実習の基本について学ぶ。
		(知及技) 家族の生活と住空間の関わりや住居の基本的な機能について知ることができる。（高1段階Bオ（ア）） (思判表力) 家族の安全や快適さを考えた住空間について考え、表現することができる。（高1段階Bオ（イ）） (学･人) よりよい住生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする態度を育てることができる。（高1段階Bオ）	(知・技) ・住居の基本的な機能についてイラストや動画で理解しようとしている。 (思・判・表) 防災バッグの中身に必要な道具を確認し、理解しようとしている。 (主学) ・掃除の仕方や整理整頓の方法を知り、実践しようとしている。	「住生活」 ・住居の基本的な機能 ・地震に備えよう ・整理整頓 ・掃除	・住まいの主な働きを理解する。 ・地震が起きた際に気を付けることや、防災バッグの中身や用途をアプリで確認し理解する。 ・清掃や整理整頓の方法を学んだ後、教室で実践する。
		(知及技) 健康管理や余暇の有効な過ごし方について理解し、実践できる。（高1段階Aウ（ア）） (思判表力) 健康管理や余暇の有効な過ごし方について考え、表現することができる。（高1段階Aウ（イ）） (学･人) よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする態度を身につけることができる。（高1段階Aウ）	(知・技) ・健康管理で大切なことを理解しイラスト等を見比べて選択しようとしている。 (思・判・表) ・規則正しい生活についてのキーワードを知り、身振りや言葉で表現しようとしている。 (主学) ・自分の好きな余暇の過ごし方を知り、生活に取り入れようとしている。	「余暇活動」 ・健康管理 ・規則正しい生活 (早寝早起き朝ご飯) ・余暇の過ごし方	・健康管理の方法や規則正しい生活を知る。 ・様々な余暇の過ごし方を知り、自分の好きなことを理解できる。
２学期	28	(知及技）衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解できる。（高１段階Bウ（ア）） (思判表力)衣服の選択について考え、工夫することができる。（高１段階Bウ（イ）） (学･人)よりよい衣生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする態度を身につけることができる。（高１段階Bウ）	(知・技) ・衣服の役割に関するイラストや動画などに興味を持ち、その役割に気付こうとしている。 (思・判・表) ・写真やイラストを比べ、場面に応じた衣服の選択をしようとしている。 (主学) ・衣服のたたみ方や片付け方が分かり、実践しようとしている。	「衣生活」 ・TPOと服装 ・衣服管理の仕方	・TPOに応じた服装を知り、季節に応じた服装や、所属や職業を表す服装を写真から選ぶことができるようにする。 ・動画やアプリで洗濯物のたたみ方など衣服管理の仕方を学び、実践する。
		(知及技) 乳幼児や高齢者などの生活の特徴，乳幼児や高齢者などとの関わり方について気づくことができる。（高１段階A工（ア）） (思判表力) 乳幼児や高齢者などとのよりよい関わり方について考え、表現することができる。（高１段階A工（イ）） (学･人) 多様な人々との、よりよい生活実現に向けて、生活を工夫し考えようとする態度を身につけることができる。（高１段階A工）	(知・技) ・乳幼児の生活の特徴に関するイラストや動画などに興味を持っている。 (思・判・表) ・赤ちゃんとの関わりを体験し、感想を身振りや言葉で表現しようとしている。 (主学) ・自分の成長を振り返り、多くの人との関わりに気付こうとしている。	「保育」 ・乳幼児や高齢者などの生活 ・自分の成長	・乳幼児の特徴が分かる。 ・赤ちゃん人形で、実際の赤ちゃんとの関わりを体験する。 ・幼少期からの写真などを通して自分の成長を振り返る。

3学期	18	(知及技) 購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性に気がつく。売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理ができる。（高１段階Cア（ア）） (思判表力) 物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、表現することができる。（高１段階Cア（イ）） (学･人) よりよい消費生活の実現に向けて、工夫し、考えようとする態度を身につけることができる。（高１段階Cア）	(知・技) ・動画等を見て、実際に買い物の仕方を模範しようとしている。 (思・判・表) ・買い物をする際、様々な情報を活用し、自分の欲しいものを選択しようとしている。 (主学) ・お金の大切さに気付き、自分なりの使い方を考えようとしている。	「消費生活」 ・お金の種類 ・買い物の方法	・様々なお金の種類を知る。 ・物の選び方や買い方を知り、買い物学習や模倣練習を通して実践する。
		(知及技) 消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について気づくことができる。（高１段階Cイ（ア）） (思判表力) 身近な消費生活について、自立した消費者として責任のある消費行動を考え、表現することができる。（高１段階Cイ（イ）） (学･人) よりよい消費生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする態度を身につけることができる。（高１段階Cイ）	(知・技) ・身近な生活の中で、環境に配慮できることを理解しようとしている。 (思・判・表) ・燃えるゴミ、びんかんなどゴミの分別をしようとしている。 (主学) ・物を大切に使うことを知り、生活に生かそうとしている。	「消費生活と環境」 ・環境について ・ゴミの分別とリサイクル	・ゴミの分別方法やリサイクルの方法を知り、実践する。 ・ごみを減らす方法を知る。
留意点 引継等					

令和　8年度　高等部　2年（Ⅱ課程B）　家庭科　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	6名		まどあけずかん　たべもの

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思・判・表)思考・判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

(知及技）家庭・家族の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。（高１段階）
(思判表力)家族や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。（高１段階）
(学・人)家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技) 生活の中で食事が果たす役割について理解できる。（高1段階Bア（ア）） (思判表力) 健康によい食習慣について考え、工夫することができる。（高1段階Bア（イ）） (学・人) よりよい食生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする態度を育てることができる。(高1段階Bア)	(知・技) ・食事の役割や健康な食習慣に関するイラストや動画に興味を持ち、身振りや言葉で表現しようとしている。 (思・判・表) ・食材カードを、３色食品群に分類しようとしている。 (主学) ・食生活に関する事柄に興味を持ち、身振りや言葉で表現し考えようとしている。	「食生活」 ・食事の役割 ・健康な食習慣 ・３色食品群	・食事の役割や健康な食習慣について、教師の話を聞いたりイラストや動画を見たりして理解する。 ・３色食品群の復習を行い、実践として食材カードを３色食品群に分ける。
		(知及技) 日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について知り、基礎的な日常食の調理ができる。（高1段階Bイ（ア）） (思判表力)基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、表現することができる。（高1段階Bイ（イ）） (学・人) よりよい食生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする態度を育てることができる。（高1段階Bイ）	(知・技) ・オーブンやレンジなどの機械を使用したり触ったりしながら使い方を理解しようとしている。 (思・判・表) ・プリントに書いたりシールを貼ったりしながら、料理の作り方の手順を理解しようとしている。 (主学) ・衛生面を意識し、手洗いやエプロン三角巾の着用をしようとしている。	「食生活」 ・調理実習 （ピザトースト、クッキーなど） ・衛生面や安全面について	・焼いたり温めたりする作業を通して、オーブンやレンジの使い方を理解する。 ・動画やイラストで料理の作り方を確認し、プリントにまとめる。 ・調理室の安全な使い方や手洗いエプロンの着用など調理実習の基本について学ぶ。
		(知及技) 家族の生活と住空間の関わりや住居の基本的な機能について知ることができる。（高1段階Bオ（ア）） (思判表力) 家族の安全や快適さを考えた住空間について考え、表現することができる。（高1段階Bオ（イ）） (学・人) よりよい住生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする態度を育てることができる。(高1段階Bオ)	(知・技) ・校内を探索しながらバリアフリーの場所を確認し、関連付けて住居に関する機能を理解しようとしている。 (思・判・表) 防災バッグの中身に必要な道具を確認し、理解しようとしている。 (主学) 掃除の仕方や整理整頓の方法を知り、実践しようとしている。	「住生活」 ・住居の基本的な機能 ・地震に備えよう ・身近なバリアフリーを知る ・整理整頓 ・掃除	・住まいの主な働きを理解する。 ・地震が起きた際に気を付けることや、防災バッグの中身や用途をアプリで確認し理解する。 ・校内の安全に過ごすために工夫されている場所を確認する。 ・清掃や整理整頓の方法を学んだ後、教室で実践する。
		(知及技) 健康管理や余暇の有効な過ごし方について理解し、実践できる。（高1段階Aウ（ア）） (思判表力) 健康管理や余暇の有効な過ごし方について考え、表現することができる。（高1段階Aウ（イ）） (学・人) よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする態度を身に付けることができる。(高1段階Aウ)	(知・技) 健康管理で大切なことを理解し実践しようとしている。 (思・判・表) 規則正しい生活についてのキーワードを知り、身振りや言葉で表現しようとしている。 (主学) 自分の好きな余暇の過ごし方を知り、生活に取り入れようとしている。	「余暇活動」 ・健康管理 ・規則正しい生活(早寝早起き朝ご飯) ・余暇の過ごし方	・手洗い、うがい、マスク着用などの健康管理の方法を知る。 ・様々な余暇の過ごし方を知り、自分の好きなことを理解できる。
2学期	28	(知及技) 衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解できる。（高１段階Bウ（ア）） (思判表力) 衣服の選択について考え、工夫することができる。（高１段階Bウ（イ）） (学・人) よりよい衣生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする態度を身に付けることができる。（高１段階Bウ）	(知・技) 衣服の役割に気付いている。 (思・判・表) 写真やイラストを比べ、季節に応じた衣服を身振りや言葉で選択しようとしている。 (主学) 衣服のたたみ方や片付け方が分かり、実践しようとしている。	「衣生活」 ・TPOと服装 ・衣服のたたみ方	・修学旅行と関連付け、TPOに応じた服装を知り、季節に応じた服装を写真やイラストから選ぶことができるようにする。 ・動画やアプリで衣服のたたみ方や片付け方を学び、実践する。
		(知及技）目的に応じた縫い方及び用具の安全な取り扱いについて理解し、適切にできる。（高１段階B工（ア）） (思判表力)目的に応じた縫い方について考え、工夫することができる。（高１段階B工（イ）） (学・人)よりよい衣生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする態度を育てることができる。（高１段階エ）	(知・技) 安全に用具を取り扱っている。 (思・判・表) 教師の説明を確認し、工程に沿って小物製作に取り組もうとしている。 (主学) 小物製作でできたことを、振り返ろうとしている。	「衣生活」 ・小物製作	・はさみなどの安全な取り扱い方法を知る。 ・簡単な小物の作り方を理解できる。 ・確認シートを利用し、小物製作の振り返りができるようにする。
		(知及技) 乳幼児や高齢者などの生活の特徴，乳幼児や高齢者などとの関わり方について気づくことができる。（高１段階A工（ア）） (思判表力) 乳幼児や高齢者などとのよりよい関わり方について考え、表現することができる。（高１段階A工（イ）） (学・人) 多様な人々との、よりよい生活実現に向けて、生活を工夫し考えようとする態度を身に付けることができる。（高１段階A工）	(知・技) 高齢者の生活の特徴や関わり方について、写真やイラストを見ながら気付こうとしている。 (思・判・表) 高齢者とのよりよい関わり方について考え、身振りや言葉で表現しようとしている。 (主学) 伝承遊びを通して、高齢者との関わり方を理解しようとしている。	「保育」 ・乳幼児や高齢者などの生活	・写真やイラストなどを通して高齢者の特徴や関わり方を理解する。 ・幼少期からの写真などを通して自分の成長を振り返る。 ・伝承遊びを体験し、昔の遊びに触れ高齢者の理解へと繋げる。
3学期	18	(知及技) 購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性に気がつく。売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理ができる。（高１段階Cア（ア）） (思判表力) 物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、表現することができる。（高１段階Cア（イ）） (学・人) よりよい消費生活の実現に向けて、工夫し、考えようとする態度を身に付けることができる。（高１段階Cア）	(知・技) ・動画等を見て、買い物の仕方を模範し、実際にお店で買い物をしようとしている。 (思・判・表) ・買い物をする際、様々な情報を活用し、自分の欲しいものを選択しようとしている。 ・レジの使い方を理解しようとしている。 (主学) ・お金の大切さに気付き、自分なりの使い方を考えようとしている。	「消費生活」 ・お金の種類 ・買い物の方法 ・買い物学習	・様々なお金の種類や支払い方法を知る。 ・買い物学習の練習を行い、物の選び方や買い方を知り実践に生かす。 ・レジの使い方を知る。
		(知及技) 消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について気づくことができる。（高１段階Cイ（ア）） (思判表力) 身近な消費生活について、自立した消費者として責任のある消費行動を考え、表現することができる。（高１段階Cイ（イ）） (学・人) よりよい消費生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする態度を身に付けることができる。（高１段階Cイ）	(知・技) 身近な生活の中で、環境に配慮できることを理解しようとしている。 (思・判・表) 燃えるゴミ、びんかんなどゴミの分別をしようとしている。 (主学) ゴミを減らすことや物を大切に使うことを知り、生活に生かそうとしている。	「消費生活と環境」 ・環境について ・ゴミの分別とリサイクル ・マイバッグの活用	・ゴミの分別方法やリサイクルの方法を知り、実践する。 ・ごみを減らす方法を知る。 ・買い物学習をする際、マイバッグを活用する。
留意点引継等					

令和　8年度　高等部　3年（Ⅱ課程B）　家庭科　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	8名		まどあけずかん　たべものなど

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

(知及技）家庭・家族の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。（高１段階）
(思判表力)家族や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。（高１段階）
(学･人)家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技) 生活の中で食事が果たす役割について理解することができる。（高1段階Bア（ア）） (思判表力) 健康によい食習慣について考え、工夫することができる。（高1段階Bア（イ）） (学･人) よりよい食生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする態度を身につけることができる。(高1段階Bア)	(知・技) ・食事の役割や健康な食習慣に関するイラストや動画に興味を持ち、身振りや言葉で表現しようとしている。 (思・判・表) ・食材カードを、３色食品群に分類しようとしている。 (主学) ・食生活に関する事柄に興味を持ち、身振りや言葉で表現し考えようとしている。	「食生活」 ・食事の役割 ・健康な食習慣 ・３色食品群	・食事の役割や健康な食習慣について、教師の話を聞いたりイラストや動画を見たりして理解する。 ・３色食品群の復習を行い、実践として食材カードを３色食品群に分ける。
		(知及技) 日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について知り、基礎的な日常食の調理ができる。（高1段階Bイ（ア）） (思判表力)基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、表現することができる。（高1段階Bイ（イ）） (学･人) よりよい食生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする態度を身につけることができる。（高1段階Bイ）	(知・技) ・オーブンやレンジなどの機械を使用したり触ったりしながら使い方を理解しようとしている。 (思・判・表) ・プリントに書いたりシールを貼ったりしながら、料理の作り方の手順を理解しようとしている。 (主学) ・衛生面を意識し、手洗いやエプロン三角巾の着用をしている。	「食生活」 ・調理実習（ピザトースト、クッキーなど） ・衛生面や安全面について	・焼いたり温めたりする作業を通して、オーブンやレンジの使い方を理解する。 ・動画やイラストで料理の作り方を確認し、プリントにまとめる。 ・調理室の安全な使い方や手洗いエプロンの着用など調理実習の基本について学ぶ。
		(知及技) 家族の生活と住空間の関わりや住居の基本的な機能について知ることができる。（高1段階Bオ（ア）） (思判表力) 家族の安全や快適さを考えた住空間について考え、表現することができる。（高1段階Bオ（イ）） (学･人) よりよい住生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする態度を身につけることができる。(高1段階Bオ)	(知・技) ・校内を探索しながらバリアフリーの場所を確認し、関連付けて住居に関する機能を理解しようとしている。 (思・判・表) 防災バッグの中身に必要な道具を確認し、理解しようとしている。 (主学) 掃除の仕方や整理整頓の方法を知り、実践しようとしている。	「住生活」 ・住居の基本的な機能 ・地震に備えよう ・身近なバリアフリーを知る ・整理整頓 ・掃除	・住まいの主な働きを理解する。 ・地震が起きた際に気を付けることや、防災バッグの中身や用途をアプリで確認し理解する。 ・校内の安全に過ごすために工夫されている場所を確認する。 ・清掃や整理整頓の方法を学んだ後、教室で実践する。
		(知及技) 健康管理や余暇の有効な過ごし方について理解し、実践できる。（高1段階Aウ（ア）） (思判表力) 健康管理や余暇の有効な過ごし方について考え、表現することができる。（高1段階Aウ（イ）） (学･人) よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする態度を身につけることができる。(高1段階Aウ)	(知・技) 健康管理で大切なことを理解し実践しようとしている。 (思・判・表) 規則正しい生活についてのキーワードを知り、身振りや言葉で表現しようとしている。 (主学) 自分の好きな余暇の過ごし方を知り、生活に取り入れようとしている。	「余暇活動」 ・健康管理 ・規則正しい生活(早寝早起き朝ご飯) ・余暇の過ごし方	・手洗い、うがい、マスク着用などの健康管理の方法を知る。 ・様々な余暇の過ごし方を知り、自分の好きなことを理解できる。
2学期	28	(知及技) 衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解できる。（高１段階Bウ（ア）） (思判表力) 衣服の選択について考え、工夫することができる。（高１段階Bウ（イ）） (学･人) よりよい衣生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする態度を身につけることができる。（高１段階Bウ）	(知・技) 衣服の役割に気付いている。 (思・判・表) 写真やイラストを比べ、季節に応じた衣服を身振りや言葉で選択しようとしている。 (主学) 衣服のたたみ方や片付け方が分かり、実践しようとしている。	「衣生活」 ・TPOと服装 ・衣服のたたみ方	・修学旅行と関連付け、TPOに応じた服装を知り、季節に応じた服装を写真やイラストから選ぶことができるようにする。 ・動画やアプリで衣服のたたみ方や片付け方を学び、実践する。
		(知及技）目的に応じた縫い方及び用具の安全な取り扱いについて理解し、適切にできる。（高１段階Bエ（ア）） (思判表力)目的に応じた縫い方について考え、工夫することができる。（高１段階Bエ（イ）） (学･人)よりよい衣生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする態度を身につけることができる。（高１段階エ）	(知・技) 安全に用具を取り扱っている。 (思・判・表) 教師の説明を確認し、工程に沿って小物製作に取り組もうとしている。 (主学) 小物製作でできたことを、振り返ろうとしている。	「衣生活」 ・小物製作	・はさみなどの安全な取り扱い方法を知る。 ・簡単な小物の作り方を理解できる。 ・確認シートを利用し、小物製作の振り返りができるようにする。
		(知及技) 乳幼児や高齢者などの生活の特徴，乳幼児や高齢者などとの関わり方について気づくことができる。（高１段階Aエ（ア）） (思判表力) 乳幼児や高齢者などとのよりよい関わり方について考え、表現することができる。（高１段階Aエ（イ）） (学･人) 多様な人々との、よりよい生活実現に向けて、生活を工夫し考えようとする態度を身につけることができる。（高１段階Aエ）	（知・技） 高齢者の生活の特徴や関わり方について、写真やイラストを見ながら気付こうとしている。 (思・判・表) 高齢者とのよりよい関わり方について考え、身振りや言葉で表現しようとしている。 (主学) 伝承遊びを通して、高齢者との関わり方を理解しようとしている。	「保育」 ・乳幼児や高齢者などの生活	・写真やイラストなどを通して高齢者の特徴や関わり方を理解する。 ・幼少期からの写真などを通して自分の成長を振り返る。 ・伝承遊びを体験し、昔の遊びに触れ高齢者の理解へと繋げる。

3学期	18	(知及技) 購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性に気がつく。売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理ができる。（高１段階C(ア（ア）） (思判表力) 物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、表現することができる。（高１段階C(ア（イ）） (学･人) よりよい消費生活の実現に向けて、工夫し、考えようとする態度を身につけることができる。（高１段階C(ア）	(知・技) ・動画等を見て、買い物の仕方を模範し、実際にお店で買い物をしようとしている。 (思・判・表) ・買い物をする際、様々な情報を活用し、自分の欲しいものを選択しようとしている。 ・レジの使い方を理解しようとしている。 (主学) ・お金の大切さに気付き、自分なりの使い方を考えようとしている。	「消費生活」 ・お金の種類 ・買い物の方法 ・買い物学習	・様々なお金の種類や支払い方法を知る。 ・買い物学習の練習を行い、物の選び方や買い方を知り実践に生かす。 ・レジの使い方を知る。
		(知及技) 消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について気づくことができる。（高１段階C(イ（ア）） (思判表力) 身近な消費生活について、自立した消費者として責任のある消費行動を考え、表現することができる。（高１段階C(イ（イ）） (学･人) よりよい消費生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする態度を身につけることができる。（高１段階C(イ）	(知・技) 身近な生活の中で、環境に配慮できることを理解しようとしている。 (思・判・表) 燃えるゴミ、びんかんなどゴミの分別をしようとしている。 (主学) ゴミを減らすことや物を大切に使うことを知り、生活に生かそうとしている。	「消費生活と環境」 ・環境について ・ゴミの分別とリサイクル ・マイバッグの活用	・ゴミの分別方法やリサイクルの方法を知り、実践する。 ・ごみを減らす方法を知る。 ・買い物学習をする際、マイバッグを活用する。
留意点 引継等					

令和 8 年度　高等部　1年(Ⅱ課程A) 英語科 年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	1年18名		ワークシート・パワーポイント等

目標:(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学・人)学びに向かう力・人間性等
評価:(知・技)知識・技能　(思・判・表)思考・判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技) 音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すことを中心とした実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けるようにする。(高1段階) (思判表力) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などを真似ながら読んだり、外国語の文字をなぞって書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。(高1段階) (学・人) 外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(高1段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技) ・英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。(高1段階ア(ア)㋐) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高1段階Aア(ア)㋒) (思判表力) ・自分に関する簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真などと結び付けることができる。(高1段階ウ①(ア)㋐) ・活字体の大文字、小文字を区別して書くことができる。(高1段階ウ①(エ)㋐) (学・人) ・外国語の背景にある文化について理解しようとし、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる。	(知・技) ・英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付こうとしている。 ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることを理解しようとしている。 (思・判・表) ・自分に関する簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を繰り返し練習し、それらを表すイラストや写真などと結び付けようとしている。 ・活字体の大文字、小文字を区別して書こうとしている。 (主学) ・相手のことをよく知るために、英語でのやり取りから具体的な情報を聞き取ろうとしている。	Unit: Hello, friends!	・アルファベット(大文字)のなぞり書き、写し書き ・アルファベット(大文字)の歌 ・アルファベットの名前を知り、名前やつづりを聞き取ったり伝え合ったりする活動 ・好きなもの・ことについて、聞き取ったり伝えあったりする活動 ・I'm ○○. ・What ○○ do you like? ・I like/don't like ○○. ・教科、スポーツ、食べ物、動物を表す語彙
		(知及技) ・英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。(高1段階ア(ア)㋐) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、用件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くことができる。(高1段階Aア(ア)㋑) (思判表力) ・自分に関する簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真などと結び付けることができる。(高1段階ウ①(ア)㋐) ・相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などを書き写すことができる。(高1段階ウ①(エ)㋑) (学・人) ・外国語の背景にある文化について理解しようとし、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる。	(知・技) ・英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付こうとしている。 ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることを理解しようとしている。 (思・判・表) ・自分に関する簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を繰り返し練習し、それらを表すイラストや写真などと結び付けようとしている。 ・相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などを書き写そうとしている。 (主学) ・アルファベットや身の周りにある英語に関心をもち、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	Unit: Happy birthday!	・アルファベット(小文字)のなぞり書き、写し書き ・アルファベット(小文字)の歌 ・アルファベットの名前を知り、誕生日や欲しいものについて聞き取ったり伝えあったりする活動 ・When is your birthday? ・My birthday is ○○. ・What do you want? ・I want ○○. ・月、日付、身の回りのもの、状態を表す語彙
2学期	30	(知及技) 英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。(高1段階ア(ア)㋐) 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高1段階Aア(ア)㋒) (思判表力) 簡単な事柄について、伝えようとした内容を整理した上で、簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。(高1段階イ(ア)) 身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり、書いたりすることができる。(高1段階イ(イ)) (学・人) 外国語の背景にある文化について理解し、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる。	(知・技) ・英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付こうとしている。 ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることを理解しようとしている。 (思・判・表) ・簡単な事柄について、伝えようとした内容を整理した上で、簡単な語句などを用いて自分の考えや自分ができることなどを伝えようとしている。 ・身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら発音を真似しながら読んだり、書き写そうとしている、 (主学) ・身近な事柄に関して簡単な会話を主体的に練習しようとしている。	Unit: Can you play dodgeball?	・できることについて、聞き取ったり伝えあったりする活動 ・アルファベットの大文字や小文字を、文字の形や書くときの動きに注意しながら書く活動 ・Can you play the ○○? ・Yes, I can. ・No, I can't. ・How about you? ・動作、楽器、海の生き物、スポーツを表す語彙
		(知及技) ・英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。(高1段階ア(ア)㋐) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、用件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くことができる。(高1段階Aア(ア)㋑) (思判表力) ・簡単な事柄について、伝えようとした内容を整理した上で、簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。(高1段階イ(ア)) ・身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり、書いたりすることができる。(高1段階イ(イ)) (学・人) ・外国語の背景にある文化について理解し、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる。	(知・技) ・英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付いている。 ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることを理解しようとしている。 (思・判・表) 簡単な事柄について、伝えようとした内容を整理した上で、簡単な語句などを用いて自分の考えや自分ができることなどを伝えようとしている。 身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら発音を真似しながら読んだり、書き写そうとしている、 (主学) ・Canを用いた言語活動に関して主体的に参加し、課題に取り組もうとしている。	Unit: Who is this?	・身近な人のできることや性格などについて、聞き取ったり紹介し合ったりする活動 ・単語のアクセントを意識しながら読んだり、複数の文字の名前を聞いて大文字を書き取ったりする活動 ・Who is this? ・This is ○○. ・He/She is ○○. ・He/She can ○○. ・人、性格、動作、家族を表す語彙

3学期	16	(知及技) ・英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。(高1段階ア(ア)㋐) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高1段階Aア(ア)㋑) (思判表力) ・日付や時刻、値段などを表す表現など、身近で簡単な事柄について、表示などを参考にしながら具体的な情報を聞き取ることができる。(高1段階ウ①(ア)㋑) ・相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などを書き写すことができる。(高1段階ウ①(エ)㋑) (学・人) 外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる。	(知・技) ・英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付いている。 ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることを理解しようとしている。 (思・判・表) ・日付や時刻、値段などを表す表現など、身近で簡単な事柄について、数字の表示などを参考にしながら具体的な情報を聞き取ろうとしている。 ・相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などを書き写そうとしている。 (主学) ・場所を訪ねたり、案内する言語活動に主体的に参加し、与えられた課題に取り組もうとしている。	Unit: Let's go to the zoo.	・好きな施設などを知ってもらうために、施設や場所、道案内について聞き取ったり、場所をたずねたり案内したりする活動 ・単語のはじめの音を聞き取ったり、2～3文字程度の文字の名前を聞いて小文字を書き取ったりする活動 ・Where is ○○? ・Go straight. ・Turn right/left. ・What do you have in you town? ・道案内、位置、町、感想・様子を表す語彙
		(知及技) ・英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。(高1段階ア(ア)㋐) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、用件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くことができる。(高1段階Aア(ア)㋑) (思判表力) ・挨拶を交わしたり、簡単な指示や依頼をして、それらに応じたり断ったりすることができる。(高1段階ウ①(ウ)㋐) ・相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などを書き写すことができる。(高1段階ウ①(エ)㋑) (学・人) 外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる。	(知・技) ・英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付こうとしている。 ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることを理解しようとしている。 (思・判・表) ・英語で挨拶を交わしたり、簡単な指示や依頼をして、それらに応じたり断ったりしようとしている。 ・相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ食事の注文や値段に関する簡単な語彙などを書き写そうとしている。 (主学) ・丁寧に食事の注文や値段を聞く言語活動に主体的に参加し、与えられた課題に取り組もうとしている。	Unit: At a restaurant.	・食事の注文や値段を聞き取ったり、ていねいに注文したり値段をたずねたりする表現 ・単語のはじめの音を聞き取ったり、3～5文字程度の文字の名前を聞いて小文字を書き取ったりする活動 ・What would you like? ・I'd like ○○. ・How much is it? ・It's ○○ yen. ・食べ物、飲み物、デザート、数、味などに関する語彙
留意点 引継ぎ等					

令和８年度　高等部　２年（Ⅱ課程A）英語科　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	2年24名		ワークシート・パワーポイント等

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思・判・表)思考・判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技）英語の音声や文字、語彙、表現などについて日本語との違いに気付くとともに、実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身につけることができる。（高１段階） (思判表力）身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、英語を真似ながら読んだり、なぞって書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝えることができる力を身につけることができる。（高１段階） (学・人）英語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ることができる。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技) ・英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現などについて、日本語との違いに気付くことができる。(高1段階ア(ア)) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高1段階ア㋒) (思判表力) ・簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の趣味や得意なことなどを含めて自己紹介をすることができる。(高1段階ウ(イ)㋐) ・活字体の大文字・小文字を区別して書くことができる。(高1段階ウ(エ)㋐) (学・人) ・相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ることができる。(高1段階ウ)	(知・技) ・英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現について、日本語との違いを理解しようとしている。 ・挨拶や自己紹介に関する簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることを理解しようとしている。 (思・判・表) ・自分に関する簡単な事柄、行きたい日本の場所やその魅力について、簡単な語句や基本的な表現を繰り返し練習し、それらを表すイラストや写真などと結び付けようとしている。 ・活字体の大文字、小文字を区別して書こうとしている。 (主学) ・相手のことをよく知るために、相手に配慮しながら英語でのやり取りから具体的な情報を聞き取ろうとしている。	・挨拶や自己紹介 ・アルファベットの大小の確認 ・Unit: Welcome to Japan	・先生や友達に自分の名前や好きなもの・ことをについて自己紹介をする。 ・日付や天気、身近な話題をテーマに会話練習をする。 ・大文字・小文字を書く練習をする。(自分の名前を書く) ・行きたい日本の場所やその魅力について、「Where do you want to go?」「I want to go to」「Why do you want to?」の表現や簡単な語句を使って、考えや気持ちを伝える。 ・単元で使う表現や動作、季節、感想や様子などの関連語句について理解し、発音練習する。 ・既習した語句や表現をゲームやプリントなどを使って復習する。
		(知及技) ・音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。(高1段階ア㋐) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くことができる。(高1段階ア㋑) (思判表力) ・簡単な事柄について、簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。(高1段階ア㋑) ・自分に関する簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真などと結び付けることができる。(高1段階ウ(ア)㋐) (学・人) ・相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ることができる。(高1段階ウ)	(知・技) ・英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いを理解しようとしている。 ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付こうとしている。 (思・判・表) ・職業や得意なことに関する簡単な事柄について、簡単な語句や表現などを用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。 ・自分の憧れの人の職業に関する語句や事柄について、基本的な表現を聞き繰り返し練習して、それらを表すイラストや写真などと結び付けようとしている。 (主学) ・相手に配慮しながら、「Who」の疑問詞を使った憧れの人について尋ね合う言語活動やALTとの言語活動に主体的に取り組もうとしている。	・Unit: Who is your hero? ・夏について	・単元で使う表現や職業、性格、遊び、動作や感想・様子などの関連語句について理解し、発音や書く練習をする。 ・「Who」の疑問詞を使って憧れの人について尋ね合う。 ・憧れの人の職業や得意なことなどを考えて発表する。 ・既習した語句や表現をゲームやプリントなどを使って復習する。 ・夏に関する語句の言い方をPP、プリントや絵カードで学習したり、かるたゲームやクイズ活動を通して理解する。 ・ALTとの授業を通して外国の行事、食事や習慣などの異文化に触れる。 ・ALTと一緒に既習した表現や語句を発音練習したり、ゲームやクイズ活動を通して英語に慣れ親しむ。
2学期	30	(知及技) ・英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現などについて、日本語との違いに気付くことができる。（高１段階ア(ア)） ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。（高１段階ア㋒） (思判表力) ・自分に関する簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真などと結び付けることができる。（高１段階ウ(ア) ㋐） ・活字体で書かれた文字を見て、その読み方を発音することができる。（高１段階ウ(オ) ㋑） (学・人) ・相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ることができる。（高１段階ウ）	(知・技) ・英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現について、日本語との違いを理解しようとしている。 ・遊びスポーツ、身の周りのものや夏に関する簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることを理解しようとしている。 (思・判・表) ・自分の夏休みの予定や自分の好きな事柄に関する簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真などと結び付けようとしている。 ・夏に関する英単語や自分の好きな事柄に関する活字体で書かれた語句や英単語を見て、その読み方を発音しようとしている。 (主学) ・相手に配慮しながら、夏休みの思い出や自分の好きな事柄について主体的に相手に伝えようとしている。	・夏休みの思い出 ・Unit: This is me. ・外国の文化(ハロウィン)	・夏に関する単語を復習し、過去形の基本的な表現を使って、夏休みの思い出を発表する。 ・遊び、スポーツ、身の周りのもの、人や家族などの言い方を理解し、好きなものや宝物とその理由などについて、基本的な表現「I like～、My tresure is～の表現を用いて、考えや気持ちなどを発表する。 ・ハロウィンに関する単語や表現をPPや絵カードで練習し、ALTとゲーム活動をする。 ・既習した語句や表現をゲームやプリントなどを使って復習する。
		(知及技) ・音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。(高1段階ア㋐) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くことができる。(高1段階ア㋑) (思判表力) ・場所や値段、時刻などを表す表現など、身近で簡単な事柄について、表示などを参考にしながら具体的な情報を聞き取ることができる。(高1段階ウ(ア)㋑) ・挨拶を交わしたり、簡単な指示や依頼をして、それらに応じたり断ったりすることができる。(高1段階ウ(ウ)㋐) (学・人) ・相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ることができる。(高1段階ウ)	(知・技) ・英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いを理解しようとしている。 ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付こうとしている。 (思・判・表) ・場所や時刻、頻度などを表す表現など、身近で簡単な事柄について、慣れ親しんだ表現を参考にしながら具体的な情報を聞き取ろうとしている。 ・英語で挨拶を交わしたり、簡単な指示や依頼をして、それらに応じたり断ったりしようとしている。 (主学) ・相手に配慮しながら主体的に自分の日常生活や外国の文化に関する言語活動に取り組もうとしている。	・Unit: My daily schedule ・外国の文化(感謝祭・クリスマス)	・「I always、I usually、I sometimes」の表現や一日の生活、頻度や数などの関連語句について理解し、発音や書く練習をする。 ・自分のことを伝えるために、一日の生活について、簡単な語句や基本的な表現を使って考えや気持ちを話す。 ・感謝祭やクリスマスに関する語句や表現をPPや絵カードで練習し、ALTとゲーム活動をする。 ・ALTとの授業を通して外国の行事、食事や習慣などの異文化に触れる。 ・感謝の思いを英語で文章を作成し、相手に英語でメッセージを伝えてクリスマスカードを渡す。

3 学 期	16	(知及技) ・英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現などについて、日本語との違いに気付くことができる。(高1段階ア(ア)) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高1段階ア㋐) (思判表力) ・簡単な事柄について、簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。(高1段階ア㋑) ・自分に関する簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真などと結び付けることができる。(高1段階ウ(ア)㋐) (学・人) ・相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ることができる。(高1段階ウ)	(知・技) ・英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現について、日本語との違いを理解しようとしている。 ・干支や体の部位に関する簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることを理解しようとしている。 (思・判・表) ・自分の週末について過去形を用いて、その時の自分の気持ちなどを伝え合おうとしている。 ・自分の週末したことをもとに、簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真などと結び付けようとしている。 (主学) ・相手に配慮しながら主体的に正月に関する言語活動や過去形を用いた言語活動に取り組もうとしている。	・正月に関すること(干支・福笑い・おみくじ、今年の抱負など) ・Unit: My Daily schedule	・干支や体の部位などの言い方をPPや絵カードで繰り返し練習して、神経衰弱や福笑いなどを通して正月に関する活動をする。 ・「I went to、I enjoyed、I ate」などの過去形の表現や町、スポーツ、天気などの関連語句について理解し、発音や書く練習をする。 ・週末したことについて簡単な語句や基本的な表現を使って考えや気持ちをなどを伝える。 ・既習した語句や表現をゲームやプリントなどを使って復習する。
		(知及技) ・音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。(高1段階ア㋐) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くことができる。(高1段階ア㋑) (思判表力) ・身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり、書いたりすることができる。(高1段階イ(イ)) ・相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などを書き写すことができる。(高1段階ウ(エ)㋑) (学・人) ・相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ることができる。(高1段階)	(知・技) ・英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いを理解しようとしている。 ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付こうとしている。 (思・判・表) ・今まで音声で十分に慣れ親しんだ既習事項の英単語や表現の意味を想像しながら読んだり、書こうとしている。 ・相手に伝えるなどの目的をもって、今まで習った簡単な語彙や表現などを書き写そうとしている。 (主学) ・相手に配慮しながら、既習事項を用いて主体的に言語活動を図ろうとしている。	・外国の文化(バレンタインデー) ・1年間のまとめ	・今までに習った単語や表現をワークシート、ゲームやクイズ活動を通して復習する。 ・ALTと一緒にバレンタインデーに関する語句、既習した表現や語句を発音練習したり、ゲームやクイズ活動を通して英語に慣れ親しむ。 ・ALTとの授業を通して外国の行事、食事や習慣などの異文化に触れる。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度　高等部　３年（Ⅱ課程A）英語科　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	3年 24名		ワークシート・パワーポイント等

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）英語の音声や文字、語彙、表現などについて日本語との違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けるようにする。（高２段階） (思判表力）身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ英語の語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。（高２段階） (学･人）英語の背景にある文化について理解し、他者に配慮しながら、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ることができる。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技) ・英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現などについて、日本語との違いに気付くことができる。(高２段階ア(ア)) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高２段階ア㋐) (思判表力) ・簡単な語句や基本的な表現を用いて、身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちを話すことができる。(高２段階ウ(イ)㋐) ・相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れしたんだ語句などを書き写すことができる。（高２段階ウ(エ) ㋐) (学・人) ・相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ることができる。（高２段階ウ)	(知･技) ・英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付こうとしている。 ・簡単な語句や基本的な表現が表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることを理解しようとしている。 (思･判･表) ・簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の趣味や得意なことなど、自分の考えや気持ちも含めて自己紹介をしようとしている。 ・コミュニケーション活動を目的として、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れしたんだ語句で書き写そうとしている。 (主学) ・相手のことをよく知るために、英語でのやり取りから具体的な情報を聞き取ろうとしている。	・挨拶や自己紹介 ･Unit: Let's see the world	・先生や友達に自分の名前や好きなもの・ことを伝える。 ・自分や友達の名前のつづりを伝え合う。 ・日付や天気、身近な話題をテーマに会話練習をする。 ・Where do you want to go～？ という表現を用いて、行きたい国ついて聞き取ったり、I want to go to ～と相手に行きたい国を相手に伝えたりすることができる。
		(知及技) ・音声を聞いて話したり、簡単な語彙などを読んだり書いたりして日本語の音声や文字などの違いに気付くことができる。(高２段階ア㋐) ・英語の音声や文字、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気づくことができる。(高２段階ア㋑) (思判表力) ・身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。(高２段階イ(ア)) ・自分のことや学校生活など身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真と結びつけることができる。(高２段階ウ(ア) ㋐) (学・人) ・相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ることができる。（高２段階ウ)	(知･技) ・英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付こうとしている。 ・語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることを理解しようとしている。 (思･判･表) ・身の周りにある物の生産国ついて、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や慣れ親しんだ表現を用いて伝え合おうとしている。 ・学校生活を送る上で使用している物の生産国やその地域を調べて、簡単な語句や基本的な表現を聞きながら、それらを表すイラストや写真などと結びつけようとしている。 (主学) ・相手に配慮しながら、「Where is it from～？」を用いた言語活動に主体的に取り組もうとしている。	･Unit: Where is it from?	・Where is it from～？という質問に、it's from～という表現を用いて身の周りのものの生産国について、聞き取ったり紹介する。 ・身の周りのものの生産国やその地域をしらべて、イラストや写真などと結びつけるゲーム活動を行う。
2学期	30	(知及技) ・英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現などについて、日本語との違いに気付くことができる。(高２段階ア(ア)) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高２段階ア㋐) (思判表力) ・自分のことや学校生活など身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真などと結び付けることができる。(高２段階ウ(ア) ㋐) ・日常生活に関する身近で簡単な事柄を内容とする掲示やパンフレットなどから、自分が必要とする情報を得ることができる。（高２段階ウ(オ) ㋐) (学・人) ・相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ることができる。（高２段階ウ)	(知･技) ・英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付こうとしている。 ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることを理解しようとしている。 (思･判･表) ・自分の夏休みの思い出やなど身近な生き物について、簡単な語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真などと結び付けようとしている。 ・身近な生き物が暮らす場所や直面する問題に関する簡単な事柄を内容とする掲示やパンフレットなどから、必要とする情報を得ようとしている。 (主学) ・相手に配慮しながら、主体的に夏休みの思い出や生き物が直面する事柄に関して言語活動に取り組もうとしている。	･夏休みの思い出 ･Unit: Save the animals. ･外国の文化(ハロウィン)	・夏に関する単語を復習し、過去形の基本的な表現を使って、夏休みの思い出を発表する。 ・Where do ～ live？を用いて生き物が暮らす場所や直面する問題、生き物のためにできることについて、iPadで調べながら、情報を整理して聞き取ったり伝えたりする。 ・ハロウィンに関する単語や表現をPPや絵カードで練習し、ALTとゲーム活動をする。
		(知及技) ・音声を聞いて話したり、簡単な語彙などを読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くこと。(高２段階ア㋐) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くことができる。(高２段階ア㋑) (思判表力) ・相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などを書き写す活動ができる。（高２段階ウ(エ) ㋑) ・友達や家族、学校生活など、身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現で話される短い会話や説明を、イラストや写真を参考にしながら聞いて、必要な情報を聞き取ることができる。(高２段階ウ(ウ)㋒) (学・人) ・相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ることができる。（高２段階ウ)	(知･技) ・英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付こうとしている。 ・語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることを理解しようとしている。 (思･判･表) ・相手に伝えるなどの目的をもって、外国の文化ついて、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などを書き写そうとしている。 ・友達や家族の時間、学校生活などの思い出について、話される短い会話や説明を、イラストや写真を参考にしながら聞いて、必要な情報を聞き取ろうとしている。 (主学) ・相手に配慮しながら、主体的にこれまでの自分の思い出や外国の文化に関して言語活動に取り組もうとしている。	･Unit: My Best Memory ･外国の文化(感謝祭･クリスマス)	・過去形の動詞を用いて思い出について聞き取ったり、自分の過去を紹介する。 ・感謝祭やクリスマスに関する単語や表現をPPや絵カードで練習し、ALTとゲーム活動をする。 ・メッセージを書いたり、絵を描いたりして、クリスマスカードを作成する。

3学期	16	(知及技) ・英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現などについて、日本語との違いに気付くことができる。(高２段階ア(ア)) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高２段階ア㋒) (思判表力) ・簡単な事柄について、簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。(高２段階イ(ァ)) ・自分に関する簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真などと結びつけることができる。(高２段階ウ(ァ) ㋒) (学・人) ・相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ることができる。（高２段階ウ）	(知･技) ・英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付こうとしている。 ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることを理解しようとしている。 (思･判･表) ・正月について、簡単な語句などを用いて今年の抱負や新年度に対する気持ちなどを伝え合おうとしている。 ・正月に関する簡単な事柄や「What、Whyの疑問詞」について、簡単な語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真などと結びつけようとしている。 (主学) ・相手に配慮しながら、主体的に正月に関する語句や表現を用いて言語活動に取り組もうとしている。	・正月に関すること(干支・福笑い・おみくじなど)	・干支や身体の部位などの言い方をPPや絵カードで繰り返し練習して、神経衰弱や福笑いなどを通して正月に関する活動をする。 ・日本の遊び、年中行事や季節などの言い方をPPや絵カードで繰り返し練習する。 ・WhatやWhyの疑問詞の表現を理解し、好きな日本の遊びや年中行事などについて尋ね合う。
		(知及技) ・音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。(高２段階ア㋐) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くことができる。(高２段階ア㋑) (思判表力) ・身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり、書いたりすることができる。(高２段階イ(イ)) ・相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などを書き写すことができる。（高２段階ウ(エ) ㋑) (学・人) ・相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ることができる。（高２段階）	(知･技) ・英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付こうとしている。 ・語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることを理解しようとしている。 (思･判･表) ・将来の夢や就きたい職業について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり、書いたりしようとしている。 ・相手に伝えるなどの目的をもって、将来の夢や就きたい職業についての語彙や表現を音声で十分に慣れ親しみ、書き写そうとしている。 (主学) ・相手に配慮しながら、主体的に将来の夢や就きたい職業に関する言語活動に取り組もうとしている。	･Unit: My Future, My Dream ･1年間のまとめ	・What do you want to～?の質問を理解し、将来の夢や就きたい職業についてI want to～.などの表現を用いて相手に伝えたりする。 ・今までに習った単語や表現をクイズ活動を通して、復習する。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度　高等部　1年（Ⅱ課程B）英語科　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	1年9名		ワークシート・パワーポイント等

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

(知及技）英語の音声や文字、語彙、表現などについて日本語との違いに気付くとともに、実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けるようにする。（高１段階）
(思判表力）コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，身近で簡単な事柄について，聞いたり話したりするとともに，音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などを真似ながら読んだり，外国語の文字をなぞって書いたりして，自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。（高１段階）
(学･人）英語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら主体的に英語を用いてコミュニケーションを図る態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技) ・英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現などについて、日本語との違いに気付くことができる。(高１段階ア(ア)) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高１段階ア㋒) ・音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。(高１段階ア㋐) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くことができる。(高１段階ア㋑) (思判表力) ・簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の趣味や得意なことなどを含めて自己紹介をすることができる。(高１段階ウ(イ)㋐) ・活字体の大文字・小文字を区別して書くことができる。（高１段階ウ(エ) ㋐) ・簡単な事柄について、簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。(高１段階ア㋑) ・自分に関する簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真などと結びつけることができる。(高１段階ウ(ア) ㋐) (学・人) ・相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ることができる。（高１段階ウ）	(知・技) ・英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現などについて、日本語との違いに気付こうとしている。 ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付こうとしている。 ・音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付こうとしている。 ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付こうとしている。 (思・判・表) ・簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の趣味や得意なことなどを含めて自己紹介をしようとしている。 ・活字体の大文字・小文字を区別して書こうとしている。 ・簡単な事柄について、簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。 ・自分に関する簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真などと結びつけようとしている。 (主学) ・相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。	・簡単な挨拶 ・自己紹介 ・Hello ・天気、曜日、日付 ・How are you?	・英語の歌「Hello song」を聞いて、音声やリズムに親しむ。 ・教師やALTの発音を聞いて、真似て発音する。 ・天気、曜日や日付の言い方を歌、絵カードやPPで繰り返し学習する。 ・英語で記載された自分の名前をなぞる。 ・気持ちや感情の言い方を絵カードや歌で繰り返し練習する。 ・音声を聞いて、体調を表す英単語の絵や写真カードから該当するカードを選ぶ。 ・音声を聞いて、ワークシートの選択肢から該当するものを選び、シールで貼る。 ・既習した単語をビンゴゲームやかるた活動などを通して振り返る。
				・野菜 ・数 ・How many?	・1～10までの数の言い方をPPや絵カードで繰り返し練習する。 ・英語の歌「Counting 1-10」を聞いて、音声やリズムに親しむ。 ・音声を聞いて、野菜に関する絵や写真カードから該当するカードを教室から探す。 ・音声を聞いて、ワークシートの選択肢から該当するものを選び、シールで貼る。 ・How many～?を用いて、「何がいくつあるか」を写真を見て指差しで答える活動を行う。 ・既習した単語をビンゴゲームやかるた活動などを通して振り返る。
2学期	30	(知及技) ・英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現などについて、日本語との違いに気付くことができる。(高１段階ア(ア)) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高１段階ア㋒) ・音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。(高１段階ア㋐) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くことができる。(高１段階ア㋑) (思判表力) ・自分に関する簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真などと結びつけることができる。(高１段階ウ(ア) ㋐) ・活字体で書かれた文字を見て、その読み方を発音することができる。（高１段階ウ(オ) ㋑) ・場所や値段、時刻などを表す表現など、身近で簡単な事柄について、表示などを参考にしながら具体的な情報を聞き取ることができる。（高１段階ウ(ア) ㋑) ・挨拶を交わしたり、簡単な指示や依頼をして、それらに応じたり断ったりすることができる。(高1段階ウ(ウ)㋐) (学・人) ・相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ることができる。（高１段階ウ）	(知・技) ・英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現などについて、日本語との違いに気づいている。 ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気づいている。 ・音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付いている。 ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気づいている。 (思・判・表) ・自分に関する簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真などと結びつけている。 ・活字体で書かれた文字を見て、その読み方を発音しようとしている。 ・場所や値段、時刻などを表す表現など、身近で簡単な事柄について、表示などを参考にしながら具体的な情報を聞き取ろうとしている。 ・挨拶を交わしたり、簡単な指示や依頼をして、それらに応じたり断ったりしようとしている。 (主学) ・相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。	・色 ・食べ物 ・スポーツ ・好きな物について ・外国の行事（ハロウィン）	・自分の気持ちを絵カードを使って伝える。 ・音声を聞いて、色、食べ物、スポーツに関する絵や写真カードから該当するカードを教室から探す。 ・動作(動詞)に関する英語の音声を聞いて、該当する動き(動作)を真似する。 ・すきな物の言い方を絵カードを使って繰り返し練習する。 ・すききな物について、指差しや口頭で伝える。 ・ハロウィンに関する単語や表現をPPや絵カードで練習し、ALTとゲーム活動をする。
				・好きな物を相手に聞いてみよう。 ・クリスマスカード作り ・外国の行事（感謝祭やクリスマス）	・好きなものを聞いて、相手に聞く活動を行う。 ・感謝祭やクリスマスに関する単語や表現をPPや絵カードで練習し、ALTとゲーム活動をする。 ・感謝祭やクリスマスについて、外国の文化を絵本や動画で学ぶ。 ・クリスマスの歌を聞いたり歌ったりする。 ・メッセージの文字をなぞったり、シールなどを貼ったりして、クリスマスカードを作成する。

3学期	16	(知及技) ・英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現などについて、日本語との違いに気付くことができる。(高１段階ア(ア)) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高１段階ア㋒) ・音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。(高１段階ア㋐) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くことができる。(高１段階ア㋑) (思判表力) ・簡単な事柄について、簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。(高１段階ア㋑) ・自分に関する簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真などと結びつけることができる。(高１段階ウ(ア)㋐) ・身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり、書いたりすることができる。(高1段階イ(イ)) ・相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などを書き写すことができる。(高１段階ウ(エ)㋑) (学・人) ・相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ることができる。(高１段階ウ)	(知・技) ・英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現などについて、日本語との違いに気付こうとしている。 ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付こうとしている。 ・音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付こうとしている。 ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付こうとしている。 (思・判・表) ・簡単な事柄について、簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。 ・自分に関する簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真などと結びつけようとしている。 ・身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり、書いたりしようとしている。 ・相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などを書き写そうとしている。 (主学) ・相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。	・干支の動物 ・アルファベット大文字	・干支の動物の言い方をPPや絵カードで繰り返し練習して、神経衰弱やかるた活動に取り組む。 ・動物の鳴き声と英語の音声を聞いて、該当する動物をワークシートから選択する。 ・自分の名前を丁寧になぞったり、大文字のアルファベットカードから自分の名前を選択したりする。
				・アルファベット小文字 ・顔の部位 ・1年間のまとめ	・アルファベットの小文字をPPや絵カードで繰り返し練習する。 ・アルファベットの音声を聞いて、該当するアルファベットの小文字をワークシートから選択する。 ・顔の部位に関する単語の音声を聞いて、該当する部位を触る。 ・音声を聞いて、顔の部位に関する絵や写真カードから該当するカードを教室から探す。 ・今までに習った単語や表現をクイズ活動を通して、復習する。
留意点 引継ぎ等					

令和 8 年度　高等部　2年(Ⅱ課程B) 英語科 年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	2年6名		パワーポイント、絵カード、かるた、歌、プリント等

目標:(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学・人)学びに向かう力・人間性等
評価:(知・技)知識・技能　(思・判・表)思考・判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技) 音声や文字, 語彙, 表現などについて日本語と外国語との違いに気付くとともに, 読むこと, 書くことに慣れ親しみ, 聞くこと, 話すことを中心とした実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けるようにする。(高1段階) (思判表力) コミュニケーションを行う目的や場面, 状況などに応じて, 身近で簡単な事柄について, 聞いたり話したりするとともに, 音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などを真似ながら読んだり, 外国語の文字をなぞって書いたりして, 自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。(高1段階) (学・人) 外国語の背景にある文化について理解し, 相手に配慮しながら, 主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(高1段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技) ・英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現などについて、日本語との違いに気付くことができる。(高1段階ア(ア)) ・英語の音声を聞いて話したり, 文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。(高1段階ア(ア)㋐) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、用件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くことができる。(高1段階Aア(ア)ィ) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高1段階ア㋑) (思判表力) ・簡単な事柄について, 伝えようとした内容を整理した上で, 簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。(高1段階イ(ア)) ・自分に関する簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真などと結び付けることができる。(高1段階ウ(ア)㋐) ・簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の趣味や得意なことなどを含めて自己紹介をすることができる。(高1段階ウ(イ)㋐) ・活字体の大文字、小文字を区別して書くことができる。(高1段階ウ(エ)㋐) (学・人) ・相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ることができる。(高1段階ウ)。	(知・技) ・英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現などについて、日本語との違いを理解しようとしている。 ・英語の音声を聞いて話したり, 文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いを理解しようとしている。 ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、用件を伝えたりするなどの働きがあることに気付こうとしている。 ・簡単な語句や基本的な英語での挨拶などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることを理解しようとしている。 (思・判・表) ・簡単な事柄について, 伝えようとした内容を整理した上で, 簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちなどを伝えようとしている。 ・自分に関する簡単な事柄や日常生活で使用する英単語について、簡単な語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真などと結びつけようとしている。 ・簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の趣味や得意なことなどを含めて自己紹介をしようとしている。 ・活字体の大文字、小文字を区別して書き写そうとしている。 (主学) ・相手に配慮しながら、言語活動に主体的に参加し、コミュニケーションを図ろうとしている。	・挨拶 ・天気、曜日、日付 ・自己紹介 ・気分を伝える表現 ・Hello, world ・身近な事物の語彙(色、曜日、日付、体調、数、飲食物、果物、野菜、スポーツ、動物等)	・英語の歌を聴いて、音声やリズムに親しむ。 ・英語の音声(授業者の発音)を聞いて、真似て発音する。 ・天気、曜日、日付、挨拶、気分を伝える表現を歌、絵カードやPPで繰り返し練習する。 ・英語の音声を聞いて、写真や絵カード、ワークシートの選択肢から該当するイラストや単語を選びマッチングする。 ・自分の気持ちを絵カードやPPから選んだり、言葉で伝えたりする。 ・自分の名前、好きなものや食べものを絵カードを使って自己紹介する。 ・既習した単語や表現をビンゴゲームやかるた活動などを通して振り返る。
				・アルファベット ・What's this ? ・体の部位 ・身近な事物の語彙(果物、野菜、飲食物、動物、体の部分など)	・アルファベットの文字を上からなぞったり、自分の名前を書いたりする。 ・体の部位や動物に関する英語の歌や単語を聞いて、該当する体の部位を指したり、リズムに合わせて歌ったり体を動かしたりする。 ・果物、野菜、飲食物、動物の言い方を絵カードやPPで繰り返し発音練習する。 ・「What's this ?」の疑問詞の表現を聞いて、該当する答えを絵カードから選んだり単語を答えたりする。 ・音声を聞いて、絵や写真カード、ワークシートの選択肢から該当するイラストや単語を選びマッチングする。 ・既習した単語や表現をビンゴゲームやかるた活動などを通して振り返る。 ・ALTとの授業を通して外国の行事、食事や習慣などの異文化に触れる。 ・ALTと一緒に既習した表現や語句を発音練習したり、ゲームやクイズ活動を通して英語に慣れ親しむ。
2学期	30	(知及技) ・英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現などについて、日本語との違いに気付くことができる。(高1段階ア(ア)) ・英語の音声を聞いて話したり, 文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。(高1段階ア(ア)㋐) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、用件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くことができる。(高1段階Aア(ア)ィ) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高1段階ア㋑) (思判表力) ・簡単な事柄について, 伝えようとした内容を整理した上で, 簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。(高1段階イ(ア)) ・活字体で書かれた文字を見て、その読み方を発音することができる。(高1段階イ(イ)) ・自分に関する簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真などと結び付けることができる。(高1段階ウ(ア)㋐) ・挨拶を交わしたり、簡単な指示や依頼をして、それらに応じたり断ったりすることができる。(高1段階ウ(ウ)㋐) (学・人) ・相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ることができる。(高1段階ウ)	(知・技) ・英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現などについて、日本語との違いを理解しようとしている。 ・英語の音声を聞いて話したり, 文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いを理解しようとしている。 ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、用件を伝えたりするなどの働きがあることに気付こうとしている。 ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることを理解しようとしている。 (思・判・表) ・簡単な事柄について, 伝えようとした内容を整理した上で, 簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちなどを伝えようとしている。 ・活字体で書かれた文字を見て、その読み方を教師の発音の真似をして、発音しようとしている。 ・自分に関する簡単な事柄や日常生活でしようする英単語について、簡単な語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真などと結び付けようとしている。 ・挨拶を交わしたり、簡単な指示や依頼をして、それらに応じたり断ったりしようとしている。 (主学) ・相手に配慮しながら、言語活動に主体的に参加し、コミュニケーションを図ろうとしている。	・挨拶 ・天気、曜日、日付 ・Hello song ・気分を伝える表現 ・Who are you ? ・外国の文化(ハロウィン) ・身近な事物の語彙(動物、体の部位、ハロウィン)	・英語の歌を聴いて、音声やリズムに親しむ。 ・英語の音声(授業者の発音)を聞いて、真似て発音する。 ・天気、曜日、日付、動物、体の部位の言い方を歌、絵カードやPPで繰り返し練習する。 ・英語の音声を聞いて、写真や絵カード、ワークシートの選択肢から該当するイラストや単語を選びマッチングする。 ・「Who are you ?」「Who am I?」の疑問詞の表現を聞いて、該当する答えを絵カードから選んだり単語で答えたりする。 ・既習した単語や表現をビンゴゲームやかるた活動などを通して振り返る。 ・ハロウィンに関する単語や表現をPPや絵カードで発音練習し、ALTと歌、ゲームやクイズ活動を通して英語に慣れ親しむ。
				・This is for you ・外国の文化(感謝祭、クリスマス) ・クリスマスカード作り ・身近な事物の語彙(色、形、動物、食べ物、感謝祭、クリスマス)	・形や色の言い方を歌、絵カードやPPで繰り返し練習する。 ・自分の好きな色を絵カードや言葉で伝える。 ・英語の音声を聞いて、写真や絵カード、ワークシートの選択肢から該当するイラストや単語を選びマッチングする。 ・メッセージの文字をなぞったり、既習した形を使って、クリスマスツリーや雪だるまを作ったりして、クリスマスカード作成をする。 ・感謝祭やクリスマスについての絵本を見たり聞いたりする。 ・感謝祭やクリスマスに関する単語や表現をPPや絵カードで発音練習したり、歌、ゲームやクイズ活動を通して英語に慣れ親しむ。

3 学 期	16	(知及技) ・英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現などについて、日本語との違いに気付くことができる。(高1段階ア(ア)) ・英語の音声を聞いて話したり，文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。(高1段階ア(ア)㋐) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、用件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くことができる。(高1段階Aア(ア)ィ) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高1段階ア㋒) (思判表力) ・簡単な事柄について，伝えようとした内容を整理した上で，簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。(高1段階イ(ア)) ・身近で簡単な事柄について，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり，書いたりすることができる。(高1段階イ(イ)) ・自分に関する簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真などと結び付けることができる。(高1段階ウ(ア)㋐) ・相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんで簡単な語彙などを書き写すことができる。(高1段階ウ(エ)ィ) (学・人) ・相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ることができる。(高1段階ウ)。	(知・技) ・英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現などについて、日本語との違いを理解しようとしている。 ・英語の音声を聞いて話したり，文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いを理解しようとしている。 ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、用件を伝えたりするなどの働きがあることに気付こうとしている。 ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることを理解しようとしている。 (思・判・表) ・簡単な事柄について，伝えようとした内容を整理した上で，簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちなどを伝えようとしている。 ・身近で簡単な英単語について，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり，書き写そうとしている。 ・自分に関する簡単な事柄や日常生活で使用する英単語について、簡単な語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真などと結び付けようとしている。 ・相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんで簡単な語彙などを書き写そうとしている。 (主学) ・相手に配慮しながら、言語活動に主体的に参加し、コミュニケーションを図ろうとしている。	・挨拶 ・天気、曜日、日付 ・Hello song ・干支の動物 ・Let's play cards ・身近な事物の語彙(状態、気持ち、動作、遊び、干支の動物、衣類など)	・英語の歌を聴いて、音声やリズムに親しむ。 ・英語の音声(授業者の発音)を聞いて、真似て発音する。 ・天気、曜日、日付、挨拶、気分を伝える表現を歌、絵カードやPPで繰り返し練習する。 ・状態、気持ち、動作、遊び、干支の動物の言い方を歌、絵カードやPPで繰り返し練習する。 ・色々な天気の単語をなぞり書きする。 ・天気に応じてどのような衣類がふさわしいかをイラストから選択する。 ・好きな遊びを絵カードから選択したり、言葉で伝えたりする。 ・音声を聞いて、絵や写真カード、ワークシートの選択肢から該当するイラストや単語を選びマッチングする。 ・既習した単語や表現をビンゴゲームやかるた活動などを通して振り返る。
				・福笑い(右、左、上、下) ・I like Monday. ・1年間のまとめ ・身近な事物の語彙(曜日、スポーツ、食べ物、野菜)の語彙	・「I like～, I don't like～ 」の表現、曜日、食べ物やキャラクターの言い方を絵カードやPPを使って繰り返し練習する。 ・好きなものや嫌いなものを絵カードを使って発表する。 ・音声を聞いて、絵や写真カード、ワークシートの選択肢から該当するイラストや単語を選びマッチングする。 ・ALTとの授業を通して外国の行事、食事や習慣などの異文化に触れる。 ・ALTと一緒に既習した表現や語句を発音練習したり、歌、ゲームやクイズ活動を通して英語に慣れ親しむ。
留意点 引継ぎ等					

令和 8 年度　高等部　3年(Ⅱ課程B) 英語科 年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	3年8名		パワーポイント、絵カード、かるた、歌、ワークシート等

目標:(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学・人)学びに向かう力・人間性等
評価:(知・技)知識・技能　(思・判・表)思考・判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 音声や文字, 語彙, 表現などについて日本語と外国語との違いに気付くとともに, 読むこと, 書くことに慣れ親しみ, 聞くこと, 話すことを中心とした実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けるようにする。(高1段階) (思判表力) コミュニケーションを行う目的や場面, 状況などに応じて, 身近で簡単な事柄について, 聞いたり話したりするとともに, 音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などを真似ながら読んだり, 外国語の文字をなぞって書いたりして, 自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。(高1段階) (学・人) 外国語の背景にある文化について理解し, 相手に配慮しながら, 主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(高1段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技) ・英語の音声を聞いて話したり, 文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。(高1段階ア(ア)㋐) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、用件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くことができる。(高1段階Aア(ア)イ) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高1段階ア㋑) (思判表力) ・簡単な事柄について, 伝えようとした内容を整理した上で, 簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。(高1段階イ(ア)) ・自分に関する簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真などと結び付けることができる。(高1段階ウ(ア)㋐) ・簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の趣味や得意なことなどを含めて自己紹介をすることができる。(高1段階ウ(イ)㋐) ・活字体の大文字、小文字を区別して書くことができる。(高1段階ウ(エ)㋐) (学・人) ・相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ることができる。(高1段階ウ)。	(知・技) ・英語の音声を聞いて話したり, 文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いを理解しようとしている。 ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、用件を伝えたりするなどの働きがあることに気付こうとしている。 ・簡単な語句や基本的な英語での挨拶などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることを理解しようとしている。 (思・判・表) ・簡単な事柄について, 伝えようとした内容を整理した上で, 簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちなどを伝えようとしている。 ・自分に関する簡単な事柄や日常生活で使用する英単語について、簡単な語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真などと結びつけようとしている。 ・簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の趣味や得意なことなどを含めて自己紹介をしようとしている。 ・活字体の大文字、小文字を区別して書き写そうとしている。 (主学) ・相手に配慮しながら、言語活動に主体的に参加し、コミュニケーションを図ろうとしている。	・挨拶 ・天気、曜日、日付 ・自己紹介 ・気分を伝える表現 ・Hello, world ・身近な事物の語彙(飲食物、スポーツ、国等)	・英語の歌を聴いて、音声やリズムに親しむ。 ・英語の音声(授業者の発音)を聞いて、真似て発音する。 ・天気、曜日、日付、挨拶、気分を伝える表現を歌、絵カードやPPで繰り返し練習する。 ・英語の音声を聞いて、国に関する写真や絵カード、ワークシートの選択肢から該当するイラストや単語を選びマッチングする。 ・自分の気持ちを絵カードやPPから選んだり、言葉で伝えたりする。 ・自分の名前、好きなものや食べものを絵カードを使って自己紹介する。 ・既習した単語や表現をビンゴゲームやかるた活動などを通して振り返る。
				・Jobs(仕事の名称について) ・Daily schedule(日常生活について)	・アルファベットの文字を上からなぞったり、自分の名前を書いたりする。 ・仕事に関する仕事の名称について、読んだり、写真をマッチングしたり、書いたりすることができる。 ・「What is your favorite job ?」、「What do you want to be in the future?」の疑問詞の表現を聞いて、該当する答えを絵カードから選んだり単語を答えたりする。 ・音声を聞いて、絵や写真カード、ワークシートの選択肢から該当するイラストや単語を選びマッチングする。 ・既習した単語や表現をビンゴゲームやかるた活動などを通して振り返る。 ・ALTとの授業を通して外国の行事、食事や習慣などの異文化に触れる。 ・ALTと一緒に既習した表現や語句を発音練習したり、ゲームやクイズ活動を通して英語に慣れ親しむ。
2学期	30	(知及技) ・英語の音声を聞いて話したり, 文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。(高1段階ア(ア)㋐) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、用件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くことができる。(高1段階Aア(ア)ィ) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高1段階ア㋑) (思判表力) ・簡単な事柄について, 伝えようとした内容を整理した上で, 簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。(高1段階イ(ア)) ・活字体で書かれた文字を見て、その読み方を発音することができる。(高1段階イ(イ)) ・自分に関する簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真などと結び付けることができる。(高1段階ウ(ア)㋐) ・挨拶を交わしたり、簡単な指示や依頼をして、それらに応じたり断ったりすることができる。(高1段階ウ(ウ)㋐) (学・人) ・相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ることができる。(高1段階ウ)	(知・技) ・英語の音声を聞いて話したり, 文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いを理解しようとしている。 ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、用件を伝えたりするなどの働きがあることに気付こうとしている。 ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることを理解しようとしている。 (思・判・表) ・簡単な事柄について, 伝えようとした内容を整理した上で, 簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちなどを伝えようとしている。 ・活字体で書かれた文字を見て、その読み方を教師の発音の真似をして、発音しようとしている。 ・自分に関する簡単な事柄や日常生活でしようする英単語について、簡単な語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真などと結び付けようとしている。 ・挨拶を交わしたり、簡単な指示や依頼をして、それらに応じたり断ったりしようとしている。 (主学) ・相手に配慮しながら、言語活動に主体的に参加し、コミュニケーションを図ろうとしている。	・挨拶 ・天気、曜日、日付 ・Hello song ・気分を伝える表現 ・Today and Yesterday. ・外国の文化(ハロウィン)	・英語の歌を聴いて、音声やリズムに親しむ。 ・英語の音声(授業者の発音)を聞いて、真似て発音する。 ・天気、曜日、日付、動物、体の部位の言い方を歌、絵カードやPPで繰り返し練習する。 ・英語の音声を聞いて、写真や絵カード、ワークシートの選択肢から該当するイラストや単語を選びマッチングする。 ・「What do you do?」「What did you do yesterday?」の疑問詞の表現を聞いて、該当する答えを絵カードから選んだり単語で答えたりする。 ・既習した単語や表現をビンゴゲームやかるた活動などを通して振り返る。 ・ハロウィンに関する単語や表現をPPや絵カードで発音練習し、ALTと歌、ゲームやクイズ活動を通して英語に慣れ親しむ。
				・Fun on the Weekend ・外国の文化(感謝祭、クリスマス) ・クリスマスカード作り ・身近な事物の語彙(食べ物、感謝祭、クリスマス)	・週末楽しかったことなどを写真から選ぶことができる。また、週末の予定をつくることができる。 ・英語の音声を聞いて、写真や絵カード、ワークシートの選択肢から該当するイラストや単語を選びマッチングする。 ・メッセージの文字をなぞったり、既習した形を使って、クリスマスツリーや雪だるまを作ったりして、クリスマスカード作成をする。 ・感謝祭やクリスマスについての絵本を見たり聞いたりする。 ・感謝祭やクリスマスに関する単語や表現をPPや絵カードで発音練習したり、歌、ゲームやクイズ活動を通して英語に慣れ親しむ。

3学期	16	(知及技) ・英語の音声を聞いて話したり，文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。(高1段階ア(ア)㋐) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、用件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くことができる。(高1段階Aア(ア)ィ) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高1段階ア㋒) (思判表力) ・簡単な事柄について，伝えようとした内容を整理した上で，簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。(高1段階イ(ア)) ・身近で簡単な事柄について，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり，書いたりすることができる。(高1段階イ(イ)) ・自分に関する簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真などと結び付けることができる。(高1段階ウ(ア)㋐) ・相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんで簡単な語彙などを書き写すことができる。(高1段階ウ(エ)ィ) (学・人) ・相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ることができる。(高1段階ウ)。	(知・技) ・英語の音声を聞いて話したり，文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いを理解しようとしている。 ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、用件を伝えたりするなどの働きがあることに気付こうとしている。 ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることを理解しようとしている。 (思・判・表) ・簡単な事柄について，伝えようとした内容を整理した上で，簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちなどを伝えようとしている。 ・身近で簡単な英単語について，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり，書き写そうとしている。 ・自分に関する簡単な事柄や日常生活で使用する英単語について、簡単な語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真などと結び付けようとしている。 ・相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんで簡単な語彙などを書き写そうとしている。 (主学) ・相手に配慮しながら、言語活動に主体的に参加し、コミュニケーションを図ろうとしている。	・挨拶 ・天気、曜日、日付 ・Hello song ・干支の動物 ・My Dream Vacation ・身近な事物の語彙(干支の動物、衣類など)	・英語の歌を聴いて、音声やリズムに親しむ。 ・英語の音声(授業者の発音)を聞いて、真似て発音する。 ・天気、曜日、日付、挨拶、気分を伝える表現を歌、絵カードやPPで繰り返し練習する。 ・「自分の理想的な休日」を英語で作成することができる。 ・好きな遊びを絵カードから選択したり、言葉で伝えたりする。 ・音声を聞いて、絵や写真カード、ワークシートの選択肢から該当するイラストや単語を選びマッチングする。 ・既習した単語や表現をビンゴゲームやかるた活動などを通して振り返る。
				・1年間のまとめ	・1年間のまとめを写真などを使って振り返ることができる。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度　高等部　１学年（Ⅱ課程Ａ）情報科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	１学年（１８名）		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）身近にある情報と情報技術及びこれらを活用して問題を知り、問題を解決する方法について理解し、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて理解できるようにする。（高１段階） (思判表力)身近な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身につけることができる。（高１段階） (学･人)身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	（知及技）身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知り、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身につけることができる。（高１段階） （思判表力）身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考えることができる。（高１段階） （学・人）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を身につけることができる。（高１段階）	（知･技）身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知り、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付けようとしている。 （思･判･表）身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考えようとしている。 （主学）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に関わろうとしている。	・タイピングトレーニング	・表計算ソフトで作成した教材を使用し、数字やひらがな等の入力練習する。 ・表計算ソフトで作成した教材を使用し、２～４文字のひらがなの単語を入力練習する。
		（知及技）身近なメディアの基本的な特性とコミュニケーション手段の基本的な特徴について、その変遷を踏まえて知ることができる。（高１段階） （思判表力）身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考えることができる。（高１段階） （学・人）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を身につけることができる。（高１段階）	（知･技）身近なメディアの基本的な特性とコミュニケーション手段の基本的な特徴について、その変遷を踏まえて知ろうとしている。 （思･判･表）身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考えようとしている。 （主学）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に関わろうとしている。	・SNSの活用①	・SNSについてスライドや動画をみて学習する。 ・SNSアプリを活用し、体験することで、離れた場所にいる人とのコミュニケーション方法の基礎を学習する。
		（知及技）効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知ることができる。（高１段階） （思判表力）身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を身につけることができる。（高１段階） （学・人）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を身につけることができる。（高１段階）	（知･技）効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知ろうとしている。 （思･判･表）身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養おうとしている。 （主学）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に関わろうとしている。	・情報モラル①－１	・スライド教材や実際のニュース映像等を活用し、身近な情報機器の取り扱い方、情報機器の活用方法、情報機器を活用した人との関わり方を学習する。
		（知及技）身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知り、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付けることができる。（高１段階） （思判表力）身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考えることができる。（高１段階） （学・人）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を身につけることができる。（高１段階）	（知･技）身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知り、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付けようとしている。 （思･判･表）身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考えようとしている。 （主学）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に関わろうとしている。	・タイピングトレーニング	・表計算ソフトで作成した教材を使用し、数字やカタカナ、漢字への入力変換の練習する。 ・表計算ソフトで作成した教材を使用し、２～４文字のカタカナの単語を入力練習する。

2学期	15	（知及技）効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知ることができる。 （高１段階） （思判表力）身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を身につけることができる。（高１段階） （学・人）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を身につけることができる。（高１段階）	（知･技）効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知ろうとしている。 （思･判･表）身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養おうとしている。 （主学）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に関わろうとしている	・情報モラル①－２	・スライド教材や実際のニュース映像等を活用し、情報機器を活用した人との適切な関わり方とその注意点やネットいじめ、SNSを利用したトラブルや事件・事故の存在を学習する。
		（知及技）身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知り、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付けることができる。（高１段階） （思判表力）目的や状況に応じて、身近にある情報や情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法について考えることができる。（高１段階） （学・人）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を身につけることができる。（高１段階）	（知･技）身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知り、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付けようとしている。 （思･判･表）目的や状況に応じて、身近にある情報や情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法について考えようとしている。 （主学）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に関わろうとしている。	・プログラミング学習①－１	・プログラミング学習教材サイト「アルゴロジック」を活用して、プログラミングの制御構造の一つである「順次」の操作を学習する。
3学期	8	（知及技）身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知り、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付けることができる。（高１段階） （思判表力）身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考えることができる。（高１段階） （学・人）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を身につけることができる。（高１段階）	（知･技）身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知り、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付けようとしている。 （思･判･表）身近なメディアとコミュニケーション手段の関係考えようとしている。 （主学）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に関わろうとしている。	・タイピングトレーニング	・表計算ソフトで作成した教材を使用し、身近なもの名称を入力し、漢字変換の練習する。 ・文書作成ソフトを活用して、課題を見ながら文章入力の練習をする。
		（知及技）効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知ることができる。 （高１段階） （思判表力）身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を身につけることができる。（高１段階） （学・人）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を身につけることができる。（高１段階）	（知･技）効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知ろうとしている。 （思･判･表）身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養おうとしている。 （主学）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に関わろうとしている。	・情報モラル①－３	・スライド教材や実際のニュース映像を活用し、個人情報の取り扱い方や肖像権・著作権を守ることでの相手への配慮、ネットショッピングの方法やその注意点、ワンクリック詐欺やフィッシング詐欺から身を守る方法を学習する。
		（知及技）身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知り、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付けることができる。（高１段階） （思判表力）目的や状況に応じて、身近にある情報や情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法について考えることができる。（高１段階） （学・人）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を身につけることができる。（高１段階）	（知･技）身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知り、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付けようとしている。 （思･判･表）目的や状況に応じて、身近にある情報や情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法について考えようとしている。 （主学）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に関わろうとしている。	・プログラミング学習①－２	・プログラミング学習教材サイト「アルゴロジック」を活用して、プログラミングの制御構造の一つである「順次」の操作を学習する。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度　高等部　２学年（Ⅱ課程Ａ）　情報科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	２学年（２４名）		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

(知及技）身近にある情報と情報技術及びこれらを活用して問題を知り、問題を解決する方法について理解し、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて理解できるようにする。（高１段階）
(思判表力)身近な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身につけることができる。（高２段階）
(学･人)身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	（知及技）身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付けることができる。（高１段階） （思判表力）身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を捉え、それらを目的や状況に応じて適切に選択することができる。（高１段階） （学・人）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を身につけることができる。（高１段階）	（知･技）身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付けようとしている。 （思･判･表）身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を捉え、それらを目的や状況に応じて適切に選択しようとしている。 （主学）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとしている。	・タイピングトレーニング	・タイピングサイト「毎日パソコン入力コンクール」とExcelで作成したタイピング課題を活用し、身近なメディアであるPCの基本的な入力方法や情報機器を活用したコミュニケーション方法の基礎を学習する。 ・Excelで作成した教材を使用し、人名や都道府県名をひらがなで入力練習する。
		（知及技）身近なメディアの基本的な特性とコミュニケーション手段の基本的な特徴について、その変遷を踏まえて理解することができる。（高１段階） （思判表力）身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を捉え、それらを目的や状況に応じて適切に選択することができる。（高１段階） （学・人）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を身につけることができる。（高１段階）	（知･技）身近なメディアの基本的な特性とコミュニケーション手段の基本的な特徴について、その変遷を踏まえて理解しようとしている。 （思･判･表）身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を捉え、それらを目的や状況に応じて適切に選択しようとしている。 （主学）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとしている。	・SNSの活用②	・SNSアプリ「Teams」を活用し、グループ内での会話や質問と回答、ビデオ通話等を体験しながら、離れた場所にいる人とのコミュニケーションについて注意点を学習したり、課題を発見し、解決策を知る。
		（知及技）効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知ることができる。（高１段階） （思判表力）身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を身につけることができる。（高１段階） （学・人）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を身につけることができる。（高１段階）	（知･技）効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知ろうとしている。 （思･判･表）身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養おうとしている。 （主学）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に関わろうとしている。	・情報モラル②－１	・情報モラル学習教材「ネット社会の歩き方」とスライド教材や実際のニュース映像やSNS画面を活用し、身近な情報機器の取り扱い方、情報機器の活用方法、情報機器を活用した人との関わり方について、どんな課題があるのかを発見し、解決策を知る。
		（知及技）身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付けることができる。（高１段階） （思判表力）身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を捉え、それらを目的や状況に応じて適切に選択することができる。（高１段階） （学・人）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を身につけることができる。（高１段階）	（知･技）身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付けようとしている。 （思･判･表）身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を捉え、それらを目的や状況に応じて適切に選択しようとしている。 （主学）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとしている。	・タイピングトレーニング	・タイピングサイト「毎日パソコン入力コンクール」とExcelで作成したタイピング課題を活用し、自己の記録の更新を目指しながら、身近なメディアであるPCの基本的な入力方法や情報機器を活用したコミュニケーション方法の基礎を学習する。 ・Excelで作成した教材を使用し、国名や都道府県名をカタカナや漢字で入力練習する。

2学期	15	（知及技）効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知ることができる。（高１段階） （思判表力）身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を身につけることができる。（高１段階） （学・人）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を身につけることができる。（高１段階）	（知･技）効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知ろうとしている。 （思･判･表）身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養おうとしている。 （主学）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に関わろうとしている。	・情報モラル②－２	・情報モラル学習教材「ネット社会の歩き方」とスライド教材や実際のニュース映像やSNS画面を活用し、情報機器を活用した人との適切な関わり方とその注意点やネットいじめ、SNSを利用したトラブルや事件・事故の存在を学習し、課題やその解決策を知る。
		（知及技）身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付けることができる。（高１段階） （思判表力）目的や状況に応じて、身近にある情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を知り、問題を解決する方法について考えることができる。（高１段階） （学・人）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を身につけることができる。（高１段階）	（知･技）身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付けようとしている。 （思･判･表）目的や状況に応じて、身近にある情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を知り、問題を解決する方法について考えようとしている。 （主学）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとしている。	・プログラミング学習②－１	・プログラミング学習教材サイト「アルゴロジック」を活用して、プログラミングの制御構造の一つである「順次」と「繰り返し」の操作を学習する。
3学期	8	（知及技）身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付けることができる。（高１段階） （思判表力）身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を捉え、それらを目的や状況に応じて適切に選択することができる。（高１段階） （学・人）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を身につけることができる。（高１段階）	（知･技）身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付けようとしている。 （思･判･表）身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を捉え、それらを目的や状況に応じて適切に選択しようとしている。 （主学）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとしている。	・タイピングトレーニング	・タイピングサイト「毎日パソコン入力コンクール」とExcelで作成したタイピング課題を活用し、自己の記録の更新を目指しながら、身近なメディアであるPCの基本的な入力方法や情報機器を活用したコミュニケーション方法の基礎を学習する。 ・Excelで作成した教材を使用し、市町村名や人名を漢字で入力練習する。
		（知及技）効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知ることができる。（高１段階） （思判表力）身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を身につけることができる。（高１段階） （学・人）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を身につけることができる。（高１段階）	（知･技）効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知ろうとしている。 （思･判･表）身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養おうとしている。 （主学）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に関わろうとしている。	・情報モラル②－３	・情報モラル学習教材「ネット社会の歩き方」とスライド教材や実際のニュース映像やSNS画面を活用し、個人情報の取り扱い方や肖像権・著作権を守ることでの相手への配慮、ネットショッピングの方法やその注意点、ワンクリック詐欺やフィッシング詐欺から身を守る方法を学習し、ネット社会で生活するための課題とその解決策を知る。
		（知及技）身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付けることができる。（高１段階） （思判表力）目的や状況に応じて、身近にある情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を知り、問題を解決する方法について考えることができる。（高１段階） （学・人）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を身につけることができる。（高１段階）	（知･技）身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付けようとしている。 （思･判･表）目的や状況に応じて、身近にある情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を知り、問題を解決する方法について考えようとしている。 （主学）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとしている。	・プログラミング学習②－２	・プログラミング学習教材サイト「アルゴロジック」を活用して、プログラミングの制御構造の一つである「順次」と「繰り返し」の操作を学習する。

令和８年度　　高等部　３学年（Ⅱ課程Ａ）　情報科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	３学年（２４名）		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技) 身近にある情報と情報技術及びこれらを活用して問題を知り、問題を解決する方法について理解し、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて理解できるようにする。（第２段階） (思判表力)身近な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身につけることができる。（第２段階） (学･人)身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。（第２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	（知及技）身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付けることができる。（高１段階Aア(ア)） （思判表力）身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を捉え、それらを目的や状況に応じて適切に選択することができる。（高１段階Bイ(イ)） （学・人）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を身につけることができる。（高１段階）	（知･技）身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付けようとしている。 （思･判･表）身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を捉え、それらを目的や状況に応じて適切に選択しようとしている。 （主学）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとしている。	・タイピングトレーニング	・タイピングサイト「毎日パソコン入力コンクール」とExcelで作成したタイピング課題を活用し、身近なメディアであるPCの基本的な入力方法や情報機器を活用したコミュニケーション方法の基礎を学習する。
		（知及技）身近なメディアの基本的な特性とコミュニケーション手段の基本的な特徴について、その変遷を踏まえて理解することができる。（高１段階Aア(ア)） （思判表力）身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を捉え、それらを目的や状況に応じて適切に選択することができる。（高１段階） （学・人）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を身につけることができる。（高１段階）	（知･技）身近なメディアの基本的な特性とコミュニケーション手段の基本的な特徴について、その変遷を踏まえて理解しようとしている。 （思･判･表）身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を捉え、それらを目的や状況に応じて適切に選択しようとしている。 （主学）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとしている。	・SNSの活用③	・SNSアプリ「Teams」を活用し、グループ内での会話や質問と回答、チャットを利用した際の討論や資料の添付を体験することで、離れた場所にいる人とのコミュニケーション方法や効果的な活用方法、課題を発見し解決策を考える学習をする。
		（知及技）効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について理解し、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて理解することができる。（高１段階Aア(ア)） （思判表力）身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身につけることができる。（高１段階Bイ(イ)） （学・人）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を身につけることができる。（高１段階）	（知･技）効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について理解し、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて理解しようとしている。 （思･判･表）身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養おうとしている。 （主学）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとしている。	・情報モラル③－１	・情報モラル学習教材「ネット社会の歩き方」とスライド教材や実際のニュース映像やSNS画面を活用し、身近な情報機器の取り扱い方、情報機器の活用方法、情報機器を活用した人との関わり方における課題を発見し解決策を考える学習をする。
		（知及技）身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付けることができる。（高１段階Aア(ア)） （思判表力）身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を捉え、それらを目的や状況に応じて適切に選択することができる。（高１段階Bイ(イ)） （学・人）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を身につけることができる。（高１段階）	（知･技）身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付けようとしている。 （思･判･表）身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を捉え、それらを目的や状況に応じて適切に選択しようとしている。 （主学）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとしている。	・タイピングトレーニング	・タイピングサイト「毎日パソコン入力コンクール」とExcelで作成したタイピング課題を活用し、身近なメディアであるPCの基本的な入力方法や情報機器を活用したコミュニケーション方法の基礎を学習する。

2学期	15	（知及技）効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について理解し、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて理解することができる。（高１段階Aア(ア)） （思判表力）身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身につけることができる。（高１段階Bイ(イ)） （学・人）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を身につけることができる。（高１段階）	（知･技）効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について理解し、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて理解しようとしている。 （思･判･表）身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養おうとしている。 （主学）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとしている。	・情報モラル③－２	・情報モラル学習教材「ネット社会の歩き方」とスライド教材や実際のニュース映像やSNS画面を活用し、情報機器を活用した人との適切な関わり方とその注意点やネットいじめ、SNSを利用したトラブルや事件・事故を学習し、ネット社会の課題を発見し解決策を考える学習をする。
		（知及技）身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付けることができる。（高１段階Aア(ア)） （思判表力）目的や状況に応じて、身近にある情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を知り、問題を解決する方法について考えることができる。（高１段階Bイ(イ)） （学・人）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を身につけることができる。（高１段階）	（知･技）身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付けようとしている。 （思･判･表）目的や状況に応じて、身近にある情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を知り、問題を解決する方法について考えようとしている。 （主学）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとしている。	・プログラミング学習③－１	・プログラミング学習教材サイト「アルゴロジック」を活用して、プログラミングの制御構造の一つである「順次」と「繰り返し」と「分岐」の操作を学習する。
3学期	8	（知及技）身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付けることができる。（高１段階Aア(ア)） （思判表力）身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を捉え、それらを目的や状況に応じて適切に選択することができる。（高１段階Bイ(イ)） （学・人）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を身につけることができる。（高１段階）	（知･技）身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付けようとしている。 （思･判･表）身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を捉え、それらを目的や状況に応じて適切に選択しようとしている。 （主学）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとしている。	・タイピングトレーニング	・タイピングサイト「毎日パソコン入力コンクール」とExcelで作成したタイピング課題を活用し、身近なメディアであるPCの基本的な入力方法や情報機器を活用したコミュニケーション方法の基礎を学習する。
		（知及技）効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について理解し、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて理解することができる。（高１段階Aア(ア)） （思判表力）身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身につけることができる。（高１段階Bイ(イ)） （学・人）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を身につけることができる。（高１段階）	（知･技）効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について理解し、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて理解しようとしている。 （思･判･表）身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養おうとしている。 （主学）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとしている。	・情報モラル③－３	・情報モラル学習教材「ネット社会の歩き方」とスライド教材や実際のニュース映像やSNS画面を活用し、個人情報の取り扱い方や肖像権・著作権を守ることでの相手への配慮、ネットショッピングの方法やその注意点、ワンクリック詐欺やフィッシング詐欺から身を守る方法を学習し、ネット社会を生きぬくための課題を発見し解決策を考える学習をする。
		（知及技）身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付けることができる。（高１段階Aア(ア)） （思判表力）目的や状況に応じて、身近にある情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を知り、問題を解決する方法について考えることができる。（高１段階Bイ(イ)） （学・人）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を身につけることができる。（高１段階）	（知･技）身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付けようとしている。 （思･判･表）目的や状況に応じて、身近にある情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を知り、問題を解決する方法について考えようとしている。 （主学）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとしている。	・プログラミング学習③－２	・プログラミング学習教材サイト「アルゴロジック」を活用して、プログラミングの制御構造の一つである「順次」と「繰り返し」と「分岐」の操作を学習する。

令和８年度　高等部　１学年（Ⅱ課程Ｂ）　情報科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	１学年　９名		タブレット端末、ノートパソコン等

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身につけるとともに、情報社会と人との関わりについて知る。（高１段階） (思判表力)身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養う。（高１段階） (学･人)身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
１学期	12	(知及技) 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知り、情報と情報技術を活用して問題を知り、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身につけることができる。（高１段階） (思判表力) 目的や状況に応じて、身近にある情報や情報を活用して問題を知り、問題を解決する方法について考えることができる。（高１段階） (学･人) 問題の解決に情報と情報技術を活用しようとする態度を身につけることができる。（高１段階）	(知･技) 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知り、情報と情報技術を活用して問題を知り、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身につけようとしている。 (思･判･表) 目的や状況に応じて、身近にある情報や情報を活用して問題を知り、問題を解決する方法について考えようとしている。 (主学) 問題の解決に情報と情報技術を活用しようとする態度を養おうとしている。	・情報機器を使ってみよう	・オリエンテーション ・生徒の実態に合わせて、情報機器を使うときの約束を決める。
				・情報機器を活用してみよう	・情報機器を活用して、自己紹介や夏休みにやってみたいことの発表をする。
				・１学期の振り返り	・情報機器を活用して、１学期の振り返りを行う。
２学期	15	(知及技) 情報に関する身近で基本的な、法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて知ることができる。（高１段階） (思判表力) 情報に関する身近で基本的な、法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどついて考えることができる。（高１段階） (学･人) 情報と情報技術を活用して効果的なコミュニケーションを行おうとする態度を身につけることができることができる。（高１段階）	(知･技) 情報に関する身近で基本的な、法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて知ろうとしている。。 (思･判･表) 情報に関する身近で基本的な、法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどついて考えようとしている。 (主学) 情報と情報技術を活用して効果的なコミュニケーションを行おうとする態度を養おうとしている。	・タブレット端末を使ってみよう	・実態に合わせて、タブレット端末の約束を確認する。
				・アプリを活用しよう	・アプリをインストールして、学習活動における問題解決にチャレンジする。
				・２学期の振り返り	・タブレット端末を活用して、２学期の振り返りを行う。
３学期	8	(知及技) 身近にある情報技術が人や社会に果たす役割と影響について知ることができる。（高１段階） (思判表力) 身近にある情報や情報技術の活用について考えることができる。（高１段階） (学･人) 身近にある情報や情報技術についてに配慮して情報社会に係わろうとする態度を身につけることができる。（高１段階）	(知･技) 身近にある情報技術が人や社会に果たす役割と影響について知ろうとしている。 (思･判･表) 身近にある情報や情報技術の活用について考えようとしている。 (主学) 身近にある情報や情報技術についてに配慮して情報社会に係わろうとする態度を養おうとしている。	・SNSを使ってみよう	・実態に合わせて、SNSでの約束を確認する。
				・SNSを活用してみよう	・SNSを活用して、離れた人とのコミュニケーションや注意点などを学ぶ。
				・３学期の振り返り	・SNSを活用して、３学期の振り返りを行う。

令和８年度　高等部　２学年（Ⅱ課程Ｂ）　情報科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	２学年６名		タブレット端末、ノートパソコン等

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技) 　効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について理解し、基礎的な技能を身につけるとともに、情報社会と人との関わりについて理解する。（高２段階） (思判表力) 　身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。（高２段階） (学･人) 　身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技) 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を知り、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付けることができる。（高１段階） (思判表力) 目的や状況に応じて、身近にある情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を知り、問題を解決する方法について考えることができる。（高１段階） (学･人) 身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養うことができる。（高１段階）	(知･技) 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を知り、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付けようとしている。 (思･判･表) 目的や状況に応じて、身近にある情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を知り、問題を解決する方法について考えようとしている。 (主学) 身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養おうとしている。	・情報機器を使ってみよう	・オリエンテーション ・生徒の実態に合わせて、情報機器を使うときの約束を決め、確認する。
				・情報機器を活用してみよう	・情報機器を活用して、自己紹介や夏休みにやってみたいことの発表をする。
				・１学期の振り返り	・情報機器を活用して、１学期の振り返りを行う。
2学期	15	(知及技）情報に関する身近で基本的な、法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解することができる。（高１段階） (思判表力) 情報に関する身近で基本的な、法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどついて、それらの背景を捉え、考えることができる。（高１段階） (学･人) 身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養うことができる。（高１段階）	(知･技）情報に関する身近で基本的な、法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解しようとしている。 (思･判･表) 情報に関する身近で基本的な、法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどついて、それらの背景を捉え、考えようとしている。 (主学) 身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養おうとしている。	・タブレット端末を使ってみよう	・実態に合わせて、タブレット端末の約束を確認する。
				・アプリを活用しよう	・アプリをインストールして、学習活動における問題解決にチャレンジする。
				・２学期の振り返り	・タブレット端末を活用して、２学期の振り返りを行う。
3学期	8	(知及技) 身近にある情報技術が人や社会に果たす役割と影響について理解することができる。（高１段階） (思判表力) 身近にある情報や情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の在り方について考えることができる。（高１段階） (学･人) 身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養うことができる。（高１段階）	(知･技) 身近にある情報技術が人や社会に果たす役割と影響について理解しようとしている。 (思･判･表) 身近にある情報や情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の在り方について考えようとしている。 (主学) 身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養おうとしている。	・SNSを使ってみよう	・実態に合わせて、SNSでの約束を確認する。
				・SNSを活用してみよう	・SNSを活用して、離れた人とのコミュニケーションや注意点などを学ぶ。
				・３学期の振り返り	・SNSを活用して、３学期の振り返りを行う。

令和８年度　高等部　３学年（Ⅱ課程Ｂ）　情報科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	３学年８名		タブレット端末、ノートパソコン等

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

(知及技)
　効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について理解し、基礎的な技能を身につけるとともに、情報社会と人との関わりについて理解する。（高２段階）
(思判表力)
　身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身につけることができる。（高２段階）
(学･人)
　身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を身につけることができる。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技) 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を知り、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身につけることができる。（高１段階） (思判表力) 目的や状況に応じて、身近にある情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を知り、問題を解決する方法について考えることができる。（高１段階） (学･人) 身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を身につけることができることができる。（高１段階）	(知及技) 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を知り、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身につけようとしている。 (思判表力) 目的や状況に応じて、身近にある情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を知り、問題を解決する方法について考えようとしている。 (主学) 身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養おうとしている。	・情報機器を使ってみよう	・オリエンテーション ・生徒の実態に合わせて、情報機器を使うときの約束を決める。
				・情報機器を活用してみよう	・情報機器を活用して、自己紹介や夏休みにやってみたいことの発表をする。
				・１学期の振り返り	・情報機器を活用して、１学期の振り返りを行う。
2学期	15	(知及技）情報に関する身近で基本的な、法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解することができる。（高１段階） (思判表力) 情報に関する身近で基本的な、法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどついて、それらの背景を捉え、考えることができる。（高１段階） (学･人) 身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を身につけることができることができる。（高１段階）	(知及技）情報に関する身近で基本的な、法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解しようとしている。 (思判表力) 情報に関する身近で基本的な、法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどついて、それらの背景を捉え、考えようとしている。 (主学) 身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養おうとしている。	・タブレット端末を使ってみよう	・実態に合わせて、タブレット端末の約束を確認する。
				・アプリを活用しよう	・アプリをインストールして、学習活動における問題解決にチャレンジする。
				・２学期の振り返り	・タブレット端末を活用して、２学期の振り返りを行う。
3学期	8	(知及技) 身近にある情報技術が人や社会に果たす役割と影響について理解することができる。（高１段階） (思判表力) 身近にある情報や情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の在り方について考えることができる。（高１段階） (学･人) 身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を身につけることができることができる。（高１段階）	(知及技) 身近にある情報技術が人や社会に果たす役割と影響について理解しようとしている。 (思判表力) 身近にある情報や情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の在り方について考えようとしている。 (主学) 身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養おうとしている。	・SNSを使ってみよう	・実態に合わせて、SNSでの約束を確認する。
				・SNSを活用してみよう	・SNSを活用して、離れた人とのコミュニケーションや注意点などを学ぶ。
				・３学期の振り返り	・SNSを活用して、３学期の振り返りを行う。

令和　8　年度　　高等部１年（　Ⅱ課程AB　）　道徳科　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1／35	1学年　27　名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

・より良く生きるための基盤となる道徳性を養うために、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ物事を広い視野から多面的、多角的に考え人間としての生き方について考えをが深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
・社会連帯の自覚を高め、主体的に社会の形成に参画する意欲と態度を養い、義務を果たし責任を重んじる態度及び人権を尊重し、差別のないより良い社会を実現しようとする態度を養う。

A 自分自身に関すること
B 人との関わりに関すること
C 集団や社会との関わりに関すること
D 生命や自然、崇高な物との関わりに関すること

学期	時数	単元・題材の目標	学びを見取る視点	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	・学級や学校の一員として協力し合い、様々な集団内で自分の役割を自覚して集団生活を充実しようとする意欲をもつ。 【C：よりよい学校生活、集団生活の充実】	・先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくるとともに、様々な集団の中で自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めようとしている。	・オリエンテーション（道徳とは） ・学年びらき ・学級びらき	・今後の学習内容について ・新年度の新しいクラスメイトや教師との出会いに関連させ、よりよい学級作りに取り組む。
		・友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていこうとすること。【B：友情、信頼】	・友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていこうとしている。	・自己紹介 ・私について	・私自身のことを伝える。得意なこと趣味等について紹介（イラスト、写真、本、タブレットの活用）
		・時と場所をわきまえて、礼儀ただしく真心をもって接すること。【B：礼儀】	・公共の場や職員室で礼儀ただしく真心をもって接しようとしている。	・広がるあいさつ	・職員室に入室する前の挨拶の練習など。 ・だれとでも挨拶できるようにする
		・自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重していくこと。【B：相互理解、寛容】	・支えてくれる家族や友人の意見を聞いて理解し合おうとしている。	・身じかな家族や友人達について	・家族のことを理解し、日頃からの関わり方を話合う。
		・法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切にし、義務を果たすこと。 【C：規則の遵守】	・社会のきまりを理解し、進んでそれらを守り、互いの権利を大切にし、学校生活に生かそうとしている。	･交通安全教室	・交通安全教室に参加し、ルールやきまりについて学ぶ。 ・安全な登下校方法について。
		・望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、説度を守り節制に心がける。【A：節度、節制】	・優しい言葉かけを生活習慣として身に付け、より良い人間関係を築こうとしている。	・話言葉（チクチク言葉、ふわふわ言葉）	・自分の言葉を相手はどのように受け止めるのか考える時間の設定。
		・生命が多くの生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重すること。【D　生命の尊さ】	・生命が多くの生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解しようとしている。	・平和学習	・慰霊の日について考え、お互いに意見交換をする。
		・わが国の郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつこと。【C　伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】	・わが国の郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもとうとしている。	・平和学習	・沖縄と言えばのクイズ形式で伝統文化などにふれる。（首里城、識名園等）
		・父母、祖父母を敬愛し、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くこと。【C　家族愛、家庭生活の充実】	・誰に対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にしようとしている。	・人権教室	・相手のことを考え、親切や思いやりの気持ちで、仲良くできる方法について話合おう。
2学期	13	・より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気をいもち困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。【A希望と勇気、克己と強い意志】	・より高い目標を立て、希望と勇気をもち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと・「目標にむかって確かな一歩」	・技能検定の説明 ・スキルアップ	・就労にむけての意義や将来の職業について考える。 ・校内で取り組む技能検定に向けての練習。
		・勤労の尊さや意識を理解し、将来のの生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること【C勤労】	・勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方いついて考えを深めようとしている。	技能検定や係活動等と関連させて	・資格をとることで、自信をもち新たな気持ちで将来について考える機会となる。
		・自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心をもち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。 【B　相互理解】	・周囲の人達の意見を理解し、信頼し素直に聴く態度を抱こうとしている。	・みんなの学級会	(学年道徳)「エンカウンター；仲間集め」「双方向の信頼」「自分たちの集団や学年」
		・礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること。【B：礼儀】	・礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとろうとしている。	「TPOと自分の心」	・身だしなみや挨拶等見本を見ながら、自分に置き換えて考える。
		・友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと 【B友情、信頼】	・友人をお互いに信頼し友情を深め、尊重し合い異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めようとしている。	(グループ別授業)「人との付き合い方」	・男女としての関わり方（性教育等の関連） ・人との距離やスキンシップ等について考える。
		・自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。 【A:向上心、個性の伸長】	・自分の特徴を知って、短所を改善し長所を伸ばそうとしている。	・自分との対峙	・自分の顔を鏡で見る。対話する。 ・毎日どんなことを考えて生活しているのか振り返る
		・世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与すること。【C国際理解、国際親善】	・誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接し、正義の実現に努めようとしている。	・世界のクリスマスカード	・家族や友人に優しい愛ある言葉を書いてみよう。

3学期	10	・自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすること。【D　自然愛護】	・身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接しようとしている。	・一人一鉢運動	・一人一鉢運動とあわせて、植物の世話を通して、生長の喜びに気付き、動植物に親しみを持とうとする心情を育てる。
		・法きまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに【C：遵法精神、公徳心】	・法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切にし、義務を果たそうとしている。	ルールを守る等	・SNSの適切な使い方を学ぶ。 ・視聴覚映像や図書室の利用。
		・正義と公平さを重んじ誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること。 【ｃ:公正、公平、社会正義】	・誰に対しても、公平に正義感を重んじ、偏見のない社会実現に努めようとしている。	・正義のヒーロー	・正義や偏見や公平について意見交換する。 ・正義のヒーロー（アンパンマン、ウルトラマン他）
		・社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。【C:社会参画、公共の精神】	・日々の生活が家族や過去から多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それに応えようとしている。	「つながりに守られて」	・社会の中で、安心した生活するため、みんなでつながり合うことを考えよう。 ・どのようなつながりがあるのか考えてみよう。
		・美しいものや気高いものに感動する心をもち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めること。 【D:感動、畏敬の念】	・身じかな花や風景を見て感動する心をもち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めようとしている。	・美しい人間像 ・美しい夕焼け	・きみたちは大人のどんな行動に感動するのか？人の見た目、それとも心（内面）
		・人間には、自らの弱さや醜さを克服する強さ気高くいきようとする心があることを理解し、人間として生きる喜びを見いだすこと。 【D:よりよく生きる喜び】	・よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し、人間として生きる喜びを感じようとしている。	・ドリームマップ	・将来の理想とする自分を想像しながら、ドリームマップを作成する。
留意点 引継ぎ等		・必要に応じて下学年の題材を取り上げることもある。 ・写真・スライド・動画を活用し、視覚的に伝わりやすいようにする。			

令和　8　年度　　高等部２年（　Ⅱ課程AB　）　道徳科　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1／３５	２学年　　30 名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	・より良く生きるための基盤となる道徳性を養うために、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ物事を広い視野から多面的、多角的に考え人間としての生き方について考えをが深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 ・社会連帯の自覚を高め、主体的に社会の形成に参画する意欲と態度を養い、義務を果たし責任を重んじる態度及び人権を尊重し、差別のないより良い社会を実現しようとする態度を養う。 A 自分自身に関すること B 人との関わりに関すること C 集団や社会との関わりに関すること D 生命や自然、崇高な物との関わりに関すること

学期	時数	単元・題材の目標	学びを見取る視点	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	・学級や学校の一員として協力し合い、様々な集団内で自分の役割を自覚して集団生活を充実しようとする意欲をもつ。 【C：よりよい学校生活、集団生活の充実】	・先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくるとともに、様々な集団の中で自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めようとしている。	・オリエンテーション（道徳とは） ・学年びらき ・学級びらき	・進級した気持ちについて ・新年度の新しいクラスメイトや教師との出会いに関連させ、よりよい学級作りに取り組む。
		・友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていこうとすること。【B：友情、信頼】	・友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていこうとしている。	・自己紹介 ・私について	・私自身のことを伝える。得意なこと趣味等について紹介（イラスト、写真、本、タブレットの活用）
		・時と場所をわきまえて、礼儀ただしく真心をもって接すること。【B：礼儀】	・公共の場や職員室で礼儀ただしく真心をもって接しようとしている。	・広がるあいさつ ・自発的な挨拶	・職員室に入室する前の挨拶の練習など。 ・だれとでも挨拶できるようにする
		・自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重していくこと。【B：相互理解、寛容】	・支えてくれる家族や友人の意見を聞いて理解し合おうとしている。	・身じかな家族や友人達について	・家族のことを理解し、日頃からの関わり方を話合う。
		・法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切にし、義務を果たすこと。【C：規則の遵守】	・社会のきまりを理解し、進んでそれらを守り、互いの権利を大切にし、学校生活に生かそうとしている。	･交通安全教室 ・慣れた道の安全確認	・交通安全教室に参加し、ルールやきまりについて学ぶ。 ・安全な登下校方法について。
		・望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、説度を守り節制に心がける。【A：節度、節制】	・優しい言葉かけを生活習慣として身に付け、より良い人間関係を築こうとしている。	・話言葉（チクチク言葉、ふわふわ言葉）	・自分の言葉を相手はどのように受け止めるのか考える時間の設定。
		・生命が多くの生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重すること。【D　生命の尊さ】	・生命が多くの生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解しようとしている。	・平和学習	・慰霊の日について考え、お互いに意見交換をする。
		・わが国の郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつこと。【C　伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】	・わが国の郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもとうとしている。	・平和学習	・沖縄と言えばのクイズ形式で伝統文化などにふれる。（首里城、識名園等）
		・父母、祖父母を敬愛し、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くこと。【C　家族愛、家庭生活の充実】	・誰に対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にしようとしている。	・人権教室	・相手のことを考え、親切や思いやりの気持ちで、仲良くできる方法について話合おう。
2学期	13	・より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気をいもち困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。 【A希望と勇気、克己と強い意志】	・より高い目標を立て、希望と勇気をもち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと・「目標にむかって確かな一歩」	・技能検定の説明 ・スキルアップ	・就労にむけての意義や将来の職業について考える。 ・校内で取り組む技能検定に向けての練習。
		・勤労の尊さや意識を理解し、将来のの生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること【C勤労】	・勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方いついて考えを深めようとしている。	・就業体験と関連	・資格をとることで、自信をもち新たな気持ちで将来について考える機会となる。 ・働くことについて
		・自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心をもち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。【B　相互理解】	・周囲の人達の意見を理解し、信頼し素直に聴く態度を抱こうとしている。	・修学旅行と関連	・集団行動のためにまずお互いを理解し合うことを学ぶ。 ・意見交換しながら、グループで話し計画的な日程に繋げる。
		・礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること。【B：礼儀】	・礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとろうとしている。	「TPOと自分の心」（修学旅行と関連）	・身だしなみや挨拶等見本を見ながら、自分に置き換えて考える。
		・友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと【B友情、信頼】	・友人をお互いに信頼し友情を深め、尊重し合い異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めようとしている。	（グループ別授業）「人との付き合い方」	・男女としての関わり方（性教育等の関連） ・人との距離やスキンシップ等について考える。
		・自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。【A:向上心、個性の伸長】	・自分の特徴を知って、短所を改善し長所を伸ばそうとしている。	・自分との対峙	・自分の顔を鏡で見る。対話する。 ・毎日どんなことを考えて生活しているのか振り返る
		・世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与すること。【C国際理解、国際親善】	・誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接し、正義の実現に努めようとしている。	・世界のクリスマスカード	・家族や友人に優しい愛ある言葉を書いてみよう。

3学期	10	・自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすること。【D　自然愛護】	・身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接しようとしている。	・一人一鉢運動	・一人一鉢運動とあわせて、植物の世話を通して、生長の喜びに気付き、動植物に親しみを持とうとする心情を育てる。
		・法きまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに【C：遵法精神、公徳心】	・法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切にし、義務を果たそうとしている。	ルールを守る等	・SNSの適切な使い方を学ぶ。 ・視聴覚映像や図書室の利用。
		・正義と公平さを重んじ誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること。 【ｃ:公正、公平、社会正義】	・誰に対しても、公平に正義感を重んじ、偏見のない社会実現に努めようとしている。	・正義のヒーロー	・正義や偏見や公平について意見交換する。 ・正義のヒーロー（アンパンマン、ウルトラマン他）
		・社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。【C:社会参画、公共の精神】	・日々の生活が家族や過去から多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それに応えようとしている。	「つながりに守られて」	・社会の中で、安心した生活するため、みんなでつながり合うことを考えよう。 ・どのようなつながりがあるのか考えてみよう。
		・美しいものや気高いものに感動する心をもち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めること。 【D:感動、畏敬の念】	・身じかな花や風景を見て感動する心をもち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めようとしている。	・美しい人間像 ・美しい夕焼け	・きみたちは大人のどんな行動に感動するのか？人の見た目、それとも心（内面）
		・人間には、自らの弱さや醜さを克服する強さ気高くいきようとする心があることを理解し、人間として生きる喜びを見いだすこと。 【D:よりよく生きる喜び】	・よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し、人間として生きる喜びを感じようとしている。	・ドリームマップ	・将来の理想とする自分を想像しながら、ドリームマップを作成する。
留意点 引継ぎ等		・必要に応じて下学年の題材を取り上げることもある。 ・写真・スライド・動画を活用し、視覚的に伝わりやすいようにする。			

令和　8　年度　　高等部３年（　Ⅱ課程AB　）　道徳科　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1／３５	３学年　32名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

・より良く生きるための基盤となる道徳性を養うために、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ物事を広い視野から多面的、多角的に考え人間としての生き方について考えをが深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
・社会連帯の自覚を高め、主体的に社会の形成に参画する意欲と態度を養い、義務を果たし責任を重んじる態度及び人権を尊重し、差別のないより良い社会を実現しようとする態度を養う。

A 自分自身に関すること
B 人との関わりに関すること
C 集団や社会との関わりに関すること
D 生命や自然、崇高な物との関わりに関すること

学期	時数	単元・題材の目標	学びを見取る視点	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	・学級や学校の一員として協力し合い、様々な集団内で自分の役割を自覚して集団生活を充実しようとする意欲をもつ。【C：よりよい学校生活、集団生活の充実】	・先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくるとともに、様々な集団の中で自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めようとしている。	・オリエンテーション（道徳とは） ・学年びらき ・学級びらき	・先輩としての思いを語る。 ・新年度の新しいクラスメイトや教師との出会いに関連させ、よりよい学級作りに取り組む。
		・友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていこうとすること。【B：友情、信頼】	・友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていこうとしている。	・自己紹介 ・私について	・私自身のことを伝える。得意なこと趣味等について紹介（イラスト、写真、本、タブレットの活用）
		・時と場所をわきまえて、礼儀ただしく真心をもって接すること。【B：礼儀】	・公共の場や職員室で礼儀ただしく真心をもって挨拶しようとしている。	・広がる挨拶 ・1日の挨拶 （朝、昼、夜）	・職員室に入室する前の挨拶の練習など。 ・だれとでも挨拶できるようにする。 ・自ら挨拶できるようにする。（習慣化）
		・自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重していくこと。【B：相互理解、寛容】	・支えてくれる家族や友人の意見を聞いて理解し合おうとしている。	・身じかな家族や友人達について	・家族のことを理解し、日頃からの関わり方を話合う。 ・家族との過ごし方 ・それぞれの家族を尊重し合う。
		・法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切にし、義務を果たすこと。【C：規則の遵守】	・社会のきまりを理解し、進んでそれらを守り、互いの権利を大切にし、学校生活に生かそうとしている。	･交通安全教室	・交通安全教室に参加し、ルールやきまりについて学ぶ。 ・安全な登下校方法について。 ・帰宅後の自転車乗車について
		・望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、説度を守り節制に心がける。【A：節度、節制】	・優しい言葉かけを生活習慣として身に付け、より良い人間関係を築こうとしている。	・話言葉（チクチク言葉、ふわふわ言葉）	・言葉ひとつで相手を喜ばせたり、傷つけたりすることがあるのかどうか考えよう。 ・嬉しい言葉、悲しい言葉について
		・生命が多くの生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重すること。【D　生命の尊さ】	・生命が多くの生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解しようとしている。	・平和学習	・慰霊の日について考え、お互いに意見交換をする。 ・地域の祖父母から話しを聴こう。
		・わが国の郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつこと。【C　伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】	・わが国の郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもとうとしている。	・平和学習 ・昔の人々の暮らしから考える	・沖縄と言えばのクイズ形式で伝統文化などにふれる。（首里城、識名園、紅型等） ・糸満の歴史の資料（シャボン玉ホール内に有り）と関連
		・父母、祖父母を敬愛し、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くこと。【C　家族愛、家庭生活の充実】	・誰に対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にしようとしている。	・人権教室（みなちがってみないい）	・相手のことを考え、親切や思いやりの気持ちで、仲良くできる方法について話合おう。
2学期	13	・より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気をいもち困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。【A希望と勇気、克己と強い意志】	・より高い目標を立て、希望と勇気をもち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと・「目標にむかって確かな一歩」	・技能検定の説明 ・スキルアップ	・就労にむけての意義や将来の職業について考える。 ・校内で取り組む技能検定に向けての練習。
		・勤労の尊さや意識を理解し、将来のの生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること【C勤労】	・勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方いついて考えを深めようとしている。	・技能検定や係活動等と関連させて ・働くこととは	・資格をとることで、将来にどのように繋がるかを考える。 ・働くことについて具体的に考えよう。（時間、お金との関係）
		・自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心をもち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。【B　相互理解】	・周囲の人達の意見を理解し、信頼し素直に聴く態度を抱こうとしている。	・みんなの学級会	(学年道徳)「エンカウンター；仲間集め」「双方向の信頼」「自分たちの集団や学年」
		・礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること。【B：礼儀】	・礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとろうとしている。	「TPOと自分の心」	・身だしなみや挨拶等見本を見ながら、自分に置き換えて考える。
		・友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと【B友情、信頼】	・友人をお互いに信頼し友情を深め、尊重し合い異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めようとしている。	(グループ別授業)「人との付き合い方」	・男女としての関わり方（青年期の特徴） ・人との距離やスキンシップ等について考える。 ・性指導と関連

		・自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。【A:向上心、個性の伸長】	・自分の特徴を知って、短所を改善し長所を伸ばそうとしている。	・自分との対峙	・自分の顔を鏡で見る。対話する。 ・毎日どんなことを考えて生活しているのか振り返る
		・世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与すること。【C国際理解、国際親善】	・誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接し、正義の実現に努めようとしている。	・世界のクリスマスカード	・家族や友人に優しい愛ある言葉を書いてみよう。 ・絵本の世界から学ぶ ・タブレットの活用。
3学期	10	・自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすること。【D　自然愛護】	・身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接しようとしている。	・一人一鉢運動	・一人一鉢運動とあわせて、植物の世話を通して、生長の喜びに気付き、動植物に親しみを持とうとする心情を育てる。
		・法きまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに【C：遵法精神、公徳心】	・法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切にし、義務を果たそうとしている。	ルールを守る等	・SNSの適切な使い方を学ぶ。 ・視聴覚映像や図書室の利用。 ・相手の気持ちを理解しながらスマホを活用する（社会人としてのマナー）
		・正義と公平さを重んじ誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること。 【ｃ:公正、公平、社会正義】	・誰に対しても、公平に正義感を重んじ、偏見のない社会実現に努めようとしている。	・正義のヒーロー	・正義や偏見や公平について意見交換する。 ・正義のヒーロー（アンパンマン他） ・あなたのヒーローは?誰?
		・社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。【C:社会参画、公共の精神】	・日々の生活が家族や過去から多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それに応えようとしている。	「つながりに守られて」	・社会の中で、安心した生活するため、みんなでつながり合うことを考えよう。 ・どのようなつながりがあるのか考えてみよう。
		・美しいものや気高いものに感動する心をもち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めること。【D:感動、畏敬の念】	・身じかな花や風景を見て感動する心をもち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めようとしている。	・美しい人間像 ・美しい夕焼け	・きみたちは大人のどんな行動に感動するのか？人の見た目、それとも心（内面）
		・人間には、自らの弱さや醜さを克服する強さ気高くいきようとする心があることを理解し、人間として生きる喜びを見いだすこと。【D:よりよく生きる喜び】	・よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し、人間として生きる喜びを感じようとしている。	・ドリームマップ	・将来の理想とする自分を想像しながら、ドリームマップを作成する。
留意点 引継ぎ等		・必要に応じて下学年の題材を取り上げることもある。 ・写真・スライド・動画を活用し、視覚的に伝わりやすいようにする。			

令和８年度　高等部　１年（Ⅱ課程）　総合的な探求の時間　年間指導計画

単位数/配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1／35	1年27名		タブレット等

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 卒業後の生活を見据え、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身につける。 (思判表力)卒業後の生活を見据え、自分で課題を立て、情報を集め、考えたことをまとめ、表現ができるようにする。 (学･人)主体的に卒業後の生活について考え、よりよい生活を実現しようとする態度を養う。

学期	時数	題材の目標	題材の評価規準	題材名	題材の活動内容
1学期	11	(知及技) ・前期就業体験、体験報告会を通して、自分の課題を発見し、解決に必要な知識及び技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・校内実習で共に働いた仲間との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、考えたことをまとめ・表現することができる。 (学･人) ・探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新しい考え方を見つけることができる。	(知・技) ・校内実習中の日誌記入や、事後学習などの振り返りの中で発見した、人との関わりや作業面の課題について、解決に必要な知識や技能を身に付けようとしている。 (思･判･表) ・校内実習を通して発見した自身の長所や課題や、多様な実習報告を聞いて考えたことを整理し、望ましい社会生活のイメージを明確にしようとしている。 (主学) ・自らの課題を解決するために実習の目標を設定し、目標達成に向けて主体的かつ協働的に実習に取り組もうとしている。	・前期就業体験（校内実習）	・校内の職業班に所属し、２週間の実習を行う。 ・目標を設定し、具体的な目標達成方法を考えて実行する。 ・1日を振り返り、日誌に記入する。
2学期	15	(知及技) ・交流した高校生との関わりを通して、自分の課題を発見し、解決に必要な知識及び技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・交流した高校生との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、考えたことをまとめ・表現することができる。 (学･人) ・探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新しい考え方を見つけることができる。	(知・技) ・実習日誌の記入や事後学習、沖水生との交流学習を通して発見した自身の課題について、人との関わり方や作業面に関する課題解決のための知識・技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) ・沖水生とのレクリエーションや実習での活動を通して、望ましい人との関わり方やコミュニケーション、行動等における自身の課題や長所について考えたことを整理し、表現しようとしている。 (主学) ・地域の一員として相互理解を深めるため、日頃の学習で培った力を生かしながら、意欲的に交流活動に取り組もうとしている。	・前期就業体験（校内実習） ・沖縄水産高校との交流学習	・校内の職業班に所属し、２週間の実習を行う。 ・目標を設定し、具体的な目標達成方法を考えて実行する。 ・1日を振り返り、日誌に記入する。 ・自己紹介を行う。 ・レクレーションを通して互いに理解を深め、共に協力し合いながら交流を深める。
3学期	9	(知及技) ・学習発表会事前・事後学習や進路講話を通して、自分の課題を発見し、解決に必要な知識及び技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・３年間を振り返り、自分の成果や課題について向き合い、自分で考えたことをまとめ・表現することができる。 (学･人) ・探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新しい考え方を見つけ、社会生活に生かすことができる。	(知・技) ・学習発表会事前・事後学習や進路講話への参加を通して、卒業後の社会生活に関する情報を収集し、自身の課題解決のための知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) ・同級生や、教師との関わり、そして事業所職員の話から考えた自身の課題や今後の目標について、考えを整理し、絵や文章で表現しようとしている。 (主学) ・学習発表会事前・事後学習を通して、考えたことや学んだことを協働してまとめながら、意欲的に発表に取り組もうとしている。	・学習発表会事前・事後学習 ・進路講話	・班のメンバーと協力し、日ごろの学習の様子や成果を掲示物にまとめたり、作品を展示したりする。事後学習では各班の報告を聞き、感じたことを学んだことを発表する。 ・進路講話を聞き、自身の進路選択の参考にする。

令和８年度　高等部　２年（Ⅱ課程）　総合的な探求の時間　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1／35	30名		タブレット等

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）卒業後の生活を見据え、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身につける。 (思判表力)卒業後の生活を見据え、自分で課題を立て、情報を集め、考えたことをまとめ、表現ができるようにする。 (学･人)主体的に卒業後の生活について考え、よりよい生活を実現しようとする態度を養う。

学期	時数	題材の目標	題材の評価規準	題材名	題材の活動内容
1学期	11	(知及技) ・前期就業体験や体験報告会を通して、自分の課題を発見し、解決に必要な知識及び技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・前期就業体験先の人との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、考えたことをまとめ・表現することができる。 (学･人) ・探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新しい考え方を見つけ、社会生活に生かすことができる。	(知・技) ・実習中の日誌記入や、事後学習の振り返りの中で発見した、人との関わりや作業面における自身の課題について、解決に必要な知識や技能を身に付けようとしている。 (思･判･表) ・実習を通して発見した自身の長所や課題や、体験報告を聞いて考えたことを整理し、卒業後の社会生活のイメージを明確にしようとしている。 (主学) ・自らの課題を解決するために実習の目標を設定するとともに、目標達成に向けて主体的かつ協働的に実習に取り組もうとしている。	・前期就業体験	・校外で２週間の実習を行う。 ・目標を設定し、具体的な目標達成方法を考えて実行する。 ・1日を振り返り、日誌に記入する。
2学期	15	(知及技) ・後期就業体験や交流した高校生との関わりを通して、自分の課題を発見し、解決に必要な知識及び技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・交流した高校生との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、考えたことをまとめ・表現することができる。 (学･人) ・探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新しい考え方を見つけ、社会生活に生かすことができる。	(知・技) ・実習日誌の記入や事後学習、沖水生との交流学習を通して発見した自身の課題について、人との関わり方や作業面などの課題の解決に向けて知識・技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) ・沖水生とのレクリエーションや実習での活動を通して、望ましい人との関わり方やコミュニケーション、行動等における自身の課題や長所について考えたことを整理し、表現しようとしている。 (主学) ・地域の一員としての自覚や相互の理解を深めるため、日頃の学習で培った力を生かしながら、意欲的に交流活動に取り組もうとしている。	・後期就業体験 ・沖縄水産高校との交流学習	・校外で２週間の実習を行う。 ・目標を設定し、具体的な目標達成方法を考えて実行する。 ・1日を振り返り、日誌に記入する。 ・自己紹介を行う。 ・レクレーションを通して互いに理解を深め、共に協力し合いながら交流を深める。
3学期	9	(知及技) ・学習発表会事前・事後学習や進路講話を通して、自分の課題を発見し、解決に必要な知識及び技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・３年間を振り返り、自分の成果や課題について向き合い、自分で考えたことをまとめ・表現することができる。 (学･人) ・探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新しい考え方を見つけ、社会生活に生かすことができる。	(知・技) ・学習発表会事前・事後学習や進路講話への参加を通して、卒業後の社会生活に関する情報を収集し、自身の課題解決のための知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) ・同級生や、教師との関わり、そして事業所職員の話から考えた自身の課題や今後の目標について、考えを整理し、絵や文章で表現しようとしている。 (主学) ・学習発表事後学習に向けて、活動内容や活動を通して考えたことや学んだことを協働してまとめながら、意欲的に発表に取り組もうとしている。	・学習発表会事前・事後学習 ・進路講話	・班のメンバーと協力し、日ごろの学習の様子や成果を掲示物にまとめたり、作品を展示したりする。事後学習では各班の報告を聞き、感じたことを学んだことを発表する。 ・進路講話を聞き、自身の進路選択の参考にする。

令和８年度　高等部　３年（Ⅱ課程）　総合的な探求の時間　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1／35	３年３２名		タブレット等

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技）卒業後の生活を見据え、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身につける。 (思判表力)卒業後の生活を見据え、自分で課題を立て、情報を集め、考えたことをまとめ・表現ができるようにする。 (学･人)主体的に卒業後の生活について考え、よりよい生活を実現しようとする態度を養う。

学期	時数	題材の目標	題材の評価規準	題材名	題材の活動内容
1学期	11	(知及技) ・前期就業体験や体験報告会を通して、自分の課題を発見し、解決に必要な知識及び技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・前期就業体験先の人との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、考えたことをまとめ・表現することができる。 (学･人) ・探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新しい考え方を見つけ、社会生活に生かすことができる。	(知・技) ・実習中の日誌記入や、事後学習の振り返りの中で発見した、卒業後の職業生活に関する自身の課題について、解決に必要な知識や技能を身に付けようとしている。 (思･判･表) ・実習を通して発見した自身の長所や課題や、体験報告を聞いて考えたことを整理し、卒業後の社会生活のイメージを明確にしようとしている。 (主学) ・自らの課題を解決するために実習の目標を設定するとともに、目標達成に向けて主体的かつ協働的に実習に取り組もうとしている。	・前期就業体験	・校外で２週間の実習を行う。 ・目標を設定し、具体的な目標達成方法を考えて実行する。 ・1日を振り返り、日誌に記入する。
2学期	15	(知及技) ・後期就業体験や交流した高校生との関わりを通して、自分の課題を発見し、解決に必要な知識及び技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・交流した高校生との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、考えたことをまとめ・表現することができる。 (学･人) ・探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新しい考え方を見つけ、社会生活に生かすことができる。	(知・技) ・実習日誌の記入や事後学習、沖水生との交流学習を通して発見した自身の課題について、人との関わり方や作業面などの課題の解決に向けて知識・技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 沖水生とのレクリエーションや実習での活動を通して、望ましい人との関わり方やコミュニケーション、行動等における自身の課題や長所について考えたことを整理し、表現しようとしている。 (主学) ・糸満高校生との共同作業の成功のために、職業の授業で培った力や経験を生かしながら、意欲的に交流を深め作業に取り組もうとしている。	・後期就業体験 ・沖縄水産高校との交流学習 ・糸満高校との共同学習	・校外で２週間の実習を行う。 ・目標を設定し、具体的な目標達成方法を考えて実行する。 ・1日を振り返り、日誌に記入する。 ・自己紹介を行う。 ・レクレーションを通して互いに理解を深め、共に協力し合いながら交流を深める。 ・共同学習を通して互いに理解を深め、共に協力し合いながら交流を深める。
3学期	9	(知及技) ・学習発表会事前・事後学習や進路講話を通して、自分の課題を発見し、解決に必要な知識及び技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・３年間を振り返り、自分の成果や課題について向き合い、自分で考えたことをまとめ・表現することができる。 (学･人) ・探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新しい考え方を見つけ、社会生活に生かすことができる。	(知・技) ・学習発表会事前・事後学習や進路講話への参加を通して、卒業後の社会生活に関する情報を収集し、自身の課題解決のための知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) ・同級生や、教師との関わり、そして事業所職員の話から考えた自身の課題や今後の目標について、考えを整理し、絵や文章で表現しようとしている。 (主学) ・学習発表会事後学習に向けて、活動内容や活動を通して考えたことや学んだことを協働してまとめながら、意欲的に発表に取り組もうとしている。	・学習発表会事前・事後学習 ・進路講話	・班のメンバーと協力し、日ごろの学習の様子や成果を掲示物にまとめたり、作品を展示したりする。事後学習では各班の報告を聞き、感じたことを学んだことを発表する。 ・進路講話を聞き、自身の進路選択の参考にする。

令和8年度　高等部1年（Ⅱ課程）特別活動　年間指導計画

単位数／配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
2／70(37)	1年:27名		はじめの一歩、キャリアパスポート等

目標:(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学・人)学びに向かう力・人間性等
評価:(知・技)知識・技能　(思・判・表)思考・判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技)多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けることができる。 (思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 (学・人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとすることができる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(ホームルーム活動(1)イ) ・ホームルーム生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践することができる。	・係活動、清掃分担や給食の準備や片付けなど、自分の役割を知り、促しを受けながら参加しようとしている。 ホームルーム生活の充実や向上に向けて取り組んでいる。	・学級開き、1学年開き ・キャリアパスポート ・清掃活動、給食準備や片付け	・自己紹介 ・学級目標を考えるための話し合い活動 ・係活動についての話し合い活動 ・清掃活動、給食準備や片付けについての役割分担、話し合い活動、係・当番活動の実践
		(ホームルーム活動(1)ウ) ・生徒会などホームルームの枠を超えた多様な集団における活動や学校行事を通して学校生活の向上を図るため、ホームルームとしての提案や取り組みを話し合って決めることができる。	・学年レクに向けて、ホームルームとしての提案や取り組みを話し合って決めようとしている。	・学年レクに向けて	・学年レクについて話し合い活動、準備・実施
		(ホームルーム活動(2)オ) ・節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや，事件や事故，災害等から身を守り安全に行動することができる。	・夏休みの過ごし方を通して、節度ある健全な生活で心身の健康を保持増進することや，事件や事故，災害等から身を守り安全に行動することについて考えようとしている。	・夏休みの過ごし方 ・1学期の個人目標 ・キャリアパスポート ・自分のことについて ・1学期のまとめ、振り返り ・前期就業体験事前事後学習	・夏休みの過ごし方について考える
		(ホームルーム活動(3)ア) ・現在及び将来の生活や学習と自己実現のつながりを考えたり、社会的・職業的自立の意義を意識したりしながら、学習の見通しを立て、振り返ることができる。	・前期就業体験の事前事後学習やキャリアパスポート等に取り組むことによって、現在や将来の生活について考え、学習や生活の目標を立てたり振り返ったりしようとしている。 ・教育相談を通して、自分について表現し、担任との関係づくりをしようとしたり、現在や将来について考えようとしたりしている。	・相談週間 ・はじめの一歩①② ・新入生歓迎会 ・児童生徒総会	・個人目標決め・発表 ・キャリアパスポートの取り組み ・1学期の振り返り・感想 ・前期就業体験事前事後学習で目標設定や振り返り ・教育相談における担任との対話
		(生徒会活動(2)) ・多様な他者と協力して，学校行事に協力する活動に取り組むことを通して，学校生活の充実と向上を図ろうとすることができる。	・新入生歓迎会、児童生徒総会に取り組みを通して、多様な他者と協力し、学校生活の充実と向上を図ろうとしている。	・入学式、1学期終業式	・新入生歓迎会への参加 ・児童生徒総会事前学習・話し合い ・児童生徒総会への参加
		(学校行事(1)) ・学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開へ動機付けとすることができる。	・入学式、1学期終業式を通して身なりやふさわしい参加態度を意識し、厳粛で清新な気分を味わい、学校生活に有意義な変化や折り目をつけようとしている。	・身体計測、聴力、視力検査、X一P検査 心電図検査、内科検診、歯科検診	・入学式への参加 ・1学期終業式への参加
		(学校行事(3)) ・心身の健全な発達や健康の保持増進，事件や事故，災害等の非常時から身を守ることの意義を理解し，必要な行動の仕方などを身に付けることができる。	・検診に順番を守り、落ち着いて参加し、健全な発達や健康の保持増進を行おうとしている。 ・避難訓練や交通安全教室を通して事件や事故，災害等の非常時から身を守ることの意義を理解し，必要な行動の仕方などを身に付けようとしている。	・火災避難訓練①	・身体計測、聴力、視力検査、X一P検査他等の検査 ・火災避難訓練や交通安全教室、事前・事後学習 ・防災バックの点検
2学期	30	(ホームルーム活動(1)イ) ・ホームルーム生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践することができる。	・係活動、清掃分担や給食の準備や片付けを通して、友達と対話をするとともに、自ら役割を意識し、協力して活動するなど、ホームルーム生活の充実や向上に向けて取り組んでいる。	・清掃活動、給食準備や片付け	・係活動についての話し合い活動 ・清掃活動、給食準備や片付けについての役割分担、話し合い活動、係・当番活動の実践
		(ホームルーム活動(1)ウ) ・生徒会などホームルームの枠を超えた多様な集団における活動や学校行事を通して学校生活の向上を図るため、ホームルームとしての提案や取り組みを話し合って決めることができる。	・学年レクや交流学習に向けて、ホームルームとしての提案や取り組みを話し合って決め、よりよい交流・活動にしようとしている。	・学年レクに向けて ・交流学習事前事後学習	・学年レクについて意見交換、準備・実施 ・交流学習の事前・事後学習(感想、お礼の手紙)
		(ホームルーム活動(2)オ) ・節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや，事件や事故，災害等から身を守り安全に行動することができる。	・冬休みの過ごし方を通して、節度ある健全な生活で心身の健康を保持増進することや，事件や事故，災害等から身を守り安全に行動することについて考えようとしている。 ・心や体に関する正しい理解を基に、適切な行動をとり、悩みや不安に向き合い乗り越えようとしている。	・冬休みの過ごし方 ・自己の心身の成長、人との付き合い方(性教育)	・冬休みの過ごし方について考える ・自己の心身の成長・人との付き合い方
		(ホームルーム活動(3)ア) ・現在及び将来の生活や学習と自己実現のつながりを考えたり、社会的・職業的自立の意義を意識したりしながら、学習の見通しを立て、振り返ることができる。	・2学期の目標決めやキャリアパスポートを通して、現在や将来の生活について考え、学習や生活の目標を立てたり振り返ったりしようとしている。 ・教育相談を通して、自分について表現し、担任との関係づくりをしようとしたり、現在や将来について考えようとしたりしている。	・2学期の個人目標 ・キャリアパスポート ・自分のことについて ・2学期のまとめ、振り返り ・相談週間 ・はじめの一歩③④	・個人目標決め・発表 ・キャリアパスポートの取り組み ・2学期の振り返り・感想 ・教育相談における担任との対話

		(生徒会活動(2)) ・多様な他者と協力して，学校行事に協力する活動に取り組むことを通して，学校生活の充実と向上を図ろうとすることができる。	・友達と協力して修学旅行のお守り作りに取り組んだり、学部の壮行会に主体的に参加することにより、学校生活の充実と向上を図ろうとしている。	・壮行会	・壮行会へ向けての製作 ・壮行会では、静かに参加し次年度に期待を抱く。
		(学校行事(1)) ・学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開へ動機付けとすることができる。	・2学期始業式や終業式を通して身なりやふさわしい参加態度を意識し、厳粛で清新な気分を味わい、学校生活に有意義な変化や折り目をつけようとしている。	・2学期始業式、終業式	・2学期始業式 ・2学期終業式
		(学校行事(3)) ・心身の健全な発達や健康の保持増進，事件や事故，災害等の非常時から身を守ることの意義を理解し，必要な行動の仕方などを身に付けることができる。	・避難訓練や交通安全教室を通して事件や事故，災害等の非常時から身を守ることの意義を理解し，必要な行動の仕方などを身に付けようとしている。	・火災避難訓練② ・地震・津波避難訓練	・火災・津波避難訓練の・火災避難訓練や交通安全教室、事前・事後学習 ・防災バックの点検等を行う。
		(学校行事(2)) ・平素の学習活動の成果を発表し、自己の向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりすることができる。	・芸術鑑賞会を通して、これまでの学習と結び付けて平素の学習活動の成果を発表したり、文化や芸術に親しんだりして、自己の向上の意欲を高めようとしている。	・芸術鑑賞会	・芸術鑑賞会の鑑賞
3 学 期	16	(ホームルーム活動(1)イ) ・ホームルーム生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践することができる。	・係活動、清掃分担や給食の準備や片付けを通して、友達と対話をするとともに、主体的に仕事を分担し、自己の役割を自覚しながら協力して活動するなど、ホームルーム生活の充実や向上に向けて取り組んでいる。	・学級開き、学年開き ・清掃活動、給食準備や片付け	・係活動についての話し合い活動 ・清掃活動、給食準備や片付けについての役割分担、話し合い活動、係・当番活動の実践
		(ホームルーム活動(1)ウ) ・生徒会などホームルームの枠を超えた多様な集団における活動や学校行事を通して学校生活の向上を図るため、ホームルームとしての提案や取り組みを話し合って決めることができる。	・学年レクに向けて、ホームルームとしての提案や取り組みを話し合って決めようとしている。	・学年レクに向けて	・学年レクについて話し合い活動、準備・実施
		(ホームルーム活動(2)オ) ・節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや，事件や事故，災害等から身を守り安全に行動することができる。	・春休みの過ごし方を通して、節度ある健全な生活で心身の健康を保持増進することや，事件や事故，災害等から身を守り安全に行動することについて考えようとしている。	・春休みの過ごし方	・春休みの過ごし方について考える
		(ホームルーム活動(3)ア) ・現在及び将来の生活や学習と自己実現のつながりを考えたり、社会的・職業的自立の意義を意識したりしながら、学習の見通しを立て、振り返ることができる。	・キャリアパスポートや1年の振り返り、進路講話を通して、現在や将来の生活について考え、学習や生活の目標を立てたり振り返ったり、次年度に向けた行動を考えようとしている。	・3学期の個人目標 ・キャリアパスポート ・自分のことについて ・働くことについて ・2年生への進級に向けて ・1年のまとめ、振り返り ・はじめの一歩⑤	・個人目標決め・発表 ・キャリアパスポートの取り組み ・1年の振り返り ・働くことについて ・将来働くことについて話し合い・意見交換
		(生徒会活動(2)) ・多様な他者と協力して，学校行事に協力する活動に取り組むことを通して，学校生活の充実と向上を図ろうとすることができる。	・主体的に生徒会選挙に取り組み、協力して3年生を送る会、学部離任式に取り組むことを通して、学校生活の充実と向上を図ろうとしている。	・生徒会役員選挙 ・3年生を送る会 ・学部離任式	・役員選挙の告示への参加・立候補・推薦人となる・選挙への参加 ・3年生を送る会の余興内容の話し合い・計画、準備・送る会への参加 ・お世話になった人に感謝の気持ちを伝える(手紙や言葉等)
		(学校行事(1)) ・学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開へ動機付けとなるようにすることができる。	・3学期始業式、高等部卒業式、修了式を通して身なりやふさわしい参加態度を意識し、厳粛で清新な気分を味わい、学校生活に有意義な変化や折り目をつけようとしている。	・3学期始業式 ・高等部卒業式 ・修了式、離任式	・3学期始業式への参加 ・高等部卒業式への参加 ・修了式・離任式への参加
		(学校行事(4)) ・平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができる。	・校外学習に向けて、みんなで協力して計画を立てるための話し合い活動に参加したり、公衆道徳を意識して確認や行動をしようとしている。	・校外学習	・校外学習に向けて、計画についての話し合い活動、公共でのマナーやルール、安全面の確認
		(学校行事(2)) ・平素の学習活動の成果を発表し、自己の向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりすることができる。	・みんなと協力しながら主体的にこれまでの学習活動の成果を発表し、自己の向上の意欲を一層高めようとしている。	・学習発表会	・学習発表会への取り組み
留意点 引継ぎ等		・生徒の障害特性や健康状態、心理面に十分配慮し、視覚的支援、役割の明確化、段階的な活動設定を行う。 ・活動への参加方法は一律とせず、見学・部分参加・役割調整など柔軟に対応する。			

令和8年度　高等部2年（Ⅱ課程）特別活動　年間指導計画

単位数／配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
2／70(37)	2年：30名		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思・判・表)思考・判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技)多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けることができる。 (思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 (学・人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとすることができる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24(12)	(ホームルーム活動(1)イ) ・ホームルーム生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践することができる。 (ホームルーム活動(2)ア) ・自他の個性を理解して尊重し、互いのよさや可能性を発揮し、コミュニケーションを図りながらよりよい集団生活をつくることができる。 (ホームルーム活動(3)ア) ・現在及び将来の生活や学習と自己実現とのつながりを考えたり、社会的・職業的自立の意義を意識したりしながら、学習の見通しを立て、振り返ることができる。 (ホームルーム活動(3)ウ) ・社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動することができる。 (生徒会活動(2)学校行事への協力) ・多様な他者と協力して、学校行事に協力する活動に取り組むことを通して、学校生活の充実と向上を図ろうとすることができる。 (学校行事(3)) ・心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等の非常時から身を守ることの意義を理解し、必要な行動の仕方などを身に付けることができる。	・ホームルーム生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践しようとしている。 ・自他の個性を理解して尊重することの意義や、コミュニケーションを図りながらよりよい集団生活をつくる上で必要となることについて理解している。 ・現在及び将来の生活や学習と自己実現とのつながりを考えたり、社会的・職業的自立の意義を意識したりしながら、学習の見通しを立て、振り返り、実践している。 ・社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動しようとしている。 ・自分で決めた目標に向かい取り組み、友達の前で一芸を披露しようする様子が見られる。 ・友達の頑張りを心から讃える姿勢が見られる。 ・多様な他者と協力して、学校行事に協力する活動に取り組むことを通して、学校生活の充実と向上を図ろうとしている。 ・心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動するための知識や技能が身についている。	(ホームルーム活動) ・学級開き、学年開き ・清掃活動、給食準備や片付け ・相談週間 ・学年レクに向けて ・前期就業体験事前事後学習 「人はなぜ働くのか」 「挑戦失敗の必要性」 ・個性の理解 「自分をプロデュース」 ・1学期のまとめ、振り返り ・キャリアパスポート ・夏休みの過ごし方 ・はじめの一歩 (生徒会活動) ・新入生歓迎会 ・児童生徒総会 (学校行事) ・始業式、入学式、終業式 ・身体計測、聴力、視力検査、心電図検査、内科検診、歯科検診 ・火災避難訓練①	・自己紹介、学級目標や1学期の個人目標を考える。係活動について話合う。 ・清掃活動、給食準備や片付けついてお互いに話合い役割分担を行い実践する。 ・相談週間では、日頃から考えていること、不安や悩み等話ながら、担任との信頼関係を築く。 ・学年レクについて一芸披露に向けて、互いに練習日程調整を行い準備する。 ・お互いの意見や考えを素直に聞き、受け取る努力をする。 ・前期就業体験事前事後学習を通し、「勤労」と「挑戦と失敗」について考える。 ・1学期を振り返り感想をまとめ、キャリアパスポート制作の継続を行う。 (生徒会活動) ・歓迎会や総会では、生徒会の話をききながら、ルールを守って活動する。 (学校行事) ・入学式では高等部の一員としての自覚を抱いて、参加することができる。 ・身体計測、聴力、視力検査、X−P検査他等の検査に対して、順番を守り、落ち着いて検査を受ける準備をする。 ・火災避難訓練や交通安全教室では慌てずに、落ち着いて集団行動ができるよう話合いをする。 ・1学期を振り返りながら、お互いに感想を発表し合う。
2学期	30(15)	(ホームルーム活動(1)ア) ・ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践することができる。 (ホームルーム活動(1)イ) ・ホームルーム生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践することができる。 (ホームルーム活動(2)イ) ・男女相互について理解するとともに、共に協力し尊重し合い、充実した生活づくりに参画することができる。 (ホームルーム活動(2)オ) ・節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや，事件や事故，災害等から身を守り安全に行動することができる。 (ホームルーム活動(3)ウ) ・社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動することができる。 (生徒会活動(2)学校行事への協力) ・多様な他者と協力して、学校行事に協力する活動に取り組むことを通して、学校生活の充実と向上を図ろうとすることができる。 (学校行事(3)) ・自己の生活を振り返り、健康、安全、防災、運動や体力の向上に関する課題と解決策について考え、他者と協力して、適切に判断し行動することができる。 (学校行事(4)) ・平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができる。	・ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見いだし、解決するために話し合い、合成形成を図り、実践しようとしている。 ・ホームルーム生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践しようとしている。 ・男女における身体的・精神面の違いの理解や，異性と人間関係を築くことに当たってのルールやマナーについて必要なことを理解している。 ・節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや，事件や事故，災害等から身を守り安全に行動しようとしている。 ・社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動しようとしている。 ・自己肯定感をお互いで高めていけるような「聞く姿勢」「話す姿勢」が見られる。 ・多様な他者と協力して、学校行事に協力する活動に取り組むことを通して、学校生活の充実と向上を図ろうとしている。 ・自己の生活を振り返り、健康、安全、防災、運動や体力の向上に関する課題と解決策について考え、他者と協力して、適切に判断し行動しようとしている。 ・豊かな自然や文化・社会に親しむことの意義を理解するとともに、校外における集団生活の在り方や社会生活上のルール、公衆道徳などについて理解し、必要な行動の仕方を身に付けている。	(ホームルーム活動) ・修学旅行に向けて「仲間づくりのスキルアップ」 ・夏休みの思い出と2学期の目標 ・悩みの解決法 ・清掃活動、給食準備や片付け ・学年レクに向けて ・交流事前事後学習（学級） ・卒業生講話 ・2学期のまとめ、振り返り ・働くこと（キャリアパスポート） ・自分のことについて ・冬休みの計画作成 ・はじめの一歩 (生徒会活動) ・壮行会 (学校行事) ・2学期始業式、終業式 ・火災避難訓練② ・地震・津波避難訓練 ・修学旅行	・修学旅行に向けて、仲間意識のさらなる向上を目指していく。 ・夏休みに経験したことやエピソード等について話合う。2学期の個人目標を考える。係活動について話合う。 ・相談週間では、日頃考えていることや不安なことについて話合う。（アドバイス等を今後の学校生活に活かせるようにする） ・清掃活動、給食準備や片付けついてお互いに協力し合いながら、実践する。 ・学年レクについて意見交換をする。 ・交流学習の事前学習について説明を聴いて交流の目的等の理解をする。 ・2学期を振り返って感想をまとめる。 ・働くことについて、話合い今後進路先の参考にする。 ・「自分の幸せ」「自分の体験」等を主体的に考え発表、聞く態度、お互いを尊重し合える態度を育成する。 (生徒会活動) ・壮行会では、修学旅行へ向けての気持ちを整えて参加する。 (学校行事) ・冬用の制服を着用し、身なりを自ら意識して儀式に参加する。 ・火災・津波避難訓練の心構えや準備を日頃からできるようにする。 ・防災バックの点検等を行う。
3学期	16(10)	(ホームルーム活動(1)イ) ・ホームルーム生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践することができる。 (ホームルーム活動(1)ウ) ・生徒会などホームルームの枠を超えた多様な集団における活動や学校行事を通して学校生活の向上を図るため、ホームルームとしての提案や取組を話し合って決めることができる。 (ホームルーム活動(3)ウ) ・社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動することができる。 (ホームルーム活動(3)エ) ・目標をもって在り方や生き方や進路に関する適切な情報を収集・整理し、自己の個性や興味・関心と照らして考えることができる。 (生徒会活動(2)学校行事への協力) ・多様な他者と協力して、学校行事に協力する活動に取り組むことを通して、学校生活の充実と向上を図ろうとする態度を養う。 (学校行事(1)) ・学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開へ動機付けとすることができる。	・ホームルーム生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践しようとしている。 ・生徒会などホームルームの枠を超えた多様な集団における活動や学校行事を通して学校生活の向上を図るため、ホームルームとしての提案や取組を話し合って決めようとしている。 ・社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動しようとしている。 ・目標をもって在り方や生き方や進路に関する適切な情報を収集・整理し、自己の個性や興味・関心と照らして考えようとしている。 ・多様な他者と協力して、学校行事に協力する活動に取り組むことを通して、学校生活の充実と向上を図ろうとしている。 ・修了式や高等部卒業式の意義や，場面にふさわしい参加の仕方について理解し，厳粛な場における儀礼やマナー等の規律や気品ある行動の仕方などを身に付けようとしている。	(ホームルーム活動) ・新年、3学期の目標 ・学年レクに向けて ・清掃活動、給食準備や片付け ・1年間のまとめ、キャリアパスポート ・働くことについて ・3年生への進級に向けて (生徒会活動) ・生徒会役員選挙 ・3年生を送る会 ・学部離任式 (学校行事) ・3学期始業式、修了式 ・学習発表会 ・高等部卒業式 ・離任式	・新年の抱負について語り合おう。 ・3学期の個人目標を考えて決意を新たにする。 ・学年レクについて、クラス全員で話し合い、準備する。 ・清掃活動、給食準備や片付けを協力しながら、積極的に行う。 ・1年間を振り返り、キャリアパスポートの作成継続を行う。 ・見近な働く人たちことに触れながら、将来働くことについお互いに意見交換する。 ・進級に向けて、新たな目標や意気込みを考える。 ・役員選挙の流れを理解し、立候補や推薦人を自発的にチャレンジしてみよう。 ・先輩方をイメージしながら、余興内容を考え、みんなで準備し当日参加する。 ・お世話になった学部の先生方に対して、感謝の気持ちを抱き、各自で気持ちを伝える。（手紙や言葉等） ・3学期を振り返りながら、今後に向けて改善したいこと等を考える。 ・1年間の成果を学習発表会で披露する。 ・卒業式では礼儀正しく身なりを整えて参加する。
留意点引継ぎ等					

令和8年度　高等部3年(Ⅱ課程)　特別活動　年間指導計画

単位数／配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
2／70(37)	3年:32名		

目標:(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学・人)学びに向かう力・人間性等
評価:(知・技)知識・技能　(思・判・表)思考・判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技)多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けることができる。 (思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 (学・人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとすることができる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24 (12)	(ホームルーム活動(1)イ) ・ホームルーム生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践することができる。 (ホームルーム活動(2)ア) ・自他の個性を理解して尊重し，互いのよさや可能性を発揮し、コミュニケーションを図りながらよりよい集団生活をつくることができる。 (ホームルーム活動(3)ア) ・現在及び将来の生活や学習と自己実現とのつながりを考えたり、社会的・職業的自立の意義を意識したりしながら、学習の見通しを立て、振り返ることができる。 (ホームルーム活動(3)エ) ・目標をもって在り方や生き方や進路に関する適切な情報を収集・整理し、自己の個性や興味・関心と照らして考えることができる。	・ホームルーム生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践しようとしている。 ・自他の個性を理解して尊重し，互いのよさや可能性を発揮し、コミュニケーションを図りながらよりよい集団生活をつくろうとしている。 ・現在及び将来の生活や学習と自己実現とのつながりを考えたり、社会的・職業的自立の意義を意識したりしながら、学習の見通しを立て、振り返ろうとしている。 ・卒業後の進路や社会生活に関する幅広い情報を理解し，自分を見つめ，目指すべき自己の将来像について考えている。	(ホームルーム活動) ・学級開き、学年開き ・清掃活動、給食準備や片付け ・学年レクに向けて ・前期就業体験事前事後学習 ・進路について考える ・1学期のまとめ、振り返り ・夏休みの過ごし方 ・はじめの一歩(今の気持ちと向き合おう！)(生きるためにどうする？)	・自己紹介をする。学級目標や1学期の個人目標を考える。係活動について話合う。 ・清掃活動、給食準備や片付けついてお互いに話合い役割分担を行い、実践する。 ・相談週間では日々のことや不安等について気軽に話ながら、担任との信頼関係を築く。 ・学年レクについて意見交換をし、準備実践をする。 ・3年生になり、就業体験や新郎決定にむけての不安をどのように考えていくかお互いの意見を述べ合う。 ・生きるために何が必要か、今何をするべきか考える。 ・前期就業体験事前事後学習の実施。 ・今後の進路先について考える。 ・1学期を振り返って感想をまとめる。 ・夏休みの安全面の確認をする。
		(生徒会活動(2)学校行事への協力) ・多様な他者と協力して、学校行事に協力する活動に取り組むことを通して、学校生活の充実と向上を図ろうとすることができる。	・多様な他者と協力して、学校行事に協力する活動に取り組むことを通して、学校生活の充実と向上を図ろうとしている。	(生徒会活動) ・新入生歓迎会 ・児童生徒総会	・歓迎会や総会では、生徒会の話をききながら、ルールを守って活動する。
		(学校行事(3)) ・心身の健全な発達や健康の保持増進，事件や事故，災害等の非常時から身を守ることの意義を理解し，必要な行動の仕方などを身に付けることができる。	・心身の健全な発達や健康の保持増進，事件や事故，災害等の非常時から身を守ることの意義を理解し，必要な行動の仕方などを身に付けている。	(学校行事) ・1学期始業式、終業式 ・身体計測、聴力、視力検査、 心電図検査、内科検診、歯科検診 ・火災避難訓練①	・入学式では高等部の一員としての自覚を抱いて、参加することができる。 ・身体計測、聴力、視力検査他等の検査に対して、順番を守り、落ち着いて検査を受ける準備をする。 ・火災避難訓練や交通安全教室では慌てずに、落ち着いて集団行動ができるよう話合いをする。 ・防災バックの点検等を行う。 ・1学期を振り返りながら、お互いに感想を発表し合う。
2学期	30 (15)	(ホームルーム活動(1)ア) ・ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見いだし、解決するために話し合い，合意形成を図り、実践することができる。 (ホームルーム活動(1)イ) ・ホームルーム生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践することができる。 (ホームルーム活動(3)エ) ・目標をもって，在り方生き方や進路に関する適切な情報を収集・整理し、自己の個性や興味・関心と照らして考えることができる。	・ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見いだし、解決するために話し合い，合意形成を図り、実践しようとしている。 ・ホームルーム生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践しようとしている。 ・人間としての在り方生き方や進路に関する各種の情報を収集して活用するとともに，自分自身の興味・関心などの個性を理解した上で，自分の将来の生き方や生活について見通しを持ち，進路選択を行っている。	(ホームルーム活動) ・夏休みの思い出と2学期の目標 ・悩みの解決法 ・清掃活動、給食準備や片付け ・校外学習に向けて ・交流事前事後学習 ・卒業生講話 ・2学期のまとめ、振り返り ・働くこと(キャリアパスポート) ・自分のことについて ・冬休みの計画作成 ・はじめの一歩(変われば変わる私のミライ)	・夏休みに経験したことやエピソード等について話合う。2学期の個人目標を考える。係活動について話合う。 ・相談週間では、日頃から考えていることや不安なこと等について話し合う。(アドバイス等を今後の学校生活に活かせるようにする) ・清掃活動、給食準備や片付けついてお互いに話合い役割分担をする。 ・学年レクについて意見交換をする。 ・交流学習の事前学習について説明を聴いて交流の目的等の理解をする。 ・校外学習に向けて、場所や目的等について、説明を聞き、マナーやルールについて確認する。 ・2学期を振り返って感想をまとめる。
		(生徒会活動(2)学校行事への協力) ・多様な他者と協力して、学校行事に協力する活動に取り組むことを通して、学校生活の充実と向上を図ろうとする態度を育てることができる。	・多様な他者と協力して、学校行事に協力する活動に取り組むことを通して、学校生活の充実と向上を図ろうとしている。	(生徒会活動) ・修学旅行壮行会	・壮行会へ向けてあいさつ練習や日程に関心をもち、前年度の修学旅行で学習した内容をふりかえる。
		(学校行事(3)) ・自己の生活を振り返り、健康、安全、防災、運動や体力の向上に関する課題と解決策について考え、他者と協力して、適切に判断し行動することができる。 (学校行事(4)) ・平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができる。	・自己の生活を振り返り、健康、安全、防災、運動や体力の向上に関する課題と解決策について考え、他者と協力して、適切に判断し行動しようとしている。 ・日常とは異なる生活環境の中での集団生活の在り方や公衆道徳について考え，学校生活や学習活動の成果を活用するように考えることができるようにする。	(学校行事) ・2学期始業式、終業式 ・火災避難訓練② ・地震・津波避難訓練	・冬用の制服を着用し、身なりを自ら意識して儀式に参加する。 ・火災・津波避難訓練の心構えの準備を日頃からできるようにする。 ・防災バックの点検等を行う。

3学期	16 (10)	(ホームルーム活動(1)イ) ・ホームルーム生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践することができる。 (ホームルーム活動(1)ウ) ・生徒会などホームルームの枠を超えた多様な集団における活動や学校行事を通して学校生活の向上を図るため、ホームルームとしての提案や取組を話し合って決めることができる。 (ホームルーム活動(3)ウ) ・社会の一員としての自覚や責任をもち，社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動することができる。 (ホームルーム活動(3)エ) ・目標をもって，在り方生き方や進路に関する適切な情報を収集・整理し、自己の個性や興味・関心と照らして考えることができる。	・ホームルーム生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践しようとしている。 ・生徒会などホームルームの枠を超えた多様な集団における活動や学校行事を通して学校生活の向上を図るため、ホームルームとしての提案や取組を話し合って決めようとしている。 ・社会の一員としての自覚や責任をもち，社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動しようとしている。 ・人間としての在り方生き方や進路に関する各種の情報を収集して活用するとともに，自分自身の興味・関心などの個性を理解した上で，自分の将来の生き方や生活について見通しを持ち，進路選択を行っている。	(ホームルーム活動) ・新年、3学期の目標 ・身だしなみ講座(外部講師予定) ・学年レクに向けて ・清掃活動、給食準備や片付け ・1年間のまとめ、キャリアパスポート ・働くことについて	・新年の抱負について語り合おう。 ・3学期の個人目標を考えて決意を新たにする。 ・学年レクについて、クラス全員で話し合い、準備する。 ・清掃活動、給食準備や片付けを協力しながら、積極的に行う。 ・1年間を振り返り、キャリアパスポートのまとめを行う。 ・見近な働く人たちことに触れながら、将来働くことや進路先についてお互いに意見交換する。
		(生徒会活動(2)学校行事への協力) ・多様な他者と協力して、学校行事に協力する活動に取り組むことを通して、学校生活の充実と向上を図ろうとする態度を育てることができる。	・多様な他者と協力して、学校行事に協力する活動に取り組むことを通して、学校生活の充実と向上を図ろうとしている。	(生徒会活動) ・生徒会役員選挙 ・3年生を送る会 ・学部離任式	・役員選挙の流れを理解し、立候補や推薦人の話を聴き、選挙する。 ・余興を楽しみ、後輩へのお礼の気持ちを伝える。 ・学部の先生方に対して、感謝の気持ちを抱き、各自で気持ちを伝える。(手紙や言葉等) ・3学期を振り返りながら、今後に向けて改善したいこと等を考える。
		(学校行事(1)) ・学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開へ動機付けとなるようにすることができる。	・学校生活の節目の場において将来を見通したり，これまでの生活を振り返ったりしながら，新たな生活への自覚を高め，気品ある行動をとろうとしている。	(学校行事) ・3学期始業式 ・学習発表会 ・高等部卒業式	・卒業式では礼儀正しく身なりを整えて参加、社会人としての思いと決意を抱く。
留意点 引継ぎ等					